

# 新聞切拔

朝鮮關係

P

政治

昭和六年

1

Y Y  
13

# 主なる新規事業

## 第一は窮民救済

(二) 馬野知事演述

浦 22  
木 1  
6.

### 新豫算方針

今次の道評議會に於きまして各位の御審議を煩しまする案件は昭和六年度道地方費歳入歳出豫算外十二件又提示致しまする案件は昭和四年度道地方費歳入歳出決算外三件でありますが議事に入るに先ち昭和六年度道地方費歳入歳出豫算の編成方針並に其の内容の梗概に付きまして聊か御説明申し上げたいと思ふのであります

### 其の内容

各位の既に御承知の如く中央政府に於きましては我國多年の懸案たる金の解禁を斷行すると共に之に善處する爲中央地方の財政を整理し、公私經濟の緊縮を圖り舉國一致難局の打開に努め由て以て國民經濟の基礎を安泰ならしめんことを期して居るの際でありまするが故に道地方費と致しまして此の方針に順應し昭和六年度豫算の編成に付きましては極力

### 緊縮方針

を採りまして新税を起すことは成るべく之を避け税率を高むる等のことも力めて之を差控へたのでありまするが、只市場規則第一條第四號に規定する市場に於ける取引行為は取引所に於ける取引行為と撰ぶところがないのでありまするが故に國稅取引税との權衡上新に地方税を賦課することに致したのであります、又輓近經濟界の不振に鑑みまして

### 人件費に

付きましても相當の減額を行つたのでありまするが、現下の情勢に照しまして窮民救済事業、其の他産業交通、教育等地方開發上將又道民の福利増進上緊急避くべからざるものに付きましては之を忽にすることを許しませぬが故に經費の自然減又は事務費、事業費等の節約に依り生ずる餘餘額を財源と致しまする外

### 新に公債

をも發行致し致したのであります、斯くて昭和六年度の歳計は四百二十八万三千四百八十一圓を算し之を昭和五年度の夫れに比較致しまするときは百一十一万九千三百三十四圓の増加を見たのであります

### 新事業内容

今其の新規事業中特に重要なものを挙げますれば第一に窮民救済の施設と致しまして昭和六年度以降三箇年の繼續事業として費二百十萬圓を投じたのであります、又榮山江及耽津江の



局部改修を企て榮山江は昭和六年度以降三箇年繼續事業として工費三十万圓を、耽津江は昭和六年度以降二箇年繼續事業として工費七万五千五百圓を投じて之を施行すること致しましたる外昭和六年度以降三箇年繼續事業として工費白万圓を支出致しまして砂防事業をも施工することに致したのであります。其の總工費額は實

に三百四十七万五千五百圓の巨額に昇り、從て本年度の年割支出額は百十七万七千七百五十圓と相成つて居るのであります。而して此の財源は昭和二年度以降十箇年計畫の事業として實施中に係る道路改良費の中道地方費の純負擔額中二十四万圓を其の一部に充當し、他は

起債に俟つこととし、其の起債總額の約七割五分に相當

する額は公債を發行して之を大藏省預金部の低利資金を以て引受けて貰ひ、残りの約二割五分に相當する額は銀行より借入ることにする豫定であります。而して右は何れも五箇年間は元金据置とし、爾後十五年賦を以て元利を償還することに致して居るのであります。而して是等の事業費に付きましては國庫より夫々補助があるのであります。其の補助の方法は道路改良費に付ては總工費額の四割、榮山江局部改修費及砂防事業費に付ては其の工費總額の八割又、耽津江局部改修費に付ては其の工費總額の五割に各相當する額を國庫補助假定額とし、その假定額に相當する地方費債の償還費を年々國庫より補助せらるべきことに内定致して居るのであります。

# 窮民救済の

## 繼續事業費

總額四百八十二万圓

本道では昭和六年度から總經費四百八十二万五千五百圓を計上し繼續事業として道路、橋梁、榮山江、蟾江の改修築、砂防及び第二期三等道路橋梁改良事業を行ふ事となり其の第一年度たる六年度には百十八万六千七百五十圓の収支が計上されて居るが詳細は左表の如し

### 一、二、三等道路

#### 橋梁改良費總額

二百十萬圓

六年度支出は七十萬圓で其の收入、國庫補助二十八萬圓、公債借入金十八萬圓、一般經費より二十四萬圓充當

支出、工事費六十三万七千圓、事務費八万三千圓

榮山江局部改修費總額三十萬圓

六年度支出は十萬圓で其の收入、國庫補助八萬圓、公債借入金二萬圓、支出工事費九萬一千圓、事務費九千圓

耽津江局部改修費總額七萬五千五百圓

六年度支出は三万七千七百五十圓で其の收入國庫補助一万八千八百七十五圓、公債借入金一万八千八百七十五圓、支出、工事費三万四千四百五十圓、事務費三千三百圓

### 砂防事業費總額 百萬圓

六年度支出は三十三万四千圓で其の收入、國庫補助二十六万七千二百圓、公債借入金六万六千八百圓

支出、事業費二十四万一千五百四十圓、事務費九万二千四百八十圓

### 第二期三等道路 橋梁改良費總額

百三十五萬圓

六年度支出は一万五千圓である

# 未曾有の大計畫

馬野知事演述

浦 木

6. 1. 22

## 三等道路改良

(三)

第二には時運の進展に伴ひ交通網の完備を圖るの緊切なるを思ひまして、三等道路改良事業を企圖致したことであります、各位に於かれても既に御承知の通り従來は郡、島の管理に屬して居ります等外道路の中には地方産業の開發上最も重要な使命を有する路線も少くないのであります此等の中から相當撰擇を致しまして三等道路に昇格せしめ之に相當の改修を加へますことは道民の福利を増進致します上に極めて喫緊の事であると思料致すのであります、随ひまして昭和六年度より十二箇年間に工費百三十五万圓を投じ道内樞要なる路線十九線の改修を施すべく企圖致したのであります之が財源は前にも申しましたる第一期の事業とも云ふべき一、二、三等道路改良費に於ける道地方費の純負擔額二十五万圓の範圍を以て之に充當するの計畫であります

## 畑作改良増産

第三には食糧問題の解決と農家經濟の安定に資する爲國庫の補助事業たる畑作の改良増産計畫であります之は昭和五年度豫算に於きまして企圖致しましたる麥作の改良計畫を本府の奨励施設に順應すべく之に若干の變更を加へまして本年度所要

經費として一万四千七百十六圓を計上致したのであります

### 品種改良試験

第四には天水沓試験の創始及水稻品種改良試験の擴張であります、各位も御承知の通り本道に於ける天水沓は沓面積の過半数たる十一萬町歩に及びまするが故に之が根本的對策を講ずることは産米の増殖上極めて緊要のことと屬するのであります、又水稻品種の改良に於きましても概近内地各地方を通じまして米に對する嗜好の變化著しきものあるに鑑みまして此の際積極的の方策を講じ各人の嗜好に適合する品種を奨励普及致しまして産米取引の圓滑を期することとは是亦喫緊の事に屬するものと思料致しまして是等に要する經費五千八百八十三圓を計上したのであります

### 商業學級増加

第五には本浦商業學校に於ける學級増加の計畫であります、本浦商業學校は年々入學志望者五倍乃至六、七倍の多きに達しまする狀況に鑑みまして一學級編成を二學級編成に改むるのを認め之が所要經費として七千五百五十四圓を計上したのであります

### 卒業生指導所

第六には公立普通學校卒業生

指導所の創設助成であります、現在公立普通學校を卒業して無爲徒食して居る者も少くない現況であるのに鑑みまして之に興業治産の志操を涵養し進んで地方開發の中堅たらしむることは現下の情勢に於て急務であると思ひまして之に要する經費七千四百四十圓を計上致したのであります

### 各種工事補助

第七には順大、羅老島及高興上水道工事、山地港の擴張工事費並置水市街道路工事費に對する補助であります、就中順天水道の敷設、山地港の擴張及置水市街道路工事は曩に申述べましたる窮民救濟事業としても相當意義あらしむべく國庫より前第一號中に於て述べましたところと同一の方法に依りまして夫々之に補助金を交付せらるるものであります、然れども本計畫中より道地方費の補助額を控除致しましたる金額の七割五分に相當する額に付ては別に道地方費に於て公債を發行し大藏省預金部に於て低利資金を以て之を引受けて貰ひ道地方費は同一利率を以て更に之を當該面に貸付あります(終)

× × ×

仍以上の外道立學校及會議室の新營、農業倉庫の助成等相當の新規事業を計上致しましたのであります、蓋し前にも一言致しました如く財政の緊縮を要する時期に當りまして斯の如き大事業を企畫致しましたのは一に財界不況に因る窮民に對し生活の資を得しむるを目的とするのでありますからその目的の遂行を誤らず有意義の事業を圖るに努むべきは論ずるまでもあります、然れども本計畫は本道としては勿論全鮮的に見ましても未曾有の大計畫でありまして窮民を救濟すると共に此等各種の事業に一新生面を開くべきものであります、故に事業完成後に於ける効果を稽がへ目的の達成に最善の努力を拂ひたいと念願いたして居る次第であります(終)



平雨道評議會

平穩 本安南道議員會第二日  
 月は十九日午前十時より開議  
 したるが本日の開議一同着席  
 と共に辭意宣言し審議上便宜から  
 出席常務部土木費を附議したと述  
 べたるや宣言が終るや否や直に吳議  
 員(平穩)早くも發言を求め  
 吳議員 語開案第二號は最  
 重要案件であるから全委員會な  
 能く無議して本會議を開くべきで  
 あるを要求したるに就いて  
 藤原内務 吳さんは全員委  
 那に破案し審議する必要があれば  
 其の他の議者として其の他は  
 此のまゝ審議したる如何か  
 式で本議員は應

(順次)尹議員(中和)  
出議員(順次)崔議員(順次)開催の寶成海談を行ひ約一時間半を費したが議長長早くも空気の不快な爲に前十一時四十五分本會を解散し午後一時まで休會を述べ休會を終了した。中に其の意向をよめる事となつてゐた、豫定通り午後一時になる引續き開會、食事中決定宜しく得たと見れば委員問題などはそつちのけにして議長は勸諭地方の發言を許して盛出席常部第一號土木費一萬五一千四百三圓以下同じく臨時部一號の諮詢をして着席直に尹議員(中和)本道は他會議狀況如何に依つて他道に影響を及ぼさぬに限らないから成るべし誠に進行させたいと申合せ

たから御知らせしますと述べたで  
 吳議長員（平穩）牛蔵中は議  
 事の進行遲延して申議がないしか  
 ら議長は委員會開設に就ては仰  
 言及せず直に盛出土木費の設  
 行はしめたことは何うしたか、特  
 に最後に一言したいのは土木費は  
 最も重要事項であるから先づ此  
 分から委員會に附議したいと雖  
 委員會問題を持出すに際藤地方  
 の説言を求め  
 齊藤地方 窮民救済事業は  
 重大事業であるからこの案は繼續  
 事業の例を附議する際により其  
 際、委員會を罷くことも良いとし  
 て、其他の案は尤もした事はないから  
 審議を願ひ度い、と述べた尹議員  
 中（和）より窮民救済事業は各地  
 した方が良いと不公平なる情



# 第十二回道評議會

## 勸業費一讀會

### 質問戦つゝ

浦 木  
6. 1. 25

鄭産業部長大童で奮闘

### 二十五日 第五日の議事

【光州電話】道評議會第五日は二十四日午前十時十五分開會、出席議員三十三名、日程に先立ち黒住猪太郎氏より發言を求め地方費の財産を詳細に知り度しと述べ地方課長之に答へて後前日に續き議事に入る

鄭産業課長 産業技手増

員は賛成であるが直ちに實現は困難であり書記一名増員は事務多忙となる爲め技手三名の増員中一名は製紙技手であり他の二名は織物技手で從來地方團體に屬した者と地方費に振替へたものであると述べ技手の俸給、林野監視員、林野保護獎勵等につき詳細な説明をなす

産業部長 前日金仁洙氏の

質問に答へるが、棉作技手は閑散だと云ふ事であるが棉作技手は畑作に其の餘力を用ひる事として居り森林組合の技手俸給は各郡が其の設立の際に其の郡の代表者に依つて定めたものであるから高ければ

其の各郡で相談すべきものである。又區長の手當は考慮を要する

金致培氏(光陽) 議事進行につき發言を求め一、二讀會は之を一括せよと云ひ之に關し二、三の意見が出で議長は之に對し、一讀會は議案の質問、二讀會は逐條審議、三讀會は全体の可否を決するものであるが之れは帝國議會の定めで實際には一、二讀會は合併を便宜とすると個人的意見を述べ

## 棉作費

減額の理由

金信錫氏(光州) 人件費

増額に關し質問し乾海苔検査費の増加には何か新規事業があるか、米豆収檢技師の新設必要があるか、棉作費が減額の理由如何、朝鮮語獎勵はどんな方法に依るか、現在の産業組合別と其の業績は如何

産業部長 乾海苔検査は作年の開始で俸給等も六ヶ月計上であつたが今年からは一ケ年とした爲め増額し棉作費減額は從來棉種子を米國から輸入して居つたが本浦棉作支場で新良種を作るやうになり輸入を中止した爲め又六年度からは此の朝鮮産棉種子を無償配布する、米檢技師は増員でなく振替へたのみであり本道の米が聲價數量等に於て有名となつた爲め責任者を置いた爲めである、又産業組合は現在六組合で潭陽の成績が悪いから此所へ理事俸給を補助するが其他は相當良績を擧げて居る朝鮮語獎勵は産業の第一線に立つ者が朝鮮語を解さ

提評議會第四日午後は二時より  
母會引續き土木費の審議をなす

金商瑾氏（莞島）莞島上水

道の貯水池擴張の意志ありや  
麗水、下關間の航路補助六千  
圓の地方費支出を中止し多島  
海に廻しては如何

土木課長 關麗船に六千圓

補助しても少額に過ぎる程本  
船の援助は必要である、莞島  
水道は六年度ではやれぬ

女圭善氏（谷城）窮民救済

工事の恩恵を受け得ぬ窮民は  
如何にするか、慣行賦役を當  
分中止しては如何 蟾津江の  
局務改修をなす意志なきか、  
若し無ければ何故か

土木課長 窮民救済事業の

## 勸業費は

## 卅九萬圓増加

### 鄭産業部長の説明

鄭産業部長 總豫算は前

年より卅九萬圓増、その理由  
は窮民救済の砂防工事と農業  
倉庫でその他は人件費等減額  
を示した、農務關係では普通  
農事では主として米作、畠作  
肥料に力を入れ米作では二千  
三百圓を増して品種試験を擴  
張し又天水畚試験を新に始め  
二千圓を増した、肥料に於て  
は金肥を多く用ゐず代物とし  
て紫雲英の栽培に力を入れ五  
千圓を増額した、更に標準米  
査定會に内地關係者を招く費  
用、尙産米の宣傳費、農業倉

性質から言へば窮民と事業と  
が均等的に分布せぬでもやむ  
を得ぬ、慣行賦役は朝鮮の現

狀から見て廢止は出來ぬ、勞  
働か、智力か、金力かで社會  
に奉仕する事は間違でない、  
今度の工事に入つた河川は被  
害の大きいものから先にやる  
爲め榮山江から蟾津江と言ふ  
順になる

朴癸一氏（光州）道路橋梁

費二、三〇〇圓減で支障なき  
や

土木課長 道路費減は先日

來述べた如く俸給慰勞金等減  
が理由で事業費に變化なし  
以上で土木費一切の第一讀會漸  
く終了、午後三時より勸業費歳  
出一切を第一讀會に附す

庫の一ヶ所増設等の經費も増

加した、畠作に於ては麥に特  
に力を入れ總額一万五千七百  
圓を計上した、又肥料試験を  
光州郡内の種苗場外の所でや  
る事とした、一方濟州島に置  
いて居た種苗場支場は之を廢  
止に決し二千三百圓を生んだ  
畜産に於ては大體大差無い  
が肥料政策を相携へて畜舎の  
改善を計り又品評會を開く  
棉作に於ては棉價慘落の爲  
め獎勵に困るので特別補助と  
して五千圓を出す、而して年  
々五千圓を投じて外國より種



子を輸入して居たのを廢し木浦支場産種子を無償配布す

蚕業方面では斯業者救済の意味で植桑助成補助を出す

林業關係では窮民救済に依る砂防工事六十三万四千圓の外新に林野保護獎勵費を計上した、その他山林大會にも千圓補助し又民營砂防を全廢し之れに代つて一万一千餘圓を補助す

商工方面に於ては特産品展覽會へ三千圓、商品陳列所樓上參考品陳列費二千三百圓桑皮利用に依る製絲補助が主なる新規事業である

水産に就ては昨年乾海苔検査を初めたので六年度では之れが充實に六千圓を増し又煮乾編獎勵が特別なものである

## 金議員の

## 長廣舌

千田農務課

長の初答辯

許炎氏(珍島) 議事進行に

就いて意見を吐き議長は質問は簡單にして要領を得た質問ありたして述べ

金仁洙氏(長城) 棉作技

手を各郡一名を要するか棉作技手は郡に依つては農業技手と兼任にしては如何然して此の代りに土木技手を置かれる意志はないか、工業技手は一名では少いが増員せぬか、地方産業書記地方産業技手の増

加原因如何 失業者の多い今日一人に七十圓も八十圓もの俸給を拂ふ必要なし、五十圓位で良くはないか、荒廢林野の意味と之れが監守費とは何か、林野保護獎勵は如何にするか、種牡牛改良費は過多ならざるや、之れを減額して畜産組合の經費に繰り入れ、介手数料を値下げせよ、植桑補助を多く出すより森林組合に補助せよ、同組合費は地稅等に比して高い、山林會、山林組合聯合會に補助があるが一括したら如何、植桑補助に巨額を計上してあるが藪價慘落の今日此の巨費を投するより當分休止した方が良くはないか、工業補助は少額に過ぎる、産業技術員數を減じ區長に手當をやつて産業を獎勵するか又は産業委員を設けて之れに手當をやれ

千田課長(農務) 棉作職

員は決して暇でない、又棉作技手廿四人の俸給中半分は國庫補助で此の中五人は繰繰検査員を兼ねて居る、種牡牛補助は郡の畜産組合に給し之れをして行はしめて居る、仲介手数料は直ちに低下出来ぬ、植桑助成補助は必要であり特に六年度からは帶植桑に補助を出し又長興郡有治面煙草禁耕地に六年より十年計劃で二百四十町歩の桑園を新成する事にしてゐる、尙ほ此の費の中には苗補助の外に指導員費も含んでゐる、午後五時散會

# 第十二次道評議會

## 『商工獎勵館』を

木浦に置かぬか

木浦 6. 1. 27

金商變議員熱辯を揮ふ

第五日再開後の議事

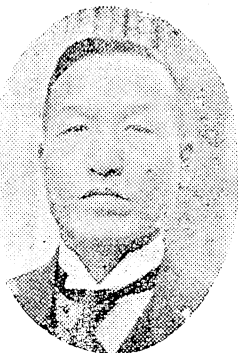
獎勵品種が過多だ

金氏が指摘

道評議會第五日目(二十四日)午後一時三十分再開、日程に入るに先立ち第六日目は日曜休會の豫定を變更して會議を開くに決した勸業費第一讀會續行

金商變氏(木浦) 道内に

小工業者の相談相手が無い、



費を首め種々關係で擴張は出来ぬ、名稱には賛成、但し名稱に拘泥するより内容であると思ふ、木浦に商陳を設ける事は趣旨に賛成であるが今責任ある返答は出来ぬ、工業方面の充實には努力する肥料獎勵は堆肥、綠肥に重きを置いて居る、水稻獎勵品種の改廢は充分準備の完成する迄待つ事の不利益の大なるを考へ直ちに改廢したもので新獎勵品種は三年目から農民の手に入るが尙ほ出来るだけの方法を講じて早く交換し得るやう斡旋する。

産業部長 商品陳列所は經

商品陳列所を商工獎勵館と改稱し工業部を設けて活躍しては如何、支那から輸入する麻布類を廢し自産自給でやる如く商工獎勵に今少し努力せよ更らに全南の商工業の中心である木浦にも商工獎勵館に類するものを開設する意なきか今回道に於て新に獎勵する水稻優良品種多賀鶴早生旭は賛成だが如何にすれば此の兩品種を農民に速急に與へ得るか

産業部長 模範村は求禮、順天、高興、光州、海南、羅州、莞島の八ヶ郡である砂防工事箇所はまだ決定して居らぬ、商工補助は製糸、機業、

金致培氏(光陽) 水稻獎勵品種が過多だ肥料獎勵に要する經費が少い、模範村所在地如何、蚕種取締が不徹底ではないか、砂防工事を今年行ふ地は何處か、順天、光陽間の禿山を今年施工するか、農業倉庫の新設は何處か、商工獎勵費の内容如何

臘石細工その他特産品補助である

### 農務課長

道内の氣候風土

が異なる爲め簡単に水稻の統一は出来ぬ、現在は六種であり決して過多では無い、土地改良費は増加してゐる、蚕種は近來特に良質になり内地に逆移出してゐる現状である、農業倉庫新設ヶ所は未定である

### 政吉信氏

(麗水) 水産課獨立に對し滿腔の敬意を表すが

水産業に對する經費は尠少で海苔検査費増以外に見る可きものなし、今回は之以上やむを得ぬとするならば將來何々をなすか、水産補助費減の理如何鮮魚を主体とする漁業組合の好績ならざるに多くの組合を濫設する理由如何、南鐵開通祝賀と併せて水産宣傳計劃ありや、開麗連絡船の實現に依り麗水を中心とする地方

の水産施設並に鮮魚運搬業者保護策ありや、乾海苔検査の實績如何、

### 産業部長

水産豫算減は主として人件費減、水産に爲すべき事業多きは認めるが昨年より巨費を投じて海苔検査を初め今年も亦水産に巨費を投ずる譯にゆかぬ、鮮魚を目的とする漁業組合に對しては出来るだけ指導して居り之れを等閑に附して居らぬ、漁業組合新設は漁業權を主体としたものである

### 水産課長

漁船補助減は今年國費補助減に依る南鐵開通を機に光州で開かれる特産展覽會に水産宣傳を行ふ麗開連絡船關係は別席で話す、海苔検査成績は先づ腦調に進んで居る、ただ出張検査に對しては適策考究中である

## 麗水漁港問題

### 水産課長答へる

政氏

(麗水)

海苔検査に巨



### 水産課長

麗水漁港問題に對しては出来るだけ努力したいが本道沖漁獲物中直ちに内地に移送されるものは可成りの數に上つて居るが之れを本道陸地に引きつける事は却々容易でない、本道の政策としては濟州島翰林沖の漁場に努力する事が重大である、麗水の將來が如何に伸び行くかに就ては靜かに考究を巡らし最適の方法を研究すべきであるたと單に開麗線のみを利用し得るか否かに就ては多大の期

費を要すると云ふが歳入關係から見て地方費に巨費の厄介になつて居らぬ、開麗連絡船を利用すると鮮魚一箱で二十錢利益又京城方面に送るものも運賃半減した、されば麗水に集る漁船は日々増加する趨

待は有して居らぬ

許焱氏 (珍島) 議事進行  
に就いて意見を述べ議長之れ  
に答ふ

## 5 吠の出張検査其他

安圭善氏 (谷城) 米豆

吠検査支所の無い所で吠生産  
をしてゐる所に検査員を出張  
検査せしめよ、蚕繭高算定法  
如何、蚕種を強制的に配布の  
要ありや、桑苗補助内容を知  
りたい、内地人に鮮語奨励  
助を出すより鮮人に國語奨励  
の補助をする意志なきか、鮮  
兒の中には普通學校に行けぬ  
者が多いから此の種のものに  
國語を教へよ、各郡に産業部  
を設け各種産業團體を一括し  
ては如何

産業部長 産業技術員、産

業團體職員に朝鮮語を教へる  
もので同職員中の朝鮮人は國  
語は判つて居る筈だ、郡の産

業部云々は今答辯の限でない

農務課長 吠の出張検査は

やつて居る所もある、繭量は  
掃立枚數と飼育狀況と共同販  
賣出廻り高を參酌する、桑苗  
購入補助六万九千餘圓、植桑  
補助一万九千餘圓で又新に補  
植桑苗補助を設けた

## 蠶種代引下

李秉威氏 (寶城) 織物改

良費補助尠少なり、乾繭設備  
が不完全ではないか、寶城郡  
福内の乾繭場擴張案ありや  
産業技手は朝鮮語に精通した  
者を使へ、蚕種代金を今少  
引き下げよ

産業部長 内地人産業技手

に朝鮮語を學ばせる爲めに今  
回講習を計劃して居る

産業課長 織物改良には産

業組合を漸次設けて努力した

農務課長 乾繭場を昭和六

年度に二ヶ所に設ける、福内  
地方の蚕業は認めて居る、蚕  
種代金は出來る丈け引下る考  
は持つて居るが無暗に引下げ  
ると蚕種が悪くなるかも知れ  
ぬ、定められる指定標準があ  
つて自由に低下は出來ぬが今  
年は前年より下落して居る  
五時十分散會



日曜も休まず

## 議員さん大勉強

但、さすがに出足は遅い

### 勸業費審議續行

道評議會第六日は午前十時開會  
今日は日曜日の事として議員の出  
足遅く定刻出席二十四名、勸業  
費の審議續行

申鉉麒氏（威平） 種苗場

の件費をあれだけ出すなら  
今少し多く事業をしては如何  
吠の検査標準を變更せよ

業を強制的にやら  
せるな 蚕種代金低下の  
要あり

農務課長 種苗場の件費

増は新に事業が初められた爲  
めに要する人員増の俸給であ  
る、吠標準は本道のみが高く  
はない、養蚕の奨励を強制し  
た事なし蚕種代金値下げ並に  
代金取立は今の所現状維持よ  
り他に方法なし、畜産技術員  
は全郡に置きたいが種々の關  
係で直ちに實現は出来ぬ  
産業部長 養蚕の奨励を強  
制はせぬが、場合に依つては  
大多數の者の幸福  
の爲には多少の反

對があつてもやむ  
を得ず方針通りや  
らねばならぬ事があ  
る、今日本道養蚕の發達は種  
々の道程を経て居るが大局か  
ら見て是と信ずる

尹定鉉氏（海南） 水利組

合の蒙利區域に對する補助を  
出さぬか 又未墾地開拓に補  
助せよ、昌作補助の内定如何  
乾海苔検査地方費移管で検査  
所の數を減少した爲め遠隔の  
地に在る検査所に海苔を運搬

する爲め種々損失あり出張検査と検査所の増設をせよ

### 農務課長

土地改良事業に

對す補助は必要と認むるが種々の事情で直ちには實現出來ぬ 畠作補助 麥の採種田 畠作改良組合 粟作等の補助である

### 水産課長

珍島と海南の海

苔検査は出張検査をして居る 海南産海苔は莞島で集合販賣して居る關係上、どうせ莞島に運ぶものだから産地で検査して運搬しても莞島に出してから検査しても實質的に大差は無い

### 金宗鉉氏

(海南) 肥料奨

勵費は小作人を本位とし細農に補助せよ 芋麻奨勵費は過少なり 南部海岸地方に農業倉庫を設ける意志ありや、海南郡五十七町歩の禿山にも砂防工事をするか、水稻優良品種々子が速かに農民に行き渡るやうにせよ

### 農務課長

芋麻奨勵は大いにやりたいが今年は六百圓で我慢せねばならなかつた、肥料奨勵補助は紫雲英、ヘヤリ

ベツチ、堆肥 綠肥を作る者にやる、貧しい農家の生産費低減が目的である 農業倉庫豫定地は研究中である 水稻種子更新は從來四年間に一回

やつたものを明年度からは三年間に一回やる事に決した

### 五分間休憩

かくて五分間休憩となり此の休憩中午後から種苗場、道立醫院を視察豫定であつたのを取り止めて議事續行に決す、尙ほ議事進行に就て種々の意見が出る、十二時再會

### 淺野技師

(山林主任) 窮民救済に關する本府の方針は被害の多い所からやれと言ふ事になつて居り本道では何れを先にすべきか目下調査中

### 森林組合補助

### 曹秉模氏

(靈光) 土地改良費を増加せよ、漁業組合、産業組合補助過少なり、森林組合を速かに法人たらしめ又補助をも出せ、森林組合費は林相収益に依つて賦課せよ

### 産業部長

土地改良補助は國庫補助に對し地方費として

も之れを補助するもので充分ではないが今の所やむを得ぬ、漁業、産業組合補助は組合の内容を主として支給す、森林組合補助も出したいと思つては居る、森林組合令は本府で取り運び中森林組合費は會員割、伐採割とに分ち無立木地には賦課して居らぬ筈

午後零時三十分休憩

# 新奨勵種を

## 全部今年中に

村上議員の長廣舌

午後一時半開會

村上直助氏 (本席) 水



稻新奨勵品種は今年中に全部普及せしめよ又今回奨勵廢止されたものの處置如何、蚕種を大量生産とし價格を今少し低下する方法なきか蚕繭下落に依り蚕業奨勵に支障なきか死金を使ふやうな事になりはせぬか、現在本道内の林木中には保護を加へても成長せぬものが多い、之を伐採して新木を養育しては如何、溜池等の水利の設けが不足、肥料品種、水利の三つを備へねば完全なる農業の發達は出來ぬ當局は棉繭の販路には努力してゐるが米の宣傳は鮮

内當業者で此の品種を持つて居る者に對し之れを他と交換するやう斡旋する、中熟神力は移出米には不適であるが收穫多き爲め強ひて之れを要求するものには一二年間は交換に應ずるが移出米として不利な旨は諭す、蚕種は性質から見て豫約製造でもあり今年のものは前年から作つたのであるから今春から繭價が暴落したからと云つて蚕種を直ちに引下げは出來ぬ又蚕種は悪くても良いから安いものと云ふより少く高くても良いものを要する、然し出來る丈蚕種を低價ならしむるは同感、生育せぬ木は伐採して更木の考へで居る、溜池修築は同感だが經費の都合で直ちにはやれぬ米の宣傳には今後大いに努める、煙草廢耕地に特用作物か桑を植るか研究中で長興有治

米協會を利用する外に方策なし寧ろ木浦商工會議所の方が努力してゐる

傾きがある、今年多少此の宣傳費を計上したは賛成だが尙ほ之れを將來増加する意志ありや、次は金仁洙君に依頼されての質問だが煙草禁耕地域に楮を奨勵する意なきか

産業部長 水稻新奨勵品種

は準備は完全で無いが少しも早く改廢の要ある點より見てやむなく實行したが種苗場の持つて居るだけを出し尙ほ道

面には桑を植える

明昌淳氏（麗水） 水産試験場の傳習講習費を水産學校に移し學校に行はしめては如何、海苔検査所新營は何處か

水産課長 試験場の傳習

講習は當業者の子弟中切實に技術學業を必要とし學校に入學し得ない者に課す、海苔検査所は長興、高興の豫定であるが、或ひは變更を見るかも知れぬ

## 副業獎勵問答

李載燮氏（咸平） 副業獎勵に努力する者なきか、殊に果樹、蔬菜、特用作物の耕作栽培に一層努力せよ、此の生に就き再三質問した事があるが調査中研究とのみ答へるほどの程度迄進んで居るか

含んで居る

産業課長 苗木購入補助は本府の方針に依り二十ヶ年計劃でやりつゝある

金商翺氏（潭陽） 生絲絹場低落の原因は何か、人絹の生糸に及す影響、本道に養蚕をドンく獎勵して前途に見込ありや、アムモニア代金に五年度中に二万石を賣らねばならぬ金肥獎勵の要ありや

産業部長 副業に就ては出来るだけやつて居るが經費の都合で十二分には出来て居らぬ、調査研究は繼續してやつて居る

申常休氏（高興） 普通議事に對する地方費補助、麥作改良補助は過少だ米、麥作模範田を各郡に設ける意なきか

産業部長 模範田を各郡に設ける意なきか、調査研究は繼續してやつて居る

産業部長 農業費の補助は今年之れでやむを得なかつた、麥作計劃は鮮内で最初に着手し總經費で一万五千圓位になる、各郡とは行かぬが道内十二、三ヶ所試験を含んだ模範田を作つて居る、植桑補助は現在の養蚕家を救ふ案を

## 三たび休憩

斯くて會議時間を延長し四時半休憩、四時五十分再會



見合せて欲しい

# 水利組合の新設

鮮人官吏採用論も出た

木 浦  
6. 1. 27

## 第七日の議事

【光州電話】道評議會第七日は二十六日午前十時十分開會、定刻出席評議員二十三名、前日に續き勸業費の審議に入り農務課長は前日の質問に對し羅州以検査所問題は言明を避け畑作獎勵は麥、粟、大豆であると答ふ

林炳元氏（羅州） 人件費増加は如何、各面に地方費の面技手を置く意思はないか砂防事業は減額出来ぬか

産業部長 人件費の増加は新規事業に依る爲であり面技手は財政の許す限り置いてある砂防事業の減額は出来ぬ  
文在喆氏（木浦） 官吏新採用に際しては朝鮮人を多數に採用せられ度い、米價暴落の今日であるから水利組合の

新設は之を見合せ又既設水組の組合費は低下すべきである多島海には窮民救済の事業が計劃されて居るか、公有水面を干拓するに出願から許可までに長日月を要するが之れは至急に出来ぬか、榮山江局部改修は之を見合せて多島海の護岸工事に振替へる事は出来ぬか、棉花共同販賣所の設備不完全で濡棉が出来る事があるから上屋又は倉庫を建築しては如何又阪神地方に朝鮮棉花の販賣輪旋機關を設置する考へは無いが、朝鮮庭獎勵計劃はあるか

産業部長 官吏新採用に

備については徐々にやつて居るが之れは官ばかりに依らず棉花買収人に於ても協力せられ度い、又阪神地方へ棉花販賣の輪旋機關は現に其の必要ある度毎に係員を出張せしめて居る、朝鮮庭獎勵は地方費でなくとも他に適當な方法があらう

## 勸業費一讀會終る

き内鮮人の區別は絶対に無く只だ人物が適當か否かに依つて決めるのである、多島海については度々之を冷遇して居るやうな質問が出るが多島海だからとて何等冷遇して居るものではない水利組合

の新設は今日の如く諸物價低落の時間が最も適當な時である、榮山江局部改修は見合はす事は出来ぬ、干拓事業の許可は其の性質上遅延するものであり棉花共同販賣所の設を終了した  
崔元淳氏（濟州） 水産獎勵の豫算が少額で農業に厚く漁業に薄い感がある  
と述べ竹林の發達や濟州蚕業校手増員 緑肥獎勵の有無等を質問し鄭産業部長之に答へ正午休憩午後再開 勸業費の第一讀會を終了した

# 第十二回道評議會

三日間に亘つた

勸業費の一讀會

木 浦

6. 1. 28

金商變氏の動議で漸く終了

【第七日再開後の議事】

道評議會第七日(二十六日)午後  
は一時三十分開會

農村を救ふべき方策を樹て居  
るか

金子暹氏(長興)

水稻中

産業部長

今年の勸業費は

熟神力を主として栽培して居  
る長興、康津地方に新獎勵品  
種を速かに普及する様多大の  
努力と犠牲とを拂はれたい、  
と希望を述べる

金商瑾氏(莞島)

漁船改

徐丙奎氏(順天)

砂防工

良資金貸附分布状態如何、海  
岸磯洗ひは如何なる方法で如  
何なる範圍に及ぼすか、水産

事は道内の禿山全部に亘つて  
施工し窮民を救ふべし

金忠植氏(康津)

水稻種

如何

水産課長

漁船改良資金は

大正五年以來貸下げて居り、  
大正十三年より實施せられた  
沖合漁船改良費と按配してや  
つてゐる、海藻磯洗は道水産  
試験場が協力して道内の實狀  
に適合した方法と場所に行行  
し費用は藥品費と磯洗器具費  
が主である、製品改良と言ふ  
製品は乾鰯、乾鰯の如く新に  
加工品とするもの養殖適地調  
査は昭和四年から初め牡蠣、  
海苔の適地を調査するもので  
ある

産業部長

水稻新品種獎勵

は何回も説明した、綠肥獎勵  
は豫算の許す丈けやる道内何  
ヶ所かに綠肥の模範場に近い  
ものを設ける、植桑は徹底的  
にやる海苔の出張検査はやり  
つつある

朴癸一氏(光陽)

勸業費

此處で議事進行に關する意見を

は計上され居る丈けで充分か  
述べる者があつたが、木浦金商  
明年は國費補助等も増額し一  
般に増加の見込ありや、次に  
業費第一讀會終了、時に午後三  
時二十五分、五分間休憩

# 教育費上程

## 内務部長まづ説明

三時三十分再開、教育費が第一  
讀會の組上に載せられる

内務部長 教育費は總計百



十一万四千八百八圓で前年より  
一万九千二百五十九圓減

常部會は木浦商業

學校の學級増加に

依るもの、又普通學校職

員に農業智識を授ける爲光州

農學校の職員一名増、社會教

育費一千八百萬圓新設は社會

の現狀に鑑みたもの、職業科

講習會費は普通學校職員の講

習費、一方人件費は五分減、

慰勞金は五割減又道立師範學

校廢校で一万一千圓を生み結

局經常部は一万九千百四十一

圓減、臨時部では一万八千二

百六十八圓減、理由は新營費

減である補助費は一万八千百

五十圓増で普通新設小學校々

合増築、實業補習學校内容擴  
張と松汀里公民學校地方費移  
管、卒業生指導補助が主なる  
原因である

松井邑次郎氏（木浦）

●木浦商業學校學級増加の實現  
●に就ては深甚の敬意を表す、  
●尙ほ同校寄宿舎は必要を認め  
●ぬか、師範學校廢止後の教員  
●補充は如何にするか、普通學  
●校の退學者が多いと言ふが授  
●業料が収入減となりはせぬか  
●實補校の補助の内容、松汀里



●公民學校地方費移管の理由、  
●夏期休業を一ヶ月續けず水稻  
●挿秧期と秋收穫期に各一週間  
●當休暇を振り向けては如何、  
●師範學校を卒業した許りの者  
●を木浦光州の如く教員の多い  
●所に置くが之れを年度の中途  
●で他に轉勤されると困る、學

は絶対にやらぬ

## 木浦商業

# 4 寄宿舍

森課長答辯

森學務課長 木浦商業學

校寄宿舍は必要を認めるが、他の學校との振り合ひもあり

速急には行かぬが

財源を得次第やる

道立師範學校が廢止され本道の如く毎年十六校の普通學校

を新設し卅四人の教員を要する點から見て多少の憂慮が伴

ふので官立師範學校

を光州に設けられ

るやう極力本府に

請願して居る、普通學

校の經費は全部國費である、

授業料収入減を歲出に見込み

在籍兒童數より一割減として

居る、補習學校補助は來年一

校増設し全民學校を引受け毎

年の補助を引直し尙ほ多少増

額した又學級増加の學校もある、更らに從來學級に補助し

て居たのを職員俸給に繰り變

へた、農繁期の休暇は同感で

實行して居る所もある

期の初めに轉勤する様にせよ  
又教員が運動さへすれば希望  
の地に轉勤せしめると聞くが  
左様な都合な事ありや

## 内務部長

教員を學期の中

途では出来るだけやり度くな  
いが普通學校一面一校政策に  
依り毎年十六校宛増設するの  
で其職員を要する爲めに中途  
で轉勤のやむ無きに至るもの  
學校の教員が轉勤運動に依つ  
て左右される事は無い、但し  
多數の中の或者が自己の身分  
上の事を詳しく説き來る者あ  
つたので初めて詳細な事情が  
判つた爲め轉勤した者が無い  
事はなかつた、又單なる風評  
のものもある將來は徒らに運  
動に依つて轉勤さすが如き事

# 缺食兒童を

## どう處置する

### 吳憲昌議員の質問

吳憲昌氏 (和順) 光州高



等普通學校に入學せしむべき生徒を増せ、即ち學級を増加せよ田舎の普通學校の生徒中には中食を食ひ得ぬ者があるのに尙ほ實習を科すのを目撃したが此の貧乏兒童の處置を如何にするか、同福普通學校は五學級に過ぎぬが増設の案なきか

内務部長 高普校學級増は經費の點と卒業生の點から見

て今の所考へて居らぬ

學務課長 中食を食はぬ兒童は各郡を遡じて百分の九であるが重大問題であるので昨年の校長會議に知事から交し訓示もあつた、又中食をせぬ者の中には習慣で食はぬ者栗飯である爲め辨當を持つて來ぬ者もあるから學校と協力して對策を講ずる、同福普通學校を特に輕視して居らぬ。一面一校政策に重きを置く關係上普校の學級増加は可成認めぬ事にし

省水留之助氏 (順天)

道内に工業學校を設ける意志なきや



# 光州中學教員の

## 監督が不行届だ

坂口議員 大見得を切る

### 第八日の議事

【光州電話】道評議第八日は午前  
十時十五分開會 前日に引續き  
教育費の案議に入る

坂口喜助氏（光州） 青



年團專業補助は年額二千五百  
圓、十ヶ年繼續で計たされて  
居つたが其の活用はかはかし  
くないと云ふので昨年から減  
額され教育費に於て青少年團  
指導が計上されて居るが之れ  
は學務課に移したものである  
か。光州高女校の補助は少額に  
過ぎ。濱州、海州、全州、大田  
其他各校が多額の補助を得て  
居るに比し貧弱であるから増  
額する事は出来ぬか、尙ほ光  
州の學校組合費は全州 大田

等に比し二倍であるが之を軽減し差額を地方費で補助出来ぬか 初等學校教員の異動が烈しいが昨年中何名異動したか 又異動に際してその學校長又は管理者の意見を聞いて居るか 光州中學校教員の監督は不行届で既に教員間に反目せるものありと云ふが若い視學等では中學教員の監督は出來兼ると思ふから内務部長はじめ學務課から嚴重な監督をして貰ひ度い

同感である、目下進行中の一面一校主義が完成するまでは止むを得ぬ、昨年の異動は二百七十六名、全教員千百八十四名に對しては方程多いと云ふ程ではない、教員の任卒異動については知事が直接に扱つて居り校長又は學校管理者の意見を聞く事は弊害があるから聞かぬ立前となつて居る

學務部長 女學校補助は緊縮方針である今日困難であり道内女學校の總収入は二万一千五百圓、總支出を引けば二千六百圓の不足となつて居る之だけでも補助を捻出し度いと思つて居るがそれも出來ぬ仕儀である

## 授業料

を下げよ

申鉉麒氏(咸平) 既設普通學校の内容は貧弱過ぎる、

又授業料徴収を教員が取扱ふ事は止め郡面等に移され度い授業料低下を計り地方費補助は出來ぬか、實業補習學校で朝鮮語を教へぬ理由は如何

## 學務課長

普通學校の内容

については考慮して居るが一面一校を遂行して居る内は既設校の經費節約は止むを得ぬ又授業料収入は重要な収入であり教員が之を取扱ふのか成績がよい、一面一校完成後は或は面で取扱ふ様になるかも知れぬ 授業料低下は直ちに實現不能であるが教科書値下兒童工作品販賣代等で實際は授業料低下と同様である、實業補習學校は農村中心人物養成が目的であり速成して居る今日では朝鮮語を教へる暇がない

## 一面一校の完成

# 短縮出來ぬか

寄附金募集を止めよ

曹秉模氏（靈光）

（靈光）

一面一校

李秉威氏（寶城）

（寶城）

校五ヶ年完成を短縮する事は出來ぬか、普通學校にも高等科を新設する事は出來ぬか又各郡の學校費戸税附加税を一錢宛繰上げ更に國の補助を加へて授業料半減する意思はなにか中等學校の實科とは何か

學務課長

一面一校完成の

內務部長

光州農學校昨年

の卒業生二十九名中農業について居るものは僅かに八名他は皆官公吏となり實際的農村中心人物養成の目的に反して居る又木浦商業學校の學級増加は其の必要あるに依つたものである

學務課長は更に木浦商業、光州農學校の問題に答へ實業補習學校、卒業生指導につき詳細に説き普通學校新設に際し寄附金をとる事は止むを得ぬもので本道の如きは補助六割、建築費の低下あり寄附は僅かに三割見當で他地方に比し寄附は低率なる旨を答へ正午休憩

第十二次道評議會

高等普校の學級

増加の要はない

内務部長キツハリ答へる

第九日の議事

木 浦

6. 1. 29 6. 1. 29

【光州電話】道評議第九日は午前  
十時二十分開會、定刻出席者二  
十八名、前日に續き教育費審議  
に入る

朴癸一氏（光州） 高普校

學級増加及び増設の意思はな  
いか、光州農學校は之を農林  
がく校として農業林業を獨立  
せしめるか又は更に蚕業科を  
加る意思はないか、光州女子  
高普校に講堂を設けられたい

許焱氏（珍島） 青少年指導  
について漁業者の事を忘れて  
はならぬ、麗水水産がく校は  
現在乙種であるが之を甲種に  
昇格せしめる意見はないか、  
濟州農學校は之を廢し本浦又  
は珍島へ水産學校を新設し又  
珍島へ普通校を増加されたい

鹿野内務部長 高普校は

内務部長 濟州島は大きな

既に述べた如く學級増加の要  
は認めぬが新設はするかも知  
れぬ、光州農がく校の農林分  
科は考慮して置く、女子高普  
校講堂は近く設ける事となら  
うが先づ之れは雨天体操場其  
他を要する男子部から先行す  
べきものである

學務課長 珍島の普校のみ  
を優遇する事は出来ぬ

申常休氏（高興） 濟州に

金仁洙氏（長城） 女子高

は農がく校の必要があるか、  
之れは寧ろ寶城か順天又は筏  
橋に移すべきである、既設普  
通がく校の備品等は贅澤であ  
ると思ふ、初等がく校教師の

普の生徒は増加して居るが光  
州農がく校には退がく者が多  
いが補缺するか、普通校の補  
助を増加し又私設學校へ補助  
は出せぬか

進級が遅い、之は早く出来ぬ  
か、校長事務取扱の事務取扱  
と云ふ文字は廢められぬか、

濟州農學校

移轉はせぬ

内務部長 濟州農學校は必

學務課長 女子高普は増加  
しつつある、又光州農學校退  
學者の補缺は同校長の權限に  
屬する事である、私設學校の  
補助は先づ公立を先にする關  
係上今は出来ぬが私設學校教  
師の指導はしてゐる

# 教員の素質向上や

## 体罰問題で賑ふ

教育費一讀會の質問戦

### 【第八日再開後の議事】

#### 松本前部長 に弔電

道評議會第八日(二十七日)午後  
一時四十分再開、日程に入る  
に先立ち

松田徳次郎氏(光州)前

内務部長松本々府社會課長の  
母堂の訃を聞く道評議會員と  
して弔電を發したき旨を語り  
松田、金商燮兩氏に一切を一

任するに決し會議に入る

明昌淳氏(麗水) 麗水々

産學校の學級増加と内容充實  
に對し當局は如何なる意見を  
有するか、麗水普通學校學級  
増加をなさぬか、學年延長は  
都會に厚く田舎に薄し

森學務課長 學年延長は

都市田舎の區別なし、又學級  
を増さずに學年を延長する事  
もあるから經費さへ許せば學

年延長をやる、他の實業學校

は一學級六千五百圓で足るが  
水産學校は七千五百圓となり  
經費を多く要して居る、麗水  
々産學校職員の資格は他校以  
上である、學級増加は至急に  
は出來ぬ

安圭善氏(谷城) 小學校

の補助は普通學校に比して多  
過ぎる、普通學校低學年擔當  
教員は鮮語に精通した者を用  
ひよ、普通學校授業料を徹廢

## 木浦商業は

### 『ちんば』學校

#### 鮮人の入學を増せ

崔元淳氏(濟州) 木浦商

業校生徒は内地人が多く朝鮮  
人は少ないが朝鮮人入がく者  
を増加出來ぬか、濟州農がく

校のがく級増加をされ度い、  
又視がくは監督が行届かぬ、  
一面一校は完成後之を増さぬ  
か、がく校舎改築、校長舎宅  
は建築出來ぬか、濟州農がく

校に畜産と林業を増加された

### 内務部長

光州農がく校、  
濟州農がく校のがく年延長等  
は考へて居る、一面一校完成  
の上は一面二校又は三校に進  
むつもりであり視がくは増員  
して監督を行き渡る様にす

### 學務課長

木浦商業がく校  
現在生徒二百三十名中内地人  
は朝鮮人に比し四十名程多い  
が之れは内鮮差別を設けたも  
のでなく例の學生事件

### で鮮人學生が退學

したに依る入がく生は  
内鮮人半々にするつもりであ  
る

### 文在喆氏

(木浦) 木浦商  
業がく校がく級増加は感謝す  
るが同校は跛行がく校と噂さ  
れて居る、それは運動場の完  
成を指すものであるが早急に  
出来ぬか、慈恩普校は

### 二學級のみで校長

や教師が休むと兒  
童は休む外ないが  
之れは何んとか出  
來ぬか木浦を中心にした  
沿岸實業補習がく校は出來ぬ  
か

### 學務課長

木浦商業がく校  
の運動場には當局も困つて居  
るが今直ちには出來難い、慈  
恩の普校のみは出來ず、やれ  
ば各方面共にがく年延長の外  
はなく沿岸地方に眞補がく校  
新設は研究して見る  
午後一時休憩  
せよ

### 學務課長

一戸當り平均負  
擔額は學校費(普通學校)九十  
錢、學校組合(小學校)は二十  
四圓である、一校當り補助は  
普校は三百圓、小學校は百七

十圓で小學校は普通學校より  
補助が多くない、普通學校教  
員が朝鮮語に通じないと困る  
から今年から朝鮮語の講習會  
を開いて居り三ヶ年中には全  
部に教へる事として居る、授  
業料全廢は不可能である



# 木浦商業の

## 運動場擴張

『調査の上適策を』

鹿野内務部長の答辯

金商燮氏（木浦） 文教

育にのみ走らず實業教育に力を致せ、光州高等普通學校學級増加が至難なれば道内の他校教員の素質を向上せしめ嘱託教員、三種訓導の數を減せよ、木浦商業學校グラウンドは狹隘に過ぎる、昭和七年度には之れが擴張をなすべし、木浦商業學校卒業生は各方面の人氣よく卒業前から採用を申込み者が多い、木浦商業學校は木浦のみのもので無い、木浦と言ふ名稱は寧ろ改稱が至當だ

### 兒童に体罰

兵頭一氏（靈巖）一面一校

政策に捕はれ過ぎ既設普通學校内容不完備を放置し授業料値下げを斷行せぬ事は現狀に適合せぬ高等女學校内容充實に對する具体案なきか初等學校教員中兒童に体罰を加へる者あり監督は徹底してゐるか

内務部長 二兎を追ふもの

は一見を得ぬから一面一校に先で努力する、体罰問題に就ては注意する

羅州學生の

### 入學難

その理由は

五分間休憩、午後三時五分再開  
林炳元氏（羅州）開昨年羅州郡から中等學校に試験を受けた者は一人も入學が出来なかつた、之は羅州が彼の學生事件發生地であつた爲めだと言ふので昨年退學者が二百數十名に達したが今年に入學せしめる意志があるか又羅州に中等學校を新設する意ありや

### 内務部長

羅州郡の者で昨

年高等普通學校に入學した者の無かつたのは事實だ、入學は學校長の權限であるが羅州郡に限つて入學せしめぬ、と言ふ事は絶対に無い、退學者は二百五十二名に達して居るが家庭の事情に依るものが主で前年は四百人からの退學者があつた

### 鹿野内務部長

中等學校

新設の計劃は無い、但し作年度い意志は充分持つて居る、學校教員素質問題は毎年官立師範學校卒業生を五十名乃至八十名入れて居るが増設が多いので千百七十三人の教員中二百八十三人は資格の完全で無いものを採用して居るから今後此の種の者には毎年百人宛教養をなす、木浦商業學校運動場は實狀を詳細に調査した上適策を講ずる

# 高普にも軍教

10  
今年あたりから  
始めるかも知れぬ

金致培氏（光陽） 中學校

には軍事教練費があり高等普通學校には無いが理由如何、各地に學生事件頗發するは教員の素質が悪いからではないか、六年度に新設する普校の地元負擔は何程か、卒業生指導を詳細に説明せよ、卒業生指導の徹底には實業學校を増設した方が良くは無いか

内務部長 軍事教練は陸軍

と密接な關係あり又徴兵關係があるので先づ中學校に實施されて居るが今年邊りから高普校にもやるかも知れぬ、道德教育が缺けて居る事は同感だ、今後學校教育は德育に意を用ひる東洋人は學校で無ければものが憶へられぬと思ふ傾きがあるが寧ろ實地に就て教育を受ける方が徹底する爲めに青少年の指導を行ふ教員補充は遺憾乍ら暫らくは三種

訓導を雇用せねばならぬ  
學務課長 普通學校新設に

當り一校の經常費は二學級として二千六百圓、臨時費八千二百圓で經常費は國庫補助一校に付き四百二十圓、地方費は總額二万四千九十圓で學校費の内容に依つて多寡がある臨時費中四千九百二十圓は國費補助で残りの三千二百八十圓即ち四割が地方寄附である

## 水産校問題

政吉信氏（麗水） 麗水々々

産學校を此の際何とかして充實せしめよ、同校の職員を更へよ、餘り同一學校に長く居り過ぎる教員は他に轉ずる要なきか、當局の現在の政策を以つてしては同校存續の可否さへ疑ひたくなる

と、意見を吐き午後五時二十分  
散會

# 地方費豫算案其他

## 全部原案通り可決確定

木 浦  
6. 1. 30

お土産案の陳列後、記念の撮影

## 第十二回道議員會終る

【光州電話】道評議最終日である廿九日は午前十時廿分開會し議長より一切の議案を第二讀會に附す旨を宣し、長城金仁洙氏より既設水組費輕減、官吏俸給低減、畜組水産組合に補助、煙草某耕地に楮の奨勵を望み木浦金商變氏からも補助費一部振替への希望があつた、これに對し當局は意見として聞き置く旨を答へて第二讀會を終了、第三讀に移つたが諮問案の全部に亘り原案通り可決確定し拍手裡に審議を終つた

馬野議長 第十二回道評

議員會開會に當り連日各位は熱心に審議され各種案件を和氣あい／＼の内に終局を免げた事は感謝に堪へぬ、各案執行に當つては其の局に在る我々は最大の努力と最善の注意を拂ふものである、終りに各位の勞苦に深甚の謝意を表し尙ほ將來共に本道々治に對し援助あらん事を希ふ

議長はじめ參與員各位は熱心親切に案件の説明をせられ各案につき充分なる諒解を與へられた事は感謝に堪へぬ、ここに第十二回道評議員會が無事終了した事は一重に當局各位の熱誠に依る處と信する、尙ほ今後と雖も道勢擧揚の爲め御努力を希ひ我々も分に應じ努力を盡むものでない

松田徳次郎氏 第十二回道評議員會の開會に當り議

時は午前十一時二十分、議長は引續いて各地よりの要望事項を聞き午後一時記念撮影の後、會場で茶話會を開き會期中のゴシツプ等につき漫談を交へ夕刻各評議員はそれ／＼退光した

## 道立醫院は皆

## 經營が下手だ

松井議員散々コキ卸す

【第九日再開後の議事】

（光州）臨時議會 第九日（二十  
八日）午後は二時開會

**金炳斗氏**（羅州）現在の  
視學の數で道内初等學校職員  
の指導監督が徹底するか、各  
郡廳所在地の普通學校長に視  
學を兼任させたら如何、既成  
實業補助學校を二種農學校又  
は養蚕學校に昇格の意なきか  
普校中途退學生に對する對策  
如何

**森學務課長** 邑内普校長  
視學再任は重大問題で今の所  
考へて居らぬ、實業補習學校  
は從來通りやる、昇格の意志  
なし、普校兒童退學の主たる  
原因は家庭の事情に依るもの  
で授業料關係の退學者は多く  
ない、然し對策は考究中だ

**金商瑾氏**（莞島）授業時  
間中に授業をさせよ、授業料  
は教員以外のものに徴収せし  
めよ、又之れを半減せよ、今  
年駄目なら昭和七年度に授業  
料低減の考ありや

**學務課長** 授業時間には授  
業をして居る筈だ、授業料徴  
収は目下の所教員にやらせる  
外なし、尙ほ之れが半減は他  
に財源なき間は駄目だ昭和七  
年の事は明言出来ぬ

**徐丙奎氏**（順天）東部六  
郡の中に高等普通學校を新設  
せよ、順天實補校を農業學校  
に昇格の意なきか

**學務課長** 何れも御希望と  
して承り置く、たゞ實補校の  
昇格は考へて居らぬ

**金忠植氏**（康津）社會教  
育の内容如何、職業教育費が  
過少なるが如何にして之れを  
徹底せしむるか

**學務課長** 學校の教員を社  
會的に活躍せしめて教育を行  
ふものである、職業教育、道  
内初等教員に職業講習を科し

之れを中心としてやる

**曹秉模氏**（靈光）書堂を  
改良せぬか、年齢に依つて不  
就學兒童となつた者の教育方  
針如何、中等學校の入學率が  
普校より小學校が良いのは普  
校教員の素質が劣る爲めなら  
ずや

**學務課長** 不就學兒童を教  
養するには私立學校と書堂の  
續いて衛生費第一讀會に移る

**土屋警察部長** 歳出は前  
年より九千四百八十六圓増加  
であるが、その内容は三つの  
道立醫院の歳出が四千餘圓増  
を示したが之れが内容は人件  
費は他と同様減額、たゞ患者  
の増加に依り藥品増、治療費  
病室修増築が主因をなす、一  
般衛生費に於ては人件費は減  
額したがモヒ患者治療費、種  
痘費、傳染病豫防費の増、臨  
時部では光州醫院レントゲン  
増築費等が豫算増額の原因を  
なして居る

**金宗鉉氏**（海南）デスト  
マのある海南に道立醫院分院  
を設置する意なきか、衛生的  
見地より同地市場の移轉は緊  
急を要するが何時之れを實現  
するか、モヒ患者は治療の價  
値なし、此の救療を廢し他の  
方へ廻せ

**警察部長** 道立醫院は國庫  
より多額の補助を受けて居り  
又新設は國庫は認めぬから地  
方費のみではやれぬ市場問題  
は産業方面と協議したい、モ  
ヒ患者は治療すれば大多數は  
全治するが全治後又注射を望  
むから之れを自覺せしむる必

# 衛生費上程

警察部長の初登場

木浦病院に  
補助を  
松井氏質す

**松井邑次郎氏**（木浦）道  
立光州、順天、濟州醫院は歳  
入より歳出多く即ち缺損であ  
る、開業醫は相當儲つて居る  
のに政府の病院から損するの  
は經營が下手だ、今少し患者  
を親切丁寧にしたら患者が増

改良が必要であるから努力し  
て居る、又附設學校をも設け  
て居る、并校の充實は考へて  
ゐる

**李載燭氏**（咸平）實業補  
習學校と普通學校關係に就て  
質問し

森學務課長同校設立の目的方針  
等を述べ詳細に互る答辯をなし  
三時十五分教育費第一讀會終了

加する筈、濟州病院醫員の俸給は高い、巡回診療の實績、モト患者救療の結果如何、新設公醫は何處へ置くか

木浦病院外來患者

木浦病院の補助は申請のあつた際調査考究して出来るだけ補助する考である

は二割は府外の者

安主善氏

(谷城)

飲料水

であり入院患者に至つては六割五分

改良は何處に補給するか、消防費補助は都會のみか田舎も含むか

は府外の隣接郡の

警察部長

消防補助は都邑の別なく實情に應じて出す

者である、此病院に地方費より補助を出す考はないか

衛生課長

飲料水改良補助は各面に亘り改良井戸を作るもので昭和二年より十七ヶ年計劃で各面に三つの井戸を改

改良井戸の實施豫定地は何處なりや

吉岡衛生課長

道立醫院

の収入が不足して居るのは横

聴○的○の○施○設○を○す○る○爲○め○支○出○が○多○く○な○る○開○業○醫○同○様○に○は○い○か○

モト患問答

分の一である、現在迄に四百四十七ヶ所を改良して居る

金商燮氏

(木浦)

モト患者を救療したり登録したりし

ね。濟州島醫院人件費は高いが同島は島である爲め特種の事情がある。巡回診療は昭和五年中三十一ヶ面八万三千五百名に施療して居る、モト患者は光州醫院に毎年二百人當治療して居る、治療所を出る時は全部全治して居る、公醫は羅老島と巨文島とに地方費公醫を置いて居る

て若し之れが増加する様な事になりはせぬか、登録以外に良い方法は無いか、木浦の儒達山麓の務安郡二老面竹橋里に六年度に改良井戸を設ける計画ありや

### 衛生課長

登録したモヒ患者を警察署長が指定した醫者が治療しモヒ代は本府で指定してゐる、竹橋里井戸は全額補助は困る

### 申鉉麒氏

(咸平) 道立醫院の施療に何故一段と力を入れぬか、又朝鮮人の醫者、助手、看護婦を増す意志はないか、高級な醫者を退職せしめ給料の安い者を多く使へ

### 衛生課長

施療には力を至して居る、職員に内鮮人の區別なし、出来るだけ少い人数で技術優秀な者を置きたい、良い醫者は却々來て呉れない可成りの待遇は當然だ

### 金子暹氏

(長興) 現在の醫療機關で充分か、南岸方面に道立醫院分院出張所かを置く必要なきか

### 社會事業費

### 其の他附議

此の時珍島許氏の打切り動議で衛生費第一讀會終了、續いて社會事業費外數項を附議す、内務部長簡單に説明し

### 松井氏

(木浦) 評議會に使用會議室は如何なるものか

### 關藤地方課長

會議室は坪百三十五坪間口九間に奥行十五間煉瓦造 鐵筋コンクリート造りの豫定である

### 金致培氏

(光陽) 地方改良活動寫眞は必要なし此の經費を他に廻せ

### 地方課長

活動寫眞は効果大なり大いにやる考へだ

## 特別市場税は

### 木浦だけに課する

### 歳入の審議に入る

光州朴榮一君の動議で審議を打ちり以上を以つて諮問案第一號の歳入一切を終り、歳入一切の諮問に入り鹿野内務部長説明す

### 黒住猪太郎氏

(榮山浦)

特別市場税の内容如何、乾海苔検査手数料増の理由如何、公債發行は金額の七割五分と言ふが豫算に比し數百圓剩餘が出るが之れは公債發行費用に充當するのか

### 地方課長

特別市場税は市了、順天啓水氏の動議で第一讀會終了、昭和四年度決算承認案を可

場規則でさだめられて居り、現在の所木浦のみに賦課する、海苔手数料は自然増、公債券は種々考究の結果百圓券であるので何程かの差は出るかも知れぬ

### 全諮問案の一讀會終る

決し一切の諮問案の第一讀會終了し、黒住氏より二、三讀會省略の意見をしたが明日二讀會を開く、長城金仁洙君の動議に賛成多くそれに決定して散會、時に午後六時二十分

# 莞島の諸問題

補

## 金商瑾議員の要望

6. 1. 31

【光州道評議會最終日の二十九日、莞島の地方要望に當り本浦と關係淺からぬ莞島の金商瑾氏は次の如き要望を試みた

一、巡航船新造に伴ふ地方費補助

本郡巡航船は陸地に於ける道路に匹敵するものにして本郡の最重要機關たり然るに巡航船二隻中一隻は建造後相當年月を経て船体老朽せるを以て昭和六年度に一隻新造せんとし之が經費約一萬圓を要するに付其の半額一萬圓を地方費より是非補助せられたし

二、莞島公立普通學校々舎移轉に伴ふ地方費補助の件  
莞島公立普通學校は教室運動場共に甚だ狹隘にして兒童教育上遺憾の點多く之れが適地に移轉するのは最も急務に屬す、而して移轉に要する經費約一萬六千餘圓を要する見込に付地方費より約一萬六千圓の補助を與へ其の實現を期せられたし

三、莞島面上水道擴張工事に伴ふ地方費補助の件

莞島面水道は貯水池の周圍の土地を買受し之に植林をなし

其の完全を期せむとするものが經費 萬餘圓を要するに付其の半額を地方費より補助せられたし

四、農會經費補助に干する件

本年度に於ける棉花價格稀有の暴落の爲め販賣手数料に於て千貳百圓の減収を來し殆んど破財の現狀なるを以て相當補助あらむことを望む

五、陸地棉面採種田の設置に干する件

本郡は棉作に恵まれたる最滴地にして數量の増収、品質に於ては本道の首位と認めらるるに付是非設定せられたし

六、漁業組合補助に干する件

本郡に於ては昨春各面共漁業組合の設立をなしたるが何れも新設創初設備の不完全なる

爲漁村振興上不利益の點大なるを以て漁業組合設備補助あらむことを望む

七、水産試験所出張所設置に關する件

莞島は本道に於ける主要なる漁業地にして産額も尨大なる現狀にあり尙又相當試験を経て新局面を開いて産額増進の餘裕無盡なり故に莞島に同試験所出張所設置方を望む

八、青山島道濱港に防波堤築設の件

本道は鱈の名産地にして年産額五十萬圓の巨額に達し之れが漁期には漁船並に運搬船數百の入港あるも万一暴風の場合避難の設備たる防波堤の築設無きを以て之れが築設に干する地方費補助を望む

九、郡外面院洞古今面徳洞、同面燕洞、金日面花田里所安面

輝子里、荳花面梨布里以上六ヶ所には莞島巡航船寄港地にして未だ波止場の設備なき爲め不便と危険甚だし、これが設備に對する相當地方費補助を望む

十、郡外面に公立普通學校増設方を要望

莞島郡内八ヶ面中七ヶ面には一面一校制完成したるも獨り郡内面に於ては之れが増設なき爲め教育上遺憾甚し之れが増設方を望む

十一、莞島地方南部に蜜柑栽培方獎勵を望む

莞島郡は全般に於て氣候溫暖にして蜜柑の栽培實驗の成績佳良に付之れが全郡に栽培方獎勵に付補助を望む



# おみやげ案一東

道評議會で並べ立てた

浦木 6. 1. 31

## 各地議員の要望

本道當局は第十二次道評議會開會後、引續いて各地方の要望を聴取したが其の概要は次の通り

栗浦の築港に努力せられたし  
崔元淳氏（濟州島） 濟州島民で内地に出稼して居たものが失業してドン／＼歸島す

るが之れが救済策なきか、山地港擴築、第二期工事實施に就ては滿腔の敬意と感謝の意を表す、濟州一周三等道路の築造物を速かに完成せよ、濟州島城内上水道を速かにやれ

許焱氏（珍島） 生活に困つた者はパンを求める爲に泥棒となる者さへある、モヒ救療費を廢して窮民を救へ、道立醫院を邑、面營とし地方費を以つて地方の醫療機關を充實せしめよ、漁民の爲めに巡回救療船を設けよ、碧波津の突堤を急設せよ

金宗鉉氏（海南） 馬山、水營緑の中海南郡下に未改

の部分あり速かに改修せよ、山二面船着場の設備をなせ、實業補習學校補助を増せ、年収百圓未満の者には戸税を賦課するな

徐丙奎氏（順天） 順天の市區改正を速かに行へ

金商瑾氏（莞島） 莞島巡航船新造に關し補助を出せ、莞島普校々舎移轉に補助せよ、莞島上水道擴張工事を速かに行へ、郡農會に地方費補助をなせ、莞島に陸地棉面採種田を設置せよ、莞島に水産試験場出張所を設けよ、青山島道清港に防波堤を築け、巡航船寄港地に防波堤を作れ、莞島に蜜柑栽培を奨励せよ

松井邑次郎氏（木浦）

水下關間連絡船補助は遞信局に交渉して國費より補助する事とし目下地方費から出して居る六千圓は昭和七年より道内沿岸航路に廻すべし

金忠植氏（康津） 濟州農學校を康津に移轉せよ、康津南倉間道路を三等道路とせよ

文在詰氏（務安） 多島海の醫療機關を充實せよ、濟州農學校を擴張せよ、

金商翊氏（潭陽） 普通學校兒童の授業料を半減し、その財源は學校費戸別附加を増し更に國費、地方費より補助を増額せよ

申常休氏（高興） モヒ患者を登録する際の認定を誤らざる様にせよ

# 江原道評議會

## 土木勸業授産費等

### 各議員の質問續出

#### 第三日目(二十九日)

(春川) 休會明けの江原道評議會、三月二十九日は午前十時二十五分、開議諸般の報告あつて後いよいよ本會議の主要眼目である、昭和六年度道地方費一般會計特別會計歳入歳出豫算案、上程、此の時、金基玉君(金化)伊達内務關口財務兩部長本道在勤中は風水害善後處置その他多大な功績があ

つた、本會議は遅ればせながらこゝに謝電を發送したいと動議を出し、満場一致これを議長に一任する

▲議長 上程の議案は先づ歳出の土木、勸業、授産次に以上三つを除いた歳入全部、次に歳入全部とこれを五つに分けて審議したい

▲臨時部第一款土木費、臨時部第六

款補助費中土木費補助、同第八款土木費の内本年度支出額、第九款土地、使用料を一括議題に供す質問の先陣を承つて

▲沈龍洙君(三陟) 臨時部土木費中に道路改修費全額を削つてゐるが當局が既成道路の改修を等閑に附してゐるのは何故か、三陟旌善線は昨年改修に洩れ今年も改修費が計上されてゐないが何故か

▲三浦土木課長 道路改修は三ヶ年繰繰の窮民救済費で幾分やうと考へてゐる、旌善三陟線は何時頃改修出来るか財政の關係で明言出来ぬ、北坪新興間は來年度において施工する

▲尹星漢君(高城) 一經常部土木費道路橋梁修繕費一萬七千圓は少額に過ぎぬか、二、臨時部道路橋梁改良費四萬八千圓は指定寄附金であるが寄附者及び確實に収入の見込はあるか、三、港修費は原註、註文津、汀羅の既計劃の分のみに止むや、昨年の風水害も港設備不備のため數多の人命を奪はれたのではな

いか、四、補助費中春川の下水溝工事補助があるが春川は或る程度完備してゐる、他にいくらも下水改修の聲はあるが他の振合はないか、五、道路改良費中本年度支出額工事費九十三萬の内容を説明して貰ひたい、六、河川災害復舊費の内この四川の外重要な川はないと見るか

▲三浦課長 一、道路修繕費一萬七千圓は如何にも不完全であるが三ヶ年計劃の窮民救済費でこの方は或る程度まで改善出来るものとして單に道路の補修に止めた、二、旌善三陟間四萬八千圓は旌善五峰橋は江陵で未だ受入れてはないが兩地より寄附申込みはあり充分受入見込あるものだ、三、連草、巨津二川を幹旋したが設計が間に合はず計上されなかつた、來年度は一川のみでもやりたいとおもつてゐる、四、春川が管内の等外道路を二ヶ年計劃一萬三千圓でやるのでその補助である、五、九十三萬圓の内容は印刷して差上げる、六、河川災害復舊費は國庫補助工事で道は此の外澤山要求はしたがこの四川のみ認められた、張世煥君(襄陽) 道路改修費七萬五千圓について本年の如き土木行政上一新紀元を畫する場合に改良に力を注いで改修に等閑視するのは當局の抜目でないか、春川を中心とする揚口襄陽線(三等道路)は大正十一年地方制度實施當時多數を以て決議され當局も踏査し設計してゐながら今日尙ほ施工しないのは道評議會の權威を損し本道開發上遺憾である、口に地方公益云々を言



江 原 道

江原道新議會

第三日目(三十日)

(會川) 昭和六年度決算質問(第二)  
日の卅日は午前 時三十分開議先  
つ前日議場一致の決議による土木  
院長、土木課長に對する謝罪(電送)  
の件(各ありて直ちに前日に引つ  
き) 謝罪(電送)の質問に入る  
▲李寅鎔君(平康) 當局のいふ原  
州種由場廢止の理由を以てすれ  
ば鐵原に設置するもやがて將來  
その種由の不適を來すであらう  
と農務課長のなした聲明を讀みあ  
げその矛盾を指摘する  
▲農見農務課長 今回新設の出張  
所は北部六郡に對する出張所で  
ある、しかし鐵原より寒い平康  
には特に委託裁種所を設け配給  
する、又種由場を鐵原に集中す  
る意志はない  
▲植村多助君(原州) 原州種由  
場出張所の沿革を説いた(後)  
當局は昭和三年千八百四十五圓  
を投じて出張所擴張をなしたが  
今廢止することは當局の農事改  
良の方針が那邊にあるか疑はれ  
る  
▲農見課長 產米計畫が時々變更  
されるといふが原州出張所の廢  
止は南部五郡全體から見て行つ  
たものである  
と、種子更新の急務、備々陳述し  
全く時代の推移に依つたもので産

米計畫に無定數ではない、歐州方  
面への良種子の贈給は充分考慮し  
てある  
▲植村君 新設の鐵原種由場はど  
れ位の施設なりや原州江陵等は  
十年近く何等施設されなかつた  
然るに今回は膨大な豫算が見機  
つてあるこれは將來大計畫の前  
提ではないか、また原州で作つ  
てゐたものより立派なものが春  
川本所で出来るか  
▲農見課長 鐵原出張所は原州位  
で充分で將來擴充する意志は毛  
頭ない、春川で作つた原種が原  
州よりよいとはいへぬがその見  
方よりせぬものを作る考へを持つ  
てある  
▲植村君 原州で作つた方がよい  
といへば委託栽培しては如何か  
▲農見課長 その郡の原種はその  
郡生産のものによい他道にも郡  
農會委託があるが現在では經費  
の關係上困難とおもはれる  
▲植村君 郡農會が委託希望あれ  
ば考慮するか  
▲農見課長 よく研究して見よう  
次ぐ李寅鎔君(平康) 現にこの問  
題で二、三質問なし農見課長これ  
に答ふ  
▲沈龍淳君(三陟) 穀物検査所費  
の係給増額は検査員の増員はな  
いか三陟に支所を置く意志なき  
や

難給は施設増額である、三陟支  
所設置は生産數量が少く時期尚  
早とおもふ  
▲方範(麟蹄) 桑蠶蠶指導  
員の賦、並に原種蠶代金の値下げ  
の賦、蠶代金補助等について質  
問  
▲大津製業技師 蠶種代金の低下  
は不可能ではないか値下げする  
と品種と低下する虞れがある、  
今年の春蠶林蠶の値段は今から  
豫想出来ぬ、原蠶種に對する補  
助を考へてゐない、補桑は十年  
計畫で着々進捗してゐるが折角  
の桑園が管理不十分なたためこれ  
以上管理指導の必要があり指導  
員は増員するとも感負意志なし  
▲金五(慶陽) 勸業費補助中  
本道特産品たる大鰯獎勵の必要  
はないか他の方法で獎勵するか  
▲農見課長 大鰯は重要な特産物  
だが地方費關係から今急に計上  
し得ない、これは郡農會でやつ  
て貰ひたいとおもつてゐる  
▲金壽(通川) 面採種費補助  
を廢止して肥料獎勵補助を増額  
する意志なきや、その他綠肥の  
獎勵方針、農村が金肥代金に困  
難してゐる實状を述べて質す  
▲農見課長 面採種費設置補助  
は尙他道に比し少し位で今減少  
するのは困難である、自給肥料  
の獎勵については當局も充分考  
慮してきり堆肥獎勵部活の如き  
も現在の百四十數ヶ所を二十數  
ヶ所に増設する、綠肥のペアリ  
ベリッは大正十五年から五ヶ年  
間本道への適不適を研究した結  
果鐵原で五年中七、八百貫の實  
績を挙げたので六年度より二千  
五圓町歩に普及させる意向であ  
る、金肥使用に對する農家の困  
難は目下本府で對策講究中であ  
る

教育費は、  
午後一時四十分再開、山中文太郎  
君(春川)より二月一日曜日  
は休、同日の議案はその他の日に  
勉強したいと動議を出し採決を起  
立に問ふた結果異議成十九名反對十  
二名にて日曜日休會に決定、次いで  
議案出題、臨時部教育費、同教育  
費補助を議題に供す  
▲李煥宇君(江陵) 普通學校補助  
費三十六萬六千餘圓中地方費と  
しては僅か三萬圓しか出してゐ  
ない又補助を増して普通學校の  
授業料等を引下げ退學生の緩和  
に努力する意志はないか  
▲辻學務課長 普通學校は既設校  
の費用を節約して新設校に充實  
させてゐる職業科の新設卒業生  
の指導等にも出来るだけの施設  
はしてゐる普通學校補助はこれ  
で充分とおもふ退學生續出に依  
全體の二割一分は授業料で引下  
は困難である本府でも對策とし  
て教科書貸下を行つてゐる又貧  
困兒童の教育については學校

授業料徴収規程中路が折けてゐる

▲尹星漢君（高城）新設學校の充實のみして既設校の學級増加等を行はぬのは何故か授業料徴収規程にあつても貧困兒は免除するより最初から入學せしめぬ傾向があるこれが緩田策則何

▲辻課長 朝鮮の教育は既に深めるより横に擴げる方針だから學級増加はなるべく認めないことにしてゐる徴収規程が實際に行はれてゐないといふが現在の學校實の狀態から已むを得ないのではないかとおもふ以上の如くで入學制限は已むと得ないその代り年齢制限を嚴重にしてゐるので大して心配ないと考へる

▲尹君 尙も内鮮共學問題を持ち出し

▲辻課長 上り本府で既中と答へ、尹君更に薩陳地は普通學校内にない人子弟を集め特に學級を造り部課を盡し父兄から學校費に指定當附させては如何と質し辻課長不可と答ふ次で

▲洪顯德君（鎭口）江原道兒童の就學率が僅々一割二分しかないのでといふ新聞記事を引用して將來は道民百萬中二萬しか受教育がないことになる火田整理等力を注いでゐるが彼等は教育がないため町に出て來れぬのだと述べ辻課長より答へておくと述べる

▲南相勲君（春川）普通校補助の既設新設に對する區分並に五年度豫算新設十一校は全部竣工したが從來その年度に未完成のものがある

▲辻課長 既設三十一萬六千五百七十七圓新設四萬二千二百五十圓、職業教育費七千六百圓で

ある尙從來の新設計畫は全部完了してゐる

▲南君更に昭和六年度新設學級數及寄附金全廢の意なきやと質せば辻課長は遅れたものは昭和四年度三校が五年開校したが寄附申請が手間どるからだ今年十一度は年度内開校に努力する當時を廢して全

部地方費でやれといふのは御意見とし承つておくと答へ此の時季起銅君（春川）も教育費の増額よりも教育の根本問題解決が先だと意見のべ質問を造り次で土木事業教育を除く外歳出を一掃して議題に供す

▲張世煥君（襄陽）公費巡回診察費増百六圓は旅費で藥品代は二圓しかないがどうしたとて當局は無能ぢやないかとおもふとやつたので山本醫務部長長内容がわからず無能だといふのはお取消願ひたいとて藥品代はこの

ろ言を説明する

▲山中友太郎君（春川）消防組の器具購入費の器具は何か本道の消防組中器具のない組は幾何あるか

▲山本部長 九十五組、手押ポンプの設備のないところも三十箇所位ある

▲山中君 もつと消防補助を増加して機械器具のない箇所を充實せぬか

▲山本部長 五百圓では満足でないが風水害直後の非常時豫算としてこれ位としておいて漸を追つて致すことにしたい

と述べ次で高置杓君（彰善）と山本部長との間に共同井戸増設の問題

▲釜原君 釜原の設備等官政について質し山本部長より釜原醫院等官一各増設の研究中と答へ次いで田中轉一君（江陵）釜原醫院施設につ

いて質した後

▲山本部長 醫院費としては何等考へてゐない最も適した醫院にするといふ建前である

この時議長は突然

▲議長 唯今の質問が一般の誤解を招くかも知れぬから知事として責任を持つて明言いたします

▲金東和君（華川）屠場税及屠畜税不動産取得税を毎年毎年減する理由、財産割却代中家屋千三百圓は貸家料四百七十八圓も徴收してゐたものとしては安過ぎる一般入札が團體に賣るか

▲瀬戸財務部長 初答辭に立つ

前兩度税金の減は牛肉購買力減から三ヶ年の收入を平均して繼實な實績を擧げてある不動産取得件數が多かつたが右持下年

### 陳列館問題

計畫が昭和五年限了したためである

▲釜部地方課長 賣却家屋は古くて賣した時の價位しかならぬ、賣却に當つては會計法に従つてあるが出来るだけ有利にやりました

▲金東和君（華川）土地家屋は何處か

▲渡部課長 原州樺馬場建物三十

ある

▲山中友太郎君（春川）物産陳列館、廢館とすることは春川として痛恨事である、以前輸入に賣

付ける場合も在住民は遺憾に思つた、一萬や二萬の金もなくならぬ豫算ではない多年要望し

議會上今後活動を言明され

た陳列館を令廢館して物産陳列館は再び出来るか土地家屋の見積りも安過ぎる

▲辻産業課長 物産陳列館は一般的に考へて必要でないといはない、唯春川における利用状況

をなはした方がよいだらうといふのである、尙廢館後は本府の商工獎勵館を通じて本道物産

紹介に遺憾なきを期したい

▲南相勲君（春川）反對のあつた個人に質して更に引あげたのは今年賣却するつもりであつたとおもふ道所在地として草鞋一足

でも陳列して紹介すべきものである、當局は賣却して又建てるといふが豫期通り行くまい

と豫算説明不足を説きこれに對し

▲阿部内務部長 會計法に依つて

特賣も出来るが赤價等津貼出来ぬ豫算の少額なのは輸入の安固

を期する豫算組成の技術上から

安く見做つてゐる、對しては責任

証實の方で御説明を願ふ

をしたが効果がないから處分  
 るので現在の位置は春川市街發  
 展より以上利用出来る場所であ  
 る他日經濟界の情勢、本道の道  
 勢を見たと改めてかゝろうとい  
 ふのが今回の事情で有名無實な  
 ものを置くより移動式物産紹介  
 でもやつた方が効果が大ではな  
 いかとおもつてゐる  
 かくて質問を打切り午後四時五十  
 五分散會



咸鏡北道新

## 咸北評議會

第一日(三十一日)

(編者)咸北第十四回道評議會は三十一日より一週間の豫定で道評議室に開催された、第一日は午前十時三十分開會昨年四月一日任命された議員十八名中永井、金基徳の兩氏缺席十六名出席古橋知事議長席につき開會を宣し先づ抽籤により議席を定め次いで別項の如き算算編成に關する古橋知事の演述約一時間に亘り終つて四元君緊急議案として本日午後及明日一日は議案研究のため休會されたいと提

議すれば金弘燮君之れに反對を稱へ賛否を起立に問ひ賛成者は内地人のみ五名で動議は少數にて破れ金弘燮君は議案研究のため一日二日の二日間休會論など百出議場喧騒珍らしく初日から緊張した場面を演出したが光永君の動議で休會となり休會中に種々喧議一時二十分再會金弘燮君は先きの一日の休會を語り今度は議場異議なく可決午後一時五分散會した

新



新 朝

江原道評議會

第五日(二月三十一日)

豫算案其他原案可決

江 原 道

4

2.

6.

(會期) 江原道評議會第五日三十  
一日は午前十時四十分開議(全員出席)  
議伊達前内務部長より「貴電に接  
し、懇切に堪へず貴道の御復成と諸  
君の御健康を慮る」と謝意ありた  
る旨報告前日に用ひてき議入第一  
の旨報告前日に用ひてき議入第一  
の旨報告前日に用ひてき議入第一  
の旨報告前日に用ひてき議入第一

金化) 發言を求め前日の張世煥君  
の失言に對して議事規則第二十一條  
を引いて山本警察部長の執つた處  
度を不適當であると取消しを要求  
するこれに對し

▲山本警察部長 關係者として一  
應陳明しておく二十一條は議長  
が職權を持つて取消さしむる場  
合で私は個人的にお取消しを要  
求したのである議長の職權干犯  
ではない

と突き放す  
▲沈君 すると昨日の會議は非公  
式の會議であると云はれるのか  
▲議長 それほどいふ意味か  
▲沈君 公開の會議の席上參與員  
をあけて罷り合ひ金君はこの大膽  
をなしと嘲ひ金、李兩君互に大膽

▲議長 明日(一日)は休會する  
ので本日明日の日程の少くも半  
分は終りたいとおもふその積り  
で進行されたい  
▲議長 明日(一日)は休會する  
ので本日明日の日程の少くも半  
分は終りたいとおもふその積り  
で進行されたい

と述べ更に打ち切に多數議なく閉  
議六年度豫算案を第一議會通過  
に分けて第二議會に入らんとす  
るや金東和君(義川)より豫算案を  
一括第二議會を開くべき動議を出  
すこれに對し金永有君(吉川)反  
駁せんとするや李泰潤君はその必  
要なしと嘲ひ金、李兩君互に大膽

▲議長 第二議會を一括すれば十分即  
ち終了すると然る處を認て退場せ  
んとするを山中、李寅録君等極力  
慰撫し漸く落着する沈龍珠君(三  
陟)田中鶴一君(江陵)李起龍君  
等交々意見を述べ

▲松村喜道君(蔚珍)傳染病豫防  
には共同井戸の施設は急務であ  
る然るに六年度豫算位ではいつ  
までたつても整備は出来なない  
まですらつても整備は出来なない  
まですらつても整備は出来なない  
まですらつても整備は出来なない

▲山本警察部長 共同井戸は面費  
などで地元で負擔し地方費はこ  
れに補助する程度でやるつもり  
である  
▲山本警察部長 共同井戸は面費  
などで地元で負擔し地方費はこ  
れに補助する程度でやるつもり  
である  
▲山本警察部長 共同井戸は面費  
などで地元で負擔し地方費はこ  
れに補助する程度でやるつもり  
である

▲山本警察部長 共同井戸は面費  
などで地元で負擔し地方費はこ  
れに補助する程度でやるつもり  
である  
▲山本警察部長 共同井戸は面費  
などで地元で負擔し地方費はこ  
れに補助する程度でやるつもり  
である

▲山本警察部長 共同井戸は面費  
などで地元で負擔し地方費はこ  
れに補助する程度でやるつもり  
である  
▲山本警察部長 共同井戸は面費  
などで地元で負擔し地方費はこ  
れに補助する程度でやるつもり  
である

▲山本警察部長 共同井戸は面費  
などで地元で負擔し地方費はこ  
れに補助する程度でやるつもり  
である  
▲山本警察部長 共同井戸は面費  
などで地元で負擔し地方費はこ  
れに補助する程度でやるつもり  
である

▲山本警察部長 共同井戸は面費  
などで地元で負擔し地方費はこ  
れに補助する程度でやるつもり  
である  
▲山本警察部長 共同井戸は面費  
などで地元で負擔し地方費はこ  
れに補助する程度でやるつもり  
である

▲山本警察部長 共同井戸は面費  
などで地元で負擔し地方費はこ  
れに補助する程度でやるつもり  
である  
▲山本警察部長 共同井戸は面費  
などで地元で負擔し地方費はこ  
れに補助する程度でやるつもり  
である

▲山本警察部長 共同井戸は面費  
などで地元で負擔し地方費はこ  
れに補助する程度でやるつもり  
である  
▲山本警察部長 共同井戸は面費  
などで地元で負擔し地方費はこ  
れに補助する程度でやるつもり  
である

の基礎標準にはなるから七年度  
は課課戸數も増へよう自動車課  
率が低過ぎるといはれるには同  
感で前年度一律に三十圓であつ  
たものが來年度九人乗以上を十  
圓引上げたのはこの見地から來  
てゐる

▲山本警部部長 一般經濟界不況の今日地方費を割いて莫大な經費を要する道立醫院新設は困難と考へる

つた一萬八千餘圓に今一萬圓も  
の變な農學校を作る筈ではな  
元民は莫大な負擔をして三年制  
ないと考へてゐたから起つた地

次に金永右君（伊川）豫算と  
一畝に教育費を持つて來てはし

方、辻屋、勢岡、長上り、承り置く  
と答ふ

には充分注意されたい。偏見民衆の  
濟の恩恵を受ける人量はどれ位  
の見込みか

▲三浦土木課長 三百萬圓中二百  
七十八萬圓が工事費だがその内  
約半分が人賃となるもので三三  
年間約二萬人と推とも

八郎君(鐵原)實成(實成)見以を述へ議  
長採決を宣し願案實成を起立に問

名頃にてこゝに戲案通り可<sup>レ</sup>全諮問<sup>ニ</sup>次<sup>ニ</sup>いで諮問第一號を除<sup>ク</sup>入歳出豫算は

一、昭和五年度江原道地方費歲入  
出資加更正豫算  
一、同恩給特別會計歲入出資加更正

一、自昭和五年至昭和六年  
一、自昭和六年至昭和八年江原道  
地方實勸業費繼續年額及支出方  
法

一、江蘇地方稅關課則中西正  
 的件  
 一、穀物及肉檢査手續徵收規則  
 一、江蘇正稅不動產取得稅關課規則  
 一、江蘇正稅的件  
 右十二件を一括して證明書に三

▲尹星漢君（高城）鐵札再交付手  
數料を値上げたのは何故か不  
動産取得税の課税標準を定めて

▲通令であるにもかかわらず、  
 ▲洪範(徳君・ついでに)警察官採用の  
 ▲自轉車税を免除し無い駐在所な  
 どに備付けてはどうか  
 ▲戸籍事務部長 警察官の公明正

四千年ナニの地方秘史ノに属する  
 ることは大である

▲金永右君（伊川）自轉車税を二  
 圓に引上げては如何警察官のみ

一 致の調根を續け、本府の裁旨を帶し、六年度五箇年を低下した譯である旨公使便留車を全廃すれば、本道七千六百の自轉車税一萬五千九十圓は、激

此の時山中及太田君（香川）の質問終了各諸問答成の動議出で實問家を起すに問へば致十二論通り可決確定四時十分散會

# 江原道評議會 6. 2.

最終日(二月二日)

(春川) 江原道評議會最終日の二日は午前十時四十分開議直ちに提議事項

- 一、昭和四年度江原道地方費歳入歳出決算の件
- 二、同恩給特別會計歳入歳出決算の件
- 三、同児童奨學資金特別會計歳入歳出決算の件
- 四、昭和五年度江原道地方費歳入歳出追加更正豫算の件
- 五、昭和四年度江原道地方費歳入歳出追加更正豫算の件

を提議し

▲議長 道の公益に關する提出御意見が無慮七十幾件あるが地方的のもの本年度豫算で實施しつゝあるもの等相當見受けられまゝすので前例に依り委員を選定して委員會において審議したいと諮り議長の名に依り  
李根宇、田中鶴一、植村多助、高炳學、金東利、南相鶴、張世煥、高運河、李寅鎔  
の九氏に決定直ちに別室で委員會を開くこととなり休憩に入る此の間に十分休憩、三時四十分再開議長の御意見を報告を求む  
△委員長高運河君(鐵原)委員長に當選致しまして午前十一時より午後三時まで慎重審議の結果本年實行豫算の中にあるもの地方的困難なるもの到底行ひ難きもの先年否決せられたもの等を除いて可決二十八件公益と認め難きもの二十八件提案者より撤回した

もの六件同一意見として合併したものの五件内容の一部を變更して可決したものの六件である内容は洪記に報告させる  
と報告各口參議員より別項の如く報告採決の結果報告通り満場一致可決

## 知事の挨拶

この時李議長はやをら起立して第十一回道評議會は豫定の日程を終へ茲に丁しました閉會に臨み一言御挨拶申上げたいたおもふ今回の會議は開會の當初も申上た通り本道としては極めて意義深い會議であつた諸問案件も從平に比し多件數に上つてゐるにも係はらず會議は從來の日程と同様會期に夫々審議を煩はしたことは洵に本道々勢の進展上隱賢に堪へない次第であるこれは全く議員各位の御精勵の賜と深く感謝の意を表する次第である會議中は議員も參與員も非常に圓熟で和氣藹々裡に質問應答せられたのは洵に誇るに足る現象で議長の欣快とする處である尙昭和六年度豫算については色々御意見も御批判もあつたが今後これが執行については諸君の御注意御意見を參照して御希望に副ふ様精々勉強したいと考へてゐる尙道の公益に關して提出の御意見はその内容に依り上司にお願もしようし道の財政の許す範圍内で御希望に副ひ道利民福のため充分努力致す考へである今後とも一層援助をお願いする次第である

と述べこれに對し諸議員一同を代表して山中友太郎君（春川）昭和六年度算案その他重要諸問題を無事議了したことは議長以下以下參議員諸賢の御指導御骨折に依るものであると答辭をなし午後四時二十分閉會した

## 道の公益に

## 關する建議

諸議員提出の道の公益に關する建議中議員會本會議とも可決せられもの左の如し  
 一、一面一校増設計畫に依る地民負擔輕減  
 一、鹽種代金値下轉旋（同一意見一件）  
 一、植桑獎勵補助金の増額（以上金東和君提出）  
 一、楊口襄陽線三等道路改修（同一意見三件）  
 一、極貧者無料治療の爲地方公醫（藥價補助（修正の上可決）

- 一、東海岸漁港に警備機動機船配置
- 一、東草里築港促進（以上張世煥君提出）
- 一、三陟嶺舊線三等道路改修速成
- 一、汀線築港・漂施工
- 一、莊洞築港速成
- 一、無烟炭發掘着手方轉旋
- 一、東海岸地方に水産學校設置（同一意見三件）（以上沈龍洙君提出）
- 一、府底築港
- 一、二等道路修繕經費を以て面に補助（修正可決）（以上金廣濟君提出）
- 一、勤農共濟組合に集會所兼共同作業場建設（金容哲君提出）
- 一、道立獸醫學校設立（沈宜昇君提出）
- 一、道内適地に推茸、松茸、曉茸產物獎勵に對する専門技術員配置（修正可決）（高尙杓君提出）
- 一、春川郡新北而牛頭里に神業菱鳴尊の威靈を奉祀すべく神宮造營
- 一、春川に公立高等女學校設置（以上山中友太郎君提出）
- 一、方山陶磁器改良前獎勵

- 一、楊口末里間三等道路速成
- 一、女子高等普通學校設置（以上洪顯德君提出）
- 一、原州に道立醫院設置（植村多助、沈宜春兩君提出）
- 一、砂防工事急務（崔微與君提出）
- 一、注文津第二期修築工事急務（田中鶴一君提出）
- 一、共同井戸設置（高尙相君提出）
- 一、鐵原・南川・金化、春川間に電氣鐵道敷設促進（修正可決）（李德一君提出）
- 一、鹽業振興（同右）（山中友太郎、南相鶴兩君提出）
- 一、學校費増額と授業料の減額（修正可決）
- 一、大麻耕作及加工に技術員を配置
- 一、養蠶技術配置
- 一、砂防工事施行に關し考慮（以上金元燮君提出）
- 一、火田民の救済施設の急務（方範嶠君提出）
- 一、昭陽橋架設（修正可決）（李起鍾君提出）
- 一、穀物検査所春川支所位置變更（南相鶴君提出）

江原道

江原道議會

普校の授業料を

三十錢に減ぜよ

京 6. 2. 6

江原道議第五日午後の部は（一月三十一日）午後一時より開

▲李徳一君（鶴原）土地改良事業調査費中修給は増額し旅費を減額してゐるが、寧ろ旅費を増額し充分活動させなければならぬ仕事である。旅費を増額せられたい。鶴原農學校を乙種農業學校に昇格させることを希望

▲鶴原農務 係給増額のため實際に於て増額された譯で、その範圍で最上の能率を發揮させる

▲辻學務 卒業後實際に役立つ農村人物たらしむべく充分實習に重きをおいてゐるからその學校自體で充分使命がある

▲朴振聲君（蘭珍）自動車税を引上げることを希望、水産試験場よりの収入を多く見込んでいる、もつと經費を許し充分なる試験をなさしめて益々本道の水産業を發展せしめられたい

▲瀬戸財務 九人乗以上二臺に十圓を引上げた

▲北野技師 水産試験場収入見込み云々は鰯とかの漁獲物より得る収入の見込みである

▲曹圭鳳君（横城）横城前川橋は半分しか出来てゐないので役立たない、速かに完成せしめられなく希望、横城安興線を二等道路に昇格せしめられたい、横城

平昌珍富嶺は御形質を量り、あるが、今は路面の面影すらない所が多い、速かに改修方切望

▲三浦土木課長 前川橋は財政の關係で速かには困難、道路は只單にその等級が問題ではない、記念道路のとは全然地元民が引受ける約束だつたがそれは却つて遺憾

▲沈宜春君（原州）原州に道立醫院設置を要望、穀物原種栽培を郡農會へ委託することを希望

▲山本警察 財政關係で今の所設置は困難

▲羅見農務 考慮する

▲崔致興君（江陵）江陵農業學校を甲種に昇格せられたい

▲議長 時間を一時間延長致します

▲辻學務 乙種に乙種としての使命がある、財政の許す限り近い將來において昇格出来得ると思ふ

▲金永右君（伊川）教育費を第一にうんと増額せられたい、義務教育制實施が時間尙早となるならば地方費補助を以つて初等児童の授業料を三十錢に減ぜよ

▲辻學務 授業料引下げは考慮する

製造を極力奨励して金肥を關連せられたい

▲嚴敬烈君（寧越）地方改良事業費を大いに計上して地方改良に努められたい切望、各地に農業補習學校を増設して農村の振興を圖られよ！

▲李泰潤君（平康）第三議會に移らんことを勸諫

▲一同賛成

▲議長 江原道昭和六年度地方費歳入歳出豫算案を採決致します

賛成の方は御起立を願ひます

議員起立！

議長 満場一致にて採決されました

と春のやうに麗かな李知事の聲音が朗かにひびき渡つた。かくて午後四時五十分、第五日を終ると共に昭和六年度江原道地方費豫算案がいよいよ本物として生ひ立つた

（春川）

# 咸北評議會

第二日目(三月二日)

(羅南) 大道評議會は休會明けの

二日午前十時より愈々本筋に入り  
六年度歳入歳出算出第一欸工  
本費の審議より初まり先づ質問に

入り金内務部長の説明あり

▲四元君 道路橋梁修繕費の増加  
は如何なる線の修繕かを問ひ道  
路略圖を配付され

▲金弘燮君 等外道路を等閑に附  
してゐる、豆滿江沿岸の流失に

つき対策なきやの質問に  
▲金内務部長 等閑口はない現  
に五年度も力を注いひるる

▲土木課長 豆滿江護岸工事は莫  
大の金が入り地方費では見込が  
ない

▲方星源君 地方費で出来なけれ  
ば國費でやれ今回の如き窮民救  
濟事業に斯かる緊急の工事を何  
故殘したと話より金内務部長見  
解の相違とアツカリ片付く

▲太明輔君より道路改修に不公平  
があると明川郡管内の破壊ヶ所  
をあげお土産を持出し方日  
生源君再び豆滿江護岸問題を持  
ち出し金内務部長累々實狀を説  
明する

▲張世憲君 道路工事は請負にせ  
ず面にやらして窮民救濟にせよ  
と希望をのべ

▲崔昌厚君 窮民救濟事業は都市  
中心主義で疲弊の極にある農村  
救護を顧ない、今少し此方面に  
力を入れて欲しい

述べて内務部長より説明あり零時  
四十分休憩、午後一時四十分再開  
土木局臨時部につき内務部長の  
説明あり

▲李國載君 救濟事業中道路改修  
豫定線を承はり度し土木課長の  
説明あり

▲方星源君 鐵基會館線の改修は  
どうなるか

▲内務部長 等外道路で緊急必要  
と認めぬ、急に改修の意志なし  
その他二、三氏よりお土産案とし  
て道路問題の質問あり永井君と金  
内務部長との間に窮民救濟、道路  
改修、事個所で問答あり

▲四元君 輪城川改修、城津築港  
につき計劃の詳細を求め設計圖  
が出来上つたら評議員に配布あ  
り度しと望み

▲太明輔君も救濟事業の農村方面  
に不徹底を詰り

▲本間君、金弘燮君と内務部長と  
の間に輪城川改修設計發表につ  
き問答あり  
五時第一欸の質問を終へ散會

# 咸鏡北道

## 咸北道議會

適當な副業がないから

蠶業を奨励する

日 2.  
京 6.

咸北道評議會第四日午前十時開  
會出席議員十七名議長開會を宣し  
日程により歳出經營部第二款勸業  
費第三款受産費および臨時部第二  
款勸業費並第九款勸業費繼續費第  
三款受産費を一括して審議に入る

### 歳出經營部

▲勸業費本年度豫算は一八四、  
七二九圓であるが昨年度に比し  
九〇四一圓減額▲授産費豫算二  
八八〇九圓は昨年度に比し七、  
七〇七圓減額

### 歳出臨時部

▲勸業費本年度豫算五〇、六三  
五圓昨年度に比し二九、八九四  
圓増額▲授産費豫算一、四六  
〇圓昨年度に比し七、三七〇圓  
増額

▲金内務部長 前記の各款項目に  
對して豫算編成に當り以上の増  
減の理由を内詳語にて一時二十  
分に亘り詳細に亘つて説述し尙  
細部に關しては各係審外をして  
説明さす旨を述べ質問に入る  
▲李興載氏(會寧)經營部及臨時  
部を一括して質問すると前提し  
先づ第三項事業費を見るに事業  
の方は以前として變らず人件費  
のみは昨年同様で殊に人夫賃の  
如きも八十錢計上されてゐるが  
他に方法なきや二十年來鏡城に  
置いた樹苗圃を輪城に移轉さす  
理由如何、同作指導費は前年度  
に比し三、四八〇圓の増額とあ  
るが設置個所が南部地方に重き  
をおき北部地方に閑に附され  
てゐるかの感が、北部地方も

出來得る限り力を注いでもらひ

たい、次は副業奨励費、穀類種  
査所費並に、第九款勸業費繼續  
事業の内砂防工事につき質問

▲鈴木技師 田作の奨励が南部地  
方に偏してゐるといふお説であ  
るが至極尤と思ふ然し經費の關  
係上生産品の多い地方から逐次  
行ふ方針である尙昭和五年は鏡  
城以南の四郡を指導したが昭和  
六年は國境地方に一郡増し又本  
府の計畫ではあるが補助を得て  
北部地方に毎年一郡宛増すこと  
になつてゐる。穀類検査所増設  
に就いて場所は考慮してゐるが  
發表の限りでない、これも地元  
民の奇附金の如何によつては或  
は變更されるかも知れない

▲金内務部長 事業費において人  
件費多いとの説であるが尤な事  
ではあるが事業を遂行する上は  
必然的で詮方なし鏡城の樹苗  
圃移轉理由は從來民間養苗家が  
完全になつた今日樹苗の買入す  
る必要はなく、たゞ道模範林の  
苗を發生するだけである、依つ  
て模範林所在地に移轉するが經  
済の上からも便利である

▲福島産業課長 本道の副業奨  
励方針が將來進展性のあるもの  
に限りこれを指導するといふ事に  
決定されたからである。と計  
劃的、有望なものを説明する

▲白勢山林課長 砂防工事につ  
き施工地は昨年調査した結果各  
にも相當荒地はあるが今回  
その最も舊い城津郡を施工す  
事にかつた、これもその効果  
顯著なるヶ所なるが故である

▲福島産業課長 麻布は從來の灰  
汁ねりる藥品ねりとし且つ藥品  
漂白を行ひ販路は支那から輸入  
の三百萬反を驅逐する心算であ  
り。絹布はまた從來光澤がない  
この點改良を加へやうとする方  
針である

▲岡田技師 農村における他に適  
當の副業がないのである等から  
見て奨励如何によつては將來本  
道の蠶業は顯著なる發達をなす  
べきことは疑の餘地がない故に  
本府の百萬反計畫に順應して蠶  
業奨励計畫を樹立し昭和十  
一至り農家戸數の約五割即ち三萬  
石四千戸を養蠶家ならしめ一戸  
當り桑苗二五〇本以上を植栽せ  
しめ春秋二期を通じて蠶種三枚  
以上を飼育せしむるを目標とし  
て昭和十四年に到つて三萬二千  
石に達せしめる可く實施中であ  
る、尙昭和五年度の産繭高は三  
萬四百石である

時に零時四十分議長休職を宣す午  
後一時四十分再開

▲議長 開會を宣す

午前引續き審議に入る

▲四元氏 先程八番議員が質問し  
た様であつたが勸業費第三項事  
業費のうち借地料一、〇〇〇圓  
計上してあるが年々必要とあれ  
ば時價で購入して如何穀類検査  
所費中三月雜費に於て矢張借家  
料三、五〇四圓計上してあるが  
年々多額の借家料を拂ふといふ  
事はどうかまた第七項種馬町附  
々においてであるが第三目種馬  
購入費二、四八〇圓計上してあ  
るがどの程度の種馬を購入する  
や尙製炭費費において當局の  
説明で必要ないとの様に聽てあ  
たがこれを計上して漁業傳習費  
を除外してある本道として漁業  
傳習といふことは最も必要な事  
と思ふが如何併て説明を乞ふ

▲鈴木技師 借地料として現狀で  
は如何ともされず只今の處明に  
は申されない七年度からは大體  
において減する豫定であるまた  
借家料も同様であつて爾後新築  
して減額す 決定である  
▲大谷技師 種馬購入に關し詳細  
に説明する



△福島産業課長 實科教育をして  
玩弄物ならしめざる爲傳習生は  
雄基水産學校に移す事にして創  
除したもので他意はなし

△金弘毅氏(城津) 初日における  
知事閣下の演述によつて當局の  
方針は萬々承知してゐる尙自分  
は地方問題に觸れないと前提し  
實問の失を眞向より振刷し當局  
は六年度豫算を緊縮一天張り  
經常部歳出三萬圓を臨時部に移  
してゐるが之れが年々膨脹する  
經常部歳出に増加の餘地を與へ  
たものである。また時勢は全  
國的に行政整理の秋にありな

がら本道六年度豫算はこの點に

一言半句も觸れてゐないが如何  
なは養蠶獎勵によつて當局は疲  
弊の極にある農村振興策を樹立  
されてゐるやうであるが米國に  
おける經濟界不況の今日同市場  
を唯一の目的とする絹糸界が米  
國經濟界の好轉を見ずにこれが  
良く農村の疲弊を救済し得と思  
ふや、米を作つて粟を喰ふ本道  
農民に對し當局は粟作獎勵費六  
千圓を計上してゐるが果して右  
の金額が完全に粟作の獎勵を爲  
し得るであらうか等々實問やら  
意見やらの數ヶ條に議長は業を  
にやし『注意』を發す、金氏は  
注意を受けたが約五十分に亘  
つて辯じ立てる最後に李參興官  
管内視察の所見に民風云々とあ  
つたが此點に於いて參興官の意  
見をうかがい度いと指名したが  
ら結ぶ

△古橋知事 只今七番議員(金弘  
毅氏)の述べられた點は實問の  
形ではあるが所見である之は開  
會初日において演述として私か  
ら申上げおきましたから答辯の  
限りでないと思ひますまた行政  
整理云々の件につきましては常  
に當局でも無駄を省き能率向上  
を圖つてゐる心算であるからこ  
ゝに申上ぐることを避けます

△金内務部長 經常部歳出の三萬  
圓を臨時費に繰替へた點に就い  
ては只今七番議員より繰々述べ  
られた主旨は當局として同感で  
ある、要するに事業費により多  
く使へといはれたものと察する  
故に經常費を臨時部に繰替たも  
のであると一矢を酬い續いで經  
業獎勵及粟作獎勵に對し細部に  
亘つて説明を與ふ

△李參興官 私の新開紙上に發表  
せる民風云々の談話につきまし  
ては何等議案に關係がないから  
後刻私の室へで駕と説明すると  
一蹴する

△光永氏(雄基) 西藩浦の養蠶は  
支那との取引上重大なものであ  
るが樂山水利が出来て以來泥水

や淡水が同様に流入するため  
蠶が死ぬといふ事で地元民は相  
憂してゐるといふ事であるが原  
因調査を行はれては如何、他に  
二、三、實問あり

△福島産業課長 實地調査の結果  
蠶の年産額二萬圓に達し之によ  
つて生活する住民八十戸あり故  
に善後策に就いて本府に相談し  
たが何しろ經費四萬圓を要する  
ため地方費支出は不可能として  
六年度に計上は出来なかつた然  
しいづれ國庫の支出を得て萬全  
を期したい、尙他の實問に對し  
も説明す

△野口氏(羅南) 成可く實問は簡  
單明瞭な議論や意見に亘らぬ様  
にしたし  
と實問打切の動議を提出したが  
賛成者なく接角の動議も否定さ  
れた

△梁昌奎氏(吉州) 七番議員の説  
は尤と思ふ勸業費中事業費は人  
件費よりも尠ない人件費を今少  
し削除して事業費に充當して如  
何

△金内務部長 これに對し説述す  
る

△崔昌厚氏(鏡城) 朱南面の土地  
改良事業は調査を完了された上  
決定されるものか、また實文に  
ある假検査所は永續的のものな  
るか併せ説明を乞ふ

△福島産業課長 土地改良事業は  
一度調査したが今後なほ精査の  
上決定したいと思ふ會文の假檢  
査所は假出張所であるから將來  
集散が永續すれば検査所を設置  
してもよいが集散が中止する様  
になれば停止する意圖である

△南義壽氏(屯山) 臨時部におけ  
る副業獎勵費及經常部土地改良  
費模範林費につき實問

△福島産業課長 これに大體に亘  
つて説明を與へる

△議長 總べてに亘つて實問も終  
つた様であるから勸業費、授産  
費の經常部、及臨時部の實問を  
打切り本日は、散會すと宣  
す時午後四時三十分(羅南)



# 咸北評議會

第三日目 (三月三日) 新 7

(議案) 道評議會第三日目は三日午前十時半開會勸業費及授産費の臨時部につき一時間餘に亘る質問あり

▲李興載君 一、物價騰貴に借地

料や人夫賃を前年通り計上する理由二、原種番費減額理由三、土地改良に畑をやらぬか四、二十年來鏡城に置いた樹苗を何故移轉するか五、副業獎勵費を何故減じたか六、麻布検査所の新設位置七、砂防工事を北部にも何故やらぬか

と各項に分ちての質問に對し内務部長、給木技師、山林課長、産業課長等から夫々

一、借地料は單價は下つて居らぬ人夫は質のよいのを選抜するかから少し高い

二、原種番費は昨年同様

三、土地改良は省のみ

四、樹苗圃は民間業が發達し當業者から廢止の希望あり模範校と苗圃と距るのは各種費用がいろいろ不便だ移轉する

五、進展性あるものゝ補助する麻布は一ヶ年十五萬反四十六萬圓の製産をなし鮮内一ヶ年三百萬反六百萬圓需要に對し本道益々増加し支那麻布を防禦せんとし絹價下落につき絹のがをなし収入増加を圖るつもり二つの別

業に力を入れてゐる

六、検査所の位置は只今開所來一ヶ所は清津になるだらう

斯くして午前中は李興載君の獨断で休憩一時三十分再開四元氏李興載氏の質問の終し返をなし製産事業等につき質問

▲山林課長 四年度より製産百七十萬貫 外移出七十萬貫であるが炭質不良のため運賃不振である改良せねばなほ數億の需用あるを信ずる

次で金弘燮君地方費の行政整理だ

の消費節減だの際付振興だの或は健全通後本道は劣るただの願る脱線した質問を累々としてのべ議長より注意を受け古橋知事は先生が生徒に教へる如く説明を與へ内務部長一々答辯をしてつゝまらぬ質問で大切な時間を空費するの、野口道議勸業費の質問を打切り教育費に進行を提議したが永光氏など次々に質問を出し遂に四時半に至り漸く打切つて散會

# 江原道議會 2.

採決意見二十八件 6.

京

圓滿裡に終る  
李知事挨拶

第十一回江原道議最終日たる第七日(第六日は休會したこと既報の通り)は二日午前十時四十分全貴出席の下に開會

議長 只今より提示第一號より第五號迄を一括して提示致します次は道の公益に關する意見の採決でありますその中にはほんの一地方に局限された小さい問題もありますが大部分は道の公益の爲になる非常な御立派な意見であります、之等意見の採決は一先づ分科委員會において取捨選擇を決定し、その結果を報告せしめることにしたくあります、是は審査委員は議員より指名したいが御異議ありませんか?

議長 二番議員李根宇君外八名を指名

直に分科委員會に移り、彼は午後二時半まで休憩、午後三時四十分より開會

議長 委員會議の結果を報告致します

高連河君(總原)提出されたる意見、總件數七十三件中審議の結果

1、可決されたるもの 二八件  
2、道の公益と認め難く否認されたるもの 二八件

3、提案者より撤回されたるもの 六件  
4、同一意見なる故合併したるもの 五件

5、内容一部を變更して採決したるもの 六件  
6、内容を報告す

議長 御異議なければ採決致します

こゝにおいて全員總起立、滿場一致にて採決された、提示も全部採決

議長 これで第十一回江原道議會を終ります

と宜し大略左の如き挨拶をなした

この度の會議は、開會の當初に申し上げました通り、本道としては最も有意義なる會議でありました。今回御諮問に預かりました案件は從來の約二倍に相當するに對し、會議日程は從來と同じき中にそれぞれ圓滿に審議を願はしましたことは本道々政士誠に欣喜に堪へない所であります

なほ議員各位に於かれても參與員に於かれても、非常に圓滿に且つ和氣藹々裡に議事を進行致しましたことは之亦誠に欣快に堪へない次第であります

尙昭和六年度の豫算に就きましては種々御意見もあり、御質問もありましたが之れが實行に當つては出来るだけ諸君の御希望に副はしめたいと思つて居ります

而して道の公益に關する御意見に就きましては、その意見に依り、上司に御依頼することもあり、道に於いて考慮するものもありませうが、いふまでもなく道利民福のために、大いに留意する積りであります、就きましては今後とも一層御援助あらんことを切に希望する次第であります

これに對し、山中友太郎議員より鄭重なる答辯あり、一同總起立の下に七日間に亘る第十一回江原道議會は無事終了を告げた、時に午後四時三十分、なほ道の公益に關し各議員より提出せられたる意見は左の如し

▲道の公益に關する意見  
一、一面一校増設計畫に依る地方民の負擔額を軽減せられたき件  
一、蠶種代金の値下を斡旋せられたき件

一、楊口襄陽線三等道路改修を實施せられたき件  
一、無病炭發掘着手方御斡旋ありたき件

一、東海岸地方に水産學校を設置せられたき件  
一、勤農共濟組合に集會所兼共同作業場を建設せられたき件  
一、道立醫學校を設置せられたき件

一、道内旌善郡に椎茸、松茸晚茸產物獎勵に對する専門技術員を配置せられたき件  
一、春川新北面牛頭里に神樂靈囃の威靈を奉祀すべく神宮營造の件  
一、春川に公立高等女學校設置の件  
一、方山陶磁器改良並獎勵せられたき件  
一、楊口末庫里間三等道路速成の件  
一、女子高等普通學校設置せられたき件  
一、原州道立醫院設置に關する件  
一、砂防工事急施の件  
一、共同井戸設置に關する件  
一、金化、春川間電氣、鐵道敷設方促進の件  
一、蠶業振興に關する件  
一、大麻耕作及加工に對し技術員を配置し指導獎勵せられたき件  
一、養蠶技手配置せられたき件  
一、火田民の救濟的施設を至急實施せられたき件

れたき件

一、東海岸漁港に警備發動機設置を要望せられたき件  
一、東草里鎮港を促進せられたき件

一、三陟旌善線三等道路改修工事を速成せられたき件  
一、汀羅鎮港浚深工事を施工せられたき件

一、莊湖鎮港を速成せられたき件  
一、無病炭發掘着手方御斡旋ありたき件

一、東海岸地方に水産學校を設置せられたき件  
一、勤農共濟組合に集會所兼共同作業場を建設せられたき件

一、道立醫學校を設置せられたき件  
一、道内旌善郡に椎茸、松茸晚茸產物獎勵に對する専門技術員を配置せられたき件

一、春川新北面牛頭里に神樂靈囃の威靈を奉祀すべく神宮營造の件  
一、春川に公立高等女學校設置の件

一、方山陶磁器改良並獎勵せられたき件  
一、楊口末庫里間三等道路速成の件

一、女子高等普通學校設置せられたき件  
一、原州道立醫院設置に關する件

一、砂防工事急施の件  
一、共同井戸設置に關する件

一、金化、春川間電氣、鐵道敷設方促進の件  
一、蠶業振興に關する件

一、大麻耕作及加工に對し技術員を配置し指導獎勵せられたき件  
一、養蠶技手配置せられたき件

一、火田民の救濟的施設を至急實施せられたき件

（五）北道憲議會五日目の五  
月午三時三十分開會、議員  
と述べれば、佐々木、議員  
に賛成し、健康増進、本  
案に依り、諸問題、

決して農村を普しめるものでないが、及道路保護上の要な事であるものと説明を加へる。▲岡鋭君 六年度民衆事業は都市集中主義で本道の九割以上を占むる農村、極度な不況を救ふに何等考慮されてならぬとて當局に對し農村救済の緊急問題たる事を陳み無言。▲金内親市長 野澤事は金を與へるのである。農村に對する報酬で勿論その勞金の配分には留意費につきそのしてゐる。▲永井君 野民救済事業は、救済は確るか。城川、地を電通、三十線に選却は指定通り行くか。地方民の寄附は逆さ集まるか。れ等に異議あつて地方費の負擔を大にする事はなきやと當局の急所を突き、以て國境地方

となくのんびりし拘獄で罰金あり野にお土  
産である第議員の意見開陳あり野に  
先づ口君の動議一人十五分限に  
一、茂呂内より平北道に至る豫  
▲南義 藤若彦山  
定修速成  
二、延社農事局間の零外連絡改修  
三、茂山恵山線速成  
四、新站歴史館間連絡橋梁修築  
▲光永登七君(雄基)  
二、中野學校補助増加  
三、總村振興費  
三、堤基に維持費設置  
四、西水羅製港に關する一箇圖密  
附の件  
五、西浦浦かき釜築堤場後興  
六、道立寺院雄基設置  
▲方星七君(鍾城)  
一、茅渚江堤岸工事の速成  
二、鍾城瀾陽鎮穀類検査員一名増  
加  
三、會寧鐵基間道路修速成  
四、羅商中學と鎮城高普通校、并  
六、五、四年制醫學校に體育科設置  
六、四、國有未墾地食糧與國分付  
本日は以上にて四時二十分散會

咸鏡北道

# 咸北道議會

日 6. 2. 10

窮民救済の勞銀は 京

公平に撒布する

道議會第六日(五日)は午前  
十時三十分開會第一號議案乃至第  
十七號議案の審議をなす事に決定  
昭和六年度本道地方費歳入歳出豫  
算總額は既報の如くであるが(二  
七七九、六五七圓)前年度豫算總  
額に比すれば實に九十八萬三千九  
百二十二圓の増加である、然れど  
も歳入歳出の状況によりて觀察す  
るに歳入經常部においては一般經  
済界の不況の影響を蒙り地方税、  
財産收入、移品賣却代その他にお  
いて相當の減收ある見込みで結局  
一萬六千五百七十七圓の減額を來すの  
豫定であるが歳出經常部において  
は極力緊縮節約を加ふることを前  
年度に比し二萬九千八百六十五圓  
を減額したり、然るに引續く財界  
の不況に至る窮民の現狀はこれを  
救済するの要甚だ緊切なるを以て  
土不および勸業費を設定しこれが  
財源として新に低利資金百八萬五  
千圓の公債を起すの計畫なるを以  
て歳入臨時部において九十九萬九

千九百七十九圓の増額を來し歳出  
臨時部においてはこれ等窮民救済  
事業費總額費本年度支出額を計上  
したので結局一百一萬三千七百八  
十七圓の増加を見な譯である

▲歳入經常部▲第一款地方税本  
年は豫算額四五三、七三六圓前  
年度に比し一七、〇七三圓減▲  
第二款財産收入三〇、八〇五圓  
前年度に比し五五五圓減▲第三  
款臨時恩賜金受入三二、八九五  
圓前年度に比し一、一一〇圓増  
▲第四款雜收入二八〇、三六八  
圓前年度に比し四六一圓増

歳入經常部合計七九七、八〇四圓  
で前年度に比し一六、〇五七圓減  
である

▲議長 第一號議案昭和六年度地  
方費歳入歳出豫算から逐次附議  
することにし先づ歳入經常部第  
一款地方税より審議に移ること  
にする

▲崔昌厚氏(鐘城)地方税減收の  
おりからではあるが車輛税は主  
に農村使用の荷車が多く農村の  
疲弊せる今日税率の減額は出来  
ざるや

▲古川財務部長 當局としても減  
税は常に研究してゐるが財源の  
關係上六年度は實現不可能であ

つた然し今後研究を續ける積である

▲太田輔氏(明川) 農業専用の荷車と普通運搬營業車との區別をして農業使用車の税率を低減することは出来るか

▲古川財務部長 先程も申述べた通り目下の處では如何とされず御諒解ありたし

▲張世憲氏(富寧) 車輛税二輪車の分が約一萬圓減収してゐるが之も當局が車輛市改造の結果と思ふ、車輛市の改造は實際においてこの不況時に農村にとつては大なる負擔の一部で改造は出来ず廢車の結果税の減収となるのである故に改造期限を今年一年延期されては如何

▲李興載氏(會寧) 二輪車税に比し自動車税が安さかの感がある此の際増税されては如何

▲古川財務部長 二輪車に比し自動車の数は僅少である今後研究者慮する

▲崔東岳氏(慶源) 農村専用車改良は目下の如く農村の疲弊せる今日或る時期まで延期されたい

▲野口氏(羅南) 自動車十四台増加に比し二輪車は急大直下九千代から七千代に減となつてゐるがこれ等は車輛市の改良の結果に起因してゐるのではないか此點は張世憲議員の意見と同である

▲車輛税に對し又車輛改造と云ふ事に就いて二、三議員の孰れも

大同小異の意見があり、下村警察部長は車輛改造に關し危險防止、道路保護、荷車取締の點から縷々細に亘つて説明し當局として出来得る事なら昭和六年十一月までには完成したいと思つてゐると述べ

▲古橋知事 車輛市改造は農村をして苦しめるのではない危險防止、道路維持その他の點からある道路の破損は従つて地元民の負擔を大にするものであり道内にのみ拘泥せず目を高く他道に注いで欲しい當局としても各位の御意氣は萬々承知してゐると之れが審議を打切つて廣出に進む

▲李興載氏會寧(會寧) 實際の際併せて審議した様な形になつてゐるので此の際輸入税全部一括して決定しては如何の動議を出す

▲議長 諮問第六號案より同十七號案まで一括して審議に移る

▲金鳳鉉氏(穩城) 今回の豫算案は當局の研究調査の上出来上つてゐるものであるから自分として何等異議のあらう筈もない開會より今日迄各員の實問や意見當局の對明等々を謹聴してゐる次第であつたが審議に當り唯一言申述べたい事があると前提し失業救済事業に對し『農村へも』の一言である昭和六年は豫算新規事業中特に目を惹くは窮民救済事業である、然るに該事業は都市を中心として計畫されてゐる様に見受けらる、我が咸北は九分九厘までが農民であるこの意味からして當局は何が故に農村を避ぎつて今回の窮民救済事業を都市中心主義を入れたるや無論道路改修工事には一部恵まれる譯ではあるが大部分が農村を離れた施設である農村今日の疲弊は言に絶するものがある、翻つて見るに、税金の大部分も皆と農民の手になるものが

大とする處であらうこの農民の今日の如く死活線上に喘ぐを默視することが出来様か、當局としても施設のみに拘泥せず目を廣く人類福祉の上に注がれたい今回の事業計畫の農村に及ばなかつたことを最も遺憾とするものである、私は窮民救済事業はその名の如く事業が本位でなく窮民を救済するものが本位であると信する緊縮節約の際事業を殊更に起す必要はない故に窮民を救済するのが目的であるその窮民の大部分を占むる農村を等閑に附されたことは當局として考慮される點もあらう都市あつて農村でなく、農村あつて初めて都市であると思ふ、かゝるが故に今回の五大事業中農村施設二大事業位は寧ろ農村に計畫を樹立するべきが至當と思ふ、希くば當局におかれても此點充分研究の上『農村へも』救済の方法を樹立されんことを切望するものである

▲金内務部長 朝鮮における發達の遅々たるは何に起因するかと云へば住民の勤勞の心掛の缺乏してゐる爲めであると思ふこの勤勞の心掛こそ農村における唯一の救済の言葉であると信する今回の窮民救済事業が都市中心主義の如くお説なれど當局は相當調査研究して計畫をしたのであつて農村を等閑に附してゐるのではない窮民救済の意味に於て工事を起すと云ふ事は今日に始まつたのではない、早水害のあつた場合その地方で工事を起し適當な方法で救済してゐる一昨年の如きも十番議員(金鳳鉉氏)の選出された穩城地の雪害の際も之れを救済してゐるのである、勿論今回の事業も救済が主旨であるが事業も亦考慮せねばならぬ、窮民救済なるが故に金銭を給與すると云ふのではない、窮民であつてもその勤勞に

對する報酬として支給されるので假令事業を如何なる個所施工しようとも勞金の撒布はるべく公平で均等にいき届く當局では事業實施に就いて窮民の調査をなし之等の狩立を行と豫定である

▲永井氏(會寧) 窮民救済事業會起債償還財源總括調査を取出し輪城川改修に關し地立地賣却代は之れに伴ふ地立地を四十萬坪一坪三十錢として工事完成の翌年度より十八年間に賣却するといふ豫算であるが果して該土地がそれだけの賣買が行はれ得るやまた該事業に對し地元民の寄附は豫定通り行くか之等の手違の爲め地方費をして負擔の窮地に陥る様な事なきかと幾々説き起し窮民救済事業を國境方面の道路に施工の要、女子中等學校及女子補習教育機關設立の要及金生農場の改修に關聯して田島牛の將來等々に就いて約三十分間に亘り雄辯を揮ひ恰も威北における故島田三郎の志を打ちしめた

これに對し金内務部長より説明があり古橋知事も輪城川改修に

對する利益の一端を披瀝して諒解を求む

▲四元氏(清津) 高女補助金二、五〇〇圓計上あるが今回は從來の慣例を破つて清津女學校に半額の補助が願ひかし

▲野口氏(羅南) 清津高女設立の際道及本府の方針に反し國庫及地方費補助を仰がぬと言ふ條件で設立されたのであるから今更十二番議員(四元氏)の補助云々でもあるまい。これに對し四元氏更に發言を求め羅南と清津との補助の引張を演説する

▲議長 その點は當局の意圖もあり双方考慮する

▲方昌源氏(鎭城) 農業指導技術員を面に配置ありかし

▲光永氏(雄基) 十年前より嘆願的に道立醫院設置については切望してゐるが未だに何等の曙光を認めぬが附は地元から醸出する事に内々承諾が出来てゐるから近く實現する確率力願ひたし何處振興策樹立及土木調査費は豫備費から支出して徹底的に調査されかし

▲金弘燮氏(城津) 審議を了へて確定しては如何との緊急動議を出す

▲議長 議員に諮り賛成を導く動議成立茲に日程通り諮問第一號案から第十七號案まで悉く満場一致を以て原案可決確定何處議録署名者は前例によつて議長より指名され最年長者本間猛雄最年少者金弘燮の兩氏指名され休憩時午後一時午後二時再會

▲議長 意見陳述前に一事諮りたき問題があるが之れは協議會として意見を承りたいと前提して協議會に移り此協議會が終つて午後三時十五分より日程通りの意見陳述に入り順番は抽籤によ

決定、この時野口氏發言を求めて

▲野口氏(羅南) 議員諸氏の中には大變雄辯家が多いのでそれ

の諸氏に一々陳述されから半日はマル潰れとなるので一人當り十五分位を限度として抽口令を布いては如何と述べ滿場を苦笑せしが結局右の意見が採用されこれより各議員最後の抱負を披瀝する意見の陳述に移る、先づ一番檜は南義壽氏で意見は左の如し

▲南義壽氏(毛山) 一、茂山邑内より永北面に通する二等道路原定線の速成、茂山延社間、茂山三長間の二等道路及延社、農事洞間の等外道路毛の恵山鎮線の未改修箇所速成の件

一、新站延社間の道路橋梁修築の件

▲光永氏(雄基)

一、中等學校の補助増額の件

一、漁村振興、及雄基港内に漁船避難所設置の件

一、西浦浦の輻の保護養殖場善後策の件

一、道立醫院雄基に設置の件

一、方昌源氏(鎭城)

一、豆滿江岸における護岸事業速成の件

一、鎭城鎭領穀類検査所に検査員一名増員の件

一、會場雄基間の等外道路を三等道路に編入し改修方要望の件

一、經實榮地の上から鎭城高普校と羅南中學校合併共學の件

一、未墾地の貸與區分の件

▲金内務部長 方昌源氏の意見に對し答辯する處があり李興義氏は發言で時間延長を取止め本日は定刻の四時より二十分遅れて四時二十分議長散會を宣す(羅南)

咸鏡北道

# 咸北道議會

京日

意見陳述を最後に

和氣霽々裡に終了

6. 2. 11

本道々評議會の最終日(六日)たる第七日は前日に引續き各評議員の意見陳述であつたが午前十時三十分開會

▲議長 只今から前日の抽籤によつて決定した順番によつて各位の意見陳述に移ります

▲柳宗學氏(蔚興)

- 一、水産業獎勵施設の件
- 一、修路工夫増員反對の件
- 一、種馬費増額實施の件
- 一、普通學校補助増額の件
- 一、雄基普通學校學級増加の件
- 一、車輛中改良延期の件
- 一、社會教化に關する件

▲太田輔氏(明川)

- 一、臨興、漁太津間三等道路は産業道路としてその必要緊急なるものである故に速成改修の件
- 一、明川茂山間連絡道路改修の件
- 一、露種代金の件
- 一、明川農業補習學校設立の件
- 一、明川郡廳新築の件
- 一、普通學校の授業料減額の件
- 一、梁昌奎氏(吉州)
- 一、南大川堤防修築及び同川に架橋の件
- 一、吉州における砂防工事實施の件

一、畜牛購入のため貧農に對し低資金融通の件

▲金鳳鉞氏(稷城)

- 一、稷城水利組合の組合債の利下及償還延期の件
- 一、稷城灌漑開闢道路改修實現要望
- 一、稷城訓校の二普通學校に學級増加の件

一、模範農村設立の件

▲崔昌原氏(鏡城)

- 一、面財政増額に關する件
- 一、漁太津警察署の位置移轉の件
- 一、鏡城の校舎を道立醫院に委任の件

一、朱南面における土地改良調査徹底の件

一、朱南面康徳附近に阿片栽培認可の件

▲永井氏(會寧)

一、次回から議案配布に關する件

▲金弘燮氏(城津)

- 一、行政整理を斷行し道民の負擔を輕減の件
- 一、金融制度運用改善の件
- 一、義務教育の件
- 一、吉寧線道路改修補助の件
- 一、城津普通學校高等科廢止反對の件

▲張世憲氏(富寧)

- 一、有閑階級の賭博的遊戲取締は可成嚴罰に附する件
- 一、輪城、青岩面間の道路改修の件
- 一、輪城川移轉に就いて蒙利者寄附に關する件

▲本間氏(清津)

- 一、物産陳列館清津移轉の件
- 一、清津府に專屬水産技手配置の件

一、清津商業補習學校昇格の件

▲崔秉岳氏(慶源)

- 一、朝鮮人女子に對する中等教育機關設置の件
- 一、慶源附近に農學校設立の件
- 一、慶源訓校間の等外道路改修の件

一、豆滿江護岸工事切望の件

此時に一時二十五分議員の大部分が



また實現を期せしめたいと述べ  
これに對し十二番四元氏は一同を  
代表して答辭を述べる處があつた  
一月三十一日より二月六日に亘り  
一週間の本道第十四回道評議會も  
何等の波瀾もなく和氣藹々裡に無  
事終了す議長議會を閉會するむ  
ねをのべ散會、時に午後二時三十  
五分（羅南）

### 道議員清津視察

一週間に亘つて連日會議に參與し  
た道評議員は五日會議終了後道  
差廻しの自動車に分乘して清津府  
營施設および水産情況視察を行つ  
た（羅南）

この會議終了後清津方面へ視察を  
試みるといふので晝食ぬきの眞劍  
さであつた次は野口氏の順番であ  
つたが時間の都合で辭退しその代  
りにと官立師範學校の羅南設立運  
動請願の件を提議し一同の賛成を  
得てこれが代表として四元、（清  
津）夏目（城津）野口（羅南）の  
三氏がいよいよ上城請願するに決  
定した。

#### ▲四元氏（清津）

一、會期中意見陳述席上の意見發  
表は當局においても可成尊重さ  
れたき件

一、清津商業補習學校昇格の件

#### ▲李興載氏（會寧）

一、疲弊せる農村振興對策

一、會寧川改修の件

一、農村に簡易普通學校（修業一  
ケ年）の設立の件

茲において全議員の意見陳述を  
終り

#### ▲議長

連日に亘つて熱誠終始一  
貫以て道治のため豫算案に對し  
審議せられ滿場一致を以て協賛  
を得たるは感謝する次第である  
一度協賛を得たるこの豫算案の  
執行に就いては當局としても細  
心の注意を拂ひ最大の結果を得  
る様努力する積りであるまた前  
日から各會員より述べられた處  
の意見に對してその意のある處  
を研究し出來得る限り採りこれ



京畿道

評議會

新

開 廿三日より  
會 22

京畿道評議會は既報の通り来る  
十三日午前十時より道廳會議室で  
邊京畿道知事統裁のもとに開會  
第一日は議席を抽籤で決定の上道  
知事の挨拶あり開會を宣し參與員  
の紹介會議錄署名者の選定後矢島  
内務部長より道地方費歳入出豫算  
の内説明がある筈であるが諮問  
案は第一號乃至第十三號の十三案  
である

諮問案

- 第一號 昭和六年度京畿道地方費  
(一般會計)歳入歳出豫算
- 第二號 昭和六年度京畿道地方費  
兒童獎學基金特別會計歳入歳出  
豫算
- 第三號 昭和六年度京畿道地方費  
恩給特別會計歳入歳出豫算
- 第四號 京畿道地方税賦課規則中  
改正の件
- 第五號 京畿道不動産取得税賦課  
規則中改正の件
- 第六號 京畿道公立學校授業料並  
入學試驗手数料徴收規則中改正  
の件
- 第七號 京畿道穀物及収檢査施行  
規則中改正の件
- 第八號 京畿道産山獎勵資金貸付  
規程中改正の件
- 第九號 京畿道地方費土木費一、  
二、三等道路改良費を繼續費と  
爲し其の年期及支出方法を定む  
るの件
- 第十號 京畿道地方費土木費治水  
事業費を繼續費と爲し其の年期  
期及支出方法を定むるの件
- 第十一號 京畿道地方費勸業費砂  
防事業費を繼續費と爲し其の年  
期及支出方法を定むるの件
- 第十二號 起債の件
- 第十三號 開城水道工事に對し道  
方費より補助を爲すの件

# 開會に先だち

## 通譯問題で小波瀾

結局保留となり直に開會

民報

6. 2. 22

### 慶北道評議會(第二日)

六百萬圓と云ふ未曾有の大總算を  
審議する第十二回慶北道評議會は

二十一日午後一時十五分開會と共  
に道會議室で開かれ林知事、俞參  
政、各部長、各課長出席、政選  
後第一回の會議であるだけに議員  
の出席率もよく安東李宣鎬氏と善  
山洪恩錫氏を除く外三十五名出  
席、林知事議長席に着き將に開會  
を宣せんとするに先立ち武尾禎藏



# 慶北道評議會 (第一日)

## 開議に先だつて懇談的 通譯廢止に關する討議

第十二回慶北道評議會は二十一日午後一時二十分から通譯會議室に於て開會せられた會議に先立つて議員控室に於て通譯廢止に關する打合せ會を開き懇談を重ね一同議

席に就くや、開會に先立ち武尾議員より提議により懇談會に入つた武尾君 二百萬道民の輿望を

擔ひまして當選の榮に浴し、道治の諮問に應へんとするので

あるがこの機會において、展開題になつてゐた通譯廢止を我々議員より自發的に斷行してはと考へるのである依つて我々議員間において懇談致しましたとこ

る國語の分らぬ人は四名しかゐない事が分りこの方々に御相談した所四氏とも快諾せられたのでありますこの四名の方には別に專屬の通譯を置くこととして廢止したいと思ふのである

諸君

通譯廢止と云ふことは全鮮で例のない事で十三道の大問題である殊に通譯議員たるに國語を解すると云ふので資格が決定するのではない通譯廢止を

をすると云つても三名でも四名でもこれ等國語を解せぬ人達が自發的に自ら進んで廢止を承諾をするに非ざれば不可能であると思ふ之れに對して文相琦君及

入山君等より意見あり武尾君更に四氏に對する交渉經過を報告する

之れに對して星州の鄭、善山の洪兩君より廢止反對意見あり崔潤君 前任の議員間では

數回の會議の經驗上大勢は通譯廢止と云ふ事になつてゐた新議員諸氏では初めでの人もありこの問題は一人でも反對論者があつてはいけなから前例通りに通譯をつけて置く方がよいと思ふ

武尾君

私が提議したもの、本問題是一名でも不賛成があつては成立たないから明日にでも明後日にでも議つて決定する事としたい

と述べ本問題を持越するとし本會議に移る一時四十分林知事議長席につく

林知事

これから貴席の抽籤を致し議席の決定を致したいと思ひます

直に抽籤に入り夫々決定し各自の議席につくこの時議長より出席三十五名缺席二名の中病氣缺席の李宣鎬君より「議長並に道評議員

の建康を祝す」電報ありたる旨を報告し野田閣より諸般の報告を終り議長より本評議會署名人として伊藤吉三郎君、金在煥君を指示し次いで別項の如き林知事の挨拶があつた

# 道評議會諮問事項

二十一日道議會開議に先ち道當局より提出せる諮問事項及提示事項は項目は左の如くである

- 諮問第一號 昭和六年度慶尚北道地方費歳入歳出豫算
- 諮問第二號 昭和六年度慶尚北道地方費兒童獎學資金特別會計歳入歳出豫算
- 諮問第三號 慶尚北道地方税賦規則申改正の件
- 諮問第四號 慶尚北道不動產取得税賦課規則申改正の件

# 道評議會提示事項

- 提示第一號 昭和四年度慶尚北道地方費歳入歳出決算
- 提示第二號 昭和四年度慶尚北道地方費兒童獎學資金特別會計歳入歳出決算
- 提示第三號 昭和四年度府慶尚北道地方費歳入歳出追加豫算
- 提示第四號 昭和四年度慶尚北道地方費歳入歳出追加豫算
- 提示第五號 昭和四年度慶尚北道地方費歳入歳出追加豫算
- 提示第六號 昭和五年度慶尚北道地方費歳入歳出追加更正豫算
- 提示第七號 昭和五年度慶尚北道地方費歳入歳出追加更正豫算
- 提示第八號 昭和五年度慶尚北道地方費歳入歳出追加更正豫算
- 提示第九號 昭和五年度慶尚北道地方費歳入歳出追加更正豫算
- 提示第十號 昭和五年度慶尚北道地方費歳入歳出追加更正豫算
- 提示第十一號 昭和五年度慶尚北道地方費歳入歳出追加更正豫算
- 提示第十二號 慶尚北道立醫院使用料及手数料徴收規程申改正の件

諮問第五號 以検査手数料規程申改正の件

- 諮問第六號 慶尚北道地方費土木並に勸業費繼續費起債の件
- 諮問第七號 慶尚北道地方費勸業費繼續年期及支出方法の件
- 諮問第九號 慶尚北道地方費歳入歳出豫算外義務負擔の件
- 諮問第十號 昭和五年度慶尚北道地方費歳入歳出追加豫算
- 諮問第十一號 慶尚北道地方費土木費繼續年期及支出方法の件

井に改造し真中には百何圓と化したと云ふシヤンデリヤを一つ氣張り兎に角道評議會室は新装面目一新▲これなら新地方制になつても當分は道會議堂代りに使へる事であらう▲開議に先だつて通譯廳止懇談會多少ゴネツて居たと見へて定刻を過ぐる三十分▲新選再選議員連下ヤくと着席する▲慶州の日浦君肅然として起立し「エー會議に先立ちましておたづね致しますが風呂敷包をどなたが取違へた方はありませんか」「それは私です」は矢つ張り慶州の諸君であつた▲知事内務警察財務各部長よを行きの顔をして着席▲開會前に武尾植藏君例の調子で通譯廳止の懇談會を提議したが▲この調子が多少議場の空氣を壓迫した氣味があつたものか諸君の一寸した異見の一石が思はぬ波紋を描いて廣がつた

# 向ふ三ヶ年間に亘り

## 窮民救済事業の實施

民

6. 2. 22

### 一面一校計畫の遂行を期す

#### 林知事演述要旨

更に議事録の署名者に伊藤吉三郎、金在煥の兩氏を指名し大要次の如き挨拶を述べた

昨年の夏數回に亘る本道始め朝鮮各地の風水害は諸民一致災害の復興に努力した結果速かに復興し完成を見るに到り御同慶に堪へない、總督政治布かれて既に二十有餘年今回地方制度改正に因つて自治制の本旨に則り道府邑の諮問機關を議決機關として一般に選舉制を採る等一大改正を加へ道制を除くの外は何れも来る四月一日から施行せられ地

方行政の革新を齎すこととなり、鑒て近き將來新道制が施行されるであらうことを信じて疑はない、昨年の道評議會は前任後日淺く各位の御満足を得ることを得なかつたが本年は昭和六年度地方費豫算案を極力速に調製することに力を致し本月十六日御送付を申し上げた本道に於ける一般行政は何れも順調に進捗し地方費に屬する各般の事業も官民協力一致の努力と熱誠とに依り道勢の進運著しいものがあり産業方面に於いては本道畜産以來鋭意力を注ぎ産額額實に九萬

七千石餘金鮮一の數量を示し其の價格は二百萬圓を突破した、又棉作は牛產千七百萬斤、販賣高五百七十餘萬斤、其の價格四十三萬圓で旱害の後を受け而かも穀價騰落に悩む道民の經濟を害した事が尠くない、然し乍ら産業の發達、教育の振興其の他各般に亘り尙施設擴充を要するものが尠くない

鑒て本道昭和六年度地方費歳入歳出豫算は特に細心の注意と一大期待とを以て編成した次第で各位御承知の通り政府は世界和

財界不況に善處する爲引續き中央、地方の財政整理を急ぎ大いに公私經濟を緊縮して現下の經濟的難局の打開に努めつゝあるので道地方費も此の政府の對策に順應する方針を採つたが本道累年の旱害に基く農家の疲弊と穀價慘落に苦しむ道民多數の窮乏に對しては地方費財政の將來をも考慮し堅實な計數の基礎に立脚し茲に窮民救濟事業の一大計畫を樹立し國庫補助の下に本年度より向ふ三ヶ年に亘り道路、治水、港灣、砂防の一大事業を繼續實施することにした、之か計畫の要は道路は二百八十萬圓を以て道内の一、二、三等道路の改修並橋梁其の他工作物の改良工事を実施せむとするもので治水は本道兄山港の直轄河川の大改修を行ふべく百八十六萬圓を投じ又港灣は九龍浦港に五十九萬四千圓、甘浦港に四十六萬五千圓、江口港に十八萬九千圓を以て夫々擴張工事を實施し砂防は二百六萬圓を以て本年道面有林並之に介在する私有林中荒廢激甚な林野三千餘町歩に對し砂防工事を爲さむとするもので之が財源としては總工費の平均六割は國庫より補助を抑ぎ一部は地方費一般財源より捻出して之に振向くる外地元負擔金並寄附金として少額を見込み殘額は地方費で低利の起債を爲さむとするもので純地方費の起債額は百八十九萬七千圓の計畫であるが右は五箇年間元金を据置き爾後十五箇年の半年賦、元利均等償還を爲すため最高一箇年の償還額は十八萬餘圓に過ぎない、地方税並雜收入の自然増加の一部と事業完了に基く經費の

振向け、將來地方費財政に累を及ぼすことなく無理の節減を要せず相當新規事業の財源を留保して充分償還經理し得る見込である、然しながら歳入地方税では努めて道民の負擔輕減を計り車輛税は税率の一部で低減し、税外收入に屬するもの、中、細民負擔に屬する以検査手数料は之を半減した、一方歳出では各費目に亘り極力節減を加へ新規事業は眞に緊急已むを得ないものに止めた、今豫算に計上した事業の重なるものを擧げると土木費は窮民救濟に基く道の改良兄山江の改修、甘浦、九龍浦、江口三港の擴張工事、本年實施分として百九十七萬六千圓を新に計上し、勸業費では大いに副業を振興し就中田作物の改良増殖、養蠶、棉作の獎勵、自給肥料の増産並沖合漁業の獎勵と沿岸漁業の改修振興に對して一段の考慮を拂つてゐる、右の外窮民救濟事業として六十八萬七千圓の本年度分砂防工事を新に計上致し教育費では一面一校計畫の遂行を期すると共に普通學校卒業生指導に意を用ひ社會事業費でも大いに民心の興起發奮を促がし自助の精神を涵養して備荒貯蓄の獎勵を高調する計畫である、衛生費では本道多年の懸案である醫學講習所一部の建築費を計上すると共に内容の充實、設備の完壁を期すべく豫算に計上した



大 道評議會に於ける  
林知事の横逆

陛下に御座います。臣等、  
 新に御任になりまし  
 て、親しく一堂に會ひて政  
 務を盡しますことは私の最  
 めづかしです。幸に存する次  
 であります。昨年の夏、越後  
 本道始め朝敵各地の風水害  
 あり、畏れ多くも天皇陛下  
 下を憂はれましては、  
 天子憐愍の思召しを  
 當時に侍從を御差遣あらせら  
 れたる、聖旨を賜りまする  
 に多謝の御内帑位を御下賜  
 せられたのであります。天  
 皇大袍に感激の至りに堪へ  
 ず敬であります。私共共進  
 同は一層忠報國の至誠を  
 盡して、聖恩の萬分の一に  
 仰ぐ奉るべく一段の奮勵努  
 力を致さねばならぬと考へるの  
 ちます而して此の異れ多き  
 一般民衆に徹底致しますし



く向うの跡を見るに至りました。是れ今、地方制度改正の因つて来る所以であります。時代の進運に伴ひ、民衆輿達の實を擧げ、もとの趣旨に外ならないのであります。即ち自治制の本旨に則り、藩、府、県の諸機關を議決

願ひまするに總督政治布かれて  
 既に二十有餘年の歳月を閲し文  
 物漸く整ひ一般の民衆亦著し  
 じます。

閣下として一般に選舉制を採る等  
 一次改正を加へられたのであり  
 まして、道制を除くの外は何れ  
 も来る四月一日から施行せらる  
 のであります。この改正は將  
 來必ず一級市面を開き地方行  
 政の革新を圖すものと深く信じ  
 て疑はないのであります。總て  
 近き將來に於て各位と新しい制  
 度の下に道政を議する新道廳應  
 行の早からむことを祈る次第で  
 あります。  
 尙ほ私は昨年の道廳議會に於き  
 ましては着任後日尚淺く、爲に  
 諸般の準備もおくれ勝ちであり  
 まして各位の眞の御満足を得る  
 ことを得なかつたのであります  
 が本年は其間の御約束に依りま  
 して本年に於て御無儀を願ひま  
 する、昭和六年度地方費豫算案  
 を概り速かに調査することに力  
 を致し會期前に御手許にお届致  
 しまして豫め御査査を得たい  
 と考へまして本月十六日頃には  
 御送付を申し上げたのでありま  
 す、此の點は特に御手紙をお願  
 ひ致し度いと思へる次第であり  
 ます。

現本道に於きまする一般行政は  
 何れも順調に進捗致しまして地  
 方費に屬する各般の事業も幸  
 にして官民協力一致し努力と  
 誠に成りまして、道勢の進運  
 著しいものが御座います、産  
 業方面におきましても私が本道  
 着任以來銳意力を注ぎました  
 對獎勵におきましても各位の御  
 協力に依りまして産額増進に九  
 萬七千石餘全額一の數量を示し  
 其價格は二百萬圓を突破致しま  
 した又、絹作に於きましても生  
 産千七百萬斤販賣五百七十餘  
 斤其價格四十三萬圓であります  
 て旱雪の後を受け而も穀價騰落  
 に悩む民諸氏の經濟を害した  
 事すくなくと信じ洵に御同  
 感に堪へないと考へる次第であ  
 ります、然し乍ら産業の發達敏  
 育の振興その他全般に亘りまし  
 て施設設備充を要するものが數  
 くないのでありますのが故に今  
 後益々善治の改善進展に努力し  
 以て各位の御期待に副りたいと  
 考へてゐるのであります。

入蔵出算に就きましては特  
細心の注意を而して一大切  
を以て編成した次第であり  
既に各位置承知の通り政府  
異的財界不況に善處する爲  
き中央地方の財政整理を急  
いに公私經濟を緊縮し  
經濟的難局の打開に努めつ  
るのであります。蓋し緊縮は  
日伸張の進歩に外ならない  
ありまして道地方費に於きま  
ても此政府の政策に順應する  
針を採りましたことは申すま  
もないことであります。

に於いては二百八十八萬圓を以て道  
内の一、二、三、等道路並に橋  
梁その他工作物の改良工事を實  
施せしむるものでありまして治  
水に在りては本道兄山港の直轄  
河川の大改修を行ふべく百八十  
六萬圓を授じ又四十六萬五千  
圓に十八萬九千圓を以てそ  
れ々々橋梁工事を實施し砂防に  
於ては二百六十八萬圓を以て本道並  
に有林並に之に介在する私有林  
荒蕪敷甚なる椶野三千餘町歩に  
對し砂防工事をなさむとするも  
のであります

之が財源として總工費の  
平均六割は國庫より補助を仰ぎ  
一部は地方費一割財政より給出  
して之は振向くる外地元金撥  
充資金として少額を見込み殘  
額は地方費に於て低利の起債を  
なさむとするものであります即  
ち總地方費の起債額は百八十九  
萬七千圓の計畫であります右  
は五ヶ年間の元金を抵當き爾後十  
五ヶ年の半減元利均等償還を  
なす應高十ヶ年の償還額は十  
八萬餘圓に過ぎないのであります

して地方稅並に收入の自然増加  
の一部と事業完了に基く増徴の  
振向けによりまして將來地方費  
財政に累を及ぼすことなく又無  
理な節減を要せず相續新設事業  
の財源を確保して充分償還經理  
し得る見込であります

而して此の事業たるや道民多年  
の要望し來りたる所でありまし  
て今同窮民救済と併せ行ひ得ま  
すことの出来ましたのは各位  
と共に深く喜びとする所であり  
ます

従つて昭和六年度豫算總額は實  
に五百九十六萬四千四百五十五圓の  
多額に上り前年度に比しまして  
二百五十二萬八千五百七十七圓を増  
加致しました六ヶ年地方稅  
に於きましては努めて道民の資  
源輕微を計りまして車輛稅は稅  
率の一部を低減し更に投外收入  
に關するもの、中細民負擔に關  
する徴査手数料は之を半減し  
た次第であります

一方歳出に於きましては各費目  
に亘り極力節減を期せたるは勿  
論從來の年續に鑑み日本道の實  
情に

際を照して意圖を要せざるもの  
は之を制除し從來施設の擴充を  
必要と認むるものに對しては更  
に其の所要經費を計上し救済事  
業は道治の大局より勘案しまし  
て眞に緊要を認むを得ざるもの、  
今豫算に計上しました事業の重  
なるものを申しますれば土木費  
に於きましては前述の窮民救済  
に基く道路の改良兄山江の改修  
甘浦、九龍浦、江口三港の擴築  
工事本年度施行分として百九十  
七萬六千圓を新に計上した  
動費に於ては本道產業の實際  
に即しまして一層獎勵施設の擴  
充徹底を期すると共に大いに訓  
業を振興し一而消費の節減を強  
調して貯蓄心の涵養に力むべく  
夫々豫算に計上した次第であり  
まして就中田中作物の改良増殖  
費、糧食の獎勵自給肥料の増産  
並に漁業の獎勵、沿岸漁業  
の改善振興方面に對しましては  
一段の考慮を拂つてゐるのであ  
ります

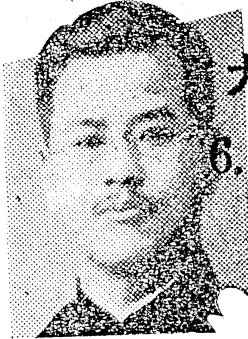
右に外窮民救済事業として六十八萬七千圓の本年度分

砂防工事を新に計上致しまし  
た、又教育費に在りては一歳一  
校計畫の遂行を期すると共に、  
普通學校卒業生指導に意を用ひ  
、社會事業費に於ても大いに民  
心の興起發奮を促し月曜の標榜  
を演説して荒蕪敷の獎勵を高  
調する計畫であります

衛生費に於きましては本道多年  
の懸案であります所の醫院講  
習の一部の建築費を計上するに  
共に内容の充實設備の完壁を期  
すべく豫算に計上したのであり  
ます、その之が詳細は内務部長  
をして説明させます

又右地方費豫算案の外各位の御  
審議並に御意見を願ひます、案件  
は別添目錄記載の通りでありま  
して説明の足らざる所は夫々御  
質問に應じて主務部長其他の參  
與より答辯致させたいと思ひ  
ます、何卒當局の意のある所々  
諸君下さしまして御審議の  
上審問案に御賛同ありむことと  
切望して已まぬ次第であります

# 大 2. 2 道評議會に於て 伊達内務部長演述 (一)



第十二回本道評議會の開會に當りまして一言御挨拶申し上げます。私は去一月十二日本道内務部長を拜命致しました伊達で御座います。今後各位御援助の下に本道の爲微力を盡したいと存する次第であります。今回着任匆匆、道評議會に列し道内の事情に最も精通せらるる各位から道政に對する御高見を拜聴し得るの機會を得ましたことは私の心から歡びとする所であり、また何卒道治の圓満なる發展の爲に宜しく御援助あらんことを切に御願ひする次第であります。

まず、投て昭和六年度本道地方費豫算編成の方針につきましては、只今知事閣下より御演述になりました通りで御座います。私は其の御方針の下に編成された豫算の内容の梗概に付御説明申し上げて御審議の御參考に供したいと思ふのであります。

**説明の便宜上** 歳出を先とし豫算費目の順に従ひ申し上げることに致しますが、之が編成の内容に就きましては終始政府の緊縮方針に順應致しまして、極力節減を加へ、又一部豫算を削除して窮民救済の事業に振向くる等出来る丈豫算の膨脹を避けたのであります。これ共本道多年の懸案であります所の醫學講習所の建築並に窮民救済に基く各種事業其他道治の大局より勘案しまして緊急已むを得ざるもの

に對しまして夫々所要額を計上致しました結果歳出經常部に於ては相當減じましたが臨時部に於きましては著しい増加を示したのであります。即ち

**經常部第一款 土木費**に於ては別途窮民救済に基く大事業を計畫致しました爲め極度に緊縮節減を加へまして該費目に振向くることに致しました。爲六萬八千七百八十五圓を減ずるに至りました。只本費目中修路工夫に於て二名を増員致しましたことは近次改修道路の延長に伴ひまして一人當りの區域が八里餘に及び甚だ過重となつてゐるのであります。幾分にも之が緩和策を講じたいと考へたからであります。

**第二款勸業費**に於きましては四千四百六十九圓を増加致したのであります。右は既往の實績と經驗とに因りまして大いに施設の擴充を期し事業の改善を促さんとするものであります。即ち田圃苗費にありては本年特に田

作物優良品種の育成試験に力を注ぎまして本道田作物の改良増殖に資せむとし土地改良費に於きましては

### 本道の地勢に

てらし小

地畝の灌漑改善を助勢して之が促進を計畫致した次第であります又従來の樹苗圃費を道林業試験費に改稱致しましたのは近

次本道林業發達の趨勢に鑑みまして當業者に直接必要なる養苗造林及び林産物利用増殖其他林業害虫驅除豫防等の調査試験を實施すべく事業内容の改善を期せむとするに因るものであります又模範林費におきましては新殖面積において約百二十五町歩成林撫育面積において約二百五十町歩を増加する豫定でありまして穀物検査所費にありては本年新たに榮州に支所を又慶州郡安康に出張検査所各一ヶ所を新設しまして米豆検査事務の圓滑を圖らんとするものであります

### 蠶業取締所費

に在りま

しは道内養蠶の急激なる發達に伴ひ蠶種検査も従つて増加する次第でありまして現在人員では手不足を來す恐れもありますから本年新たに検査員助手の給料額を増延人員を増加計上し商品陳列所に於きましては同所陳列品の内容の充實を期すると共に一層本道物産の販路擴張に努力せんとするものであります又水産試験場費に於きましては漁撈の試験並漁具類の利用調査試験に一段の努力を注ぎ大邱測候所費に在りましては航空路の經過地たる關係上常に上層氣流の觀測を必要と致しますので之が所要額を計上する等夫々考慮を拂つた次第であります更に

### 勤業諸費に在り

まし

て従來臨時部中農業者諸費として技師一名と之に伴ふ經費を別に計上してゐました處のものを本費目中に組入れました外新に國庫の補助を得て産業技手四名を増員しまして大いて田作物の改良増殖に努力せしむる豫定であります

# 道評議會に於て

邱 24 伊達内務部長演述 (二)

## 第二款授産費

に於きましては近時本道養蠶業の著しい發達に鑑み一層獎勵の擴充を計畫しまして茲に技手二名を増員し更に産業獎勵貸付金を新設して二萬五千圓を計上したのであります。之れは從來産業獎勵に基く各種補助金中其の事業の性質に鑑みまして寧ろ貸付金經理の下に獎勵するを適當と認めましたものを茲に組替へた次第であります。其れが爲め授産費に於て二萬七千二百二十五圓の増加を來しました。

## 第四款教育費

に於ては各中等學校制度改正に伴ふ實科教育施設の方面に考慮を拂ひました。外獎學資金特別會計繰入金金を倍加計上したのであります。右は昭和四年本道旱害に基く地方費歳入激減に依り繰入るゝ事を得ず其のまゝとなつてゐたのであります。今回併せ計上したものであります。更に教員講習

會に於きまして學力補充を目的とする普通學校三種試験合格者の講習會は豫定の計畫を完了しましたので本年は之れを削除しまして職業科教育講習會のみを開催する豫定でありまして結局教育費は二百六十六圓の増さなつたのであります。

## 第五款衛生費

に於きましては同費目中衛生試験所費從來の實績に鑑み衛生技手一名を減じ金沢、大邱、安東の各醫院においても病院収入の減に依り緊縮節減を加へたものであります。すが醫學講習所費は特に内容の充實を圖るべく専任講師等の増員及實習費等を増加致しました。これ共々衛生費では結局一萬七千八百八十圓の減となつたのであります。

第六款社會救済費に於きましては事業内容の改善を圖り特に備荒貯蓄の普及發達に努力する。外勤農共濟組合の指導を濃厚に

する爲め相當經費を見込計上致したが他の費目を減じました。爲結局豫算額は三千十三圓を減じました。

## 第七款評議會費

に於きましては二百五十圓を減じました。右は前年調製した道地方費例規の印刷費を本年削除したに因るのであります。

第八款財産費に在りては特に地方費財産整理の必要を認めまして新に技術雇員一名と之に伴ふ經費を計上しました。結果八百七十二圓を増

## 第九款地方費

取扱ひ費に於て前年鑑札改訂に基く調製費を相當計上してゐましたが本年は之を減じました。爲め第九款は千八百九十六圓の減となつたのであります。

第十款雜支出に於きまして二千二百七十七圓を増ましたのは從來社會事業費中に計上した宣傳諸費の一部を本科目に組替へた。外恩給其の他に多少の増加を見込んだ爲であります。第十一款豫備費は前年同様五圓を計上致しました。以上の事由に依りまして本年度

歳出經常部算額は百四十七萬三千三百五十四圓となり前年度より五萬六千八百八十三圓の減となつた次第でありまして是れ各費目に互り整理節減を加へた結果に外ならないのであります現て臨時部第一款土木費に於きましては後段窮民救済事業に振向くる爲め極力節減に努め特に必要已むを得ざるもののみを計上したのでありますして二十一萬九千八百三十三圓の減となつた次第であります只該費中に土木費貸付金として九萬一千圓を新規計上致しましたのは金泉慶州水道工事 費財源に致しまして地方費之を起償して貸付せんとするものでありますて兄山江改修に伴ふ地元公共團體負擔金も之と同様の方法を講ずる見込を以て併せ計上したのであります

## 第二款勸業費

にはありましては八千五百三十五圓を減じたのであります即ち土地改良基本調査費に於ては年次計畫の遂行を期し敷物調査費には益徳支所の新築を計上し蠶業取締所費に於きましては夏明水道の

備水に備ゆる爲「タンク」を設備するもので砂防監視費にありては砂防面積の増加に依り巡視一名の増員を見込み道林業試験場費に於きましては事務所等の新築を計上し大町測候所費には現在表門並適當の通路がありま

## 第三款授産費

にはありますしては千八百七圓を減じたのであります右は原蠶種製造所建物並に設備の完成に對する補足的ものを計上したに因るのであります

## 第四款教育費

にはありますしては大町農林學校の校舍外壁の修築、商業學校の教室修理と學校教練に依る設備の充實並に女子高等普通學校の休養室建築等何れも急應を要するものと認め夫々所要額を計上致しました爲教育費に於いて二千八百六十三圓を増加したのであります第五款衛生費に於きましては大町醫院の排水溝築造の要あり

るを認め計上しましたのと本年の懸案であります所の醫學講習所建築の一部と内容の充實を期する爲夫々豫算に計上致しました爲めに七萬九千四百四十五圓の増加となりました次に第六款財産造成費に於きましては前年度同額を計上致したのであります

## 第七款補助費

にはありますしては八百二十三圓の増加となり前年度と大差ないやうに見えますが其内容に於きましては相當改修刷新を加へたのであります即ち土木費補助に就きましては既定計畫に基づきます所の大町市街道路下水改修補助を増額し又尙州側溝改修補助を見込みました外各町等外道路申交通及地方經濟線として緊急改修を要するものに夫々補助を計上し又河川費補助に就きましては相模川を拂ひ更に金泉慶州の上水道工事費に對しても財源の許す範囲内に於て計上したのでありますして五萬五千五百圓を増したのであります



慶尚北道

邱道評議會に於て

大 2. 伊達内務部長演述 (三)

又勸業費補助に於きましては大いに施設の改善備充を企圖致しましたもので重なるものを申上ますれば即ち田作物に對する從來の方針を改めて新に國庫の補助を得て本年度より向ふ十二ヶ年に亘り優良品種の普及増産を期すべく年々六十九ヶ所に指導圖を設け一般農家に其の範を實地に示すと共に他に普及せんとするもので計畫完成の上は現在に比し大豆は二割麥粟は五、六割以上の増収を期待し得るので

あります又新に農業倉庫補助を計上しましたのは米價 對策に資せむとするものであつて豫期の効果を擧ぐべく努力致して居るのであります次に本道棉作に有ましては昨年林知事の方針に基き獎勵計畫を更新し集注的獎勵の徹底を期した結果大いに面目を一新し販賣價格は昭和四年度實績の三倍に上り農家經濟を緩和せる處甚大であります本年度更に一層の收穫を期すべく施設の擴充を

産は其の貯蔵量に於て常に第一位でありますが之も概假年第五年度に於て大いに獎勵に努めました結果著しく發達し産額九萬七千餘石價格二百萬圓を越ゆるの盛況を示しましたのであります本年度に於きまして更に一段の努力を拂ひまして十二萬石に達すべく努力せんとするものであります、次に土地改良 事業費補助は六萬九千四百圓を減じましたが右は前年度豫算中國庫補助に依る旱害救済事業の繰越が大部分計上されてゐた爲であります純地方費としましては反つて増加してゐるのであります殊に本道の地勢に照し小地區の灌漑改善助勢

に在りては特に教化事業としての見地から新に溜池の浚渫費補助三千圓を計上しました尙畜産の施設に就きましては年次計畫に基きまして畜牛の改良増殖に力を注ぎ林業費補助は其の一部を窮民救済事業に振向け水産補助も一部貸付金に組替ゆる等夫々改善を期し結局

勸業 費補助に於ては六萬

六千二百二十五圓を減じたのであります又授産者補助に於て千三百五十圓を減じましたのは所謂貸付金へ組替へたものがありまた結果で教育費補助は普通學校一面一校計畫に基き増加し本年度新に十六校を新設する見込であります衛生費補助に於ては本年新に金泉の隔離病舎安東の火葬場補助を計上し社會事業費

指導

農村の中堅青年を養成すべく又備荒貯蓄組合に於て五年度に六十五組合を設置したのでありますして之が事業助成をなし更に本年度増置を行ふものであります又普通學校卒業生を擁ひ且新たに特別指導圖を設置して濃厚なる指導を加へ之が治績の擧揚に因つて他面に其範を示さんとする計畫で何れも相當額を計上した次第であります又航路補助に於きましては浦項裏日本間航路の外本年度新たに鬱陵島裏日本間の航路を實現せんとするものであります同島産業開發上必要と認め計上した次であります以上の理由に依り補助費總額百四十六萬九千九百二十六圓に上りました



# 慶尚北道

## 邱道許議會に於て

### 大 2. 伊達内務部長演述 (五)

福して之を<sup>6</sup>還<sup>6</sup>法は何れも起  
 債の年より五分年間の元金を照置  
 き爾後十五年の半々年賦元利均  
 等償還の計畫であります國庫よ  
 り償還に補助するべき金額を  
 除きたる純地方債費還に屬しま  
 す所の起債償還額につき申述公  
 れば据置期間中は平均年五分三  
 厘の利子を交拂ひ据置期間を過  
 ぎますと三年間漸次減額致し  
 まして昭和十三年度より昭和二  
 十五年度迄十二年間が毎年十  
 八萬四千九百十四圓宛を要する

のであります毎年十八萬圓の資  
 金は決して少なりと申すことは  
 出来ませぬがその財源につきま  
 しては將來の財政に累を及ぼさ  
 ない即ち無理な  
 拾出を致さないと云ふ點

に一人の考慮を致したのであり  
 ます斯も大廳醫藥講習所建設費  
 並に大廳市街道路修補助は昭  
 和七年度を以て土地改良基金本  
 費及大廳醫院建設費の對価償還  
 昭和九年度を以て各々完了致し  
 まするのでその財源を振り替へ

まする外<sup>7</sup>に<sup>7</sup>募<sup>7</sup>土木事業に即  
 方費に於て起債に依らずして資  
 源を<sup>8</sup>致<sup>8</sup>したる三十一萬五千圓  
 の内の一部と地方税の自然増加  
 額の一部を充當すれば足るので  
 あります

將來の建設事業の財源の  
 確保につきましても相當意を用  
 ひて居る次第であります之れ  
 を以て地方債は極めて安全に用  
 意分<sup>9</sup>に<sup>9</sup>得<sup>9</sup>るのであります

同事業の内容について概略を申  
 しますれば道路改良工事は道内  
 一、二、三等道路延長千七百五  
 十二裡餘中未改修に屬する百五  
 十四裡(計三十九里)の改修と  
 共に既設改修道路の各種構造  
 良を要するものを應けするもの

であり砂防工事は現在の面積有林  
 並に之に外<sup>10</sup>に<sup>10</sup>在<sup>10</sup>する私有林にして  
 荒廢<sup>11</sup>激甚なる林野三千二  
 百四十七町歩を地方費直營の下  
 に砂防を實施するものでありま  
 して收<sup>12</sup>分<sup>12</sup>收<sup>12</sup>の方法を採らんと  
 するものであります、兄山江改  
 工事と同江中直轄河川に屬する  
 部分の一大改修であります、港  
 灣は何れも無礙を目的としたも  
 のであります、然して本年度に  
 は第十一號に於て治水堤防費七  
 千五百圓を各めまして百九十八  
 萬三千五百圓の十二號に於て六  
 十八萬七千圓を上致しました  
 以上に基づき歲出歳入を算し  
 算は四百四十九萬六千九百九十一圓  
 に上り歳入歳出と合せ實に五  
 百九十六萬四千四百五十五圓となつ

た矣誠であります

# 慶尚北道

## 邱道評議會に於て

伊達内務部長演述 (六)

次に歳入に於きましては時節納増税等は一切之を見合せましたばかりでなく進んで細民の負擔輕減に努めたのでありまして即ち經常部第一款地方税に在りましては税額に於て前年度に比し一萬三千三十圓を減じたのでありまして地稅、附加稅、所得稅、附加稅及家屋稅に多少の自然增收を見達しましたが

特別市場稅、屠宰稅及屠宰稅、漁業稅並に不動産取得稅は深刻なる財界不況に基く物價低落の影響を考慮しまして相當の減收を豫想し又車輦稅に於きましては比較的擔稅力薄弱なりと認むる荷馬車、牛車、荷車、自動車に對し進んで一、二割程度の減稅を行ふべく計劃致した次第であります

第二款臨時恩賜金受入に於いて七十三圓を増加致しましたのは公債の一部を社債に變更致しました結果其の利子の差金を算出したのに因るものであります

第三款の財産收入に於きましては本年度二萬圓を減じたのでありまして右は地方費に於いて所有してゐました所の共榮自動車、株券返還に因る配當金減の結果であります

第四款雜收入に就きましては特に收入の確實を期する爲め各項目に對り

既往 三ヶ年の實收額を基礎として計上したのであります

が内収検査手數料につきましては時節納細民負擔の低減を圖る必要を認めまして一枚一錢の手數料を五厘に減額致しました然しながら道外に提出せらるゝ収は年々増加の傾向にありますので茲に検査費用の一部を負担せしむる意味合ひから他道の振替も考慮しまして極く少額の手數料を徴收することに致したのであります右の外醫院收入に於て相當多額の減收を見達しましたけれども米豆検査手數料其他に於て夫々多少の增收を豫想しました結果雜收入に於きまして五千八百四十圓の増となつたのであります

以上歳入經常部豫算總額は二百七十八萬七千一百十三圓となり前年度に比しまして二萬七千七百七圓の減となるのであります、歳入臨時部第一款繰越金に於きましては五年度地方費豫算歳入出共順調なる經理を進めて居りますので前年度の如く事業に伴ふ繰越金は

皆無 の豫定であります

一般經費に於て相當節減しつつありますのは茲に繰越確實と認むる額を計上する次第でありますして前年度に比し七萬五千五百六十圓の減となつたのであります

# 慶北評議會

第一日(二月一日) 2.23

(大邱) 未曾有の形大なる大世帯を立てた慶北道では愈々二十一日午後一時三十分から道廳會議室において道評議會を開會された開會に先だつてさきに問題となつてゐた通譯設置の件に就て武尾種藏氏

から意見の開陳あつたが結局後日に譲ることになり次で伊達内務部長登壇して道評議會の開會の挨拶を述べ續いて林知事の道評議會に對する演述あり終つて第一日の日程に入り午後四時第一日の議事を終り散會した、なほ林知事は同夜午後六時から道評議會及新聞關係者を聚亭清之家に招待盛大なる懇談會を催した

平安北道

# 平北評議會

第一日 (二十一日) 6. 2. 23

(新義州) 第十一回平北道評議會  
は昨報の如く二十一日午前十時五  
十分開會定員三十名、員出席先づ  
抽籤に依り席次を決定一同着席へ  
き、爾後一時四十分に至りて川知事  
の道治の大綱に關する演述(別紙  
所載)あり終つて議長より會議錄  
署名者を左の如く

横江重助(新義州) 李昌燮(宣  
川) 孫應龍(江界)  
三氏を指名の上二十一日は議案概  
究のため休會二十三日は日程通り  
開會  
諮問第一號昭和六年度地方費及  
同特別會計歳入歳出豫算中歳出  
經常部第一款土木費  
を上程審議に入る旨を宣し午後一  
時十五分散會したが會議第三日目

以降の日程左の如し

- 第三日一月二十三日(月)  
諮問第一號審議(第一讀會)
- 第四日二月二十四日(火)  
諮問第一號審議(第一讀會)
- 第五日二月二十五日(水)  
諮問第一號審議(第一讀會)
- 第六日二月二十六日(木)  
諮問第一號審議(第二讀會)
- 第七日二月二十七日(金)

咸鏡南道

咸南評議會

第一日(二十一日) 6. 2. 23

(咸興) 咸鏡南道第十一回道評議會は二十一日午前十時半より道廳臨時會議室において開水知事統裁のもとに開會されたが二名缺席の外二十三名出席先づ備置器に依つて各議員の席次を決定し次いで參與員の任命報告及會議錄署各議員二名の指令終つて午前十一時十分知事の演述に移りなほ引つづき甘肅内務部長の内容説明あり次に

洪原郡金基協氏より關係書類は少くも一週間以前に各議員手許に届く様詮議ありたしと要求しなほ崔漢植氏より本日午後及明後日と休會し諮問審議事項の考究豫備を與へられたしと要求し結局二十一日午後及二十二日の日曜を休會し二十三日(月曜)より審議に入る旨決定して午後一時過ぎ第一日を終つた

# 黃海評議會に於て

## 道知事新演説(一)

茲に本道第十一回道評議會を開催致しまして客年新たに道評議會員たるの榮譽を擔はれたる各位と初めて一堂に相會し道行政に關する各種案件に就き忌憚なき各位の御意見を敬聴致しますると共に所望の一端を披瀝することを得まするのは私の最も光榮とし且欣びとする所であります

昨秋十月一日施行せられました國勢調査は朝鮮としては曾て試練を経ざる大事業でありまして其の成績の良否に就きましては大いに憂慮致しましたのでありますが本道においては何等の支障なきのみならず頗る良好なる結果を以て終了しましたことは洵に御同慶に堪へない所でありまして之を余く各位が陰に陽に御援助の勞を惜まれなかつた賜であることを深く信じ銘謝して居る次第であります  
一昨年の秋、藤澤總督が再度朝鮮

に來任せられ、方に驗を授けて民意の暢達に方り驗を授けたのは各位の記憶に未だ新しむるものがあると思ひますが此の宣明を具體化せられたのが過般發布せられた地方制度の改正であります改正の内容は既に各位が御承知のやうに道、府、邑面、學校費、學校組合の各般に亘りまして自治制の本旨に則り根本的に改正せられたのであります之は我が行政史上に特筆大書すべき劃期的の英斷でありまして必ずや將來地方自治に一大新生面を開き共々地方開發の實期に俟つべきものがあると思ふのであります然し乍らたとひ法に美文玉條を羅列致しまして其の活用は全く人にあるのでありますから地方に在るものは官と云はず民と云はず克く此の改正の意を體し自治本來の理想に邁進せねばならぬと思ふのであります

地方における先覺者であらるる各位は此の一轉機に際し民衆をして自治の本義を咀嚼せしむると共に之が訓練と指導に努められむことを切に希望して止まないのであります

猶て今回各位に諮問致しまして御審議を煩はしまする案件は昭和六年度本道地方費繰入歳出豫算外十件でありまして提示致しまする案件は昭和四年度本道地方費一般會計歳入歳出決算外七件であります各位は慎重に審議を進められまして當局の意の存する所を察知せられ公明且正大に道治の進歩發達に寄與せられむことを希望する次第であります

諮問致しまする案件に就ては夫々各參與員より充分御説明申上ぐる筈でありますがその内昭和六年度地方費一般會計の豫算編成方針に就てその大要の説明を試み以て御審議の便に供したいと思ふのであります各位も既に御承知の如く現政府は疊に金輸出禁止を解除し近く倫敦會議の結果軍縮條約を締結致しまして一方公私經濟の緊縮を圖ると共に國民の負擔輕減を策したのであります地方費におきましてはこの國策に順應し人件事務費の膨脹を避くると共に極度の節約を加へ進むで道民の負擔を輕減し生業扶助に依る救済の實を挙げむことをその方針としたのであります數年來全世界を通じて強

襲しましたる財界の暴風は依然として其の威力衰へないのみならず昭和五年度におきましては一層深刻に暴威を振ひ數十年來の豐年は穀價暴落の驚異に際會し豐作の凶年と云ふ珍時象に遭遇して二重の脅威を體驗したのであります當局は直に本府と協商を遂げまして在來倉庫の借上並資金融通の途を開いて穀物投資の輕舉を戒しめたのであります然し之は只急場

局的の施設を必要とするのであります即ち此の難局に直面したる道當局としましては一面細民の負擔と目すべき車輛税の一部を減額すると共に爾後三箇年總額事業として四百七十八萬圓の巨額を投じて土木事業を起し之が勞銀撒布に依り窮民の救済を計畫したのであります事業の内容は道路改良、河川改修、港湾修築等汎に亘るものであります之に依り土木行政に對する本道年來の希望の大半を満たすと共に窮民に生業を興へ勤勞に依る生活の安定を得せしめますならば一舉兩得の快があると思ふのであります然しながら窮民救済の施設は切實緊急の事業ではありまするが當局が爲さむと慾する全部では素よりないのであります故に是等救済事業の財源は其の大部分を國庫補助及道債に需むることとしまして前述節約に依る財資は

之を産業、教育、衛生、社會事業等緊急差し置き難き新規事業に振り向けたやうな次第であります以上の方針に基き編成しました本年度の豫算額は三百八十七萬圓でありまして前年度に比し百六十萬圓の激増を示して居ります是等は公債及國庫補助その他特殊財源に依るものであります却つて純地方費の歳計としては却つて多少の減額をしたのであります



東海評議會に於て

新道知事の演述(二)

東海評議會に於て

の募集に來さむとする是等初等學校  
 の卒業生に對しとして勸學精神の  
 鼓吹を經てし思想清淨を純とする  
 社會教育機關の新設を企及したので  
 あります。又師範學校は本年三月  
 を以て廢校の運命に在ります。が初  
 る迄には尙前途遙遠なるものがあ  
 るのであります。客年發布せられ  
 ました登録規程に依り其の目的達  
 成に孜々努めて居ります。が何分  
 にも貧困者を相手と致します。關  
 係上治療費の輕減を圖るの必要を  
 認め且事業遂行の困難を期する趣  
 旨の下に本年度より道地方費の事  
 業として藥品の供給を爲すと共に  
 道公醫の増員を斷行したのであり  
 ます。又道庁沙里院醫院の建築は  
 豫定の通算の工全くなり今や沙里  
 院市街の一角に俯瞰を呈して居る  
 のであります。が年度開始と共に開  
 院すべく目下準備を怠りなく進め  
 て居るやうな次第であります。尙  
 本院の設備は本道警察機關の充實  
 と並進の上にて一光を添へたもの  
 でありまして海に御對面に堪へ

三等道路の改良、餘備港の修  
 西江の改修並海州邑を事業主

第三に土木方面におきましては年  
 々の經費費の事業を續行しまゐる  
 前述べの如く新川牧養事業として

以上は昭和六年年度豫算の内聊か新  
 味を如くした主要項目に對する總め  
 て概括的の説明に過ぎませぬが各  
 位は殘算その他の諸案件に就き  
 ましては御意なき御意見を吐露さ  
 られまして慎重に御審議あらむに  
 とを望みに翼望して止まない次第で  
 あります。(完)

是等初等學校  
 の卒業生に對しとして勸學精神の  
 鼓吹を經てし思想清淨を純とする  
 社會教育機關の新設を企及したので  
 あります。又師範學校は本年三月  
 を以て廢校の運命に在ります。が初  
 る迄には尙前途遙遠なるものがあ  
 るのであります。客年發布せられ  
 ました登録規程に依り其の目的達  
 成に孜々努めて居ります。が何分  
 にも貧困者を相手と致します。關  
 係上治療費の輕減を圖るの必要を  
 認め且事業遂行の困難を期する趣  
 旨の下に本年度より道地方費の事  
 業として藥品の供給を爲すと共に  
 道公醫の増員を斷行したのであり  
 ます。又道庁沙里院醫院の建築は  
 豫定の通算の工全くなり今や沙里  
 院市街の一角に俯瞰を呈して居る  
 のであります。が年度開始と共に開  
 院すべく目下準備を怠りなく進め  
 て居るやうな次第であります。尙  
 本院の設備は本道警察機關の充實  
 と並進の上にて一光を添へたもの  
 でありまして海に御對面に堪へ

第三に土木方面におきましては年  
 々の經費費の事業を續行しまゐる  
 前述べの如く新川牧養事業として

以上は昭和六年年度豫算の内聊か新  
 味を如くした主要項目に對する總め  
 て概括的の説明に過ぎませぬが各  
 位は殘算その他の諸案件に就き  
 ましては御意なき御意見を吐露さ  
 られまして慎重に御審議あらむに  
 とを望みに翼望して止まない次第で  
 あります。(完)

是等初等學校  
 の卒業生に對しとして勸學精神の  
 鼓吹を經てし思想清淨を純とする  
 社會教育機關の新設を企及したので  
 あります。又師範學校は本年三月  
 を以て廢校の運命に在ります。が初  
 る迄には尙前途遙遠なるものがあ  
 るのであります。客年發布せられ  
 ました登録規程に依り其の目的達  
 成に孜々努めて居ります。が何分  
 にも貧困者を相手と致します。關  
 係上治療費の輕減を圖るの必要を  
 認め且事業遂行の困難を期する趣  
 旨の下に本年度より道地方費の事  
 業として藥品の供給を爲すと共に  
 道公醫の増員を斷行したのであり  
 ます。又道庁沙里院醫院の建築は  
 豫定の通算の工全くなり今や沙里  
 院市街の一角に俯瞰を呈して居る  
 のであります。が年度開始と共に開  
 院すべく目下準備を怠りなく進め  
 て居るやうな次第であります。尙  
 本院の設備は本道警察機關の充實  
 と並進の上にて一光を添へたもの  
 でありまして海に御對面に堪へ

第三に土木方面におきましては年  
 々の經費費の事業を續行しまゐる  
 前述べの如く新川牧養事業として

以上は昭和六年年度豫算の内聊か新  
 味を如くした主要項目に對する總め  
 て概括的の説明に過ぎませぬが各  
 位は殘算その他の諸案件に就き  
 ましては御意なき御意見を吐露さ  
 られまして慎重に御審議あらむに  
 とを望みに翼望して止まない次第で  
 あります。(完)

是等初等學校  
 の卒業生に對しとして勸學精神の  
 鼓吹を經てし思想清淨を純とする  
 社會教育機關の新設を企及したので  
 あります。又師範學校は本年三月  
 を以て廢校の運命に在ります。が初  
 る迄には尙前途遙遠なるものがあ  
 るのであります。客年發布せられ  
 ました登録規程に依り其の目的達  
 成に孜々努めて居ります。が何分  
 にも貧困者を相手と致します。關  
 係上治療費の輕減を圖るの必要を  
 認め且事業遂行の困難を期する趣  
 旨の下に本年度より道地方費の事  
 業として藥品の供給を爲すと共に  
 道公醫の増員を斷行したのであり  
 ます。又道庁沙里院醫院の建築は  
 豫定の通算の工全くなり今や沙里  
 院市街の一角に俯瞰を呈して居る  
 のであります。が年度開始と共に開  
 院すべく目下準備を怠りなく進め  
 て居るやうな次第であります。尙  
 本院の設備は本道警察機關の充實  
 と並進の上にて一光を添へたもの  
 でありまして海に御對面に堪へ

第三に土木方面におきましては年  
 々の經費費の事業を續行しまゐる  
 前述べの如く新川牧養事業として

以上は昭和六年年度豫算の内聊か新  
 味を如くした主要項目に對する總め  
 て概括的の説明に過ぎませぬが各  
 位は殘算その他の諸案件に就き  
 ましては御意なき御意見を吐露さ  
 られまして慎重に御審議あらむに  
 とを望みに翼望して止まない次第で  
 あります。(完)

是等初等學校  
 の卒業生に對しとして勸學精神の  
 鼓吹を經てし思想清淨を純とする  
 社會教育機關の新設を企及したので  
 あります。又師範學校は本年三月  
 を以て廢校の運命に在ります。が初  
 る迄には尙前途遙遠なるものがあ  
 るのであります。客年發布せられ  
 ました登録規程に依り其の目的達  
 成に孜々努めて居ります。が何分  
 にも貧困者を相手と致します。關  
 係上治療費の輕減を圖るの必要を  
 認め且事業遂行の困難を期する趣  
 旨の下に本年度より道地方費の事  
 業として藥品の供給を爲すと共に  
 道公醫の増員を斷行したのであり  
 ます。又道庁沙里院醫院の建築は  
 豫定の通算の工全くなり今や沙里  
 院市街の一角に俯瞰を呈して居る  
 のであります。が年度開始と共に開  
 院すべく目下準備を怠りなく進め  
 て居るやうな次第であります。尙  
 本院の設備は本道警察機關の充實  
 と並進の上にて一光を添へたもの  
 でありまして海に御對面に堪へ

第三に土木方面におきましては年  
 々の經費費の事業を續行しまゐる  
 前述べの如く新川牧養事業として

以上は昭和六年年度豫算の内聊か新  
 味を如くした主要項目に對する總め  
 て概括的の説明に過ぎませぬが各  
 位は殘算その他の諸案件に就き  
 ましては御意なき御意見を吐露さ  
 られまして慎重に御審議あらむに  
 とを望みに翼望して止まない次第で  
 あります。(完)

是等初等學校  
 の卒業生に對しとして勸學精神の  
 鼓吹を經てし思想清淨を純とする  
 社會教育機關の新設を企及したので  
 あります。又師範學校は本年三月  
 を以て廢校の運命に在ります。が初  
 る迄には尙前途遙遠なるものがあ  
 るのであります。客年發布せられ  
 ました登録規程に依り其の目的達  
 成に孜々努めて居ります。が何分  
 にも貧困者を相手と致します。關  
 係上治療費の輕減を圖るの必要を  
 認め且事業遂行の困難を期する趣  
 旨の下に本年度より道地方費の事  
 業として藥品の供給を爲すと共に  
 道公醫の増員を斷行したのであり  
 ます。又道庁沙里院醫院の建築は  
 豫定の通算の工全くなり今や沙里  
 院市街の一角に俯瞰を呈して居る  
 のであります。が年度開始と共に開  
 院すべく目下準備を怠りなく進め  
 て居るやうな次第であります。尙  
 本院の設備は本道警察機關の充實  
 と並進の上にて一光を添へたもの  
 でありまして海に御對面に堪へ

第三に土木方面におきましては年  
 々の經費費の事業を續行しまゐる  
 前述べの如く新川牧養事業として

以上は昭和六年年度豫算の内聊か新  
 味を如くした主要項目に對する總め  
 て概括的の説明に過ぎませぬが各  
 位は殘算その他の諸案件に就き  
 ましては御意なき御意見を吐露さ  
 られまして慎重に御審議あらむに  
 とを望みに翼望して止まない次第で  
 あります。(完)

是等初等學校  
 の卒業生に對しとして勸學精神の  
 鼓吹を經てし思想清淨を純とする  
 社會教育機關の新設を企及したので  
 あります。又師範學校は本年三月  
 を以て廢校の運命に在ります。が初  
 る迄には尙前途遙遠なるものがあ  
 るのであります。客年發布せられ  
 ました登録規程に依り其の目的達  
 成に孜々努めて居ります。が何分  
 にも貧困者を相手と致します。關  
 係上治療費の輕減を圖るの必要を  
 認め且事業遂行の困難を期する趣  
 旨の下に本年度より道地方費の事  
 業として藥品の供給を爲すと共に  
 道公醫の増員を斷行したのであり  
 ます。又道庁沙里院醫院の建築は  
 豫定の通算の工全くなり今や沙里  
 院市街の一角に俯瞰を呈して居る  
 のであります。が年度開始と共に開  
 院すべく目下準備を怠りなく進め  
 て居るやうな次第であります。尙  
 本院の設備は本道警察機關の充實  
 と並進の上にて一光を添へたもの  
 でありまして海に御對面に堪へ

第三に土木方面におきましては年  
 々の經費費の事業を續行しまゐる  
 前述べの如く新川牧養事業として

以上は昭和六年年度豫算の内聊か新  
 味を如くした主要項目に對する總め  
 て概括的の説明に過ぎませぬが各  
 位は殘算その他の諸案件に就き  
 ましては御意なき御意見を吐露さ  
 られまして慎重に御審議あらむに  
 とを望みに翼望して止まない次第で  
 あります。(完)

是等初等學校  
 の卒業生に對しとして勸學精神の  
 鼓吹を經てし思想清淨を純とする  
 社會教育機關の新設を企及したので

忠清北道

# 忠北評議會

第一日 二月二十一日

新 6. 2. 24

(前) 忠北第十一回通常會議  
會は二月廿一日午前十時四十分より第一會議室において開催す洪知事は議長席につき演述を終つて書記の報告を宣し續いて出席議員の報告す議員十八名中出席議員十七名缺席一名議長は議長は抽籤に依りたき旨を語り抽籤の結果を報告し議員の席定まるや議事録署名を議長の名とし十四番宮本政藏十七番李明求氏を指名す續いて參與員の報告あり議長は從來の會議規則の改正を期するの必要を多量の意見出でたるも結局議長一致にて可決議長は之れにて休憩を宣す午前十一時三十分午後一時三十分より再會議議長は諮問案一號附議に先たつて參與員松澤内務部長をして道地方費豫算の説明を命ず松澤内務部長は之れが説明に當り

那稿の如く長時間にわたりて議長は二十二日は休日にも當りなほ豫算案議案として休會を宣す午後二時三十分附會因みに昭和

六年度地方費歳入歳出豫算左の如し

▲歳入	▲歳出
一金九十四萬五千五百五十圓經常部	一金五十九萬七千三百五十一圓經常計
一金五十三萬八千九百九十圓臨時部	一金八十八萬五千九百八十九圓臨時部
計百四十八萬三千三百四十圓	計百四十八萬三千三百四十圓
▲繰出	▲繰入
計百四十八萬三千三百四十圓	計百四十八萬三千三百四十圓
▲繰入	▲繰出
計百四十八萬三千三百四十圓	計百四十八萬三千三百四十圓
▲繰出	▲繰入
計百四十八萬三千三百四十圓	計百四十八萬三千三百四十圓

差引殘なし

道知事の御用

本邦より本道第十一回通常通請願を除く各地に於て土木産業その他諸般の施設經營に多大の災害を蒙りましたばかりでなく數多の死傷者並に悲慘なる罹災民を出したるのを顧みる機會を得ましたことは不官の最も欣幸とする所でありまして茲に各年所に御託任になりました重誼會員各位と初めて會同し遺憾を陳ずる機會を得ましたこととは不官の最も欣幸とする所でありまして茲に各年所に御託任になりました重誼會員各位と初めて會同し遺憾を陳ずる機會を得ましたこととは

本邦より本道第十一回通常通請願を除く各地に於て土木産業その他諸般の施設經營に多大の災害を蒙りましたばかりでなく數多の死傷者並に悲慘なる罹災民を出したるのを顧みる機會を得ましたこととは不官の最も欣幸とする所でありまして茲に各年所に御託任されました重誼會員各位と初めて會同し遺憾を陳ずる機會を得ましたこととは

本邦より本道第十一回通常通請願を除く各地に於て土木産業その他諸般の施設經營に多大の災害を蒙りましたばかりでなく數多の死傷者並に悲慘なる罹災民を出したるのを顧みる機會を得ましたこととは不官の最も欣幸とする所でありまして茲に各年所に御託任されました重誼會員各位と初めて會同し遺憾を陳ずる機會を得ましたこととは

[illegible]

## 忠北評議會に於て

## 道知事の新演述

以上の外本道の窮民救済事業と致しましては清州面にて實施する無心川の改修工事があるものでありまして之は昭和六年度及同七年度二箇年の繼續事業として實施し之が工費の一部に對し地方費より補助を致しますと共に此の補助額を控除した殘額の約七割五分に相當する額に付きましては地方費に於て公債を發行し更に清州面に貸付するの方法を講じたのであります蓋し大藏省預金部資金運用規則に依りますと地方費は之が資金の融通を受け得るのであります但し面は之が融通を受け得られないので斯かる變則な方法を講じたのであります

惟ふに現下財政の緊縮を要する時期に當りまして窮民救済事業として前述の如き事業を敢て企畫致しましたとは一に財界不況に因る窮民に對し生活の資を得せしむるを目的とするのでありますから其の目的遂行を誤らず有意義に勞銀を撒布し窮民を救済して其の更生を圖るに努むるは論を待たない所でありまして一面亦本評議會は本道としては勿論全鮮的に見ても未嘗有の大計劃でありまして窮民を救済すると共に之等土木事業及治山治水事業に一新生面を開くべきものであります故に事業完成後に於ける効果を積へて目的の達成に最善の努力を拂ひたいと念願致す次第であります

第二は農村經濟の安定に資する爲の農業施設 改善と擴張でありますト從來と雖も必ずしも米作の改良獎勵にのみ偏したる譯ではなく田作に對しても相當改良を實施し來つたのであります但し時局の推移に伴ひ本施設を改善し特に中小農家の食糧を充實し生活を安定せしめ併せて貿易の改善を圖るの要切なるものあるに鑑みまして本府の方針に基き昭和六年以降十二ヶ年計畫を樹立し新に主要食糧作物たる麥類および大豆作の改良を實施することとし國庫補助を見込みまして相當の經費を増額致したのであります

畜業の奨励に關しましては既定計にありまするが故に農業技術員補助を相増致しますと共に畜産の補助に伴ひ之が奨励を普及に一頓挫を來すの虞なしといふを得ない状態

# 忠北評議會に於て 道知事の演説

爲し以て後事業の進捗に算入なきを期する意趣であります  
第三は教育及社會教化方面に就てであります先年本府において證明せられまし方針に基きまして本府の師範學校は應々昭和五年度限り迄以て廢校となる次第でありまするが各年開校いたしました忠州の計畫であります尙備道の振興を圖るは輕微停草にして道徳の廢棄せる今日に處するの最適宜なる方策でありまするが故に新規に明倫會に補助を請ひ道内の明倫會に補助的振興の方策を授くるの機會を作らんとするものであります  
第四は衛生方面の施設であります道立清州醫院は漸次其の内容が充實設備せられ其の收入も道民の信頼により漸次着實に増進し來り今更にして本年度更に豫定計畫實施に要する補助金を計上致しました公立普通學校卒業生の指導に關しましては前年度においてその實費計畫を擧てまして相當經費を計上し者々實行して參つた次第でありまするが現在公立普通學校を卒業して無爲徒食してゐる者が少くない現況であるのに鑑みまして之れに興業畜産の志業を樹立し進んで地方開發の中堅たらしむることは現下の情勢において最も急務であると思考致しましたことに因るものであります本事業におきましても前年度に引續き之が指導致意を圖らんが爲に相當經費を計上致しました間近時における思想界の現狀に鑑みまして農村青年をして勤務に算入することとを異議致して止まない

好愛の精神を樹立せしめ以て健なる國民思想の養成を圖ることは普通學校卒業生指導と相俟つて緊要なることであると思考致しまして農村青年團の助成に努むる爲めに相當經費を計上致し社會教化廳に相當經費を計上致し衛生面を劃さんとする設において衛生面を劃さんとする計畫であります尙備道の振興を圖るは輕微停草にして道徳の廢棄せる今日に處するの最適宜なる方策でありまするが故に新規に明倫會に補助を請ひ道内の明倫會に補助的振興の方策を授くるの機會を作らんとするものであります  
第四は衛生方面の施設であります道立清州醫院は漸次其の内容が充實設備せられ其の收入も道民の信頼により漸次着實に増進し來り今更にして本年度更に豫定計畫實施に要する補助金を計上致しました公立普通學校卒業生の指導に關しましては前年度においてその實費計畫を擧てまして相當經費を計上し者々實行して參つた次第でありまするが現在公立普通學校を卒業して無爲徒食してゐる者が少くない現況であるのに鑑みまして之れに興業畜産の志業を樹立し進んで地方開發の中堅たらしむることは現下の情勢において最も急務であると思考致しましたことに因るものであります本事業におきましても前年度に引續き之が指導致意を圖らんが爲に相當經費を計上致しました間近時における思想界の現狀に鑑みまして農村青年をして勤務に算入することとを異議致して止まない



# 忠北道議會

日 24

第十一回忠北道普通道評議會は二十一日から開會された開會に先立ち河村地方課長より會議時間の節約上議場の用語につき國語の場合には通譯を廢止し、不十分の人には希望によりその人に通譯を付することを議場にはかり滿場の賛成ありついで洪知事は別項の如き演述をなし次は書記通譯堀氏の報告をなし飯野書記より出缺議員の報告をなし議員議席は前例により抽籤によりなほ會議録署名員は宮本李明求議員を議長より指名選定し參與員の任命を終り次に議長より會議規則改正草案を上程しその改正の理由を説明し一時休憩を宣し休憩中河村地方課長は更に該改正案は近き將來において道制の施行されんとするをおもんばかり現規則改正の要を認めて起案したものである改正案中現規則には一三三の各議會が明文あるに關はらずやゝもすれば混同されてゐる弊があるやうであるが改正案はかかる弊を改めて一層劃然たらしめんとしたものであるなほその内容につき知事の敷衍説明あり議長は裁決を起立に問ひ滿場異議なく可決したかくて各議員に諮問案を配布し正午休憩、午後一時半再開六年度地方算案につき松澤内務部長の説明あり二時半閉會した（清州）

## 洪知事演述

### 大要

第十一回忠北道普通道評議會における洪知事演述の大要は左の如し（清州）  
客歲府廳總督閣下の五斷に依り地方制度の上に劃期的の大改革が斷行せられ道制を除くの外は

愈よ来る四月一日から實施せらるゝことになりま（京）と共（道制）の實施せらるゝと取て道に非ざる可く察せられまして地方自治向上のため誠に御同慶に堪へぬ次第であります願ひまするに昭和五年は朝鮮各地におきまして未曾有の風水害がありまして本道においても二三郡を除く各地に於て土木産業その他諸種の施設經營に多大の災害を蒙りましてはばかりでなく數多の死傷者並に悲惨なる罹災民を出したのであります當時長くも事天聽に達し本道罹災民に對し御下賜金の御沙汰を拜しましたことは天恩鴻大なるに恐懼感激に堪へない所でありまして又道におきましては地方費豫算を追加更正致しまして市慰給、治療金並に小屋構費等を給與し尙道外からの同情と一面道民の隣保相助等に依りまして罹災民の當面の急を救ふことを得たのであります次に道路橋梁等の破損に付きましては國庫補助を受けると共に地方費よりも能ふ限りの財源を捻出致しまして修理に萬全の力を盡しました結果兎に角交通の回復を圖り得た次第であります

◇現て今回各位の審議を願はん致します案件は昭和六年度地方費歳入歳出豫算外十二件であります其の中昭和六年度道地方費豫算の大綱に就て申述べたいと存じます各位の既に御承知の通中央政府におきましては多年の懸案たる金解禁を斷行すると共にこれに適應する爲に中央及地方の財政を整理し公私經濟の徹底的の緊縮を圖り學國一致難局の打開に努め依つて以て國民經濟の基礎を安固ならしむるに努めて居る際でありますので本道地方費におきましても前年度以來此の國策に順應して參つたのであります昭和六年度豫算の編成に付きましても依然極力緊縮方針を採つたのであります即ち歳入におきまして新税を起し或は税率を引上げて道民の負擔を増加する等のことはこれを避けると共に經濟界の久しきに亘る不況殊に農作物の驟削的價格の崩落等に依りまして下層民の

疲弊困憊はその極に達してゐます故にその負擔を輕減するの緊要なるを思考致しまして細民の負擔に關する所の車輛税中の自轉車、荷積車、牛馬車に對する税率を夫々低減し又臥生座檢査手数料も一部は全廢し一部は低減することに致したのであります而して歳出におきましては近時の物價低落に徴しまして物件費の低減を企圖するのみならず人件費等も特殊事情のものを除くのはかは一切その増加を抑制したのであります

然しながら現下の情勢に照しまして窮民救濟事業及産業交通、教育衛生その他地方開發の上將又道民の福利増進の上に眞に緊急避くべからざるものに付きましてはこれを忽にすることを許しませんので或は冗費の節約等に依つて生ずる餘剩額を以て或はその他特殊財源の考案等に依りまする外新に起債をしたのであります斯くして昭和六年度地方費豫算の總計は百四十八萬三千三百四十圓でありますこれを前年度に比較すれば二十六萬五千四百九十五圓の増加を見たのでありますその中新規事業と比較的の重要と認むる事項を挙げますと先づ第一に窮民救濟事業であります本窮民救濟事業は土木工事及砂防工事の兩方面に施行する計畫でありまして土木工事におきましては昭和六年度以降三ヶ年の繼續事業として工費四十萬圓を投じて道内における一、二、三等道路及橋梁の改良工事を施行するの外昭和六年度に於て工費二萬九千九百圓を以て後醍川の河川改修工事を施工するの計畫であります

◇砂防工事におきましても同じく三箇年繼續事業として工費三十三萬圓を投じて之を實施致します計畫であります而して本年度の支出額は道路橋梁改良費十三萬六千圓河川改修費二萬九千九百圓砂防工事費十一萬圓であります之等の財源の一部は公債借入金に依る計畫でありますが尙叙上の各種工事費に對しまして

修繕は五割補助工事費は八割の  
國庫補助があるのであります

◇以上の外本道の窮民救済事業と  
致しましては清洲面において實  
施する無心川の改修工事がある  
のでありましてこれは昭和六年  
度及同七年二箇年の繼續事業  
として實施しこれが工事費の一  
部に對し地方費より補助をいた  
しますと共にこの補助額を控除  
した残額の約七割五分に相當す  
る額に付きましては地方費にお  
いて公債を發行し更に清洲面に  
貸付する方法を講じたのであ  
ります蓋し大蔵省預金部資金運  
用規則によりますと地方費は、  
それが資金の融通を受け得るので  
あります面はこれが融通を受け  
得られないので斯る變則な方  
法を講じたのであります

◇惟ふに現下財政の緊縮を要する  
時期に當りまして窮民救済事業  
として前述の如き事業を致て企  
畫致しましたことは一に財界不  
況による窮民に對し生活の資を  
得せしむるを目的とするのであ  
りますからその目的遂行を誤ら  
ず有意義に勞銀を撒布し窮民を  
救済してその更生を圖るに努む  
べきは論を俟たない所でありま  
すが一面亦本計畫は本道として  
は勿論全體的に見ましても未曾  
有の大計畫でありまして窮民及  
救済すると共に之ら土木事業及  
治山治水に一新生面を開くべき  
ものであります故に事業完  
成後における効果を藉へて目的  
の達成に最善の努力を拂ひたい  
と念願いたす次第であります

◇第二は農村經濟の安定に資する  
ための農業施設の改善と擴張で  
あります從來と雖も必ずしも米  
作の改良獎勵にのみ偏したる譯  
ではなく田作に對しても相當改  
良を實施し來つたのであります  
が時局の推移に伴ひ本施設を改  
善し特に中小農家の食糧を充實  
し生活を安定せしめ併せて貿易  
の改善を圖るの要切なるものあ  
るに鑑みまして本府の方針に基  
き昭和六年以降十二ヶ年計畫を  
樹立し新に主要食糧田作物たる  
麥類及大豆作の改良を實施する  
こととし國庫補助を見込みまし  
て相當の經費を増額致したので  
あります

◇農業の墾闢に關しましては既定  
計畫に基き豫定以上の進捗を見  
てゐるのであります近來鹵價

の暴落に伴ひ之が墾闢と墾民に  
頗る來するの虞なしと謂ふを得  
ない状況にありまざるが故に墾  
業技術員補助を相當増額致しま  
すと共に桑園の肥培管理の徹  
底を圖るの一方途として豊實を  
して桑園品評會を開催せしめ  
これに對し新規に補助を爲し以て  
該事業の進捗に遺算なきを期す  
る學悟であります

◇第三は教育及社會教化方向に就  
てであります先年本府において  
聲明せられたる方針に基きま  
して本道の師範學校は愈々昭和  
五年度限りを以て廢校となる次  
第でありますが客年開校致し  
ました忠州公立農業學校は本年  
度は更に一學年を増加すること  
になりますのでこれに要する  
經常經費及各種の設備費とを相  
當増額計上致した次第でありま  
す又更に本府の方針に順應して  
企圖實行して參りました本道に  
於ける公立普通通學増設計畫は  
經濟界の不振の折柄にも拘らず  
豫定の進捗を見て居りますこと  
とは同様に堪へない所でありま  
して本年度更に豫定計畫實施に  
要する補助金を計上致しました  
公立普通通學學校卒業生の指導に關  
しましては前年度に於てその實  
施計畫を樹てまして相當經費を  
計上し着々實行して參つた次第  
であります現在公立普通通學校  
を卒業して無爲徒食してゐる者  
が少くない現況であるのに鑑み  
まして之れに興業遺産の志操を  
涵養し進んで地方開發の中堅た  
らしむることは現下の情勢に於  
て最も急務であると思考致しま  
したことに因るものでありまし  
て本事業におきましても前年度  
に引續きこれが指導教養を圖ら  
んがために相當經費を計上致し  
ました

◇第四は衛生方面の施設でありま  
す道立清洲醫院は漸次その内容  
が充實改善せられその収入も道  
民の信頼により漸次著實に増額  
し來り今や眞の意味の近民の醫  
療機關たるに至つたのでありま  
す衛生方面の新施設と致しまし  
ては道公署の新設療養院中養著  
の治療共同井戸の獎勵に伴ふ水  
質の試験及衛生模範部落の補助  
等相當計畫を樹て以て衛生の完  
備を期したのであります以上は  
昭和六年度豫算の大綱でありま  
して之が詳細に關しましては參  
與員をして説明致させます



## 忠清北道知事

## 演述要旨

二十一日より本道第十一回通常道評議會を開會致します、茲に客年新に御就任になりました道評議員各位と初めて會同し道政を議する機会を得ましたことは本官の最も欣幸とする所であります(中略)今回の會議は各位の任期に於ける最初の會議でありますので何卒隔意なき御意見を開陳せられると共に時運の進展と道政の現状とに鑑み將又道民の福利増進を企圖する意味

## 道評議會に於ける演述

に於きまして當局の意を説き、られ慎重審議の上御協賛あらむことを冀望致して止まないのであります

## 忠清北道内務部長演說要旨

(上略)私は本奉赴任致しましたばかりで本道の情勢を詳に承知しないのであります、が知事閣下の方針に則り皆様の御援助に依りまして則らかな気分の下に明るい行政に強く終始一貫し度いと存するのであります。

扱て昭和六年度の豫算編成の方

## 全羅北道知事

## 演述要旨

第十二回道評議會を開會いたしました昨春總改選に依り御就任相成りました各位と初めて一堂に相會し道治に關する重要案件を御諮り致し所見の一端を述べると共に親しく各位の御意見を承るの機会を得ましたことは私の深く欣幸とするところであります、顧みますれば昭和五年は一般財界の不況に因り本道主要物

## 全羅北道内務部長

## 演述要旨

加へ聖恩の萬一を報ひ奉らんことを期したいと存する次第であります(下略)

第十二回道評議會に於ける松下内務部長說明概要

(上略)昭和六年度地方費豫算の編成、針に就きましては只今知事閣下述べられました通り政府の方針に順應して財政の整理緊縮を念と致したのであります、が然し直接道民の福利増進の爲には進んで新施設を爲し又は既設事業擴張を圖つたのであります、只如何せむ本道に於きましては昭和三年以來年々引續き旱水害を蒙り其瘡痍未だ癒えざるのときであります、財政に餘裕をもちませぬ關係上新規又は擴張

に要する財源も本府の企劃に基き起債に依るものゝ外は勢い既設事業の整理緊縮に依つて捻するの外なく又一面時局に鑑みまして歳入に於ける地方税並に手数料の一部に付て細民負擔の輕減を考慮致しました關係上豫算編成上彼是按梅に腐心した次第であります、從つて各地方希望の施設全部を満すことの出来ませぬのは甚だ遺憾とする次第であります、

豫算の内容に付て申し上げますれば歳入は經常部百三十萬九百四十一圓臨時部二百五十一萬三千三百八十一圓總計三百八十四萬四千三百三十二圓前年度に比し經常部八萬一千七百九十四圓臨時部百二十三萬四千七百七十八圓總計百三十一萬六千五百七十二圓の増を示して居ります

(下略)

# 開會前通譯廢止決定

第十一回忠北道評議會開か

報 6. 2. 24

昭和六年度地方費算を審議する  
第十一回忠北道評議會は二十一日午前十時半、飯野錦十、八名の評議員、中官選の國電祿（清州）氏、府議の外全部入場、各長各參與員入場開會に先立ち河村地方課長自席に立つて

## 河村地方課長

今評議會には審議事項も多く且つ時間の節約を計るため内地語の場合には通譯を廢止し朝鮮語は通譯したい内地語の良く分らない議員には專屬の通譯を附するからと諮る、この時

## 鄭錫溶氏（永川）

内地語の通譯はなくとも朝鮮語で意見を述べてもいいか

## 河村地方課長

差支へない通譯廢止問題は一、二の議員の意見も出たが之で一段落、十時四十分、河村知事議長席につき開會を宣し、別項の如く演述あり

## 議長

議員に入る旨を宣し日課に入り參與員をして書記並に通譯の囑託發表をなさしむれば飯野道廳立つて天野直三郎氏外六名の書記及び金氏外二名の通譯を發表する、終つて飯野書記より出席席議員の氏名報告あり、議席決定に入

り前例に依り抽籤に依り決定することとなり抽籤が終つて飯野書記より議席決定を報告、各議員所定の席に着く

## 議長

會議錄署名員の選定は前例に依り議長の指名に依つては如何

と諮れば各議員賛成し宮本政藏李味求祿氏を指名する、ついで飯野書記より斷報の通り金參與員、松澤内務部長外十六名の參與員の發表が終つて

## 議長

會議規則に不備な點があるから改正したい、從來本會議にかけて決定した關係上今こゝに諮ることにする

## 飯野書記

改正會議規則を各議員に配布した後之を朗讀する、それが終るや

## 議長

暫時休憩すると宣し降壇時に十一時半、休憩中河村地方課長立つて改正規則の說明をする、この時

## 宮本政藏氏

舊議員は前規則が分るから内容が分るが新議員は分らないから詳細説明して貰ひたい

と希望し安東正氏之に賛し河村課長逐條的に説明する、終つて河村

事も會議規則の沿革から補足的に説明あり宮本政藏、原口一二、安東正、宇都宮善市、李世永、河村課長との間に質問應答あり、斯くて十二時三十一分再會、議長席に着いて

議長 改正會議規則案は第一讀會、第二讀會を省略して決定したい

議長 異議なきものと認める御賛成の方は御起立を願ひたい

一同起立してこゝに改正會議規則は同館一致で可決さる

議長 之か、諸開案の審議に入る

と宣し書記より諸開案を各議員に配付あり再び休憩、時に十二時二十五分、午後一時三十分再開

第一號諸開案、昭和六年度道地方費歳入歳出豫算を參與員から説明あり

議長 來年度地方費豫算案を上程し松澤内務部長自席に立つて別項の如く豫算案の説明をする

議長 明日は議員各位の議案審査上休憩し、明後日(二十三日)午前十時から開會する、第一讀會に於ける御質問があつたら開會前までに豫め御通告が願ひ

### 諸問事項

第十一回忠清道評議會諸問事項は左の如し【清州】

- 一、昭和六年度地方費歳入歳出豫算
- 二、昭和六年度地方費兒童奨學資金特別會計歳入歳出豫算
- 三、忠清北道地方税賦課規則改正の件
- 四、忠清北道不動産取得税賦課規則改正の件
- 五、米穀、大豆及叭検査手数料徴収規則改正の件
- 六、一、二、三等道路橋梁改良費繼續費設定の件
- 七、砂防事業費繼續費設定の件
- 八、一、二、三等道路橋梁改良費起債の件
- 九、砂防事業費起債の件
- 十、校岬川局部改修工事費起債の件
- 十一、清州面無心局部改修工事費貸付金起債の件
- 十二、道地方費の豫算外義務負擔の件
- 十三、昭和五年度地方費兒童奨學資金特別會計歳入歳出追加豫算

# 平北道議會

日 2. 24

## 石川知事演 述大要

平北道第十二回道評議會は廿一日午前十時五十分から道評議會室において開會出席評議員定員卅名全部、先づ石川知事開會を宣し抽籤によつて評議員の席次決定次いで約一時間半に亘つて道治に關する演述をなしたる後議事録署名者に横江軍助氏、李昌鈞氏、孫應龍氏の三名を指名終つて諮問案の審議のため同日午後と翌廿二日（日曜日）を休會することとして午後一時廿分閉會した、なほ今年の諮問案および豫算は次の通りである

- 諮問第一號 昭和六年度地方費同特別會計收入歳出豫算
- 同第二號 昭和五年度地方費歳入歳出追加豫算
- 同第三號 絹布検査手数料徴收規程改正昭和六年四月一日より施行の件
- 同第四號 不動産取得賦課規則改正昭和六年四月一日より施行の件
- 同第五號 地方税賦課規則改正昭和六年より施行の件
- 同第六號 地方税徴收規則改正昭和六年四月一日より施行の件
- 同第七號 地方費諸收入徴收規則改正昭和六年四月一日より施行の件
- 同第八號 地方費豫算外義務負擔の件
- 同第九號 地方費起債の件
- 同第十號 自昭和六年度至同八年度地方費土木費繼續年額及支出方法決定の件
- 同第十一號 自昭和六年度至昭和八年度地方費勸業費繼續年額及支出方法決定の件
- 昭和六年度平北道地方費歳入歳出豫算

歳入 金百三十三萬四千七百五十六圓經常部金百七十三萬五千三百六十九圓臨時部合計金三百四萬百二十五圓（内臨時恩賜金受入金六萬三千六百八十五圓）

歳出 金百七十四萬四千四百一十一圓經常部金百九十六萬五千七百一十四圓合計金三百四萬百二十五圓（内臨時恩賜金事業費六萬三千六百八十五圓）

道治に關する石川知事演述の大要は左の如し（新義州）

○昨年は朝鮮地方制度改正の發布を見まして適々道制に關する施行並に其細則は尙假すに時日を俟つに致しましてその他は何れも四月一日より實施するの機運に到り今や遂に近き地方自治を認められ臨時機を盡すべき時に際會し一層本會の意義深きを感ずる次第であります今各位の審議を煩はしまする案件は昭和六年度道地方費歳入歳出豫算外十件でありまして又此の機會に提議致しまする事項は昭和五年度平北道地方費歳入歳出追加豫算外一件であります是等は何れも本道々治の根幹を爲すものでありますから豫ねて各位の深き御諒解と強き御協力に候べきものと存じまするが故に只今より案件の説明に兼ねて道治の大綱に觸れたいと思ふのであります

○諮問案件の内昭和六年度道地方費歳入歳出豫算は歳入出とも三百四萬百廿五圓でありまして前年度に比し實に九十七萬八千三百七十八圓の増加を示してゐるのでありますこれは依然として緊縮節約の方針の許に編成せられましたにも拘り起債に依る約九十一萬圓の増加と起債事業に伴ふ約四萬三千圓の臨時的收入の増加に由るものであります今や經濟界の不況と農村の疲弊とは重大なる難局に遭遇致しまして就中穀價の低落による窮民増加は捨て難き状況にありましますの總督府の方針に従ひ道路、河川、砂防、水道、都市計畫等直接民衆の利福を増進すべき事業の促進を期し一面是等窮民を救済する爲起債事業の計畫を樹立せんと致したのであります

京 6.

歳入中の重要なものは地方税の約九十二萬圓でありまして初次税制の改善を圖り本年度も千八百餘圓の自然増を目論見、從來の輿論をも參酌し荷馬車、荷牛車に對しては一圓の低減を斷行し反面貨物自動車、自動車、自動車、人力車に對してはそれれ、課率を引上げたのであります維收入二十九萬三千五百一十七圓中の主なるものは使用料、手数料でありますが是れ又差したる影響を見ず大體において自然的増収を見まして總計一萬八千餘圓の増を計上致したものでありますその他臨時恩賜金受入、財産收入等も大なる變化を見ません、臨時部に於きましては總督府の内課による國庫補助の減はありましたが事業繰越による繰越金の増加、特別事業に對する土木費寄附の増並に雜收入の外前年度繰上りました窮民救済事業に關聯致しまして本年新規計上致しました河川負擔金收入土木費、貸付金受入、公債等によりまして此の數額に達したものであります

○歳出に就きましては經常部百七十四萬四千四百一十一圓、臨時部百九十六萬五千七百一十四圓でありまして是れを前年度豫算に比し經常部に於て二萬六千六百九十七圓の減及臨時部に於て百五萬七千五百圓の増加であります、詳細は豫算増減説明書にも申述べてありますが、この内土木に關するものは經常部、臨時部を通じ百十六萬一千百一十二圓であります由來本道の交通狀況を通過致しまするに鐵道を基幹と致して主要地を連絡する道路網は一、二三等道路を併せ八百八十里で内現在迄に改修を了したのは五割四分の四百七十一里に達し之を併合前は申すまでもなく近く十年前の狀態に比較致しまして其の延長に於て又其の利用の狀況に於て實に隔世の感があり且つ他道に比較致しても何等遜色はないのであります、御承知の通り本道はその面積に、其の人



口の分存に、將又其の國境たる位置的に與へられたる實務と惡まれざる辛苦とがありまして恒に各位の後援による民人の犠牲を俟ちつゝも尙四百九里の未改修路線を有するのであります又河川につきましては防水に護岸に更に其の活用施設の完壁を期すべきもの尠からぬのであります

◇其他主要郡邑における市街整理水道設備等道民の福利を増進すべき土木施設は相當に多いのであります只今前年度に比し七十七萬七千餘圓の増加を見ましても何等不思議はないのでありますのみならず前にも申しました様にこの増額は主として總督府の方針に順應いたしまして六年度以降實施せんといたしまする救済事業の新規計畫に依りますもので土木費全般に涉りましては極力整理壓縮を期し不急の事業を差控へまして全力を之に傾倒せんとするの方針であります而して第一は道路の修築改良であります六年度以降三ヶ年間に二百一萬圓を支出し二、三等道路十七條百十五里の改修と橋梁約八十餘ヶ所の改良を實行し以て總督府直轄百三十餘里の治道計畫の進捗と相俟つて本道各路線の大部分を完成せんとするもので以上の財源をいたしまして地方費は總額の二割即ち四十二萬圓を三ヶ年間に充てし残りの八割百六十八萬圓は國庫の補助に依るものであります第二は大連江下流の江落防止設備で六年度以降三ヶ年繼續費として約四十萬圓を投じ甚しい部分に對する施設を計畫いたしたのであります其の八割即ち三十二萬圓は國庫補助に依り一割の四萬圓は工事依り利益を享受する公共團體に負擔させ残りの一割四萬圓を道地方費より三ヶ年間支出致しまして遂行するのであります第三は中江鎮の防水施設で一ヶ年間の繼續事業として七萬圓を投じ國庫より工費の五割に相當する三萬六千圓の補助を受け又地元にて一萬圓を

負擔しまする豫定でありますから地方費が支出致しまするのは二年間に二萬五千圓となる譯であります第四は公共團體に土木事業資金の貸付で第一は新義州府の下水道擴張及道路築造費の一部二十一萬四千七百圓の貸付で新義州府に於ける右事業費總計は三十一萬六千圓であります之に對し國費より十一萬八千圓の補助があり地方費よりも三ヶ年間毎年一萬圓宛の補助を興へまして完成せしめんとするものであります第二は大連江治水事業の爲に受益公共團體の負擔金四萬圓の貸付であります右金額を地方費にて低利で起債をなし之を更に新義州其の他の公共團體に貸付せんとするもので將來是等公共團體の財政を緩和すること大なるものと信ずるのであります此の外弱民救済事業と致しては治水治山上最も重要な砂防工事をも計畫せられてをるのであります

◇次に諸産業の施設に對する經費と致しましては經濟部臨時部を合し六十六萬七千餘圓であります農作物の改良増殖を圖る爲肥料の増施を必要とするは今更申述する迄もないのであります從來本道農業の狀態に鑑みまして一般各郡には堆肥の改良増殖を、鐵道沿線地帯及中部地方の土地改良事業の完成せる地方には金肥を又比較的堆肥給源に乏しき地方には綠肥を獎勵しつつあるのであります本年は更に一層の徹底を期する爲堆肥指導員對の施設を充實し又肥料講習會を開催せしむる等の外特に全郡に涉り綠肥「ヘヤリーベツチ」の普及計畫を樹立し之が耕種方式の改善と相俟ち劃期的農作物の改良増殖と農業經濟の圓滑なる發達を圖らんとして之亦指導技術員を設置する他肥料獎勵費補助に於て八千八百二十一圓を増加計上した次第であります

◇農業に就きましては當局の努力と當業者の理解とにより掃立枚數に著しき増加を來し昨年の如き產額四萬六千餘石に達し前年に比し五千六百餘石の増加を示したのでありますが糸價は實

に明治二十九年以來の慘落を來し當業者の打撃も思ひ半に過ぎるものがあるのであります併しなが朝鮮の農家現狀に顧み副業として是れ程適當なるものはなく現在の如き不況時に處すには一層此の感深ふるのであります故に從來の施設に加へまして新に秋蠶專用桑園設置の爲桑苗費補助二千二百五十圓を計上し又稚蠶共同飼育所の設置を計畫せしめ是れに對する補助金一千圓を計上し以て產繭の増加、品質の向上、飼育技術の發達及生産費の低減により斯業の發達を期せんとするものであります畜産業に就きましては本道の主要產物として產毛と共にその首位を占むる畜牛の増殖に最も力を盡しつつあるのであります從來より施設致しました保護牛制度に依る種牡牛の充實並に更新狀況は極めて良好でありますが更に畜牛の分布、交通の狀態に鑑みまして種牡牛配置の適正を期し本施設の徹底を期したのであります

◇林業は各種産業開發の根柢の事業でありますこれが改善指導に付ては始政以來總督府の施政方針に順應し本道においても幾多林業獎勵の施設に依り年と共に山野の相貌著まり斯業發達の跡著しきものあるを見るのであります

就中本道未立木地十七萬餘町歩の造林に付ましては大正十四年度以降造林補助事業の開始と共に道民の自覺に依りまして非常なる勢を以て發達増加致し昭和二年度の人工造林植栽本數八百廿萬本に對し昭和五年は一千七百萬本即ち一躍二倍強の増加を示したのであります奥地林野は沿線地帯と異り肥沃せる林地に富み造林事業上最も有望堅實なるが故に將來大いに奥地造林に意を致したいと考へまして今回新に三千六百餘圓を計上し江界郡に地方費樹苗圃分苗圃を新設し需給の圓滑を圖ると共に造林事業の進展を促し併せて植栽後の成績の向上を期したいと思ふのであります次に本道模範林は大正四年定州郡に約卅三町歩を設置しましたのを嚆矢とし

日産瀨州、明州、奉川の各管内に合計一萬五千餘町歩を設け、經營致して居ります。今同新に八千四百圓を計上致しまして、管下等邊郡に於て約四百町歩を經營することとしたのであります。次に水産業は逐年發達を遂げ、今や總生産高四百三十萬圓に達し之を大正元年の二萬三千圓に比すれば實に長足の進歩を來して居り、又各種の指導機關も漸次整備の機運に向ひ若々改善せられつゝあります。ことは誠に欣快に堪へない所であります。

◇商工に就きましては、本道工業中工場生産品を除き一般的に生産せらるゝ主なるものは鐵物類であります。其額は約二百萬圓に達して居ります。けれども其多くは設備や技術が極めて幼稚でありまして、内地品や工場製品に比べますれば遠く及ばないのであります。然しながら之に對し地方の副業に適合したる施設を加ふことは極めて必要の事柄であります。ですから道に於ては前年に引續き先づ瀨邊、照川等從來比較的進歩せる地方に施設を加へ漸を遂ふてこれを他に及ぼすべき方針の下に産業組合又は機業組合の助成、講習會の開催等を行ひつゝある次第であります。以上の外或は廢物機械査査の著しき増加に伴ひ検査の正確を期する爲の増員と充實に要する經費を計上し、或は火田民の整理に着手し、或は一般農業經營の指導及農事關係團體の指導監督を行ふ爲の職員を増置、或は穀價の調節、農産物の販賣條件の改善、農村金融の緩和を圖る等の爲農業倉庫を設置する等、苟も道民の幸福の爲にはあらゆる考究を盡しまして緊急必要なる事項の全般に涉り遺憾なきを期した次第であります。

◇各測候所本年度の經費は三萬三千餘圓で、内一萬九千餘圓は元龍岩浦測候所が航空事業の發達に伴ひ航空機關、氣象通報等の關係もありその建物も危険なる爲め本年一月一日國際航空路區域たる新義州に移轉せられましたので一部國庫の補助を受け、是れが新築等を計畫し右に要する經費を新に計上致したのであります。

◇教育に關しまする本年度總經費は七十五萬七千四百餘圓でありまして、逐年生徒並に児童の増加

と教育の普及と共に、及び其發展の顯著なるものを認め得るのであります。就中本年度中等學校に就き特に施設を加へましたのは、本道畜産の現状に鑑み、その技術者の養成は最も必要にして又鮮地における新種學校の嚆矢を爲すものとして、新に義州公立農業學校に畜産科を設置し、一學級の増加を計畫し、差當り校舍は昭和五年限り廢校となるべき道立師範學校々舎跡を利用する事と致したのであります。

右に要する經費、經費完成年度に於て約八千圓を要しますが、本年度に於ては一學級増加に伴ふ所要經費六千六百餘圓を計上致した次第であります。又前年度龍岩浦公立水産學校に實習船を建造し生徒をして沖合漁業の實習を爲さしめたる處、斯界に甚大なる刺激と驚異的成績を挙げたるに鑑み、益々本校の使命を遂げる爲本年度は學年の延長と設備の充實とを圖り、生徒の實習時間数を増加し、實力ある者の養成をなし、以て本道水産開發に一層の努力を期したのであります。初等教育に於ては一面一校計畫の遂行に伴ひ本年度は普通學校新設十三校並に既設學校を合せ二十七學級の増加を圖り、又普通學校卒業生指導に關し前年度施設の實績に鑑み更に十校を増加し、二十校を指定して學校を中心とした卒業生指導の徹底を期し、漸次之を擴充致しまして思想指導の一助に資せんとするものであります。

◇衛生費本年度豫算は二十二萬三千八百餘圓で、本年度に於て新義州醫院の病室の増築並に看護婦宿舍の改築を目論見、此の經費として九千七百五十圓を計上したのであります。社會救濟事業は文化の發達と共に益々其必要の切實を加へますので、本年度は此種の經費と致しましては約三萬圓を計上致し、從前の通地方改良に従事致しまする職員の當置と是れが機能を發揮するに必要なる經費を計上致しました。

◇以上は道治の大綱並に諸問事項の梗概を述べたに過ぎませぬが、各位は當局の意の存する所を明察せられまして慎重審議以て道民の期待に副はれんことを切望する次第であります。

金羅北道

通知

道知事の演述(一)

加ふるに未嘗有の風水害に依り官

二件であり、ます簡規定に依りて提示致したずる事項は道方

しも是れとは申し難いのである。一らしめた次第でありませう。



明年度豫算審議の

京畿道評議會

内務部長より説明

【第一目】

16. 2. 24

第十一回京畿道評議會第一日は、  
二十三日午前十時より道會議室に  
おいて開會した。昨年議員改選後  
最初の會合で、まづ開會前に席次  
の抽籤あり、定刻振鈴を合圖に開  
會されるや議長渡邊知事より開會  
の挨拶があり、六年度豫算新規事  
業などにつき簡單に説明し、つい  
で佐伯閣より三十八名の議員、金

産業部長以下參與員を紹介、本會  
議事録署名者として釘本藤次郎、  
韓相龍、張弘植、肥塚正大の四氏  
を指名、内務部長の詳細な豫算説  
明を最後に議長より今後の日程に  
つき議員に諮つた結果、前例通り  
明二十四日を審査のため休會とし  
二十四日午後一時より諮問案六年  
度豫算地方費歳入歳出豫算のうち  
土木費に關する一切の豫算を審議  
することとし十一時二十分散會し  
た（寫眞は同評議會）

# 京畿道評議會

渡邊知事の挨拶

新 2. 24 第一日の朝議

京畿道第十一回道評議会は既報の通り二十三日午前十時より渡邊知事系統の下に道廳會議室において開催出席議員三十一名（缺席六名）參與員として金參與官矢島内務上内警察景山財務三部長以下關係課長列席し定刻一同着席し抽籤に依つて議席を決定し同十時二十分振鈴に依つて渡邊知事着席して議長席に就き開會を宣して左の挨拶を述べ議事に入るに先立ち確定議席を朗讀し參與員を紹介し會議録署名者を滿場に諮り元議員より議長指名を述べ滿場異議なく議長より韓相龍、釘本藤次郎、肥塚正太、張弘植の四議員を指名した後矢島道内務部長より道地方費豫算の内容を説明した終了後議長より議事進行が恒例に依り豫算査の爲め一兩日休會するやを諮り韓相龍岡本豊喜等各議員より意見があり二十三日午後二十四日を休會に決定し二十五日よりの會議時間は午後一時よりと決定し二十五日の日程を報告して同十一時二十分終了散會した

二十五日議事日程  
諮問案第一號成出入共に經常臨時部土木費關係全部

知事の挨拶  
茲に第十一回道評議會を開會し昨春の總改任に當り新に任を受けられたる各位と親しく會同して地方費豫算その他道治諸般の事項に涉り御意見を聴取する機會を得ましたことは私の欣幸とする所であります

客年二月本會議の賛同を得て成立致しました昭和五年度地方費豫算の執行は土木事業に産業施設に教育の方面に概ね順調に進捗致しまして豫期の成果を収めつつあることは御同慶に堪えぬ所であります

經常費は極力緊縮致したのであります。然し乍ら引き續く戦界の不況は窮民の生活を脅威する所大であります。その中で之等窮民に對し有意義に勞銀を撒布して生活の資を得せしめ其の更生を圖るの喫緊なるを認めまして昭和六年より昭和八年に亘り總工費六百九十一萬圓を以て道路改良治水砂防の三大事業を施行することに計畫致したのであります。之等事業は固より本道開發上又は産業獎勵上の見地よりするも緊要の事業でありますので窮民救済事業として實施することに選定した次第でありまして之が本年度支出額は工費二百三十萬七千圓を計上致したのであります。師範教育制度の改正に依り本年三月限道立師範學校は廢止となりまする。之が校舍を利用し職業學校を新設することに計畫致しましたし極めて實用的の技術を習得せしめ直に業務に服し得るの材を養成することは現下社會の要求と合致する所以なりと信するが爲であります。

産業の方面におきましては肥料獎勵、田作改良水産の專任技術員を設置しましてその獎勵の徹底を圖り又分收造林の制を創設致しまして造林獎勵の圓滑と地方費將來の財源補養を圖りました如き農業倉庫補助等を新に計上すると共に從來の各種補助を増額する等夫々計畫致し内容の充實を圖つて居るのであります。

引續く經濟界の不況と民力疲弊の情勢に鑑みまして主として細民の負擔を軽減するは亦極めて緊要のことでありましてその中輻輳の内通自轉車、人力車、荷積牛馬車、荷積車の課率を三分の一乃至四分の一軽減し又臥生産検査手数料を半減することに計畫したのであります。

其の他にも事業の擴充や内容の改善に付相當計畫致しまして道民福利の増進に付善處すべく企圖致して居るのであります。

豫算内容の詳細に付きましては別に内務部長をして説明させることに致します。

又臨時御質問に應じ内務部長其の他の參與員をして説明致させることに致します。希くは諸案に付慎重御審議を盡されむことを切望して已まない次第であります。

客年七月の水害は大正十四年來の慘害でありまして罹民の救恤に道路河川の復舊に代用作物の植付獎勵等應急の措置を講じ善處する所がありました。又客年十月本道内に行はれました師團對抗演習は朝鮮において最初の大規模の演習でありましたので演習地方の道路に修繕費八萬六千圓を投じて臨時修繕を加ふる等その圓滑なる實施を援助致しまして幸に軍の期待に添ふを得まして滞なく終了を見ました。ことは各位共に欣快とする所であります。之等の經費は何れも急に應ずる爲追加豫算として處理致しましたので御了承を願ひます。信今次の道評議會におきまして各位の御審議を願はします。案件は昭和六年度地方費一般會計歳入歳出豫算外十二件でありまして又別に規定に依り提示致します。事件は道地方費令第十一條但書に依り處理したる事件五件及昭和四年度費決算四件であります。昭和六年度豫算の編成に付きましては政府の方針に順應致しまして、勢めて緊縮の方針を採り物價の下落と勞銀の低下に顧みまして物件費に付ては約一割を節約し人件費に付ても幾分の節減を致しまして

# 慶北道評議會(第二日)

また蒸返された

## 通譯廢止問題

入山(漆谷)議員の提案で

懇談會に入る

報 6. 2. 24

慶北道評議會は議案研究のため廿二日を休會し第二日の返り初日は二十三日午後一時十分定刻に選れる十分振鈴と共に一同着席、十三分林知事議長席につき開會を宣し出席議員三十名、缺席七名、直に日程に入り諮問第一號昭和六年度歳入出豫算以下第十一號まで諮問案全部を一括上程第一讀會に入り議事進行についての希望を述べ二十九番眞先に發言を求め

鄭雲夷君(高靈)昭和六年度豫算は未曾有の大豫算で窮民救濟事業の要求全部が通つたことは知事閣下始め道幹部の努力の

かくて二日の議場でまたしても蒸返された通譯廢止問題は懇談の結果である

と前提し新豫算を謳歌し一轉して道地方費の膨脹による地方費財政に窮乏を來しはしないかと財政計畫について道當局は如何なる計畫を有して居るかと具体案を質しましたも通譯廢止問題が議題に上つたが再び保留となりこのとき入山君(漆谷)議員の提案で

入山君(漆谷)議員の提案で、懇談したいから十分間の休憩を願ひ致しますと希望し一同これに賛し議長休會を宣す時に午後一時三十五分

## 一石二鳥の

### 窮民救濟事業

伊達内務部長の初答辯

は知事閣下始め道幹部の努力の

果遂に何等の事もなく保留となり、翌午後一時四十五分休憩前に引續き演説を宣し、番外（山地地方課長）詳細に財政計畫を説明し進んで

番外（山地々方課長）醫學講習

所新築、土地改良事業調査、大邱市街地道路、道立大邱醫院の事業が完成すれば十一萬圓の財源が浮き、地方費歳入の自然増加率を過去數箇年間の實績から見ると一分五厘七毛五の増加率を示して居るので、その三分の一の五厘を大休の基本率とし更に危険を考慮して五厘中その半額を償還財源に充當して居るのでこれを加へると大休十六萬圓となり、不足の二萬六千餘圓は土木事業の完成で豫算が減少することはない

と答へ鄭君再び起つて

鄭君

増税は斷行しないし將來の財政を壓迫しない方針であると承り安心しましたが、窮民救済事業の施工地が片よつて居るのは第一救済でなく土木事業の完成を目的とするのではないかと疑ひが起るがこの點につき御説明を願ひたい

番外

山地々方課長

土木事業

の完成には千二百萬圓を要し今回の事業はその一部分で全工費の六割が勞銀として撒布されこれによつて窮民を救済せんとするが目的で、窮民を出さないやうにするのが根本的の趣旨であり、労働者の移動については萬遺算なきを期して居る

番外 伊達内務部長 一石二鳥

と云ふ言葉があるが、窮民救済事業はそれと同様に國庫の多大の補助を受け、窮民を救済すると同時に、本道多年の懸案を解決するいはゆる一石二鳥である、費用が一方に片して居ると云ふ實見があるやうであるが、道としては大局から最も必要なものから着手したことを特に一言して置きたい、單に道路の工事だけでも完全にやるには一千二百萬圓を要するので、本府の補助、起債の財源、地方費運用の將來に支障を來たさない範圍で計畫し與へられた金額の範圍内で最も有効な案を樹てたものである

鄭君

ある地方にのみ片する

そこに窮民が集まり農村窮民の救助の如きは、その地と事業を起す必要があり、各地に均等に窮民救済事業を徹底させないと、折角の善政が本來の目的を達することが出来ないのではないが、また今日までの早急救済の善績を見ると、請負人に一任して土木事業に使用される夫人は、眞の窮民でないものが多い、寧ろ道の直營とすることが理想として、失業者を救済する方が適に利

益ではないか

番外

伊達内務部長 窮民救済

事業は其性質上勿論出來る限り普遍的に實施し、充分事業の目的に副ふやうに努力するつもりである、また工事は直營にせよといふ御意見であるが、直營が可能なものは直營とすることは勿論であるが、事業の性質上請負とすることを止むを得ないものは出來る限り各地の窮民を使用するといふ條件つきで請負はすつもりであるから、充分目的に副ふことが出來ると信じます

とやんわりと片付ける

時に午後三時廿分以下、朝刊



# 窮民救済事業費の

## 大 邱 24 償還財源に就て

### 鄭雲爽君詳細説明を要求

慶尚北道評議會第二日は二十三日午後一時より開會し、林知事議長席につき本日の出席議員は三十名、缺席七名にて小口議員は旅行の爲め二十四日まで缺席の届が出て居りますと報告し直に議事に入る

議長「諮問第一號昭和六年度慶尚北道地方費歳入出豫算案を上程致しますこの外諮問第二號より第十一號までの議案は全部諮問第一號に關聯してゐるものであるから一括して議題に供します

#### 鄭雲爽君

本豫算案の主要たる窮民救済事業費について一言申述べたい不況激甚農村疲弊の今日この大事業計劃は最も便宜を得たものであつて當局の努力に對して感謝すると共にその制當金額が一錢の削除とも受け得なかつた斷散意を表する次第である

極度の農村疲弊に餓死線上にある道民の救済に最も大きな効果を持つものである然し此七百三萬餘圓の事業計劃は五ヶ年据置後十三ヶ年間に年々十八萬餘圓を償還しなければならぬであつてその償還財源については第一

に日承つたのであるが更に詳細な數字によつて御説明が願ひたい本道の土木事業の由來荒廢せる山の爲めに年々多大の被害を蒙つてゐるので、今回のこの大計劃にして道内全體の土木改良をなし得るものであれば問題はないが一部分に過ぎないのであつて將來更に土木計劃の樹立及び維持修繕等によつて、年々費膨脹を来すものであると思ふ而も本道では財界不況と旱害の爲め年々歳入の激減を來してゐるのであるか近き將來に財界の立直りを見地方費歳入の増加を見込み得ると云ふ漠然たる見地から僅々三百四、五十萬圓の地方費豫算より年々十八萬餘圓の償還をなす事は果して可能であるかと考へる、此點御説明を願ふ

入山君「通譯廳止問頭懇談の爲十分休憩したいと思ふとの動議成立し十時三十五分休憩懇談會に入る一時四十五分再開山地々方課長 只今の御質問にお答へ致します窮民救済事業費は事業年度により六年度、七年度、八年度の三つに分けて起償するものであるが償還は十

三年度より十二ヶ年間に償還するものであつて之が財源については内務部より説明があつた如く醫學講習所新築費の地方費支出の分三萬九千餘圓大邱市街下水工事補助三萬八千餘圓土地改良基本調査費六千八百餘圓大邱醫院新築起償償還二萬七千餘圓を合した十二萬餘圓を充當するものである

この外過去十ヶ年の決算額によつて地方費歳入の自然増加の率を見まするに大正十年は百二十六萬圓其後再度の税率改正によつて昭和三年は二百四萬圓となつており税率改正による急激な歳入増を除けて平均増を見れば一分五厘七毛五勾となつてゐる確實な計數を得る爲め平均増加率の半額を見込んで尙ほ四萬七千二百餘圓の自然増と見るのであつて決して無理のない償還財源であつた之に窮民救済事業費中の純地方費負擔三十一萬五千から事業遂行後二萬六千餘圓をさつて十八萬餘圓の償還財源を捻出する事は決して無理はないと信じてこの計劃を樹てたものである

鄭君さらに

## 道直營を要望

鄭雲爽君 窮民救済事業に計上された各種の事業別を見ると八百餘萬圓の中六割以上が土木が主であつて道内全體に均霑する砂防工事費は少く一部に施行する治水・港灣等一部分に限られてゐるやうで之では窮民救済事業にならぬと思ふが如何

山地地方課長

土木事業の

完成には千五百萬圓以上を要するので今回の事業計画ではその一部分を行ふものである本事業は勞銀を撤布して窮民を救済し失業せんとするものを防止するのが大眼目であつて遺憾なきを期したいと思ふか本事業費の六割は勞銀に撤布するものであるつてその目的が道民全體に均霑するやう案を練つてゐるから本來の旨を没却する事はないと信ずる

伊達内務部長

古い言葉に

鄭君

私の質問要旨が徹底しな

一石二鳥と云ふ言葉があるが本事業も亦之と同様である。

依つて窮民を救済すると共に本道多年の懸案を解決するものであると信ずる只今の質問では事業が一方に偏するとの御言葉であつたが道としては大局より見て最も緊急を要するものから施工せんとするもので一方に偏したと云ふやうな事はないのである

道路の改良工事だけでも一千二百萬圓以上を要するので將來地方費の經理に支障を來さない範圍の支出をなさんとするものであつて二百八十萬圓一、二等道路改良費でも道全體に亘つて最も必要なヶ所を先にしたいと考へ同時に窮民救済の實を擧げんと計劃してゐるのであつて此點を御理解を願ひたい

いやうであるが施工區域を離れた窮民はこの恩恵に浴しないのである、農村の救済と云ふ事は農民をしてその地に安住せしめる事が緊要の事であつてこの點道内全體に亘つてこの事業を均霑せしめたいのである。

更に土木事業に就て見るに總て請負人に工事を請負はしめてゐるが、この爲各種の弊害を生んでゐる、請負人の受くる利益をもつて技術員を増加して工事を道直營とする事が窮民救済の目的を達するものであると思ふが如何



# 穀檢の萬全が

期し得られるか

報民 24 6. 2

入山(漆谷)議員の質問

## 第二日の慶北道評議會

(夕刊報) 次いで入山君發言を求め

入山君漆谷(穀物検査及収検査)の目的と穀物検査及収検査について質問し度いと前提し

樹苗養生の目的は砂防工事其他本道の需用に適する樹苗を養生するものであるがまたは他道に移出するに適したものを養生するものであるか第二については道の産業技手の中で穀物検査員の給料が最も薄給で検査といふ重大な職責にあるものは最も人格の高潔なものでなければ完全

を期し得ないにも關はず昭和二年の平均給料八十七圓が現在は八十三圓に低下してゐるがかかる状況で果して検査の完全が期し得らるゝかを疑ふ最近検査員に對する一般の非難があるのは薄給の爲めだと思ふ。また穀物検査員を多忙期外に産米改良事業面方に利用する意志はないか尙収半數料は昨年一錢であつたのを本年五厘に低下されたことは結構なことであるが反對に

穀物検査員を薪設されたことはは収半數料の主旨に反しはしないか

番外(山本山林課長) 樹苗養生は本道に適したものを養生するのが目的である

とて慶北道の造林の性質について説明する、この時議長十分間休憩致しますとて休憩を宣す

### 収生産獎勵の

主旨は變らぬ

清田農務課長の答辯

三時二十五分議長再開を宣す、直ちに清田農務課長立つて  
番外(清田農務課長) 地方費産

業技手の中特に穀物検査員が薄給と言はれるがそはたゞ人物が多い爲めに平均給が下つてゐるもので實質は決して劣つてゐないもので現狀を見るに検査の完

少ないのは検査の拙劣な爲めであ  
く收穫時の天候不良の爲乾燥が  
著るしく悪るかつたことによる  
ものである。尙検査員を産米改  
良方面に利用することは數年前  
から適宜に使用してゐる、以  
査について本年から新に搬出手  
數料を設定したのは年々以搬出  
量が多くなつてこの検査費用も  
相當多額を要するので設定した  
がこれによる影響は僅かで以生  
産奨励の主旨は少しも變はり  
ない

と逐條的に答辯する、次いで二番  
入山君の言を求め

### 入山君

（漆谷）農家の福利増進  
は第一戦に立つ技術員の活動に  
待たねばならないが昭和二年の  
來勸業技手の平均給料が高上し  
ないのは何故か、また勸業技術  
員の朝鮮語奨励の意味で從來朝  
鮮語に熟練したものを表彰して  
ゐるが今後は反對に朝鮮語の出  
來ない者を罰するやうにしては  
どうか、尙實業學校に農業學  
校の卒業生に對し擔任教師が官  
廳方面の就職に奔走してゐるが  
當局の教育方針は果して卒業後  
實際に役に立つ生徒を生ずる  
ものであるか否か更に從來普通  
學校の新設條件となつてゐる  
千五百圓の地元寄附金は物價下  
落後の今後とも同額を必要とす  
か

### 番外

（參與官）緊縮の折から  
勸業技師員の給料も一般と同様  
に直に引下げるとは困難であ  
るが質は其爲めに決して低下す  
ることはない、また技術員の朝  
鮮語の奨励については從來通り  
とするつもりである

續いで川本學務課長立つ

番外（川本學務課長）農業學校

一般的質問に引續いて應答算  
容の具體的質問の入る文明琦君  
言を求めて

### 文明琦君

（盈徳）歳入經上部  
第一款地稅中特別市場稅が前  
年より三割減じてゐるがいま少  
し増税してはどうか、同臨時部  
第三款寄附金十三萬圓の内容、  
同第四款雜收入中河川收入八千  
圓の場所、同第六款治水費納付  
金中新に加はつた六萬二千圓の  
公共團體治水費負擔金について  
伺ひたい

### 番外

（古賀稅務課長）市場稅は  
物價暴落で市場取引高が著しく  
減じたものでこの際増税は適當  
でないと思ふ  
と答へ更に番外山地々方課長は  
寄附金收入十三萬圓の中、土木  
寄附金九萬圓でこれは國民救済  
事業、港灣修築工事による九龍  
浦、江口、甘の寄附金六萬圓  
と三萬圓は自動車營業者の寄附  
金である

と説明し尙四萬圓の醫學講習所  
費寄附金について番外大野警察  
部長から醫學講習所の校舍新築  
費に關し種々經過を報告する

### 金斗河君

（迎目）歳出臨時部  
第一款土木費中浚渫費千百で目  
的の効果が期せらるゝか、また  
第七款農業費中六萬九千六百圓  
の農業倉庫の設置場所は何處か  
其他二三について質問するとこれ  
に對し番外谷土木課長は浚渫の効  
果は充分期せられると一蹴し、尙  
清田農務課長は農業倉庫の場所  
はまだ決定してゐない、と答辯す  
るのに對し金斗河君更に二三の  
質問を試みる、次で吳國永君義城  
は議事の進行上議員の質問時間

の制限をどうして如何と斷言す  
るが、議長は第一議員の性質を  
議員共心得て居らるゝから其必要  
なしと輕く笑放す續いて十三番  
潤君（原州）が苗代改良問題につ  
てどくどく質問するが時間も  
切迫したので伊藤吉三郎君（大邸）  
發言を求め

十三番議員の發言權は明日まで  
保留して閉會し度い

と閉會動議を出し結局閉會成立し  
て議長閉會を宣す時に五時廿五分

慶北道評議會の

通譯廢止問題

民報

近く解決する模様

6.2.24

第一日開評前問題となつた通譯廢止問題は二十三日 第二日本會  
議を開く前に控室で 評議會を開き、 結局武尾祿藏氏が提議した  
通譯廢止問題を可決することとなり 大休の申合せを終つたが、  
更に正式に満場一致近く通譯廢止問題を決定する筈である

# 本道評議會の 通譯廢止問題

開會第2回 本道評議會に於ける  
通譯廢止問題の議決  
は決定を見ずしてある機会に延期  
される事となり提案者も又賛否兩  
論者もあり問題に拘泥せずあつ  
さり延期に決定した事は斯る問題  
の取扱ひ方として極めて妥當なも  
のであつた。

通譯廢止は全議員の同意と特に  
國語を解せざる少数議員のこだら  
らざる同意を得て始めて實行せら  
るる事が穩當であつて此の間に多  
少でも多數決の如き意味の含まれ  
ざる事を必要とするのである。

通譯廢止の要望を單に時間的節  
約の爲めとのみ解する事は猶其の  
意を盡さざるものがあるのではな  
いか若し會期中に各議員の言議を充  
分に盡さしめるため時間を生む爲  
めのみ通譯を廢止する云ふ事  
であれば道評議會が毎日午後一時  
から開會され大抵午後四時頃に終  
るを例として居るからこれを午前  
から開會し更に其の時の必要に應  
じ午後時間を延長しても充分に  
言議を盡す時間を生む事は必ずし  
も不可能ではないが吾等は通譯廢  
止の要件なるものが會議の時間節  
約以外に存する事を信ずるもので  
ある。

即ち從來の道評議會は通譯の爲  
めに會議の活躍力が著しく減利  
され立言者自身も甚だ不利である

朝鮮の智識階級に於ける國語の創  
得は既に常識化されて居る今日議  
員の九割以上も國語に通じて居る  
以上會議の統制上通譯廢止を便と  
する事、更にこの副産物として國  
語普及獎勵上にも大なる効果を齎  
すべき社會的利益も考へられるの  
である。

更に懇談會に於ける議論の内に  
國語を解すると稱するも夫れには  
いろいろの程度があつて眞に熟達  
流暢の者は餘程其数が少いと云ふ  
事も通譯廢止を躊躇せしめて居る  
模様であるが、これは必ずしも太  
なる問題ではない、今日内地に於  
ける各府縣に於いても各地方に  
由つて何れも多少の地方語が加は  
つて居る事は免れない處である、  
地方の方言の意志の表現にさして  
大なる關係を有するものではない  
殊に吾等は將來の我が國語の中  
には相當多數の朝鮮語も加へられ  
る事は我が語學史を見ても考へら  
れる事である、我純粹の倭言葉な  
るものは今日の社會に於ては既に  
死語に歸したるものが頗る多く其  
の代りに世界各國語が夥しい數  
に取入れられて我國語化して居る  
事が事實であるが如く、朝鮮の地  
方に於ては時に朝鮮語を多く取り  
入れた國語が行はれる事は必然的  
傾向であるから、道評議會の如く  
内鮮議員の會同には議員同志及び  
會議總裁及參與當局の解する範圍  
に於て自由に内鮮語を驅使する事  
が當然許さるべきである、即ち内

鮮語を使用する事がよく、朝鮮人  
員にあつても國語を用ひるに不便  
の箇所は遠慮なく鮮語を混用する  
事としたならば通譯問題の如きは  
自然解決し得るばかりでなく、我  
國語を一層豊富にする上からも多  
少の貢獻を爲すものではあるまい  
か、勿論國語の醇化といふ議論は  
別である。

しかしながら吾等は決して道評  
議會の通譯廢止と云ふ事を急ぐべ  
し直に實現すべしと主張するもの  
ではない、たゞよき流暢の國語を  
使用し得ざると云ふ深慮の必要  
なる事と全員の一致を餘すのみの  
通譯を必要とする少数議員が全議  
員の爲めに自發的に便宜を與へる  
事に考慮するの餘りなきやを考へ  
るだけであつて通譯廢止の事は決  
して多數の意志を以て強要すべき  
事柄でない事を明かにして置く  
のである。

# 黃海道議會

日 24

第十一回黃海道評議會は廿一日午前十時より御大典記念館階上道會議室に開く、出席委員廿六名、缺席一名、開會に先立つて知事より會議規程による從來の郡別の議席を抽籤議席に變更を計り抽籤に決定次に日程午前十時の開會を午後一時に變更を計りしも議論百出し遂に從の時間によるとに決定す、午前十一時議長開會を宣す、先づ會議規定により抽籤により議長決定續いて議員の出缺參與員の任命報告あり、次に議長より署名議員指名ありて知事の演述あり、ついで日程により諮問案第一號昭和六年度地方費歳入歳出豫算の諮問に入る時に十一時五十分泉崎内務部長、該案に對する約一時間にわたる細密なる説明あり二十三日の日程を報告し議長閉會を宣す時に四時五十分

## 韓道知事演述大要

黃海道評議會における韓道知事演述大要左の如し（海州）  
◆昨年の秋齋藤總督が再度朝鮮に來任せられるに方り諭告を發して民意の暢達に就て聲明せられたのは各位の記憶に未だ鮮かなるものがあると思ひますがこの宣明を具體化せられたのが過般發布せられました地方制度の改正であります改正の内容は既に各位が御承知のやうに道、府、邑、郡、學校費、學校組合の

各般に亘りまして自治制の本旨に根本的に改正せられたのでありますこれは我が行政上に特筆大書すべき劃期的の英斷でありまして必ずや將來地方自治に一大新生面を齎すと共に地方開發の實期して俟つべきものがあると思ふのであります、然し年々たといひ法に美文玉條を羅列致し、ましてその活用は全く人にあるものでありますから地方に在るものは官といはず、民といはず、克くこの改正の意を體し自治本來の理想に邁進せねばならぬと思ふのであります、地方における先覺者である各位はこの一轉機に際し民衆をして自治の本義を咀嚼せしむると共にこれが訓練と指導に努められむことを切に希望して止まないものであります

◆偕て今回各位に諮問致しまして御審議を煩はします案件は昭和六年度本道地方費歳入歳出豫算外十件であります提示致します案件は昭和四年度本道地方費一般會計歳入歳出決算外七件であります各位は慎重に審議を進められまして當局の意の存する所を察知せられ公明且正大に道治の進歩發達に寄與せられむことを希望する次第であります

◆諮問致します案件に就ては夫々各委員より充分御説明申あぐる苦であります、その内昭和六年度道地方費一般會計の豫算編成方針に就てその大要の説明を試み以て御審議の便に供したいと思ふのであります各位も既に御承知の如く現政府は嚴に金融禁止を解除し近く倫敦會議の結果軍需條約を締結致しまして一方公秋經濟の緊縮を圖る、共に國民の負擔輕減を策したの

であります、地方費におきましてはこの國策に順應し人件、事務費の膨脹を避くると共に極度の節約を加へ進む、道民の負擔を輕減し生業扶助に依る救済の實を擧げむことをその方針としたのであります、數年來全世界を通じて強襲しましたる財界の暴風は依然としてその威力が衰へないのみならず昭和五年度に於きましては一層深刻に暴威を振ひ過數十年來の豊年として鼓腹饕餮を夢みましたが農民は穀價慘落の警異に際し豐作の凶年といふ珍時家に遭遇して二重の脅威を體驗したのであります、道當局は直に本府と協商を遂げまして在來倉庫の借上預資金融通の途を開いて穀物投資の輕舉を戒しめたのであります、然しこれは只急場に處する施設でありまして更に積極的の施設を必要とするのであります、即ちこの難局に直面したる道當局としては一面細民の負擔を目すべき車輛税の一部を減額すると共に爾後三箇年繼續事業として四百七十八萬圓の巨額を投じて土木事業を起しこれに勞銀撒布により窮民の救済を計畫したのであります、事業の内容は道路改良、河川改修、港灣修築等諸汎に亘るものであります、これにより土木行政に對する本年度來の希望の大半を満たすと共に窮民に生業を興へ勤勞に依る生活の安定を得せしめますならば一舉兩得の快があると思ふのであります

◆然しながら窮民救済の施設、切實緊急の事業ではあります、が當局が爲さむと欲する全部では素よりないのであります、故に是等救済事業の財源はその大部分を國庫補助及道債に需むることとしまして前述節約による財源はこれを産業、教育、衛生、社會事業等緊急差し置き難き新規事業に振り向けたやうな次第であります、以上の方針に基き編成しました本年度の豫算額は三百八十七萬圓でありまして前年度に比し百六十萬圓の激増を示して居ります、是等は公債及國庫補助その他特殊財源によるものであります、



のでありまして、前年度の成績として、はつて多少の減額をしたのであります。

◇第一に産業方面に就て申上げたいと思ひます。全鮮第一の耕地と鮑魚八百海里の海岸線を擁し加ふるに百萬町歩の林野面積を有する本道は産業國の名に恥ぢず豊富なる天恵を水に陸に受けて居るのであります。が世間動もすれば本道の産業は他道に比し著しく遜出があるかの如く唱へ或は寶玉の死蔵なりと批評する者さへありと聽きますが、今や利水灌溉の便は管内に普ねからむとし粟作の増收肥料の増施果の産額等必ずしも、彼等の嘲笑を甘受するの要はないと思ふのであります。就中廣袤なる淺海には近き將來に本道の水産の革命を齎すべき海苔の養殖が勃然として勃興して居るのであります。唯我々は世論に惑はず所信に向つて一意専心猛進すべきであると思ふのであります。近時産米増殖は流行語の如く喧傳せらるゝのであります。が倉庫業の發達せざる地方に於ては昨年の如き豊作に遭遇致しますと一般農家は忽ち資金の融通、貯蓄の方法等に困憊するのであります。故にこの弊を除去する目的を以て道農會をして農業倉庫を建設せしむることとしたのであります。が財政の關係もあり一時に多數を設置することは困難であります。すから年を逐ふて管内に普及するの考へであります。養蠶に就ては數年來產繭十萬石を目標として蠶意奨勵の歩を進めたのであります。が之が素地なき地方を多分に有する本道としましては遺憾ながら豫期の成績を擧げて居ないのであります。故に本年度に於きましては従来の奨勵方法に改善を加ふると共に原蠶種製造所の改善を行ひ桑樹と蠶種の兩方面よりこれを齊發せむと企畫したのであります。その他緑肥栽培の開拓、種苗場、水産試験場の整備、田作改良、棉作奨勵郡の増加、林野基本調査の創設、機業指導部落の設置等を計畫しました。外窮民救済を加味したる漁業資金の貸付を試みた様な次第であります。

◇第二に教育方面であります。人文の發達は國民基礎教育機關の完

備に依つべきことは更に贅言を要せざることであります。すので、圖に備えたいました一面一校計畫の方針に則り十七校の新設を遂行する外近時動もすれば徒食遊惰に流れる思想動搖を來さむとするこれ等初等學校の卒業生にしまして勤勞の精神を經とし思想善導を練とする社會教育機關の新設を策したのであります。又師範學校は本年三月を以て廢校の運命に在りますが、初等教育者養成方針の然らしむるところでいたし方がないと思ふのであります。唱各位に一言したいと思ひます。ことは本年度において女子高等普通學校の新設を實現し得なかつたこととあります。本件に就きましては數回に亘り當路に具陳協商致しましたが、財政緊縮の餘波を受けその感を滿すことが出来なかつたのは誠に遺憾であります。此の點諒とせられたいのであります。

◇第三に土木方面に於きましては年末の繼續費の事業を續行します。外前述の如く窮民救済車二として一二三等道路の改良、釜浦港の修築、西江の改修、海州邑を事業主體と致します。廣石川改修費補助及資金貸付等がその重なるものであります。惟ふに此の本道未曾有の大土木事業完成の曉は現にその工を急いで居ます。朝鮮海州土城線の開通に伴ひ交通の整理は素より産業施設の進進にも新生面を開展することと堅く信ずるものであります。◇第四には衛生關係に就て一言致します。本道における衛生状態はその統計に徴します。に今尙寒心に堪へないものがあります。が道民の覺醒と共に漸次改善の道程にあるのであります。然し乍ら數年來腐心致して居ります。麻藥類の毒害の數は其の罹患者の絶滅を期する迄には尙前途遠なるものがあるものであります。客年發布せられました登録規程によりその目的達成に致す努めて居ります。が何分にも貧困者

を相手とせしめる。其の點諒とせられたいのであります。◇第五には社會事業であります。近時農村の青年が都會の生活に憧憬し何等の目的もなく總團を出る者が漸次増加するの傾向があります。昨年施行せられました國勢調査の結果に就て見ました。如實に之を證明してゐるのであります。此の現象は農村振興の上よりする將又産業發達の點から見ましても由々社會時象であります。是等の特に此の感を深くする所は多種多様であると思ひます。が勤勞の忌避、思想の動搖、農村生活の無味、指導者の缺如等がその主因と認むることから來ます。故に本年度におきましては是等の弊を防止すると共に堅實なる地方青年の養成を目標とし、まして各郡に青年團の設立を慫慂しこれに對し濃厚なる指導を加へ前述の初等學校卒業生の指導事業と相俟つて青年の風紀を肅正し治産興業の基調を教へ進む。地方中堅人物の養成に資したい計畫であります。

◇以上は昭和六年度豫算の内聊か新味を加へた主要項目に對する極めて概括的の説明に過ぎません。が各位は豫算その他の諸問案件に就きましては隔意なき御意見を吐露せられまして慎重に御審議あらむことを切に冀望して止まない次第であります。

# 第十二回道評議會

先づ第一款の

土木費から説明

道路問題の意見も出た

群 山

6. 2. 24

廿三日午前

本道評議會第二日は廿三日午前拾時半道廳會議室において開會する、開會に先立ち金知事は國語普及の件を述べ次で道評議會は年一回の開會であ

るから各位は誠心誠意を以て議事の審議に當り同時に忌憚なく意見のあるところを披瀝されたしと述べ之れに對し

金英武議員

監督問題につき

先づ當局に一矢を

拾九番議員(金英武氏) 道内の利害休戚に關する會議で

あるから誠心誠意慎重審議を爲すは勿論である、而して世間では疑獄事件發生につき注目拂つてゐるのであるから猶更ら誠心誠意至公至平審議を遂げねばならぬ、依つて當局におかれても周到親切に御答ひを願ひたい、昨年本道廳内の土木工事に關し疑獄事件が起つた自分は今更ら同事件を追窮するものではないが將來斯かる事件を再び繰り返へさぬやう監督者において一層



大森土木課長 只今の御意見について土木課及び監督者は大に恐縮してゐる、請負者の談合事件は目下取調中に屬し判決を受けたものは控訴中で未だ刑の確定を見てゐないが要するに此の不祥事が世間に發表されたことについては誠に面目がない次に本年本道の土木事業費は昨年比して増加を來してゐる、従つて監督の立場としては一層其の監督を嚴重にすべく其の爲めに土木管區出張所を四個所設けて之れが事業に着手し違算なきを期すつもりであると答へ進んで道路土木費補助費支出につき左の如く説明した

差別待遇

説

十七番議員(林鳳周氏) 大

体において總ての施設は平野部に良く山部部に悪い、現に淳昌、南原、熬樹地方の橋梁が必要であるので豫てから道に對してこれが施設を願つてゐるが未だに實現されぬ、之れに對し

土木課長 世間では往々にして平野部と山間部とに對し差別待遇をするやうにいふものがあるが道當局としては決して差別待遇はしない

二十二番議員(橋本央氏)

課長の説明は其の當を得てゐるやうではあるが土木工事に對しては平野部と山間部とに對し差別してゐるやうに思はれる、現に南原の橋梁を架設して貰つたのは結構だが住民は洪水の時流れる處れがあるの、で年内心配してゐる何んとか方法はなきものか

土木課長 現在の南原の橋梁は完全とは思つてゐないが經費の關係上思ふに任せぬのである【二十三日正午電話】

第一款 土木費

- 一、道路橋梁費 (一) 災害復舊費 (ロ) 道路改修費
- 二、河川費 (イ) 河川災害復舊費 (ロ) 河川補助費
- 三、土木事業調査費 (イ) 河川及び道路調査費
- 四、土木費貸付金 (イ) 土木費公共團體貸付費

第七款 補助費

- (一) 道路補助 (二) 河川費補助 (三) 災害復舊費 (四) 下水道工事費補助 (五) 上水道工事費補助 (六) 漁場新設工事補助

第十一款 雜支出

- (一) 過年度諸費 (二) 補助金返納 (三) 過年度納金拂戻 (四) 一時借入金利子 (五) 雜支出

治水事業費

益山面水道工事補助の件

群山漁港修築費補助の件

右説明に對し

## 道治に關する

## 道知事の演述

## 道評議會に於ける

茲に昨春の總改選に依り御就任相成りました各位、初めて一堂に相會し道治に關する重要案件を御諮り致し所見の一端を述べると共に親しく各位の御意見を承るの機會を得ましたことは私の深く欣幸とするところであります

顧みますれば昭和五年は一般財界の不況に因り本道主要産物たる米穀並蠶繭の價格暴落致しました爲道民は經濟上非常なる脅威を受け加ふるに未曾有の風水害に依り官民多年の努力に成れる道路橋梁、土地家屋の流失破壊せられたるもの夥しく殊に多數の死傷者をも出しましたことは限りなき痛恨事でありまして同情に堪えざるところであります、當時畏くも 聖上陛下に於かせられましては此の慘狀を深く御軫念あらせられ特に御内

帑金を下賜せらるゝと共に御慰問使を差遣はされ優渥なる御沙汰を賜はりましたことは道民の齊しく恐懼感激措く能はざるところであります、各位と共に深く聖旨を奉戴して銳意復興の事業にいそしむと共に奉公の誠を以て民風作興に尙一段の努力を加へ聖恩の萬一に報ひ奉らんことを期したいと存する次第であります

## 審議案件

今次各位の御審議を煩はしまする案件は

昭和六年度道地方費歳入出豫算  
同 恩給特別會計歳入出豫算  
同 児童獎學資金特別會計歳入出豫算  
同 窮民救濟事業費繼續年期及支出方法  
道地方費の豫算外義務負擔の

件

起債に關する件

地方稅賦課規則中改正の件

不動産取得稅賦課規則中改正の件

米穀及大豆検査手数料徴收規則中改正の件

吟検査手数料徴收規則中改正の件

苧麻苧布検査手数料徴收規則中改正の件

痲藥類中毒治療所使用料徴收規則中改正の件

の十二件であります、尙規定によりまして提示致しまする事項は道地方費令第十一條但書により處理したる昭和五年度追加更正豫算並昭和四年度地方費決算であります

新豫算の編成方針を述べまするに先だち本年度豫算の執行状況を申述べたいと思ひます

昭和五年度に於きましては稀有の大洪水に對する應急施設として一般地方費の外國庫補助及臨時恩賜基金編入金の受入等に財源を求めまして七萬四千餘圓の豫算追加を行ひ以て罹災民救濟及應急的災害復舊工事を企劃致したのであります勿論之れを以て救濟復舊の施設必ずしも金としては

申し難いのでありますが兎に角之等の財源を公課の増徴或は起債に求むる等のことなくして災害に處し得たことは道政上各位と共に慶に堪えない次第であります、然るに一方深刻なる財界の不況と右の大水害とは道地方費の歳入に影響を及ぼしまして地方税に於て四萬四千餘圓その他穀物検査手数料等に於て相當の減收を免れない状況でありました爲鋭意事務費の節約を圖り又各種事業の緩急を稽查して繰延施行に努めました結果其の收支の均衡を保ち旁次年度の事業施行に支障無からしめた次第であります

昭和六年度豫算の編成につきましては政府の方針もあり又本道は數年來繼續的に旱水害に遭遇し財政經理の困難に陥つた後を承けましたので財政計畫の向後を慮りまして極力緊縮の方針を樹て新規事業の手控不急事業の繰延は勿論既設事業の統一整理等に努むると共に又一面道民の福祉増進上緊急と認むべきものに就きましてはその緩急輕重を稽への相當企劃計上したのであります。即ち

- 一、穀物及収検査機關の合併
- 二、苧麻苧布検査機關の新設
- 三、痲藥類中毒者登録規定に基き之が治療機關の擴張
- 四、道立群山醫院に醫官及醫員各一名増員
- 五、河川及道路災害復舊費補助の増額
- 六、各種副業資金貸付金の増額
- 七、群山漁港修築費補助の新設
- 八、本道産米宣傳費補助の新置
- 九、農業倉庫補助の新設
- 十、私立學校補助の増額
- 十一、裏作獎勵計劃を樹て指導員三名の増置と之が獎勵補助費の新設
- 十二、窮民救濟事業として道路改良工事、河川改修工事及砂防工事の計劃を樹立し本年度所要額計上

等でありましたが就中道路改良工事、河川改修工事及砂防工事は三ヶ年繼續を以て施行し之が財源は主として國庫より低利資金の融通を受くるものであります。完成の曉は本道の道路河川及山林はその面目

を一新すると共に一面土工による勞銀撒布は窮民の救済に資すること莫大であると考へるのであります。而して歳入に於きましては社會政策的見地より細民負擔の輕減を圖るため人力車税を全廢し自轉車税を減額致しますと共に細農唯一の副業たる収生産獎勵に資するため之が検査手数料の減額を斷行し細民經濟の緩和を策したる外指定地外穀物検査手数料、痲藥類中毒者治療所使用料及委託販賣手数料を新設致したのであります

右の結果と致しまして昭和六年度地方費豫算の歳計は三百八十一萬四千三百二十二圓に達し前年度に比し百卅一萬六千五百七十二圓の増加を來したのであります、尙本案並その他議案の詳細に付きましては別に内務部長を以て説明することゝ致しました又之等案件の内容に付きましては參與員を以て隨時御説明申し上げることゝ致します、何卒慎重御審議を願ひまして本案に御協賛あらむことを望む次第であります

# 第一 讀會に入る

民衆

## 忠北道評議會(第二日)

6. 2. 25

柳生財務部長 同席である

照し手を着けられなかつた

李世永君(丹陽) 柳生財務部長

房銀其他に就き質問をなし河村課

長、岩永土木課長より答辯あり李

世永君再び立つて質問すれば岩永

河村課長より答辯あり

宮本政藏君(清州) 第一讀

會で質問したことは第二讀會では

述べない約束で質問すると言へば

一同哄笑、當局を叱りつけるやう

な口調で農家の養蠶科と原産種講

習所とを對比し農家の窮状を訴へ

て農業の多角的經營論を辯じて常

局の方針を説き明した後、種苗場費

採種圃費、雜收入の手續料に就き

質す長句説を終り、之れに對し松

澤内務部長の懇切な答辯あり、高

木産業課長、後稱議會してお答へ

すると言へば、宮本君も結構で

すと内務部長の答辯に満足する、

時に十二時十九分、洪議長休憩を

宣す

### 御禮言上

満場一致可決

午後一時三十二分再開

原口一二君(忠州) 昨年の末

會有の水害罹災民に對する御下

賜金に對し道評議會として宮内

大臣を通じて御禮を言上したい、

文案は議長に一任する、提案に

對し各位總起立の下に御賛同願

ひたい

と緊急動議を提出し

宮本政藏君(清州) 原田武男

君(丹陽) 賛成あり

議長 正規の賛成があるから採

決する、御賛成の方け御起立を

忠北道評議會二日は(二十三日)

前日豫算案研究のため、休會の後

を受定刻、午前十時に選る、こと

十五分、開會に先立ち河村地方課

長、第一讀會の性質に就き簡単に

説明するところあり、同二十分、

洪知事議長席に着き開議を宣

し諸般の報告あつて、直に第一讀

會に入り、安東正君眞先に發言を

求め

安東正君 (清州) 窮民救済事

業としての土木費が、他道のそ

れに比し、比較的少額であるこ

とを難じ、忠南、咸北道の土木

費と比較對照して、忠北道の割

當額が僅少であることを盛んに

論難し

採種圃費、小粒米獎勵の必要を説

き、産業獎勵費、勸農共濟組合と

金融組合との關係を問ひ

松澤内務部長 土木費は

他道に比し、必ずしも少額ではな

い。砂防、土木の窮民救済費は、

其道の起債能力、負擔能力等に基

いて算定され適當されたもので、

従つて、本道の割當額は、大きい

とは思はぬが、如上の理由に依り

少額とは思はぬ。また錦種が絶好

の品種とは思はぬ。將來は一層、

品種の改良、精米改良、販路擴張

を努めるつもりである。勸農共濟

組合は相當に良い方で金融組合と

の衝突はない。

高木産業課長 數字を舉

げて、水稻作、種子更新、今後の

計畫等につき、詳細に答辯し

河村地方課長 勸農共濟

組合の成績につき、數字的に成績

の良好なるを答辯しついで

宇都宮善市君(永同) 叭檢

査手數料及び藥價の低減を論じ

更に黃洲、中牟線、黃洲、上村

線の道路は經濟道路として必要

であると永同郡民の輿論を代表

して質問し砂利運搬自動車と水

稻種子の改良につき質問を終る

松澤内務部長 叭檢査手數

料全廢は本道の財政上不可能で

ある黃洲、中牟、上村線道路は

重要な道路とは思ふが咸北道の

方でも相當に考慮してやつて貰

はねば本道だけではやれない

野世溪警察部長 病院の

歳入で内容を充實してゆく方針

であつて内容の改善は收入の増

に俟つてやる、藥價は昨年の四

月より五十五、六種に亘り四割

乃至二割位値下してゐる

岩永土木課長 砂利運搬自

動車のことは希望にそふべく財

政の許す限り努めるつもりであ

る

高木産業課長 水稻種子

の改良に就き答辯があつた後、宇

都宮君再び發言を求めて松澤内務

部長と應酬し

李春雄君(忠州) 車輛税の減

額は、いゝが必ずしも細民のため

にはならぬ、むしろ細民のため

に戸税を軽減しては如何

願ひたい  
と述べれば十七名の評議員、全部  
起立  
議長 満場一致可決しました



# 忠北評議會

新

第二日目—二十三日

6. 2. 25

(清州) 休明けの評議會二十三日午前十時三十分振鈴と共に開會する議長は開會と諮問案第一號二讀會を宣す前同僚間的にわたつた故に本日は通告順によりへ頭十二番議員

果正氏臨時部第二款土木費第一について冒頭して本年度の設備増しをしながら多年要望の清徳面を通じ懷仁道路の計上な遺憾とす難じ續いて本府より救民事業を目的とする此土木費割當につき江原道三百萬圓道百四十萬圓最も稀薄の咸北

七十萬圓の割當より見ても本道はあまり少額ではないかと詰りいわれる本道割當に努力の足らないではないかとの口吻をもらしその實狀を質せり續いて勸業費に移り種子更新は三ヶ年となつてゐる様ですが果してその實行を爲しめるやを質し忠北米は稲穂を主とし大粒本意に改良せられつゝあるも此種頭は内地一部名古屋地方の窮民食資に過ぎざりしなり一般小粒を歡迎せらるゝ向あるに之等の改良の意圖はないかと質し併して全南北が面實狀の説明を求む社會救済費に移り勸業共済組合は本道知事本

議に時機の案に感服してをりますすが而しあまり内容の薄弱にして今一層第一歩を進めて有意義に施設する方針はないか

(松) 内務部長 救済救民事業の目的たる土木費の割當つき少額ではないかと御問ひの様でありますすが之等は評議員諸氏は大體御承知でありませうが本府は地方實資能力如何を考慮し割當受けたるものとして之れを基順としたる爲め止む得ぬ次第で而し本府も救民目的において本道に本府より二三等道路の改修費を受けてをりますから此點も御承知を願ひます簡單に答ふ

(高木産業課長) 種子の更新は大正十一年度より初まり十五年迄五ヶ年實施しました更正の成績は良好であります内部一部の地方食料過ぎぬと問ひでありましたが之等の一部のみ見た見地に於て一般に大粒を必ずしも排斥してはをりません而し種子更新は六年度二萬二千町歩七年八千一萬七千五百町歩づゝなすのでありますから將來は刷新を見るものと思ひます

(河村地方課長) 勸業組合は四千七百五十五組にして貸付金は二十圓内となりてゐるから金融組合と別々矛盾することはないとアツサリ述べ

(九谷宇都宮員) 賦徴査手數料を見るに少額の低減を見たるは道民大いに喜ぶ次第なり而しながら今日の現狀より見て勞銀と及十二ヶ年統計を詳細に演述して現

に計上ないは遺憾である内務部は水の年々の補助は廢止する考へはないかと質す

これに對し松澤内務部長より成可く御趣旨に副ひたいと思ふと答へ土木費について岩永土木課長發議水については地方課長將來考慮すとの單なる答辭をなすなほ砂利運搬を土木管區に移して如何との事は自分も將來希望を以てゐると附加へて答ふ

(五番李議員) 歳入經常地房費編成についてと題し車輛税の低減は必ずしも貧民救済の財源とならぬむしろ富者の爲であるがその効果ないではないか

(柳生財務部長) 車輛税より戸税を低減してはとの様伺ひますがこれはその影響大なる處あるゆゑ考案を要しなすに

(十四番宮本議員) 職業教育について聞きたいと端を發し農學校及元農糧製造所の二ヶ所にて養成せし生徒の四十四年より現況に至る狀況を述べて農糧製造高が道内にあまり他道に賣出す狀態で農業者のため技術員の増員を必要あるか論難し農學校には男生とし元農糧製造所は女生とせし如何と農學卒業生と元農糧製造所卒業生の給料不釣合を論じ當局に質す處あり續いて地主と自作農小作人の十二ヶ年統計を詳細に演述して現



既に使用するかと、補助金は五百圓より受くる損失をいって、勞務賦課とせば一方は増し一方は減じ、算に矛盾を来らす感あり、突込み雜收入において、以手數料を米穀商組合に一部検査紙を賣却せしめ、これを不當ではないか、むしろ郡議會に賣却せしめ、この手數料を一般農民に負擔、輕減の資にするは當を得たるものと思ふと、産業に經驗者だけにその核心にふれ極めて整然たる論議であつた

(松澤内務部長) たゞ今十四議員の御説は至極我々の參考になりましたので感謝します、而して現の狀態として止むを得ずと思ひ、すくなくけてに、

作良技師員については高木産、長より郡に配属するものと答、收入について取調べ、何れ適當法を講ずる積りで、すと思ひ、であつた

十二時三十分議長休職を宣す、一時三十分再開、(松澤内務部長) 緊急勸諭を、客年、民救済のため、御下賜、御言上方を、管内省を経て、議長に一任せんとするにつ、の賛成を希望す

同賛成し、議長は既定の賛成、以て原文を、参員をして朗、讀つて、午前中に引續いて、依り議事を進むと宣す、(松澤内務部長) 豫算面を見、税の減小は、趣旨において、るあまりに、少額である

に就て十七番議員の質問があり、したがなほ御質したいと思ひます、一二等道路は、國費で負擔にて、可なるも三等道路に至つては、人民の賦、役による負擔にして、自働車の如き、は、營業者に、便益に資する結果であ、るゆゑに之等は、減額するよりむし、

一日二人掛かりて三十錢位の、入にてこれに依つて、全家族の、の資材となる現狀より見て、全體を、望む次に教育費の豫算を見るに、人、件費大部分を占む、現在の狀態より、して、教員俸給高價過ぎる、全南の如、きは、高價者を淘汰したと聞く、本道、は、貧弱の地方費において、教員給を、減額するの意思はないかと詰る

(松澤内務部長) 私は教育に、ついて御答へします、教育は、人的と、物的と相俟つて必要なることは、言、を、俟たざるも、物的のみ偏する、誤に、は、行かぬ、教育は、人物を得るが最も、大町のことにて、人を得るには、力め、て、低き級にて、優秀の人物を得たい、と、努力は、致してをります、今の處は、如何とも、難き事情があり、ますから、御承知を願ひたいと答ふ

(河村地方議長) 車輛税につ、いて御答へします、車輛税性、を、と、き、給付能力ある者に課する性質な、るも、給付能力なき者に對し、減額し、たるゆゑんでありますから、承知を、願ふ、又、以手數料、肥料、賦課は、撤廃し、るも、現狀よりして、事實が、その、狀態、にあるではないかとの御質問した、が、之れが、近く五萬枚の、産出の、計畫、もあり、然すれば、決して、無意義に、了、る譯ではない、費用、賦課については、可、成、減額し、又、幸、臨の、意思は、以て、ある、も、現在の、處止むを得ず、次第、御承知、を、願ふ

十八番議員と参員官と二三問答、す

(十六番議員) 砂防工事に、つき、本道、割當の、費用を、ときたるも、すでに、他議、説明あり、略す、農業倉、

庫につき地方費は補助して適當の箇所を選び補助的倉庫の設備は一般民に大なる効果あるものと思ふと事情を述べて要望し續いて一面一校の本年の状況をトラック使用状況を探ね

(松澤内務部長) 土木費制富については前に説明せしと同じ要業倉庫については事情上直ちに希望に添ひ難き旨を述べ高木産業課長より五千圓の補助あると補足し一面一校設置の理想に近き場所を選び設立する考へであるも簡單に答ふトラックに付ては岩永土木課長より里程が五千七百十二マイル作業日數百三十二日であると答へ

たに對し國議員事務所を尋ね追て報告書閲覧を願ふとに之の時議長五分間休憩を宣す

(一番原田議員)

窮民救済事業

業を通覧するその趣旨と不徹底の廉なきか即ち不平均的の計畫でないかと知事演述に對し實す教育費社會教化事業が卒業生の指導教育が完遂を期せらるるを望み普通學校一面一面一校設置につき丹陽郡一校を例證して實情想生徒の人員必業者數より面民の負擔をといて適切な選定の促す次に衛生費廢棄中毒者事業は至極適當計畫を實し肺ジストマ施設状態を問ふ

(洪知事)

窮民救済事業の向

落は事業の性質より例をあげて説明し救済の性質より現計畫の良法なきことを述べその他については各參與員より答辯したも前説明と大同小異結果は同じく答辯す衛生費につき野世澤警察部長より之はたと今の處施設なしと答ふ

(六平廣口議員)

農業獎勵費

計上にあるが現下の市價七百圓の暴落の今日果して實効ありやと内地と比較し又人絹の發達よりして市價の騰貴が豫想出來難い事情ありと大阪朝日新聞の製糸に對する座談會の列を引用し蠶業政策につき相當の計畫ありやを實す續いて諮問案第一號と第三號以下の諮問案と衝突の場合は第一號案の審議無効の結果を生まさんか意見を質す

(松澤内務部長)

農業獎勵費

問狀況は内地とはその趣を異にする即ち朝鮮も副業的向ひつつある今日又興糸について見るも工資の點においても内地と比較ならぬ現狀にして決して憂慮する必要ないと思ひます依つてなほ既定計畫に乘り益々獎勵せんと思ふのである豫算案の件については地方課長より現進行の通りで差支へなしと再三問答し結局既定の通り進行に決定す

# 平北道議會

日 京 6. 2. 25

## 窮民救済事業に

### 支那人は使はぬ

平安北道々々議會休會明けの第三日は廿三日午前十時半より開會諮問案第一號昭和六年度地方費および同特別會計歳入歳出豫算の第一議會に入り歳出經常部同臨時部土木費について佐伯内務部長より左記の如き詳細に亘る説明があつた本年度經常部土木費は十三萬七千三百十二圓で前年度に比し四萬八千六百十四圓の減少でそれは道路橋梁費に於て四萬五千二百七十二圓の減少即ち一、二等道路修繕費に於て被服費器具機械等は夫々節約せしめ通信費前年同額に止めたるも改修路路線の延長増加せるに伴ひ工事費の増加と人件費の自然的増とに依る八百七十八圓の増額を見積り三等道路修繕費に於て右同一理由に依り特に修理工夫一名の増員と自然増を見積り三千九百六十三圓の増額を見積りたる前年度の三等道路清原前川災害復舊費九萬圓の廢止に依り結局を見積りたるに由る土木諸費に於ては三千三百四十二圓減少でそれは俸給に於て現員現給に依る時は自然増額の節あるも土木技手一名の整理に依り差引一千二百圓を減じ雜給に工手一名の整理及減員に伴ふ旅費慰勞金の當然減を見積り一千三百九十二圓を減じ雜費に於て圖書印刷費は現狀に徴し已むを得ざる増高七十圓と標杭費通信運搬費借家料の前年同額を計上したる以外は總て節約に依り結局七百四十圓を減じ計上したものに由る臨時部土木費においては本年度十二萬一千二百圓で前年度に比し四萬六千二百圓の減少であるがそれは道路橋梁費十四萬四千五百圓減で本年度は窮民救済事業に全力を集中し土木費の總額として計上した結果道路改修費並電害救済工事費等は該當

事項なく道路調査費は前年度同額を計上するに止めたのに由る治水堤防費に於ては三千八百圓増であるがこれは清川江經川附近の護岸費の必要を認めたと三橋川附近の河川調査の必要を認め計上したるによる土木費貸付金は新義州府並に公共團體(水利組合)に對し總督の方針に順應し窮民救済事業たる土木費を貸付せんとする經費を新に計上したので九萬四千四百圓の増加となつてゐる補助金によるものは四千五百圓の増加であるがこれは市街整理費補助に於て補助を要する邑面の増加變更窮民救済事業としての新義州水道擴張工事補助に計上したものである土木費總額本年度支出額は前年度に比し八十六萬八千圓の増加であるが内譯は一、二等道路改良費支出額が七十萬圓の増加でこれは窮民救済事業として新に計上した道内一、二等道路中緊急を要する路線につき三年間繼續事業として實施せんとし本年度分計上による大寧江下流江路防止工事十三萬三千圓増これも窮民救済事業として道内河川整理工事中財源の關係により特に緊急なる大寧江下流江路防止工事につき三年間繼續事業として實施せんとし新たに計上したものの次に中江鎮防水工事本年度支出額が三萬五千圓の増加で之も窮民救済事業として各地防水工事中最も重要緊急なる中江鎮防水工事を二年間繼續事業として實施せんとし新たに計上したによる

進行為りに詮衡し質問は簡單に意見を加へずまた質問意見等には前者の述べたことを重複して述べること建議案は廿六日まで提出するとの等決議してあるから番外のお答へ説明等も左様御承知の上で簡單にお願するとして議事進行を促し次で大寧江々々工事について先に内務部長の説明中總督府平壤土木出張所に工事依頼するかのやうにい

▲佐伯内務部長 從來斯る工事は直接總督府でやつて呉れてゐるしまだ各道とも本府の方に依頼して工事をするといふことになつてゐるのでこれも左様御承知を乞ふ、しかし中江鎮の防水工事の方は例外として當方に於て工事をするになつてゐる

▲横江重助氏(新義州) 一、窮民救済事業による土木工事には朝鮮人を使用するものであると思ふが若し請負工事にした場合如何

二、五年度における鮮支人の勞働者使用状況および六年度における使用方針如何

三、支那勞働者取締方針について警察當局に問ふ

四、經常部と臨時部の土木費給料に於て日數の違ふ點および切指に單位の相違あるは如何

▲齋藤木士課長 一、目的が窮民救済事業にある以上絶対に目的に副ふ様鮮内窮民の實直なる者を使用する請負にしても同じ

二、五年度工事に於ては延人員十六萬人の勞働者を使用し内支那人は八千十八人で全部の百分の二にきり當つてゐない六年度に於ても特別技術者の外は鮮内勞働者を使用する方針である四は數字の相違だと思ふ、よく調べて回答す

▲多田榮吉氏(新義州) 議事進行について昨日議員協議の上鄭潤玉氏(鐵山)姜鳳瑞氏(昌城)張顯植氏(龍川)の三氏を議長

## ▲佐田内務部長 三、は諮問の

事柄でありまた外交關係につき  
こゝでお答へするを避けるこれ  
については横江議員より撤回

▲齋藤土木課長 横江議員に對する  
前質問四に對する調査の結果  
數字の誤記なることその他の理  
由についてこゝへた後午前中に引  
續いて土木費の審議に入る

▲金聖烈氏（碧潼）麗美碧潼同三  
等道路は將來二等道路に昇格す  
るとしても改修だけでは市その  
他に無理があると思ふが何故當  
局は早く二等道路に昇格改修さ  
れぬか

▲齋藤土木課長 道路網の完成といふことは一朝一夕に出来ない難事である道路の昇格も本道のみならず各道共困難である状態である今二等道路に昇格は困難である、なげ二等道路と三等道路とは市その他の點においても凡て同じであるから別に差支けはない

▲劉昌漢氏（慈城）  
一、臨時費二千圓で土木調査が出来るか

二、自動車交通道路に等外道路があるが三等道路に昇格出来ぬか  
▲齋藤土木課長 經濟的に有効にする自動車交通道路の等外道路の昇格は經濟價值その他の點でなくとも差支ないものはせぬ方針である

▲吉田雅一氏（龍川）一、窮民救済事業による三年間繼續工事費に二百十萬圓を擧げてあるが本案可決すれば三年後に追加し得るや否や

二、窮民救済事業に港灣工事に計上されぬ理由如何  
三、公共事業費の貸付利子關係如何

## ▲齋藤土木課長

一、二年の間増減がない

二、財政上の都合上でやらぬことになつてゐる

三、公共事業貸付金の借入れは全額の七割五分を大蔵省預金部から年四分五厘の低利で借入れて

同程度で貸付け同二割五分は殖産銀行より同七分七厘の利子で借入れ同利子で貸付けることにしてある

▲韓股煥氏（雲山）窮民救済事業の道路工事は沿線に多く山間地方に少ない様だが窮民は寧ろ山間部に多いからこれ等多数の窮民救済のため山間部方面の工事をせよ

▲齋藤土木課長 公平なる分布といふことや念頭において計畫したのであるが既定計畫中の緊要なものを先にしたといふ多少の斟酌は免かれなかつた

この時議長の許しなくして發言するもの、質問が助言者と同様のもの、質問外の意見要請等に傾くもの等あり進行係の注意等喧嘩を極めたので議長から注意を與へ

▲吉田雅一氏（龍川）大體質問が終つたものと見て質問打ちりの動議を提出したが反對意見多きため撤回

▲議長 提案者撤回につき土木費一議會を引續き審議する

▲鄭潤玉氏（鍾山）本年度の豫算に車窓梨梨花洞間の等外道路については一文の豫算も計上されてないが、三等道路に編入し改修する意思はないのかまた將來三等道路に編入することにされたのか否や

▲齋藤土木課長 本年度はこの線より以上に急ぐ線があつたので計上しなかつたのである、將來三等道路に編入する必要は認めてあるがこれと同様の道路が本道には現在二百里乃至三百里あるので急には六ヶ敷い

一、水道費が新義州のみに莫大に増加される理由

二、公共團體貸付金はなぜ府面直接に借受けられないか

▲齋藤土木課長 新義州府は人口増加その他府の膨脹等に伴つて擴張せねばならぬ所へ護岸工事その他莫大な附償を負ふてゐるため莫大な補助を要するたのであるとて新義州府水道計畫その他財政について詳細な説明をなし

▲昌合氏（熙川）熙川東倉間道路改修豫算計上されなきは如何  
▲齋藤土木課長 大局から見急を要せぬものと認めて計上しな

かつたものである

▲金聖根氏（寧邊）貸付金は大蔵省預金部においてその運用範圍が定められてゐるため府面直接に借入れることが出来ないので府面にまたがつて計上したのである

▲朴梧鳳氏（楚山）劉黃貞氏（江界）朴柳丰氏（渭原）等より本年度豫算に洩れた等外道路の三等道路編入改修についてそれ／＼質問があつたが齋藤土木課長は今回の計畫に洩れた分は完了後更に計畫すると軽く答へ、飯島榮太郎氏（雲山）質問打ちり散會動議全員賛成午後三時五十分散會



全羅北道

全北道議會

日 京 6. 2. 25

窮民救濟事業に  
平野部偏重論起る

全北道評議第二日(廿四日)は午  
即十時半開會日程に入り實問に先  
立ち大森土木課長經濟部臨時部に  
亘り詳細なる説明をなし實問に入

林・國氏(淳昌)窮民救濟事業

は餘りに平野部にのみ偏して山  
間部に何等の施設を見ない是非  
赤城橋葛潭橋の改修をして貰ひ  
度いと第一問を發したが

大森土木課長 ヨク山間部平野部

といふ言葉を聞きますが左様な  
區別した意思は更に無い、豫算  
の許す限り御希望に添ふ様にし  
度いと輕くあしらい

橋本・史君(金堤)臨時部治水事業

費負擔金五萬五千圓が如何なる  
負擔になるのか又同土木費公共  
團體貸付金の償還方法の説明を  
乞ふ

土木課長 萬頃江改修工事第一  
期工事六百萬圓第二期工事四百

萬圓となつて居り第一期工事に  
おいて割當てられた土地の負擔  
金は五十二萬五千圓を關係則が  
負擔して居るかたちで第二期工  
事四百萬については四十四萬圓  
を毎年五萬五千圓宛八ヶ年に割  
當負擔することになつて居り之  
れは蒙利地以外にも負擔がかゝ  
るかも知れません、又土木費貸  
付金は貸付られた府邑が五年間  
挖置き六年から十五ヶ年間に均  
等償還することになつてゐる  
と詳細なる説明をなせば

金・應一君(南原)土木施設の平野

部に偏するを詰り南原・蓼川の改  
修が緊急問題なることを高唱す  
れば土木課長また經費の許す限  
り考慮に置くとあしらい

金・英武君(淳昌)土木費公共團體

貸付金の内府邑事業費は府邑各  
地が起償すべきであつて苦しい  
地方費として立入り過ぎてはあ  
ないかと思ふ。又光州・安義線は  
主要なる經濟線である、近く全  
州・南原間の鐵道が開通すれば益

を經濟的價值を帶びこれが完成  
はやがて南原・淳昌をして群山の  
商圖たらしむべきものであると  
考へ一日も早くこれが改修を希  
望する、序に契機三溪間は何等  
の經濟價值なきもので改修線の  
選擇を誤つてゐると思ふが如何  
原田・地方課長 低利資金は府邑で  
起償を許さず地方費を以て起償  
するといふことになつてゐる  
土木課長 道路に對しては御意見  
として承りおく

とて午前の會議を終り午後零時卅  
分休憩に入り一時半再開

金・相銀君(高敞)窮民救濟事業三

ヶ年後は如何向、土木組合を各  
地方に設立する事は昨年も希望  
して置いたが實施する意思なき  
や

土木課長 三ヶ年後の事に就いて  
は今茲でハッキリした事を申し  
兼ねる、又土木組合全南に設立  
されたので研究資料を集め考究  
して見たいと思つて居る

山・本・恒藏君(全州)地方の困窮狀態

はその極に達して居る、窮民救  
濟事業は時宜を得た措置ではあ  
るが昨夏全北管内を視察した際  
目についた主なる地方問題たる

錦山・太田間の胎胞山トンネル、

茂朱川の護岸工事、南・蓼川の

護岸工事、禪雲寺道路等未だ何

等豫算に計上を見ぬが凡そ何年

位にはその緒につくか計畫あり

や否や、尙扶安水利組合苗浦築

港に就いて計劃の經過について

承りたい

土木課長 噴渠、道路、橋梁改修

を要すべきものゝ六割六分は來

年度を以て完成する出来得べく

んは三年後も繼續してやりたい

と思つてゐるがこれは希望であ

る胎胞山トンネルに就ては昨春

忠南當局と打合せ計畫はしてゐ

るが忠南の計畫如何によつては

應じ得る本道には準備は出來て

ゐる茂朱川の護岸工事は再三國

費の補助を要望してゐるが未だ

實現の運びに至らない赤城橋は

これは國費をもつてやるべき性

質のものでありこれも要望中で

ある、禪雲寺道路も經費の都合

で計上出來なかつたのを遺憾に  
思ふ、苗浦築港は既に工事計畫

は本府にても出来て居る果  
して築港の償出ありや否やといふ點と、他に本府としては急を要する港灣の施設があり吾々としても目下の所不急の問題と心得て居る

調・農務課長 扶安水利組合は現在の計畫では反當七圓の負擔であるが地主としては六圓でなければ現在の穀價として採算出來ぬといふので目下國庫補助増額を要望して居る

と答へ任實の崔鍾烈君より同地方の道路に對する質問ありて十分間休憩し午後三時開會質問時間を午後六時迄延長す

柳直義君(全州) 窮民救濟事業は農村にも最も必要とするが施設は主に都會地に偏して居り橋梁の改修工事が多い様であるが、これは人夫賃の撒布は工事費に比してわづかなものであるが他に方法はなきや

土木課長 事業費二百九十萬圓中都會地たる群山の漁港十二萬圓裡の上水道三十二萬圓合せて四十四萬で他は農村に振向けられて居り尙橋梁設置費用はその六割が工事材料その他で人夫賃は約四割を占めて居る統計である

齋藤勤君(全州) 窮民救濟事業完了三ヶ年の後それ等の事業が果して將來の窮民救濟となるや否や尙事業繼續されるや否や、從つて來勞役は專門的に各道を渡り歩く人夫及び支那人夫が多數に入込む實例があるが今回の事業には道内人夫のみを使用し支那人々夫を使ふことは考慮して貰ひ度い鳳東面は昨年水害を見同地方としては緊急問題であるが當局としての計畫をうかゞひたい尙これまで工事が始まれば多數の人夫が地方に入込み良風美俗を破壊する事が往々あるので充分の注意が望ましい

松・下・内・務・部・長 三ヶ年繼續事業完了後の事については當局としては其の時における民衆の状況財政の如何によつて更に計畫したものとの希望をもつてゐる支那人々夫又は他道のものは感

可くは各道一界に多少の事業が開始されるのでその要は少いかとも思つてゐる鳳東面の築堤には本年度一千五百圓を計上し應急の施設をすることになつてゐる次に井邑の朴領奎君より一等道路の井邑郡内における改修、益山の尹和重君より礪山成羅間の橋梁に就いて質問する所あり最後に

光・富・籍・八・君(群山) 土木事業費については各郡各地種々の注文が出た。吾々群山方面の者も群山群山間、地境黄谷間の道路の如き希望は持つてゐる常に他道を旅行して感ずるのは全北道路の悪いことである斯く各地山ほどの希望と改修の必要あるに拘らず昨年度に比し本年度は却つて二萬九千餘圓の減額をして計上してあるが、現在の狀態にて來年は充分であるといふ見解であるか或は其の必要なしとするのであるか御伺ひしたいなほ慶南北の話を聞けば道路の利便を受けると共に主にこれが爲に破損するといふ自動車に對し一臺百圓宛を出さしめて居るとの事であるが實に當を得たものであると思ふ、限りある財源に對し數多い希望をいち／＼容れる事は困難で先づ財源の捻出を充分考究すべき事と思ふ

土木費一二讀會を打ち切る事になつた



慶北道評議(二日續き)

産米改良を

救物検査員に

大 用させる意志はないか  
入山君猛烈に質問

伊達内務部長 末

事業は事業の性質上を可とするものは直覺として性質不可能のものは請負に附して監督を嚴重にして遺憾なきを期したいと思つてある

と軽く受け流す、續いて再三警告を要求してゐた

入山君 勸業教育方面に就

て御質問致したい、第一に林業試験場であるが之は從來のものを單に看板を塗り替へたものでないのか眞に林業全般に亘る試験を行ふものであるか、第二穀物検査に就ては、道の廣業技手の中穀物検査員は最も激

給である、この検査員は地方事務所にあつて民間と接觸し一方公平無私な検査を行はねばならぬので最も人格者であらねばならぬ、然るに之を遇するにその平均俸給八十三圓である、現在の検査員によつて公平な検査が行はるれば、いざ知らず各地に於て問題を惹起してゐるのを當局は何と見るか、而も米穀の検査はその道の純潔な検査者でなければ不可能である、而も年々俸給の遞下を見つゝある人達に果して之が可能であるか、亦最近に於ては検査不公平によつて慶北米の最價を暴落する事がしばしば起

つてゐる、  
第三 穀物検査員を産米改良の仕事をも併せ擔かしむる意志はないか

第四に吹込みの手数料であるが之は獎勵する爲めの支出検査手数料であるが、乃至は制限する爲めの手段、山本山林課長より検査試験場は樺太の苗木自然充足と雖然たる試験場として内容先實を圖るものである

と答へこの時議長休憩を宣し十五分休憩三時廿分再開  
第四 農務課長 一、穀物検査員の俸給は遞上してゐない、

二、検査は公平に行はれてゐる三、穀の移出増加は他に原因がある四、産米改良の方面にも活動せしめてゐる五、吹込み手数料は明年度より下げたし、何等影響はないと軽く答へる

入山君

質問を續行し勸業部長費において産業技手俸給の不均衡が大正八年以來八十六圓となつてゐるが斯る事で果して産業獎勵の第一線に立つて活動が出来るか亦朝鮮に在る事十數年に

及ばず朝鮮人が朝鮮語を解せず農民と充分に意志の疎通を圖り得ない者がある之で本道産米の振興を語り得るかこの弊を矯むる爲め朝鮮語の出来る者に賞與を與ふるより出來ない者に對して懲戒處分をすると言ふ考へはない

か  
教育方面において女生徒二百名以上を收容する普通學校に一ヶ年間に入つて女教員の配置なき學校が現在二校ある、普通學校の新設について現在地元では一校四千五百圓の密附を條件としてあるが物價下落の今日も同様であるが農業者卒業生の試験について學校長が推薦してゐるが俸給生活者の養成を目的としてあるか尙州農藝學校の收容人員を増加する意志はないか

産業技師部長 産業技師員の下に可及的に増額を施してゐるが内容においては之をよく披瀝して優秀な者に對しては相當の方法を講じてある、朝鮮語を學ばせざる技師員

の徴収は考へてゐないが今後一層獎勵に力を入れろ考へてゐる  
川本學務課長 女教員配置  
について人事費の都合で缺員のあるところもあるが近く補

充する事となつてゐる。普通學校新設の地元寄附條件は考慮してゐる。簡州農藝學校は經費都合上収容人員増加は不可能にある

## 特別市場税を

増税したらどうか

谷士本課長 港灣課長  
は各港通過通過費として計上してゐるものである。兄山江江改修に際し浦項港口の浚渫土砂は當局でも考へてゐると答へ浦田課務より農倉建設地の未決定を答ふるところあり  
金斗河君再び質問を繰返して満場を失笑させるこのとき吳國泳君議事進行に關し發言を求め今日のやうなカラ／＼した議事の進行で日程通り行くか、或會合期延長の意思があるのか、それでは罷水納付金六萬二千圓は兄山江改修に伴ふ河川分による地元寄附金である  
つゞいて大野警察部長より醫學講習所新築費附金計上について今日に至るまでの經過を詳細に答へる

文明琦君 蔵入常部に於て特別市場税が七千六十八圓膨ら三割となくなつてゐるが之は寧ろ増税すべきものである。收の原因如何、同じく臨時部第三收附金十三萬圓、第四收附金五萬圓、河川收入、第六收の治水費納付金の附記がないから之が説明を乞ふ  
古賀稅務課長 特別市場税の徴収は税價暴落により買取の價格の低下であつて減税したものでなく止むを得ない經濟現象に依るものであると答へ  
山地々方課長 蔵入臨時部の寄附金十三萬圓は自動車道路收寄附三萬圓、甘浦、九龍浦、江口の築港地元寄附六萬圓、蔵入臨時部

金斗河君 農倉庫建設費六萬九千餘圓を計上してゐる。本建設地は決定してゐるから更に港灣浚渫につき兄山江改修に就て浦項港口を浚渫してその土砂を築港用に使用する意志はないか  
谷士本課長 港灣課長は各港通過通過費として計上してゐるものである。兄山江江改修に際し浦項港口の浚渫土砂は當局でも考へてゐると答へ浦田課務より農倉建設地の未決定を答ふところあり  
金斗河君再び質問を繰返して満場を失笑させるこのとき吳國泳君議事進行に關し發言を求め今日のやうなカラ／＼した議事の進行で日程通り行くか、或會合期延長の意思があるのか、それでは罷水納付金六萬二千圓は兄山江改修に伴ふ河川分による地元寄附金である  
つゞいて大野警察部長より醫學講習所新築費附金計上について今日に至るまでの經過を詳細に答へる  
古賀稅務課長 特別市場税の徴収は税價暴落により買取の價格の低下であつて減税したものでなく止むを得ない經濟現象に依るものであると答へ  
山地々方課長 蔵入臨時部の寄附金十三萬圓は自動車道路收寄附三萬圓、甘浦、九龍浦、江口の築港地元寄附六萬圓、蔵入臨時部

# 大邱醫講所は

## 何時昇格するか

報 25  
民 6. 2.

### 權賢變君(安東)の質問

#### 廿四日慶北道評議會

(夕報) 次いで、番外清田農務課長立つて昭和六年度の概算計書と需要關係を説明し、今後一層増収に努力すると簡単に片付ける。

權賢變君(安東)窮民救濟事業は都會に重きを置き一方に偏してゐる感がある、尙大邱醫學講習所は醫學昇格を前提としてゐるといふことであるが果して何時頃昇格が實現する見込みであるか、また昇格の上は官費となるものであるか、もし引續いて地方費經營であれば他の地方費事業に支障を來す懸念はないか、窮民救濟事業土木及砂防工事の實施場所と工事は一々請負にするか直營にするか具体的に示され度い。

と當局の確答を求め、尙青年黨の積極的施設、產業獎勵の徹底を希望し更に進んで安東高普問題に入り當局は全然反對であるがそれとも考慮の意があるか説明されたいと希望する。この時伊藤吉三郎君(大邱)議事進行について發言を求め、伊藤君「可なりに質問が脱線してゐるやうだが直接豫算に關係しない質問は制限され度い。」

議長に希望する

議長 時間も切迫してゐるし希望意見の開陳は後日の日程にあるから豫算に關係ある點を簡単に質問され度いと議場に注意し十分間の休憩を宣す。

三時五十分議長再び開會を宣す、伊藤吉三郎君議事日程について發言を求め

伊藤君 日程は二十五、六兩日を委員會といふことになつてゐるが二十五日中に委員會の審議を終了すれば二十六日は委員會の報告と建議案の提出に充て二十七、八の兩日を希望開陳に充て度い。

と動議を提出し多數の賛成があり勸議通り決定する。

議長 委員の指名は從來通り議長に一任され度い。

議長 議長なし。

議長 委員會は第一部、第二部に別け全委員とし奇數議員は第一部、偶數議員は第二部で委員會室は第一部本會議室、第二部は階下と定め委員長は互選とします、委員會の審議案は第一部は諮問第一號の中土木、教育衛生の歳出經常部並臨時部及諸

間第七、八、九號議案、第二部委員會は第一號諮問案中第一部委員會の分を除いた全部及諮問第二、三、四、五、十、十一案を審議され度い。

次いで番外伊達内務部長立つて番外(内務部長) 八審議員は窮民救濟事業は一地方に偏しはしないかといふ御質問だが當局は決して地方的に差別することがなく最も適當と認むる地方に決定するつもりである從つて工事場所を一々示せといはれる點には審議に當局で調査し出来る限り窮民救濟の實を擧げ得る場所を決定するから御心配はない。

なほ安東高普の設立には建築に六萬圓を要し地方費以外に國庫の補助を得なければならぬが本府の意圖と現在の實情としてむしろ高普より實業學校とすれば實現の可能性がある。

と答へ清田農務課長は刈檢査料の全廢は不可能である、普通農事技術員は既に増員してゐると簡単に答へる。

李基承君(星州) 歳出經常部同臨時部第四款の教育費は合計三十萬五千圓に達してゐるが

其給費を七級俸給度の低給者に代れば給費の節約が出来るが其意志はないか、また普通學校新設に要する地元寄附は其節約額を充て全廢され度い

議長 教育費の高級者は出来る限り低給者に代へてはゐるがこれ以上は不可能である、また普通學校新設に要する地元寄附金廢止は困難な事情にある

次いで姜敬熙君(奉化)から産業獎勵及秋意獎勵について質問し、火田氏を救済する方法はないかと希望をのべ番外宋産業課長、清田農務課、山本山林課長から簡單に答辯説明する續いて吳國泳(義

城)郡縣(金沢)の縣役から在野施設土地改良事業、土木事業其他について長たしく質問を試み議員席から議事進行の聲が揚がるこれに對して各參與員から夫々おつさりと説明する、諸君答辯が終るのを待つて發言を求め

諸鹿君(慶州)窮民救済事業は當局でも一石二鳥の効果があると言はれる通りまことに適宜な事業であるが往々にして請負工事の請負者が人夫を安く使ふ點から支那人労働者を使用してゐるが今回の窮民救済事業には事業の性質として支那人は絶体不使用しないことをこの場で時に言明され度い

と鋭くつめ寄るが

議長 この質問は外交問題に關することであるからこの場で言明は避けたい

とあつさり逃げる、更に金草君(軍威)から窮民救済事業について質問ありこれに番外谷土木課長答へ、この時文明諸君の散會動議成立して議長質問打切り散會を宣す時に六時二十三分



慶尚北道

慶北道議會

日 25 6. 2

再び通譯廢止問題

結局ものにならず

慶北道評議會第二日目は二十三日午後一時十五分開會出席三十名缺席七名

議長 諮問案第一號より之に關聯せる第十一號迄一括し議題に供し一讀會に入る

鄭雲漢君(高靈) 救済事業費として八百餘萬圓の計上されたことは機宜に適した施設で數字を見ただけでも蘇生の思ひがする然るに二百萬圓の起債に對し年々十八九萬圓宛の起債償還は貧弱な地方費豫算としては相當難色ある問題であらう將來景氣も挽回する地方収入も増加するであらうと云ふ漠然たる理由での起債は危險である具體的對策に就いて説明ありたい

入山君(漆谷) 議事進行の爲めに發言を求め、通譯廢止問題に就いて十分間の休憩を成し懇談會を開くべく動議提出

議長 休憩を宣し懇談會に移る然るに前日の如く一二名の反對に會ひ依然通譯付きとなり

議長 再び休憩前に續き議事を進める

番外(山地々方課長) 起債償却方法に就いて答辯し六年度より三ヶ年繼續の起債は何れも五年間据置六年度より元利返還するがこれに充てる財源は現在支出されつゝある醫學講習所費補助大邱府道路費補助土地改良獎勵補助大邱醫院起債償還合計約十一萬圓をこれに振り向けることが出来る外地方稅收入の一部を充當する極めて安全なる方法である

鄭君 次に救済事業別を見るに窮民救済が目的か事業完成が目的か不可解の點が多い、道路工事や砂防工事とは別として港灣や治水に大部分の經費を占領して居るではないか

番外(山地地方課長) 勞銀の撒布が目的で從つて事業の完成よりも事業費の六割が勞銀であるから窮民救済が目的であると答辯

番外(伊達内務部長) 窮民救済と共に多年の懸案たる各種事業が完成されて行くことは恰も一石二鳥の得策であるのみならず決して事業に偏しては居ないことを述べ山地番外の答辯に補足するところあり

鄭君 一地方に大工事を行ふより各地窮民に均霑する事業の分布を必要とはしないか、土木工事の如き利益を目的とする請負業者に請負はしむるは果して窮民救済事業としての効果を發揮するか

番外(伊達内務部長) 二十九番議員の御希望に副ふ様にしたい然し工事の直當は事業性質にもよるので斯かる場合は條件付とする述べ

入山君(漆谷) 林業試験場、穀物検査員待遇と使命、隊の手數料に付いて質問

番外(山本山林課長) より林業試験場に對する答辯あり

議長三時十分休憩を宣し、同二時十五分再開

番外(山地々方課長) 産業技術員の特選に關するに就いて二番議員に答へるところあり以手數料も過重でない旨を述べ

入山君 勸業講習における技術員の待遇朝鮮勸業、初等教育における女教員の配置普通通學校新設寄附等に關する氏一流の整然たる質問を續け

番外(産業部長) 産業技術員の待遇と朝鮮獎勵問題に就いて川本學務課長が教育問題に就いて夫々答辯

文明瑠君(盈德) 職人經常第一欸特別市場稅一萬五千餘圓歲入臨時第三欸寄附金十三萬圓の内容、第四欸土地賣却代一萬圓第六欸治水費六萬二千圓の納付共同團體は何處かと質問し

番外(古賀稅務課長) 山地々方課長より答辯更に

番外(大野警察部長) 寄附の内醫學講習所に關するものに就いて述べるところあり合せて醫學昇格問題の本日迄の經過を報告

金斗河君(迎日) 議案數字の間違ひを指摘し港灣浸漬費重農業倉庫費に就いて質問

番外(山地々方課長) 數字の訂正に付いて谷土木課長淺澤費に就いて清田農務課長農業倉庫に就いて何れも答辯

議長 時間の延長を宣し金斗河君に注意するところあり

吳國泳君(義城) 議事進行に就いて提議

崔潤君(慶州) 苗代改良及深耕梨補助が本年度議案より削除されてゐる理由如何

番外(清田農務課長) 他の農事施設に比し補助すべき時代を過ぎた様に思ひ他の方面に廻したと答辯

伊藤君(大邱) 散賣の動議を提出五時卅分議長散會を宣す(大邱)

# 慶北道評議會

(第三回)

## 一面一校完成後

邱 25年限を延長しては？

大 6. 2. 製紙は品質向上が急務

慶北道評議會第三日は午後一時廿五分定刻より遅れて開會出席議員三十四名、缺席議員三名の旨議長より報告

議長 日程に入る前に申上りて置きます、當局としては出来るだけ多くの方の質問を許したから其意味を御含みの上出来

るだけ簡単に願ひます、この方針で議事を進めます  
崔潤君 (慶州) 各郡の一面一校完成後普通學校の學年延

長をする意志はないか  
製紙業に對しては共同作業場に補助して獎勵してゐるが更に一歩進めて原料たる楮の増産計畫をなす地方費を補助する意志はないか

伊達内務部長 理想として學校の普及完成と學年延長は國民教育上緊急の事である然し財政上の見地からすれば今直に學年延長を斷行すれば財源の關係から學校普及がおくれる事となる朝鮮現時の狀態からすれば學校



の普及が急務であるから學年延長は後述にせざるを得ない

### 宋産業課長

本道の製紙業は楮の増産と云ふ事より製紙の品質の向上を計るが急務である本道楮の産額は全國第二位であつて原料の不足はないから今後補助はしないが楮の集中指導を行ふ可く計劃してゐる

よつては學年延長をしてもよいとの答覆であつたが地方民から學年延長の費用を寄附すれば學年延長をやると伊達内務部長普通學校經營は國庫と地方費が主體となつてから地方寄附を受けて一部分のみ學年延長をなす事は教育行政上不可能である

## 營業自動車の許可方針で

### 武尾君警察部長に迫る

#### 武尾君

教育費二面一校實

現のため八十餘萬圓が計上されてゐるがこの計劃は現在の程度に普及し完成までには將來何ヶ年を要するか道内の或處において入學生徒が豫定數に達してをらぬ普通學費もあるといふが事實が一面一校は總て道民の子弟を教育するのが目的である然るに今事到大邸府の小學三普通校三の例をとつて三ヶ年間の

統計をとつてみるに小學校は義務教育で内地人の全子弟が入學するに反し普通學校では一ヶ年入學志望者七百三名この中入學を許可されたものは七十七パーセントにすぎず私立學校入學者五パーセントは入學出来ないものである之を小學校に比すると非常な等差がある大邸において更に普通學校一校新設の要に迫られてゐる一面一校主義の徹底普

及を期するため如何なるお考へであるか、次に小作問題について内務部長に質問致したいが之は後日に譲る事にする、更に警察部長に道内の自動車道路網及び自動車經營者を後で書面を以て御回答を願ひたい、次に自動車營業者の許可方針及び最近非常に増加した自動車事故取締方針並に運轉手試験及び自動車の検査の徹底を期して貰ひたいが如何なる方針であるか

とところへ脱線しつゝ論旨を進め次に衛生課長に對して質問す衛生關係で慶北に於て刻下の重大問題は癩患者の取締と豫防及之が根絶である、それと同時に一般民衆に對して癩病豫防の衛生思想を普及を徹底せしむるが急務であるがその方針如何、更

に警務部長に對して産業計畫を  
簡明瞭に承りたい  
と各參與に對して地方費に關係の  
ない事にまで脱線しつゝ一廻り質  
問して長廣舌を終る

## 林知事

普通學校新設につ

いて御答へする昭和四年から毎  
年十六校宛新設する事となつて  
ゐる推立學童三十三萬の中現在  
就學するもの四萬五千人計劃完  
成後の就學兒童十萬人を加ふれ  
ばその歩合は三割三分となる一  
面一校計劃は一人の文盲を無く  
するの目的でなく初等學校の  
普及が目的である武尾君は大邸  
の事に就て御心配であつたが地  
方では大邸以上の處が多く私は  
貴君以上心配してゐる、就學率  
は道全體では昭和四年八五パー  
セント五五年八十七パーセント  
となつてゐる

## 大野警察部長

自動車問題

は豫算に關係がないと思ふが後  
で圖面其他で回答する乗合自動  
車は一路線一營業を許可する方  
針であるその外取締を嚴にして  
誤りない様注意してゐる、トラ  
ック營業許可は從來の許可數が  
多いので用願者を嚴選して許可  
する方針を執つてゐる自動車事  
故の多いのは遺憾であるがこれ  
は種々の原因が錯綜してゐるの  
で各警察署の交通整理を嚴重行

はしめつゝあつて事故を起した  
運轉手は嚴重處罰して取締つて  
ゐる車輛の改善は大いに監視し  
てゐる

# 普通學校問題で

## 崔、武尾兩君肉迫

報 6. 2. 25

ながくしい質問に議場ダレる

### 慶北道評議會 (第三日)

第三日 (廿四日) の慶北道評議會は午後一時二十五分振鈴と共に開會、議長諸般の報告を終り出席三十四名、缺席三名。

議長 演當局としては出来るだけ皆様の御意見を承はりたいと思ひますが重複したいやうにお願ひしたい。

と希望し前日に引續き崔潤君質問を繼續する。

崔潤君 (慶州) 一面一校の完成したところでは普通學校の學年を延長する考へけないか、また權について國庫補助を要望する意志はないか。

番外 (伊達内務部長) 本府の方針としては一面一校主義の完成するまでは學年延長と同時に實行することは困難であると云ふ。現地で財政關係から原則として先づ一面一校を目標として居るが、一面一校の完成に支障を生じないところに於ては學年延長の可能性がある。

番外 (宋産業課長) 本道の産業政策から見て原料の權を多くするよりも製品を多くすることが理想で本年は四千圓の補助を受

け傳習所を置いた、權は七百圓、實の產出があり全國的に第二位にあり補助はしないが集注的指導をする考へである。

崔君 一面一校主義に支障のない限り學年延長をすると云ふのなら全費用を地方民が持てば許すか。

番外 (伊達内務部長) そうしたことは歡迎しない。

とアツサリ突放し崔君二日間に亘る質問を打ち切り。

武尾禎藏氏 (大邱) 數字のことは委員會に譲り大體の御質問をしたいと前提して一面一校主義實現のために八十餘萬圓を計上して居るか。

一、本道の一面一校主義は幾年度に實現するか。

二、各地における入學率ほどの程度か。

と就童兒童の數字を擧げて大邱に普通學校一校を増設する必要があるがこれに對する御方針を伺ひたい次に内務部長に小作問題轉じて警察部長に自動車政策についてお伺ひしたいが何れも面々で回答されたいと云ひ自動車の事故激發を指摘し餘により盛澤山の長口説を

振ふが聲漸くダシ氣味となる、最後に井上衛生課長に質問の矢を向け盛んに脱線し癡病問題を論じ山根課長を引出し各參與を一わたり組上に乗せて鋭鋒を收めた。

### 自動車政策

大野氏初答辯

議長 私から御答へ致します。一面一校計畫は昭和四年度から八年計畫で毎年十六校宛漸設し昭和十一年に完全することになつてゐる、現在の兒童推定數は

三十三萬人でこの中就學兒童は  
四五千人で一割四分弱に過ぎず  
計畫完成後に十萬人を加へても  
僅か三割三分に過ぎず一面一校  
計畫は決して文盲の絶無を期す  
といふのではなく出来るだけ少  
くするといふにある、尙入學比  
率は昭和三年度に八五%四、同  
四年度八五%、五年度には八  
七%となつてゐる

### 番外

(大野警察部長) 御たづ

ねの自動車問題は豫算問題と少  
し異ふやうであるが簡單に御答  
へする自動車營業許可方針は現  
在一路線一營業方針でそれによ  
る弊害は充分取締つてゐる自動  
車事故の防止については各警察  
で交通整理を剛行し事故を起し  
た運轉手に對しては嚴罰方針を  
とり事故の絶無を期してゐる

### 番外

(井上衛生課長) 癩病の豫

防及絶無を期することは重大問  
題であると同時に當局が全力を  
盡してゐるに拘らずいまだ大  
した効果を擧げ得ない困難な  
問題である、全鮮の癩患者八千  
人中、北は二千六百六十人の  
この中病院收容者四百五人、自  
宅治療千六百五十一人、浮浪者  
六百八人といふ状況で當面浮浪  
者の收容が最も必要であるが經  
費並に場所の問題で頗る困難で  
ある

とて癩患者に對する道の施設状況  
を説明する

時に午後三時十分以下朗刊

黄 海 道

黄 海 道 評 議 會

新 朝

第二日目——二十三日

を起し窮民をうるほし得ること  
は當局のその施政に對し感謝に  
堪へず依て内閣總理大臣、拓務  
大臣並に朝鮮總督、商務總監あ  
て道評議會各を以て感謝打電を  
された

二十三日午前十時議長參與員及評  
議員夫々議席に就くや議長書記を  
して本日の出席議員及議事日程の  
報告をなさしめて後愈々歳出經常  
部第一款土木費同時第一款土  
木費第八款補助費中第一土木費補  
助に就き審議に入るを告ぐ

點がある様に思はるる黄州遼安  
間の道路は二十年來閑閑にされ  
てゐるが本年度において此れが  
改修を行はるるや從來の例を見  
るも公平ならざる點あるは遺憾  
であるが當局の實施方針に就き  
その内容を詳細説明され度し

▲議長 本動議に對し異議なきや  
と詢問にはかり異議なく可決し打  
電を議長に一任することに決し次  
で趙東淳君(黄州) 園奎植(咸川)  
君と土木課長との間に質問應答  
後正午休憩に入る

▲宋承燾君(所溪) 並に朱成鎮君  
(谷山)と内務部長、土木課長、  
地方課長との間に窮民救済土木工  
事に關し質問答あり殊に朱成鎮君  
約五十分に亘り猛烈に質問を試み  
たる後黄州選出の趙坂秀一君議長  
を呼んで立ち

▲土木課長 たゞ今の御質問中窮  
民救済に就ては本道においても  
多年本府に對し申請をなしつつ  
あつたが本年に至り之れが實現  
を見る事となつたのであるなほ  
御質問中不均衡の嫌ありとの御  
説であるが之れは三ヶ年の繼續  
事業として道路その他の土木工  
事を完成する豫定であるからそ  
の點諒せられたい

▲趙東淳君(黄州) 窮民救済事業  
緊急動議ありと起ち

▲趙東淳君 本年度より三ヶ年繼續  
を以て窮民救済土木工事を起さ  
れたることは感謝に堪へない本  
道においても充分遺憾なきを  
行はるる事と思ふが今豫算面  
を見るに剛か均衡を失つてゐる

▲趙東淳君(黄州) 窮民救済事業  
緊急動議ありと起ち



# 威南道議會日

2. 25

税金の引下は困難

他道に比せば下率

威南道議會第三日は二十三日午前十時半開會、會議に先立ち議長より豫算審議の方法につき、議場

の両君から二三の押問答あつて土木費同補助費土木費總費本年度支出額並にこれに關聯せる地方費土木費設定の件道地方費起債の件豫算外義務債の件等を一括上程

▲南百祐君(元山) 地方制度改正に於て道を除外せる理由如何、緊縮政策は何時まで續けるつもりなのか、最後に一般地方民の疲弊その極に達してゐる今日道においては減税の意志はないか

等々の質問を繰り返したが議題外の質問として擯り去られ然らば窮民救済事業の對象となるべき現下の道内窮民の實情如何、しかして本事業の計畫に基づく城川江、安邊南大川西河川改修工事の施行面積如何

と實せば甘肅内務部長實際の事業計畫並に工事設計は四月にならねば決定せぬと答へ

▲種谷土木課長 先づ順序として窮民救済事業の性質並計畫の概要について御話します

と前提して約三十分になり具體的の數字をあげて説明し終つて晝食のため休憩、午後一時三十分再開山本地方課長窮民救済事業としての土木豫算と公債並地方費關係

につき説明するところあり

▲崔相玉氏(威興) 現内閣の旗しるしたる緊縮の時代にかゝはらず本道豫算面は膨大なるものあり此の財源を見るに窮民救済費以外は諸税金によつて住民に加重なる負擔をせしめてゐるようであるが如何

等々其他二三質問を試み氏一流の

長廣舌を以て論鋒や、當局政變に出たるも効を奏せず場内ダレ氣味に入る

▲甘肅内務部長 御質問の一部につき私より答辯致します荷も豫算は現内閣の緊縮方針に基き編成しましたもので其の財源である税金におきましても昨年より税率に於ては加率したものはなく只家屋税が増入となつてゐるものでこれは自然人口の増加によるものでありますから左様御承知を願います向一言申して置きますが皆様の内で税金率を引下よとの御意見を有せらるゝ向もありませうがこれは道現下の狀勢からして困難のことでありまして他道に比しまして寧ろ下率にある次第でありますから御含みを願つて置きます

なほ崔君が質問せる道路修繕、長津街道に横たはる諸君等の除雪等に地元住民賦役の加重云々に對しては

▲種谷土木課長 現下道財政の貧弱に起因するもので海に御氣の毒ではありまするが關係地住民方に社會奉仕の美風によつて御願するより外ありません

と答へ議事進行元山杉野多市民洪原金基協氏等前質問者と大體同様の質問を試み夫々關係者より答辯するところあり午後四時四十分關水議長は日程終了を宣した

(威興)



# 平北評議會

新

第二日目 二十日 6. 2. 25

（新義州）平北道評議會第二日は

二十三日午前十時四十分開會まづ

佐伯内務部長 諮問第一號議案

中蔵出経常第一欸土木費豫算

十三萬七千三百十二圓（前年度

より四萬八千六百十四圓減）一

道路橋梁費二、治水堤防費三、

土木諸費臨時部第一欸土木費

豫算十一萬一千圓（前年度より

四萬六千三百圓減）一、道路橋

梁費二、治水堤防費三、土木費

貸附金同第七欸補助費八十萬百

十三圓（前年度より三萬八千六

十一圓増）一、土木費補助同第

九欸土木費補助同本年度支出額

八十六萬八千圓一、土木費補助

二、三等道路改良費本年度支出

額二、同大江下流防落止工

事本年度支出額三、同中江鎮工

工事費本年度支出額等に就て詳

細説明する處あり終つて質疑に

入り

飯島榮太郎氏（雲山）發言を求

めて既定の道路十五年計費及物

價銀下落による豫算編成の考

慮道路工事調査制度の内容河川

調査等を質問

府縣土木課長 道路工事施行は

順調に進行してゐるが財政的都

会上位位なく計畫を變更し又物

價及び勞銀下落の現情に鑑み大

體現在の率を基準として豫算を

編成したもので從來より約一割

減で工事調査は原則として道内

居住營業者をして調査はせてゐ

るが工事の如何に依つてはやむ

を得ず道外營業者に調査はせる

こともある而して河川調査は經

費の都合上先づ三橋川より着手

せんとするもので他は漸次着手

の意圖であると答へ

▲多田榮吉氏（新義州）議事進行

についてと前提し前日吾々議員

間で協議の結果議事を進行させ

るために進行係として姜利道君

（義州）姜利道君（昌城）全聖

根君（寧邊）三名を推挙し且前

例に鑑み建議案の審査を防ぐ方

法として委員を設け案の内容を

審査の上必要と認むるもののみ

を選擇一括して議長に提出する

ことゝいたしましたから提案者

はお含みの上議後の弊なき様お

願ひします又委員各位は議員

より質問があつた場合同一質問

に對しては反復質問に應ぜず努

めて議事の進行に留意されんこ

とを希望いたしますと大いに進

行振りを發揮し

姜利道氏（義州）鴨綠江及三橋

川の防水施設計畫並に窮民救済

土木事業施行に關し救済し得る

人員及其の金額如何と質し

▲府縣土木課長 鴨綠江及三橋川

等の防水施設に關しては度々本

議へも陳明致してゐますが全鮮

の上から見ればそれより以上に

急を要する河川があるので容易

に實現 様に至りませんが將來

も極力實現に努めます窮民救済

土木事業に依る勞銀は工事費の

約六割百五十萬圓位で之を一人

一日約七十錢の勞銀と見積れば

延人員二百七十一萬人を救済す

ることゝなるのであります

▲横江重助氏（新義州）窮民救済

の土木工事に使役する労働者は

鮮人のみに限り支那人は使役し

ないが若し鮮支人兩者を使役す

るとすればその比率如何及工事

に従事する職員俸給の計上一誤

算ありとて同氏一流の理財家の

明確な計數上の質問を試む

▲府縣土木課長 工事の目的が窮

民の救済でありますから主とし

て道内の窮民に使役するのが目

的であるとして道内における労働

者の状況を數字的に説明し且職

員俸給豫算の計數は後刻調査の

上お答へいたします

▲議長 此時休憩を致す（午後零

時二十分）

午後一時三十分再開質問を續行

金學烈氏（智道）劉昌漢氏（慈

仁）

▲府縣土木課長 道路工事施行は

順調に進行してゐるが財政的都

会上位位なく計畫を變更し又物

價及び勞銀下落の現情に鑑み大

體現在の率を基準として豫算を

編成したもので從來より約一割

減で工事調査は原則として道内

居住營業者をして調査はせてゐ

るが工事の如何に依つてはやむ

を得ず道外營業者に調査はせる

こともある而して河川調査は經

費の都合上先づ三橋川より着手

せんとするもので他は漸次着手

城) 韓股變氏(雲山) 供實晴氏(定州) 鄭側玉氏(鐵山) 等より交々各出地地方的色彩濃厚な等外道路の昇格施設或は市街地整理等に關し我田引水的實問發に對し一々齋藤土木課長の懇切な説明があつたがなほ満足せず實問發の傾向を看取し

▲吉田雅一氏(龍川) 實問は漸く盡きたものと見へ實問でなく意見や希望の陳述がある様であるから實問打ち切りの動議を提出いたします

とて大に議事進行の幹旋に努めたが鮮人議員側の反對に遇ひ且議長からの注意もあつて結局吉田氏動議を撤回し更に實問を續行金聖根氏(寧邊) より水道費補助に關し新義州の一萬圓と義州の一千圓はその差額極めて多しとて理由を質し齋藤土木課長より新義州の水道施設と市街發展の現状を説明して納得され最後に

▲飯島榮太郎氏(雲山) 實問もすでに盡きた様に見受けまゝからこれで打ち切つては如何と動議を提出し多數の賛成あり依つて

▲議長 歳出總算第一部第一款同時第一部第一款各土木費の第一議會は終了いたしました本日はこちらで散會しますが明日の日程を報告いたします(日程省略)時は午後三時五十五分

本案議題に附せられると該附有地西濱の埋め立地はライジングサン石油會社の重油タンク設置地とし特約あるに對して日油側も利害の關係上默視する能はず同一地點に希望を起したのでこゝに端しなくも議員間に論難を生じ三番清水四番茶野二議員の二社に賛成する説を立て且從來ラ社側の關係につき不満の意を述べたるより理事者側は之れが歴史を明かにしてラ社に特賣すべき理由を示し六番光富八番香原二議員の質疑などあり日油側の代表者の傍聴等もあつて議論は甚だしく細化したが議長の注意で秘密會に移し協議の結果再開し三番清水議員發言して

一、ラ社に特賣する隣地を埋め立出願なし之が實行の上必要の面積を日油側に特賣し便利を圖ること

二、右不可能のときは現日油の倉庫地先を三百坪以内を分譲すること  
右二案を認むるときは原案に賛成するとの主張に對し前田府尹は日油倉庫地先は海岸の突端なること又諸田内務から右の二案は今回の協議せる特賣例條による二百八十坪の賣却に關係せざることとなる理由を明白したる上滿場一致原案賛成日油側も満足して引下つた如くである次に多年の宿題であつた群山の町名變更新町名の件は理事の提案を大體賛成したが或時日を限り町友會の申し出を認めることになり之が通知を發するものとして午後五時閉會した

第十二回道評議會

土木事業中の

窮民救済について

意見希望に花が咲く

二十三日午後

山 群  
6. 2. 25

菓子、紙類、薪炭その他の燃料、雜貨、世帯道具、其の他總會の決議を経たる物第三十四條には『本組合に於てなす加工又は生産品左の如し』として穀類の精白、味噌、醤油の製造をなすことを明記し第三十五條には『組合員は組合長又は理事の承諾を経るに非ざれば本組合に於て取扱ふ物を本組合外より購買することを得ず』と規定せり此の数々條を見て中小商業者前掲各種の品を販賣しおれるもの誰か脅威を感じざるものあらんや、況んや低利資金で特殊の恩恵に浴せんとす、中小商業者克くこれと對抗して其の存在を全ふし得べきや、此點に付て貴所の審議の内容如何を承知せざるも東京商工會議所は昨年中小商業者救済策として大藏省預金部より全

國の中小商工業特別融通資金を貸出せしむべく其の實現に努めつゝあり又大阪商工會議所は中小商業者をして百貨店の壓迫より免かれしむべく之が對策に腐心しつゝあるが如きその事項に相違あるも中小商業者の保護を念ふに於て毫も異ならざるなり、我等は此事象に鑑み只貴所に信賴する所ありしが貴所の御措置は今や我等の期待に全く反せり此の上は我等自から問題の解決に極力善處し此の急迫せる期に際し適當の處置を取らんとす、於是我等は義に提出せる建議を撤回す、乞ふ御諒察あらんことを、終りに臨み貴所の健在を祈る

昭和六年二月二十三日  
建議書提出者 岡田末吉  
群山商工會議所 外四十一名  
會頭 梶太三郎殿

第十二回道評議會

副業獎勵費や

収穀物検査所の合併

勸業授産費の質問

二十四日午後

山 群

16. 2. 26

吉秉洪君

方法に付説明を求め尙自己の意見を述べた。

内務部長（之に對し微細なる説明を爲す）

金熙一君 人件費の増加は  
目下縮少の時に當り不當では  
なきや〔と質問す〕

内務部長 人件費は昨年  
比し多少増加して居るが本年  
度よりの事業擴張に比較すれ  
ば減少こそして居るが増加は  
して居らぬ

午後三時休憩  
同三時三拾分

三時三十分再開

崔鍾烈君 副業獎勵として

調農務課長 養蠶家に付て  
は目下各郡に照會中である故  
此の席上では言明が出来兼ね  
る

**● ● ● ● ●**  
**李産業課長**

山林組合費を等級別にして徴収する事は至極至當であるが此の等級を區別するには多大の費用を要す

# 漁業獎勵

光富嘉八君 水産農業工業  
は總督府の三大方針であるが  
水産業の豫算案を見るに最も  
少きかの感がある、吾が全羅  
北道は漁業に取りては天恵の  
地であるが經費の都合上とは  
云ひながら此の天恵の漁業を  
等閑に附して居るかの如き點  
も多大ある群山方面には魚族  
の繁殖に最も適して居る箇所  
があるに拘はらず之を放任し



て居る故不正漁業者が多數入り込んで採漁して居るのは魚族の撲滅する慮れがあると共に少資本の漁業者は常に之に壓迫を受けて居る状態である故當局に於かれては充分御考慮あつて水産業奨励の意味にて左の要件を考慮して貰ひたい

一、水産品加工物設置

牛より能力三倍の

# 馬の飼養奨励

を力説する光富議員

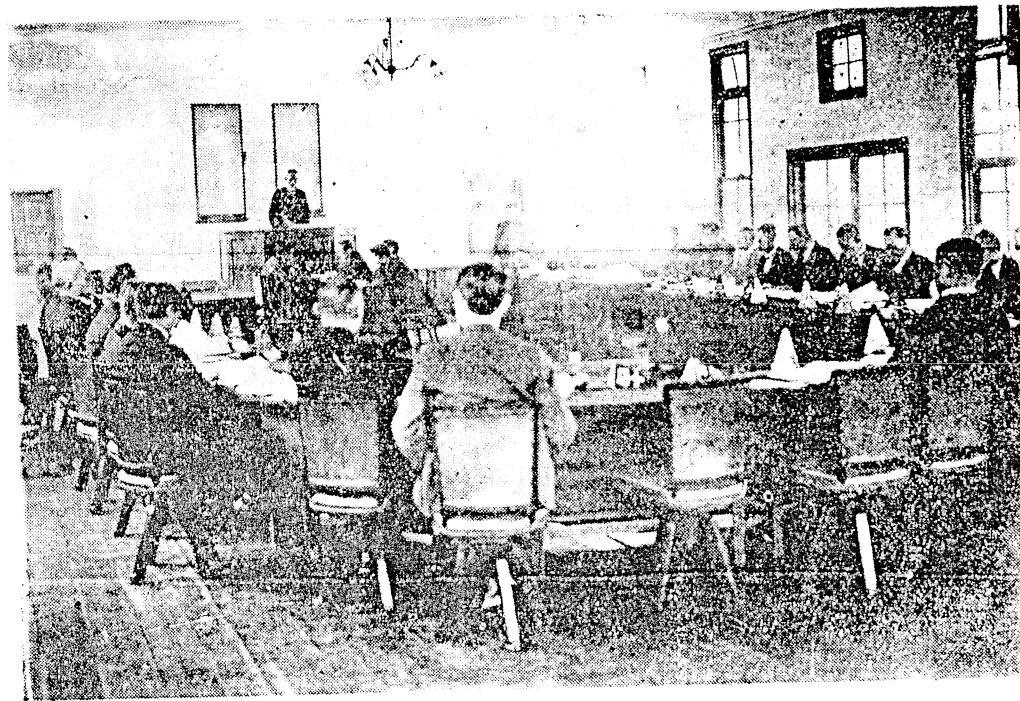
一、漁場の取締  
一、養殖の奨励

右之要件は多大の費用を要する事業ではあるが又之が完成の曉は多大の収益ある事業故當局に於かれては極力之が研究を致され是非共實現する様と《長時間に亘り本道内の利害關係に付き詳細な説明を爲し》

ら農家に取つての利益に付之  
又詳細に水の流るゝ如き説明  
振は議場を壓倒する様であつ  
た

李産業課長 只今水産事業  
に付ての説明は將來の爲に參  
考として拜聽すると共に之が  
實現を計る可く極力研究を致

物に重きを置き吠を輕視する  
慮れがある故少々費用を省  
かずに従前通り別々にして置  
かれたし吠製造人は窮民であ  
る故此の吠検査を輕視されて  
は窮民の生活が出来ぬ故此の  
政策は窮民いぢめである。尙  
又蘭綿の共同販賣は買入に來



目下開催中の第二十回全道評議會

す  
調農務課長 馬の飼養奨勵  
に付ては當局に於て今少し研  
究する旨を答へた  
齋藤勤君 吠検査所と穀物  
検査所との合併は検査上不便  
なきや  
調農務課長 検査上に付て  
は毫も不便なきのみならず合  
併すれば人員の減少も出來  
費用も少くなる（と道として  
の利益を説明す）

る役人が不親切であり横柄で  
ある故此の共同販賣に付て考  
究して貰ひたいと述べた  
内務部長 只今 質問に吠  
穀物の検査所を合併すれば窮  
民いぢめとの由であるが其の  
理由が判りません（と突き込  
んで）窮民救済でこそあれど  
窮民いぢめにはなつて居らぬ  
と他道の例を引きて詳細の説  
明があり、尙共同販賣に付て  
の役人の不親切横柄の點は實  
に恐縮ですが今後は斯る事の

ない様部下一同に注意を致す  
故惡しからず御諒承を（と怒  
つたりあやまつたりの答辯は  
流石堂に入つたもの）  
朴碩奎君 井邑特産品の芋  
麻の賣行不振、大麻獎勵の件  
砂防工事場以外禿山にも萩の

蒔付等質問す  
李産業課長 特産品の芋麻  
賣行不振に付て詳細の説明が  
あつた  
調農務課長 大麻栽培獎勵  
に付ては考慮し置く旨を述べ

た  
工藤技師 禿山に萩等の蒔  
付は目下除々に行ひ居る旨の  
答ありたり  
午後五時勸業費及授産費の日  
程を終りて散會す

## 學校寄宿舎授業料等

## 教育費に關する質問

學務課長説明に努む

二十五日午前

日午前拾時半開會、開會に先立ち

### 二拾三番(柳直養氏) 會議

は云ふ迄もなく議員各自の利益を計るに非ず百五拾萬道民の福利増進を圖るにあり加へて會議の爲め四千圓以上の費用も要るのであるから各議員は十分意見を述ぶるを可とす但し國語不可解の議員は發言上不利益の場合少ない事を遺憾とするが自分は思ふ存分意見を吐露するつもりである、右に對し

議長 各位の意見に對しては十分誠意を以て傾聴し且つ尊重する、國語の解らぬ議員でも十分に意見を開陳せられんことを希望する之れより開會

### 一番(李康元氏) 教育費に關し左の質問を爲す

- 一、全州高等普通學校寄宿舎設置の件
- 一、女子普通學校増級の件
- 一、湖英學校に補助を與へ又簡易商業學校設置の件
- 一、一面一校よりも既設の普通學校に教育參考資料を設備すること
- 一、普通學校の授業料減收の件
- 一、普通學校風紀額廢の件

學務課長 高等普通學校寄宿舎の設置については、當局において同感である、右は昨年度において百名を收容する寄宿舎を設置することになつてゐるが地方費豫算の都合上中止になつてゐるのは當局としても遺憾に思つてゐるのである、次に群山中學は同情ある父兄の寄附金を以て寄宿舎を作るやうになつてゐるが全州も右の如き篤志家があれば一日も早く實現を見ることと思ふ、女子普通學校の増級は六年度よりは不十分ながらも二教室を増級することゝな

には現在道より一年四百圓づつの補助を與へてゐる簡易學校の設置も同感ではあるが豫算の都合上急に實現は困難である、既設普通學校の備品については當局としても遺憾に思つてゐる、授業料減收は單

## 全北道内に

# 商業學校の必要

を説く磯部議員

### 拾番(磯部謙哉氏) 忠南道

は今より拾年以前に商業學校を設置してゐるが本道には未だ設置を見ない之れは何んなものであらうか、全北は其の發展開發において忠南に優つてゐるとも劣つてゐない筈である、本員は敢て之れに對し當局の答辯を求むる譯ではない、唯だ意見を述べたまで、あると如何にも針を合むが如き句調で述べ立て、更に群山中學校授業料の件につき質問す之れに對し地方課長より各項目に亘り詳細の説明があつた

四番(康泳部氏)

一、公立普通學校授業料全廢

の件

一、群山中學生徒は三分の一に達する迄朝鮮人生徒を採すること

地方課長 群山中學に朝鮮人生徒を三分の一入學せしむることは尤も次第ではあるが此のことは學校長が試験の結果決定するのであるから當局として之れに干渉することは出来ぬ校長に一任するより外に方法はない

八番(黃仁杓氏) 學校のな

い田舎に學術講習會を設置されては如何と質す

學務課長 研究の結果お答へする

十二番(山本悅藏氏) 這廳

所在地たる全州に中學校の設置なきが當局においては全州に中學校設置の意志なきや否やと問ひ更に進んで全北道の位置並に目下全州に在留朝鮮人にして中等教育を受けざるものゝ狀況等につき熱辯を揮つて質問す

内務部長 全州に中學校の設置なきは内地人は勿論朝鮮人間にも不便を感じてゐるが經費の都合上來年度において直ちに設置することゝは此の席上において言明は出来ぬ

【全州電話】

様子では土木事業工事の諸事が餘り長引く故今少し議事の進行を計るか議事日程を變更するかして貰ひたい

議長 日程變更する必要なき故各議員に於いて簡単に述べられたい

金相鎬君 窮民救済事業たる三ヶ年繼續の土木事業及砂防工事は三年後は如何になるや、土木組合は各郡に設置されたし、修路工夫の服務状態は如何との間に對し

大森土木課長 窮民救済事業は三ヶ年繼續であるから三年後の事は此の席にて言明は出来兼ねる、土木組合設置に關しては昨年より協議してゐるが何分經費の都合上之が實現を見ぬは吾々も遺憾に思つてゐる、修路工夫は現在三十九名の處一名を増加し四十名になし一人當り八里餘の里程を修路して道路監視員は巡廻し隔日に見廻りをして監督をなす

山本悦藏君 《昨春秋兩三名の議員と道内視察した時の状況に付種々質問意見希望等を述べ》

大森土木課長 《右の件に付き別々に詳細の説明》

金相鎬君 窮民救済事業は本員も實に感謝する處であるが三年後の事が不明である事は實に残念である故之を生産事業として貰ひたい、土木組合設置は經費の負擔を少くする爲め面費を以て代償すること、修路工夫を廢し工夫費を面に與へ面より修路する方が良結果を見るならん等の希望を述べ

金相鎬君 二等道路の改修の件、窮民救済事業は各郡公平等に工事を行ふ事、道路工事なき郡に於ては砂防工事を

工事は各郡に平等に且つて行つてゐる事を答へ

金産業課長 砂防工事は窮民救済を主とし事業本位である故道路工事のなき處は必ず砂防工事を爲す事は出来ぬと砂防工事の本旨に付き説明す

たる工事は都會即ち金州郡山裡里等に多い様であるが一般農村の窮民を幸福にする様に一二、三等道路等の砂利敷も從來は各個人で行つて居つたが、これを人夫に行はせたら窮民救済の方法にはなるまいか、尙土木事業は請負者の利

益にのみなつて救民の利益にはならぬ故外に方法はなきものかとの不得要領の間に對し大森土木課長 窮民救済事業は都會地よりも農村に多く行はれてゐる、尙又一二、三等道路の砂利敷は人夫をして行はしむれば窮民救済の方法として至極道理ではあるが朝鮮從來の美風たる各個人の砂利敷を吾々として今直に撤回する事は出来ぬ、又請負工事は請負者の利益にのみたる様の説なるも從來の統計を見るに材料費が六割、人夫賃が四割となつて居り機械や熟練を要し居る職工も使用せずば完成出来ぬもの故之は外に方法はなく現在の儘にするより方法なし

柳直善君 四割の人夫賃等もお客へあるが人夫の受くべき料金は極少である、本議員も相當の経験は有してゐるが請負者たる者は人夫等とは他より連れ來りて地元の人夫を使用する事は極少である《と突き込む》

光富嘉八君 一二、三等道路修繕費は五二、二七九圓にて前年度に比し二九、七九三圓の減少である様だが此の豫算にて道路の維持改修々繕等が完全に出來得べきや尙他道の例々ひきて忠南道の如きは自動車一臺に對し百圓の寄附を仰き道路の改修費に充當せし由なれば本道も何等かの方法にて財源捻出策を講じられ

我々の意見に副ふ様計られた  
し（と眞劍にて首を縮める如  
く質問）

大森土木課長 土木費の減  
少を見てゐるのは事實なるが  
質問の件に付ては支障は來た  
さぬ筈尙他道の状況を拜聴し  
て種々吾々に參考となりまし  
たと苦しき答辯であつたが本  
日の日程たる土木費は之にて  
終り午後六時散會した



# 土木費で

## 論議賑ふ

新 2.26

再開

### 第二日目の京畿道評議會

京畿道評議會第二日は二十五日午後一時から道評議會室において開會出席者議員三十八名定刻議長開會を宣し

第一號案 昭和六年度京畿道地方費(一般會計)歳入出豫算中土木事業費全部

各項に對する第一總會に入る金泰準氏(永登浦) 窮民救済事業に便ふ人員は幾人か又一二三等道路の改良如何

松井土木課長 道路改良に七十一萬人河川改良に百七十萬人の見込みである又工事場所が京仁街道中瀝江、永登浦、京城、江陵線中、京城府界、箭串橋手前間京城五里津線中京城府界清涼里驛前間、京城麻浦線等百一萬餘圓である

朴箕煥氏(廣州) 窮民救済事業に都市と農村とを別々にする事はないか

矢島内務部長 都市と農村とはその救済に均衡を得さしめ都市繁榮と農村の振興に充分意を致してゐる

張弘植氏(京城) 窮民救済事業と云ふが餘り簡單で請負業者に請負はして施すのかそれとも他の好い方法でやるのか此の點を

明らかにして頂きたい  
松井土木課長 河川改修並に道路工事は請負になると思ふが請負の弊害は認めぬ  
沈圭澤氏(利川) 臨時部に多大の豫算が計上しあるが償還財源確立してゐるか

矢島内務部長 治山治水事業に對しては三百四十萬圓を計上してあるがその八割が國庫補助残り二割が地元貢たんとつてゐる

又道路に對する償還方法は六割が國庫四割が地方費負擔である  
韓萬烈氏(京城) 財界不況緊縮の折柄成程河川、道路等に對する工事費は前年度に比べて大分減少してゐるがこれに正比例すべき人件費が一文も減少を示してゐず更に雑役夫並に工夫等に對する賃金が減少を示してゐると云ふ事並に並木養成費等について詳細に説明して貰ひたい

松井土木課長 減少せしめたいが現在の狀態でも尙手不足である又並木養生費と云ふのは道内一二等道路の並木植栽に對しては道において苗木を賣求めてこれを四ヶ年養成し五ヶ年目に道路に對して植栽するのである

時に二時四十分議長は十分間の休憩を宣す

かくて午後三時再開  
黃祐天氏(江華) 土木課長の説明によれば同計畫は窮民救済三年繼續事業として施行する事であるが同計畫は主として京城近郊に重きを置き管下各地方を度外視したので京畿道全般にわたる窮民救済は徹底しないと思ふ

矢島内務部長 必ずしも京城を中心としたものではなく十ヶ年計畫にある繼續事業として道路治水等を漸次全道に進めてゆきたい

朴彌秉氏 道では一、二、三等道路の改修に對しては安城郡邊は忠北との道境にありこれが改修施設は最も必要と思ふが當局では何等か計畫あるか

松井土木課長 道としては等外道路の改修も必要と認めてゐる安城郡の等外道路に對しては來年度においてその一部分を改修する事となつてゐる

岡本豐吉氏(開城) 繼續事業に對して重大視してゐる京畿道はかつてなき此の大事業のために三年後には七百萬圓の大借金を背負はねばならぬしかしその餘慶が何程京畿道民に及ばすかその結果は頗る重要問題であるしかしてこれが償還方法は國庫地方費によつて當るとの事であるが詳細なる説明を願ひたい更に又道路政策と窮民救済との程度まで關連してゐるかそれを説明して頂きたい道路費に八十二萬圓と云ふ巨額な豫算が計上して

あるがこれが總て京城附近に撒かれると云ふ事は本末顛倒してゐないか又窮民救済業を施行する三ヶ年間は誠に結構であるが再びその後失業者が續出しはせないか又歸農せしめるに困難をしなければぬか

松井土木部長 繼續事業に對する地方費の純負擔額は百四十餘萬圓である

矢島内務課長 三年後に又失業者が出はしないかと云ふ事並に再びこれを農村に歸農せしめると云ふ事については當局としても憂慮してゐるこれに對しては當局としても慎重なる考慮を拂つてゐる

成公綠氏(京城) 先程内務部長も道路が悪いと云はれたが道面が悪いのか又は自動車交通が頻繁になつたため斯る結果を見たのか又その修繕費に八萬二千圓を計上してあるがこれは他道に比して如何

松井土木課長 地方費の一般修繕費では道面の一般修繕はしてゐないそこで何故路面が悪いかと云ふと他道に比して交通頻繁であるのと道幅が狭い結果であるだらうと思ふしかし近く取りかゝる幹線道路の完成を待つてその缺陷が漸次省かれはしないかと思ふ

次に岡本議員の動議により第一讀會を二十六日に續行する事を提議し議長これを兩場に諮り全員賛成午後四時十分散會

咸鏡南道

咸南評議會新

第二日目 二月二日 2.26

(咸興) 休會あけの咸南道評議會  
第二日は二十三日午前十時二十  
分開會した伊藤隆弼氏(元山)一  
名缺席、開會に先き議長より  
豫算審議の方法について議長の形  
式に依らんことを諮り満場の賛成  
を得て會議に移る  
歳出入豫算案の内經常臨時部  
の土木費、同補助費、並土木費  
總額費本年度支出額更にこれに  
關聯せる地方費土木費經費費設  
定の件(道路改修工事費以下三  
件)道地方費起債の件、道地方

費歳入出豫算外義務負擔の件(咸興下水の分以下二件)一括して上程  
△南百祐君(元山) 地方制度改正において如何なる理由のもとに府邑のみに自治がしかれて道を除外せるか又中央政府においては數年前より緊縮政策を執り道當局亦これに順應して居る様であるがこれは何時迄續ける方針なるかこの結果一般地方民に隨分經濟的疲弊をもたらし殆どそ

の極に達してゐる今日咸興市で行ふ意思もなく却つて相當新規事業が計畫されてゐる様であるがこれ等について説明を仰ぎたい

と質問をしたが議長から議題外の質問は成るべくこれをさけてもらひたいと注意され更に

△南百祐君 窮民救済事業の安邊南大川、咸興城川江の改修工事總面積距離等の説明を乞ふと追加した

△甘肅内務部長 第一の質疑に對しては内閣の出發に關係があるものでありましてと政府の大方針を説明して第二の窮民救済事業の大概計畫については土木課長より説明がある筈である

種谷土木課長 甘肅内務のあとをうけ詳細なる數字を擧げて窮民救済土木事業計畫の内容説明あり終つて午餐のため休憩となる午後一時卅分午前に續いて山本地方課長より窮民救済事業の地方費負擔の込み入つたる點についての説明あり

△崔相玉君 大體において中央政府の方針に基き緊縮すべきであ

るにその臨時部において却つて増加してることなほ稅收においても増加して理由の説明及道路修繕費の使用箇所にての説明ありたし

△甘肅内務部長 入件費、物産費に付ては極力緊縮したが事業費においては國庫補助、普通學校費及田作獎勵、畜牛改良、その他において増額を見てゐる譯で決して過率ではない更に一言して置きますが稅率をも下げたら如何といふ問題に對しても相當財源を再課率を下げ得るが現狀では當低爲し得ないのでありましてなほ他道に比して決して過率でない

△種谷土木課長 勿論案を建てた時にその箇所も決定してある譯である

と詳しく説明あり  
△崔相玉君 土木費總事業費として七百萬圓といふ多額の國庫補助を得たことに付ては感謝します而して大體それが窮民救済といふのであるから彼これいふべきでないですが窮民救済の方

法について御伺ひ致したい御ち冬期及夏の雨期等の仕事の出来ない時は如何にするか

△甘肅内務部長 失業救済として豫想より多額の救済費を得たことは同慶であります救済の方法については一年を通じて二百日程工事をなし得ると見込み割當てその二百日程で救済出来るとものと信じてをります又窮民救済も大體査してゐます事業には直轄も請負もありま

△甘肅内務部長 三年といふは敢て目下の困難に對する臨時であつてその以後については更に第二の案を建すべきであらう第三の案に對しては各道の地方費の模倣を見ると五割に當ててが本道の大體道内の負擔力にみて定めたものであります第四の案については何も國家のことであるからといふ譯ではな

い河川のみならず道路の如きも當然國家がやるべきであるが特に朝鮮においては國のものでも國家がなし得ない點が多々ありますして道が負擔することが多いのであります御議論としては御

尤もでありますすが止むを得ないのであります(五分間休憩)

△朴道善君 窮民救済費の幾何が彼等に渡るか又起債償還中にもよい仕事があれば更に別な國庫補助で事業を起しうるか

△種谷土木課長 窮民救済費の内道路改修では全工事の七割治水工事ではその六割が窮民に廻る確定であるついでに申し上げますが大體職人位の人が使役せらるゝかといふに一日一人七十錢の豫定で百九十三萬一千餘人で一日に直すと約八千人の人である云々

△劉産業長課 なほ破産工事費で七萬四千圓は地方窮民の手におちる譯で三ヶ年には二十二萬圓餘の金が窮民の手に入る譯である

△甘肅内務部長 他に國庫補助あれば償還期間中でも勿論出来得る考へであります

△金基協君 窮民救済といふことなほいことを何ゆゑもつと早く知らせないか、窮民を救済するに何ゆゑ窮民の調査をしないか河川は安邊、南大川と咸州、城川江とに大部を占めてゐるが各道に亘つてゐないことなどの懸念があつた

甘肅内務の詳細なる説明あつて午後四時三十分閉會せり

# 咸鏡南道

## 咸南道議會

日 26

特殊労働者以外は

京 2. 6.

朝鮮人を使用する

第四日目の日程となつた咸南道

議會は二十四日午前十時十五分開

會昨日に引續き土木費の審議に入

り勝頭崔鍾律君(新興郡)私は外

國人労働者を排斥するものではあ

りませぬかとトツプを切る

▲崔鍾律君(新興)窮民救済費を

以てなす各工事場使用する労働

者は従来通り支那人労働者を使

用するか御伺ひしたい

▲甘庶内務部長 御説に就てはこ

と國際關係に關するもので輕々

には申されませぬが特殊労働者

以外つとめて朝鮮人労働者を使

用することになつてみますから

左様御承知を願つて置きます

後陣を承はつて林昌虎君(長津郡)

長津郡内を通ずる道路修繕に住民

の賦役が過重で長津郡奥地はまる

で窮民養成所の感あると述べ種谷

土木課長當局の計畫のあるところ

を説明し

▲崔漢順君(永興)重要路線であ

るところの元山平北楚山線と永興

平南孟山線を並行に附せず早く

實行して貰ひたいが如何向永興

水道は二萬三千圓で工事に着手さ

れるが内二萬圓は當該面民の負擔

となつて居り窮民救済の恩典には

僅々三千圓であるが餘りに少額であ

るから他に適當の施設を希むもので

あります

▲種谷土木課長 御説の通り各線

共重要であるから當局において

も極力實施につき努力致してあ

ますが何分にも多額の費用を要

することゝ現下の情勢に鑑みこ

の點は御賢察を願ひたいのであ

ります向水道工事に就きまして

は一萬圓餘が労働賃金として永

興邑内外に撒かれることになつ

てゐますから窮民救済の見地か

ら喜ぶべき現象であります

審議遅々として進まず崔相玉君

(咸興)の議事進行につき土木費審

議打切の動議に議長は議員に賛成

を起立で求め

▲閣水議長 只今崔君の動議に賛

成者多数と認め土木費に關する

審議は之を以て打ち切りといたし

ます

時に零時二十分晝食のため休憩午

後一時二十五分再開、議長は議出

經常部勸業費砂防事業費、織物檢

査規則制定の件を一括二議會に上

程しますと諮り、勸業課長より

織物檢査所設置につき説明すると

ころあり

▲勸業課長 從來の織物日業組

合はその目的を達し本年を以て

解散することとなり更に地方費

を以て織物檢査所を設置するこ

ととなりまして一層製品の一

品質の向上に努力するものであ

りますから左様御承知を御願ひ

します

▲崔相玉君(咸興)勸業費につき

種牛の種付料は徴収すべきもの

や、植桑に就てはどうか、蠶業

取締に關する意見、土地改良奨

勵の徹底、水産取締並奨勵は如

何と一時間に亘る盛澤山の質問

に岡田農務、勸業課の兩課長より

上の動議あり

▲洪聖淵君（威興）先程崔相玉君のなせる威興水利組合内の經費云々は事實と相違する點あり斯の如き言動を然も公室に於てなせるは議事進行を妨害するものであるから議長より此種のことにつき御注意ありたし

▲關水議長 只今洪議員の動議の如く議事外のことは慎んで頂きたいのであります

と議員諸公に注意を促せば崔君議長と呼べるも金基協君（洪原）に

發言を奪ける同君より牧野衛助、植桑、乾園場周、沿岸漁業取締の徹底等々の質問に岡田農務、劉産業の兩議長よりそれ々々答辯するところあつた後盧弘周（甲山郡）の山地帶種苗場設置、大麻による穀物指導万等——等の盛澤山な長廣舌に各關係者より簡單なる答辯あり了つて議長は日程終了を宣した時に午後五時十五分（威興）



全羅北道

全北道議會

2. 26 日

久富議員の長廣舌

場内流石に緊張す

全北道評議會第三日(廿四日)は午前十時二十分開會觀衆費の日程に入る

磯部謙哉君(群山)養豚養鶏に對する施設及び副業資金貸付内容につき質問し續いて本豫算を見

ると陸上の産業獎勵に比し水産方面は頗る冷淡であるやうに見ゆるがその施設如何によつては現在の産額二百萬圓をして或は一千万圓に無盡蔵に開發し得るものと信ずる、今少しく水産方面に留意せられたしと希望を述べ、調農務、原田地方、李産業各課長交々立つて詳細に説明

林鳳周君(淳昌)淳昌方面には砂防工事の必要なきや李産業課長 吾々としては必要は認めて居るが經費の關係で止むを得ない

山本君(全州)改善後第一回新議員であるから先づ呑み込める様に勸業費全體に亘り簡單なる説明を求むれば調農務課長酒々々と約四十分に亘り長講一席を繰すれば、呑み込めぬ議員から苦情が出るやら、それでいいといふものもあるやらで議場騒然、遂に個々の質問といふ事になる

橋本君(金堤)紫雲英獎勵の實際と、耕牛放賣の對策を質し堆肥の獎勵は誠に結構であるが、材料たる糞は以製造と燃料にするため原料不足となるの、これ等の點に對する計畫がない以上は折角の堆肥増産も所期に反し

はせぬか

調農務課長 紫雲英十ヶ年計畫、家畜飼料五ヶ年計畫に就き説明し堆肥生産と以製造における糞の價值如何に就いては堆肥生産部落、畜産部落につき統計的に調査した割合は各地その状態を異にし、又その時における各種の事情による

と數字を擧げて説明し、丁藤技師又燃料節約に就き五ヶ年計畫により、溫室改良事業の經過を述べて午前の會議を終り休憩に入る午後一時半再開

柳鎮南君(茂朱)勸業費の經營部臨時部を合せて昨年比し僅に一二萬圓の増加であつて、この金額を以つて何の施設をなし得るか實に心細い次第で、これに百四十萬圓の福利を積極的に向上すること到底望まないといふが、今少しく商工業の發達を圖らねば獨り全北のみならず朝鮮の濟を危くすると思ふ

松平内務課長 國家總論の大議論でありまして同感であります當局としても豫算の許す限り助長につとめて居り日夜これに腐心してゐる状態で將來も出来る限りの努力を拂ひたいと思つてゐる

松井信藏君(益山)私も商工等に對し積極的の施設を欲するものである、事業助長には直接獎勵

所の如きは其の存在を疑ふものである今少しくこの方面に豫算を計上して積極的の施設を希望す

久富嘉八君(群山)私もその積極

的施設を要望する一人であると前提し農業、工業、水産は本府の獎勵する三大方針と聞いてゐるが、豫算に計上された、農産に關するものは實に卅四萬圓に達してゐるに比し水産は僅に二萬四千餘圓の計上であり誠に心細い次第である。學者の説によれば近海一方里の價值は陸地一方里に相當すると謂はれて居り殊に群山近海には有望なる於青島もあり、鎭江、東連江、萬頃江、の大河口があり天恵の漁場であると稱せられるに拘らずその産額は西海岸一千四百四十萬圓の内本道は加工品も加へて(七十五萬圓)わずかに二百萬圓である。而してその施設取締宜しきを得る爲に密漁者の荒すにまかせ、現在の如くんば魚族の全滅も計り知れぬ状態であるこれについては全北水産會より建議書も提出されてゐるやに聞くが、その施設宜しきを得ば、現在の二倍三倍の産額を擧げることがは易々たることである。これを要約すれば

一、水産試驗所内容充實  
即ち二十噸級の漁船を建造し遠海漁業を自由ならしめること  
一、漁獲物加工施設  
即ち機械及び技術員の増設  
一、於青島漁港の設備  
船舶緊留の爲防波堤を築くこと  
一、捕鯨に關する件  
有望なる於青島に捕鯨會社等の設立に援助すること  
等である、無論これに要する費用は莫大であるが、これによつて生ずる利益も亦大である。尙今一つは馬匹の獎勵で畜牛に優る事能率においても數倍である

と堂々三十分にわたりその意見を披露し、李産業課長調農務課長、これに答辯場内さすがに緊張した續いて齋藤勸君以検査と合併による生産検査および販賣に關する利害、獎勵品種たる銀坊主の山間部普及につき意見を述べ林鎮南君芋麻殖産に就いて希望陳述あり午後五時勸業費を打ち切り閉會した

# 全北評議會

第二日目 二 潮 2.26

(全州) 全北道評議會第三日(二月二十三日)は午前十時十五分開會幸盛錫 供饋報附議員の総席金英武議員より一、二議會を同時に開きたしとの動議あり全員異議なしで一決

△金英武(淳昌) 重要な豫算を審議するには誠意を要するが之を運用する當局において誠意が缺けては道民の疑惑を招く、きけば土木課員に疑獄事件が起つた由致て當局に責任を追窮する考へはないか充分責任感念を以て事業の遂行に努められたしと堂々たる熱意を以て痛烈極まる質問に松下内務課若之に應答へ松下内務 たい今の御質問は當局として誠に恐縮に堪へません私達監督の責にあるもの重々遺憾の意を表します特に土木管區等を設け將來事業の進行を圖る考へ御了察を願ふ

と誠意を披瀝し次で大森土木河川災害復舊費三萬三千五百圓の費途土木費補助の内容を説き土木事業の三ヶ年繼續の窮民救済事業を説明し窮民救済事業は一日約六千人の窮民を救済する事が出来ることと當局の偏岐をなじる

△林鳳周(淳昌) 土木費の内容は平野部に厚く山間部に薄いと淳昌附近の道路河川の改修事業を要す云々と當局の偏岐をなじる

△大森土木 山間部平野部といふ偏岐な事は決してしてをらぬと語氣するどく逆襲に出た次で橋本議員の萬頃江改修費五萬五千圓の買換金割合及公共團體河川及治水費買換資金貸付金の償還方法を質問大森土木の簡單な説明あり

△金英武(淳昌) 土木費貸付金の中群山益山に地方費の貸付がある右地方は十分償還能力を有するもので必要を認めない

△原田地方 群山、益山の貸付金は本府の方針として道に低利資金の貸付をなし府面に直接貸付けないこととなつた

△山本悦城(全州) 客年十月十

四日より六日間議員が道内視察した所見及一般事業十係者の公正にして懇切ならん事を要望と項を分けて道路の橋梁暗橋の改修錦山大田間の道路改修茂朱川の修岸工事赤城川の架橋全道道路の工事東津江の架橋苗浦の港灣施設等地方部民の陳情要望を述べ之れに對する大森土木の詳細なる説明あり要するに經費の許す範圍は努力する旨を披瀝して答辭あり、崔鍾烈議員の寶樹淳昌間道路の改修要望、吉永浩議員の全州永同線の未開線開通砂防工事の實施窮民救済事業の平等、叫び柳鎮傑議員の安城道路の改修工事柳直養議員の窮民救済事業は窮民多しを考慮して事業計畫を望む黃仁杓議員の道路修理工夫の増員及道路修路工夫は道智識者の採用方要望何れも大森土木課長に意見承り置く經費の許す範圍を求めて要求に添ふ事とすると受け流しその間議長しきりに急所をつかんで議事の進行を促すこと要領を得てゐる

△光富嘉八(群山) 土木費豫算の減額に對し質問す

と全郡一等道路の修繕工事を促し土木費減額に對する對策として牛荷車及自動車等より道路補修費を徴する他地方の引例を挙げ當局の考慮を促し大森土木全群道路地境群山間の修繕計上しある旨答辭なほ道路補修費繰出し方法を參考として承り置くと受け流し午後六時議長閉會を宣す

第二日 廿三日 午後

午後一時議長再開を宣す

▲金泳澤君（海州）豫算面に單に

既括的の記入あるのみで詳細不明であるこれは豫算案といふよりは計畫案といつた方が宜いが當局の考は如何、なほ賦役に對する經常代給與の方法なきやと質問し土木課長との間に應答あり

▲議長 午前提出の緊急動議にて内閣總理大臣樺務大臣朝鮮總督府務總監内務局長あて「財政不況の際地方救済の爲め多額の土木費國庫補助の御諮議に預り感謝に堪へず本道評議會を代表し御禮申しあげ」と打電せる旨報告あり

▲金基秀君（載學）本道の窮民とはその殆どが農民救済といふも過らず果して然らず農村の最も必要且重要なる等外道路土木工事補助金は僅に三萬餘圓といふが如きは誤れるも甚だしきものではあるまいか當局は如何なる方針を有せるや次に海州廣石川改修工事は放て海州の爲にも急を要せざるものと思はるゝ之れ以外海州には急を要する工事が多くあると思ふが如何、一三三等道路改修工事の内容を明かに答辯せられざるは蓋し知らしむべからずとの御考へか答辯を求む

▲土木課長 窮民救済に對する方針、海州廣石川改修工事の必要なる理由、一三三等道路改修工事に對する内容の明言をされたる理由を説明する處あり

▲金基秀君 簡足なる御答辯とは思はれないが第二讀實において詳細に御尋ねする

▲池貫一君（海州）各工事施設に對し、營とするか購買に附するか御尋ねする

▲土木課長 未だその點は定めてゐない

▲池貫一君 各工事費の事務費明細書を見るにあたかも長老院の感あり本員の意見は第二讀實において述べる

▲盧蒼頤君（倉津）窮民救済事業に就き第一本道内の窮民の調査がされありや從來の例を見るに各種救済事業においてその利益は支那人請負業高利貸等の懷中をこやすのみであるが實に窮民は散て利益を受けてゐないこれ等は當局においても充分考慮されありや本員は第一に支那人を便役せず第二に賃金を毎日拂に第三に最低賃金一定むる事としたいと思ふが當局の考へは如何なほ道當局は總てに節約を旨とするといつてゐるが本年の豫算面には土木主事が新たに置かるゝ事となつてゐるこれは散て必要を認めない却つて窮民救済といふより等遊民救済といへるが當局の答辯を求む

▲土木課長 窮民の數、その得る資金、その他質問に對し詳細答辯を與ふ

▲盧蒼頤君（倉津）道當局の方針に對しては更めて第二讀實で御伺ひする事とする

▲阿波弘司君（鳳山）安岳、載學鳳山間の道路は甚だしき惡路であるが殊に沙里院新換神間の道路に對しては之が改修費が計上されありやお伺ひしたい

▲土木課長 御質問の道路に就ては實に當局において苦心してゐる

るので現在土質の悪い爲め敷砂利を行はなければならぬ然もその砂利の少き爲め手のつけ様もない状態であるが將來共考慮する

▲洪淳翰君（股票）窮民救済の事業は結構であるがこれは前年の例もあり購買に附することは弊害が多いから直營にされたいと思ふが如何、なほ股票今ト間、信用股票間、海州猪島間の中沙鉤橋の工事及栗皮邑内の下水設備に對し豫算の計上ありや

▲土木課長 本勞金の支拂は一層の注意をする考へであるなほ御質問の諸工事に對しても考慮して豫算を計上してゐる

▲津翰君 此の豫算を見るに等外道路は閑却されてゐる様であるが實際窮民救済は等外道路を主とするの要なきや

▲土木課長 窮民救済事業費は箇所を限定されてゐる關係上等外道路は除外してゐる

▲曾久範君（金川）金川郡は黃海道一隅門であるこれを完備せずば黃海道の面目にも關しはせなしか例をあぐれば馬端の遊樂場、金川橋の改修、市邊里附近の道の完備等充分ならず本年度の豫算に計上せるや概して道當局は金川郡に對し冷淡の感があるが如何

▲土木課長 御質問の件は相當考慮されてゐるから御承願ふと答辯しなほ三四の押問答をなす

▲朴相鳳君（長淵）土木經費事業費は窮民を本體とするがゆゑに是非直營に附せられたいさもなければ人件費に斯の如き多額を

▲土木課長 本人件費は決して多額でない若し直營とすれば多くなる人件費それを要するのであることを諒せられたい

▲朴相魯君 長淵苦澁間に大橋梁があるが之れを改修さるゝや

▲土木課長 大體におい本橋を鐵橋に架け替へるつもりである

▲朴相魯君 昔澁長淵間道路改修につき質問やら意見やらをくどくど述べたてゝ土木課長の答辯あり

▲金鍾護君 (延白) 窮民救済事業が地域を限定されてゐるとの事であるが之れにもれた地方は結局その恩典に浴せない事となる然し各等道路改修は幸に各郡に亘つてゐる様であるから是非之れを改修し窮民の救済を行つて頂き度い次に韓成江に對し架橋するや否や

▲内務部長 御尤もの御意見であるから考慮するなほ韓成江の架橋に對しては百萬圓以上を要すると思ふが國費の補助等を得て實現したいとの希望のもとに日下本府並に朝鐵に對し要請してゐる此の點諒とせられたい

▲議長 すでに時間も経過しましたから之れで本日は閉會致します

と宣したる後なほ平山郡細谷面民一同より評議會あての左の如き電報に接したりと讀み上げたる後退場す

本面は道路多き爲め面民の賦役甚だ多く至極困難に付濁川青石頭間三等道路は六年度豫算にて改修せられたし各位の御考慮を願ふ

# 黄海道議會 日 2. 26

## 窮民救濟事業地の京 6.

### 明示を執拗に迫る

黄海道議會第三日午後議出經常部第一款土木費および第八條土木費補助第一讀會

▲韓議長 午前提出緊急動議により總理大臣、拓務大臣、總督、政務總監内務局長宛に左の如く打電したと報告す

『財界不況の際地方救済の爲多額の土木費國庫補助の御詮議に頂り感謝に堪はず本道評議會を代表して御禮を申上候』

▲金基秀君(載寧) 本道の窮民は農民救済であるが然るに農村の最も必要な等外道路の本年度工事補助額は僅かに三萬圓とばかりに少ない當局の考へは如何次に海州廣石川改修工事は海州としても左程急を要せずこれ以上海州に急を要する工事が多くあると思ふ如何各等道路改修工事の内容を明細にせられざるは知らしむべからざる意かと強く突込めば八卷土木課長丁寧の説明す

▲河貞一君(海州) 各工事施設に對しては直營とするか又請負に附するつもりか

▲八卷土木課長 まだその點は定めてゐない

▲池貫一君(海州) 各工事費の明細書を見るにあだかも養老院の感あり本員の意見は第二讀會に述べん

▲盧蒼顔君(瓮津) 道内の窮民の調査はされてゐるが從來の例を見るに各種救済事業に於てその利益は支那人請負業或は高利貸等の懷中を肥すのみであるが實際に於て窮民は利益を受けてゐない之等の點につき當局は十分なる研究がされてゐるが本員は第一に支那人を使役せず、第二に

に賃金を毎日拂に、第三最低賃金を定むることがよいと思ふ當局の考へは如何、尙道當局は總てに節約を旨とするとしながら本年の豫算前には土木主事を置かれることになつてゐるこの必要を認めない却つて窮民救済といふよりか高等遊民救済といへる

▲八卷土木課長 窮民の數その得る賃金その他賃間に對して詳細に説明すれば盧蒼顔氏は第二讀會において更に質問すると云ふて打切る

▲阿波弘司君(鳳山) 沙里院新換浦間の道路に對しては改修費が計上されてゐるや

▲八卷土木課長 お質問の道路に就ては當局に於ても苦心してゐるが困難なことは土質の悪い爲め砂利を行はなければならぬ將來共考慮する

▲洪淳翰君(殷栗) 窮民救済土木事業は前例によりて請負に附する弊害が多いから直營にされたと思ふが如何殷栗、今下間、信川殷栗間、海州猪島間の中沙

錦橋の工事及殷栗邑内の下水設備に對し豫算の計上ありやこれに對して八卷土木課長は勞金の支拂につき一層注意をするなほ諸質問の諸工事に對しても考慮して豫算を計上してゐる洪淳翰君は更に等外道路の閑却され

か感あると不平を並べれば八卷土木課長は窮民救済事業は場所を限定されてある故等外道路を除外してゐると辯明す

▲慎久範君(金川) 馬端の渡船場金川橋の改修市邊里附近の道路改修は本年度の豫算に計上されてあるやこれに對して相當考慮されてあるからお諒承を乞ふと八卷土木課長答辯す

▲金鍾護君(延白) 延安白石浦間の等外道路は非常に悪いこれを三等道路になす意思はなきか

▲八卷土木課長 三等道路の計畫に入つてゐない等外道路を昇格したとて直に完全になるものでないこのまゝにしておいて立派にしたいと思ふ

▲金鍾護君(延白) 三等道路に入つてゐないのは遺憾である等外道路の賦役整度にては完全にならぬ尙延安金川間の道路の改修の意思あるや

▲八卷土木課長 成るべく御希望に添ふやうにする考へである

なほ金議員は延白の漢橋川の改修の意あるやとの問ひに八卷課長未だ左様必要に迫つてゐない故意志なしと答へ、白石浦港修繕工事費は本年の五千圓で満足かとの問ひに對して泉崎内務部長満足ではないが本年は豫算の關係で差當り五千圓だけ組んだわけであると答へる

▲康益夏君(載寧) 賦役については何れ弊害があるが撤廢或は輕減の意思はなきか長壽山道路を三等道路に昇格の意思なきか支那人を窮民救済に使用せぬやう希望を述べ

▲八卷土木課長 賦役の事につきては同感のところもあるが現在ではまだ輕減も撤廢も出來ない長壽山の三等道路になすことは意思がない成るべく朝鮮人を使用するやうにしたい

康議員は更に支那人を絶対に使用せぬ様に希望を述べたに對し泉崎内務部長は絕對とは國際友誼上如何なものか御考へになればわかりませう成るべくとした方がよいではあるまいかと答へ

▲池貫一君(海州) 一二三等道路の補助はあるか等外道路を輕す傾きはなきか



▲八巻土木課長 等外道路にも計上してある

▲池貫二君（海州）土木事業、土木費につきこの人件費餘り多くはない

▲八巻土木課長 他道の比較もあるが隠海道だけ多くくんではないやうである

池議員は自分が豫算をくんだらまだ巧く組むかも知れぬ都合のよい時だけ他道といはない標にと皮肉をしたたか並べて質問を終る

▲元孝養君（安岳）窮民救済費は本府より指定したとあるが他の場所における窮民は如何して救済するか

▲泉崎内務部長 一二三等道路の改修は多年の希望であつた丁度この時救済費が出たので即ち道路改修が主で救済は従であるのである

▲朱成嶺君（谷山）事業救済の場合を明示せよ、明示せぬは當局に誠意がない

▲泉崎内務部長 場所を明示せば決して無理でない大體に於て一、二、三等道路を改修することを以てお諒解を願ひたい

朱議員尙ほもその箇所を明示せぬ原因はどこにあるかと穿込めば泉崎内務部長これはたゞに本道のみにあらず他道も同じ

▲李鐘駿君（鳳山）三年間の繼續の土木事業の間には過去の經驗から見るその土地には必ず花柳病の蔓延、風紀紊亂、思想の動搖があるこれに對しては當局は如何なる考へを有するか

▲泉崎内務部長 尤もの御意見であるその事業地の面警察などに力を合せて悪い風紀のないやうにする考へである

▲大河原警察部長 自分の方でも警察を督勵して誤らないやうにする考へである

▲吳世皐君（海州）窮民救済事業の場所の明示なき故委員を設けてそれに説明を求むる勸議を提出したしと勸議を提出

▲韓議長 第一議會においては勸議は提出されず

▲議長 午前中はこれで終りますと休憩を宣す時に十二時（以下次



# 平北評議會朝

第三日目——二十四日 6. 2. 26

(新義州) 平北道評議會第三日は二十四日午前十時四十分開會議長より日程を左の如く報告

歳出經常部第二款勸業費同第三款授産費同第四款測候所費歳出臨時部第二款勸業費同第三款授産費同第四款測候所費

終つて直ちに議事に入り

▲佐伯内務部長 歳出經常部第二款勸業費二十三萬一千四百六十四圓(前年度より一萬六千三百三十二圓増)一、灌漑事業費二、樹苗圃費三、模範林費四、穀物及以検査費五、蘆田費六、蠶業取締所費七、勸業諸費同第三款授産費七萬九千五百七十圓(前年度より三百三十三圓増)一、道種苗馬費二、技術員費三、原器種製造所費同第四款測候所費一萬三千一圓(前年度より七百二十九圓減)一、新義州測候所費二、中江鎮測候所費同第七款補助費八十萬四千三百三圓(前年度より三萬八千六百一十一圓増)二、勸業費補助三、授産費補助同第十款勸業費繼續費本年度支出額十萬六千圓

▲吉田雅一氏(龍川) 林野購入等各項目に亘り詳細に説明する處がありたるに對し

費、農業倉庫設置費補助、小規模土地改良費補助、水産試驗場査費等が計上されてをりますが何れも少額に過ぎ目的を達成するに不安の感がありますから計畫内容の説明を求めます

▲庄田農務課長 農業倉庫一ヶ所を建設いたしますが概一萬二千石を收容する規模で經營の主體は道又は郡縣會であつて國庫補助が二萬八千圓あります

▲金産業課長 小規模土地改良費補助は三十町歩以下の從來何等恩典に浴し得なかつた小規模土地改良者に補助するのが目的で又林野購入費を計上したのは乙種林野である關係上國家から無償拂下を受けることが出来ないからであります而して水産試驗調査費は本年はじめて計上されたものであるが要するに本道沿岸の地形海水干満その他特殊の事情を考慮し調査目的の一部である干潟地を主として財政のゆるす範圍内で計上したものであ

農業獎勵費、農業獎勵費の額は従來の實額に徴し必要と認めたる結果、又自作農獎勵費は従來の方針を改め、學校出身の將來斯業に従事する有産者に對し交付することに變更したので減額いたしました

▲陳内務部長 青田の經營は三萬餘圓づゝの利益を擧げてゐます又監視船流失のため一隻を新造し且監視台三ヶ所を増設する考へです

此時各議員より發言要求頗々たるものあるを看取し、美濃國氏（昌城）議員進行に關してと前記し發言を求め、本日日程は項目が頗る多いから各議員も參與員も質問應答を極めて簡單にされんことを切望すると大に議事の進行振りを發揮して、講場は笑聲起る而して更に同氏より黃草坪問題につき質問あつたが議長より事關の問題に關係あるゆゑに質問を容へられたいと注意を受け結局撤回

▲飯島榮太郎氏（雲山）糸價暴落と將來における養蠶業の對策如何

▲庄田農務課長 現今の糸價は全く底値と思はれるが大正三、四歐洲大戰前の八百圓乃至九百圓位には將來必ず戻るものと信じてゐる植桑事業も不景氣の今日と雖もなほ且田一反當り十五六圓乃至二十五圓位收益があるから社會政策的見地からしても將來蠶業は益々獎勵する方針であります

斯して美利廣氏（義州）より質問打切りの動議出で議長午後四時二十分散會を宣す

田氏（義州） 藍田費に官費と原蠶種製造所費の計に産業職員は他道に比し少るから増員しては如何

農務部長 前年來の實情に必要を認め吏員及職員を按圖して二百圓を見積りしたものであります

農務課長 臨時部に原蠶種費を計上したのは現在の室の腐朽甚だしいので、築費として九百圓を要すであり且産業職員は經費がないので増員は出来ませんこの少數でも精々能率を待に副ひたいと考へてを

農務課長との間にあつたが結局參與員の説時に午後一時三十分議長二十五分閉

氏（江界） 農作物改良、不獎勵費等の補助並に勸減額の理由如何又供實（青田）經營の内容及獎勵補助減額の理由如何



▲正田農務課長 課長の許す限りに於て最善の努力を盡したつもりであるが決して充分とは思つてゐない

その他池田議員と正田農務課長との間において原蠶種製造所改築費蠶繭乾燥所設置について二三質問應答あり午後零時半休憩

午後一時四十分再開

▲姜利瑄氏（義州）慰勞金の差異穀物検査について各支所における検査米の等級に差異ある理由畜産費の減少の理由、砂防工事等について質問ありこれに對し番外三木地方課長、正田農務課長、金産業課長からそれぞれ説明し

▲孫應範氏（江果）より火田耕作改善獎勵費について

▲洪贊禧氏（定州）より青田經營費三千圓の増加について自作農獎勵費減少についての質問に對し番外陣内財務部長、正田農務課長より詳細な説明あり

▲金聖烈氏（碧潼）メートル展覽會は毎年やるか隔年にやるか場所方法蠶種代金付従前通り一圓七十錢宛支拂つてゐるが物價下落の今日値下げは出来ぬか

▲金産業課長 大正十五年四月一日朝鮮に於ける度量衡法が發布され實施準備期間として十ヶ年を繰繰されてゐるが今年は丁度その半ばに當るのでこの機曾に新義州においてメートル展覽會を開催するものであつて毎年或は隔年に開催するものに非ず

▲正田農務課長 蠶種代は昨年一圓五十五錢に値下げし明年度は一圓四十錢に値下げすることなつてゐるがその中から更に運賃検査費、貯藏費、組合費等卅八錢を差引くことになつてゐるから現在の處最もやすい筈である

▲姜鳳瑞氏（昌城）模範林、青田火田その他について質問あり番外金産業課長陣内財務部長正田農務課長からそれぞれ説明をなし更だので議長は右は國際關係上の問題もあり總督府との關係もある問題として當該議會での解答および説明を控へる旨の注意あり質問者においてこれを撤回した

▲韓慶燮氏（雲山）測候所は龍岩浦測候所の廳舎が古くなつたので新義州に移轉するのがそれは總督府の意圖によるものか

▲佐伯内務部長 國際航空路の關係および航空關稅等より新義州に新築することになつたのである、その他番外との質問應答あり

▲横江重助氏（新義州）飯島榮太郎（雲山）兩氏と番外との間に機業、植桑、慰勞金、蠶業獎勵等についてそれぞれ質問應答あり姜利瑄氏（義州）の質問打切りの動議によつて午後四時半閉會

# 慶北評議會新

2. 26

## 第二日目 二月四日

(大邱) 慶尚北道の道評議會二日  
目(二十四日)は午後一時三十分  
から道評議會室に開き、さきに慶  
北穀物商組合の大會において問題  
となつた産米改良に對する検査員  
の検査の嚴格すぎる點において  
▲入山君 穀物検査所員は最も薄  
級であるが之で公平に検査がや  
つて行けるかどうか俸給をあげ  
てやる意志はないか次に穀物檢  
査の手數料に制限を加へる意志  
はないか  
▲清田農務課長 穀物検査所員の  
俸給は決して低下してをらぬ從  
つて検査も公平に行はれてゐる  
取手數料は明年度において引下

を行ふつもりでたゞ今直ぐ引下  
げなくとも別に悪影響はないも  
のと思ふ

と答へ入山君續いて産業技術員の  
俸給引上げ及び各郡市に學校増  
の件、職業學校の増設の件、尙州  
郡に職業學校を設立する意志なき  
やをたゞし

▲産業部長 技術員に對しては  
質のよい者にはどし／＼向上の  
途を講じてゐる

▲川本學務課長 普通學校の増設  
は各地元民の希望に應じて適當  
に行つてゐる尙州の職業學校は

財源枯渴の折衝急設は不可能で  
ある

▲武尾積藏君 本道の一面一校主  
義は昨年度において實施された  
様であるが果してどの程度迄實  
現されてゐるか地元の大邱でさ  
へ充分實施されてゐない狀態で  
地方の狀況が思ひやられる次に  
本道の自動車交通網に就いて大  
野警察部長にお尋ねしたい  
と述べて運輸手試験及びスピード  
の取締方針營業者、對する法規改  
善等々たゞし大野警察部長は之に  
答へ午後四時散會



# 慶北道議會

京

6. 2. 26

## 玉石混淆の質問に

### 議場早くも倦怠す

慶北道議會議第三日は廿四日午後一時二十分開會出席三千四名缺席三名議長開會を宣すると共に議事進行について議員の反省を求め議事に入る

▲崔潤君(慶州) 普通學校學年及學級延長、特産物としての製紙原料たる楮の植栽奨励補助金二千圓は小額に過ぎざるか國庫補助を受ける意志なきや

▲番外(伊達内務部長) 學年延長學級増加もさることながら學校普及が先決問題で原則として一面一校實現と相俟つて考慮すべきもので質問の實現する時機の速かに來らんことを當局も希望してゐる所であると答辯し

▲番外宋産業課長 製紙原料の補助よりも製品改良を計ることが急務で今や原料の不足を告げぬ状態にあり今後は原料格は適地集注主義の下に奨励する方針なるが故にこれ以上の補助の必要を認めないと述べ

▲武尾君(大邱) 知事に對し初等教育の普及に就いて内務部長に對し小作問題、警察部長に對し交通問題、衛生課長に對し自動車事故と運轉手の素養訓練に就いて、衛生課長に對しては癩病問題、産業部長に對しては産業計畫に就いて、お得意の長舌を振つて質問 議場漸々情氣漸々

▲議長 私に對する三審議員にお答へする、一面一校の完成は昭和十一年の豫定で毎年十六校宛新設の計畫である、學齡兒童の入學率は目下一割四分弱で一面一校完成の後には三割三分強に過ぎないので一人の文盲なき迄に到らぬことを遺憾に思ふ

▲番外大野警察部長 私に對する質問は本豫算に直接關係がない様に思はれるが議長のお許しがあれば簡單にお答へするとて營業の許可方針や取締方針に就いてあつさり答辯し

▲番外井上衛生課長 全鮮第一位

にある癩病患者の統計を挙げこれが對策に就いて答辯 産業部長に對する質問に對しては清田農務課長代つて答辯

▲權實燮君(安東) 豫算面に依る諸施設が都市集注主義に偏してゐることを難し醫學講習所に多大の新築費が計上されてあるが果して醫學昇格の見込ありや、細い手数料の値下げを見てゐるが一層廢止の意思なきや

青年指導奨励費千圓では第一線に立つ青年の積極的指導が出來得るか

モルヒネ患者救済の實情と、窮民救済事業の施行方法等に就いて質問し更に多年の懸案たる安東高普教置置問題に對する當局の方針を糾さんとすれば

▲伊藤君(大邱) 議事進行に就いて發言を求め、脱線や豫算に直接關係なき質問が多いから議長は適當に整理ありたいと提議

議長 八審議員前に議場に注意あり十分の休憩を宣し三時四十五分再開

▲伊藤君 緊急動議提出。質問は本日をも以て打ち切り明日は委員會明後日は委員會の報告並に建議案の審議といふ提案に賛成々々の聲起る

▲議長 二十一審提案に異議なきものと認め前例に依り委員を議長より指命することとなり全員を二部に分ち奇數を一部とし偶數を二部と定め議場は會議室階上階下に二分し附託議案は一部に於ては諮問案第一號の内土木教育、勸業費(山林關係)歳出經常臨時部全部と諮問案第六、七、八、九號とし二部に於ては一號議案の二部委員附託以外の分と第二、三、四、五、十、十一號と定め各部共委員長互選の上後刻通知を願ひ度いと述べ終れば

▲番外伊達内務部長 休憩中における八審議員の質問に對し卑近な例を引いて懇切な答辯を成し清田農務課長井上衛生課長よりも同趣

▲李基承君(星州) 高級教員を退職せしめて豫算を緊縮すること普通學校新設の際地元寄附金四千五百圓廢止の意思なきか、女子教育に在りて現在の女子高普制度より家庭の實際に則した實科制度に變へる意志なきやと議長に指名質問を成し

▲議長 經費の節約は當局としても常に留意しおるも初等教育なればこそ最も經驗に富んだ教員を採用するを可とすべく現在の女高普教育方針を變更するやうなことは考慮してゐない

▲姜敬熙君(奉化) 勸業奨励費千四百圓秋蠶奨励費千五百圓は餘りに小額を失せずや、火田民の整理前に救済の意志なきかと實し議長 時間を延長する旨を宣す

▲番外宋産業課長、清田農務課長、山本山林課よりそれ〴〵答辯あり

▲吳國泳君(義城) 勸業費補助において總額六萬圓も減額されてゐる理由及び安康水利工事に多數の支那人労働者を使用してゐるのは何か特別事情あるに依るか

▲番外(畜産業課長) 六年度には國庫補助がなきたり相當減額され六がその代り土地改良費相當に計上してゐるから産業奨励を決して筆閑に附してゐる譯ではない

▲趙鳳來君(金泉) 大邱府の下水工事の補助と棉花共同について質問あり

▲番外 谷土木課長 この工事の豫算は昨年の評議會において各位の賛成を得てゐる豫算であつて新規事業にあらず左様御諒承ありたし

▲番外 清田農務課長 昨年の棉花生産數は一千七百萬斤にして共同販賣に附したのは僅か五百五、六十萬斤に達してゐるから生産額の三分の一に過ぎない

▲沈相完君(青松) 棉繰機の差押及び棉花の強制的販賣をなさし



めた事實ありや

▲番外清田農務課長 左様な事實なし

▲諸鹿君（慶州）支那人労働者使用は窮民救済の主旨に矛盾せぬか

▲議長 廿四番議員の御質問の主旨はよく諒解してゐますが事外交に關するが故に斯る席上で明言せざるを可とす

▲金焯君（軍威）救済事業として港灣、治水費が多きにすぎ一方に偏せぬか

▲番外谷土木課長 決して然からざる所以を數字を以て懇切に答辯あり、時に午後六時二十五分議長散會を宣す

# 各般施設の

## 都市偏重主義を

緩和して郡部を閑却するな

大 邱  
6. 2. 26

### 權君きびしく質問

井上衛生課長

癩患者取締

に力を盡してゐるのであるが財

源の關係上現状にある次第であ

る本道癩患者は總計二千六百六

十四人で内住居にある者千六百

五十一人癩病院收容數四百五人

浮浪せるもの六〇八人でこの浮

浪せる六百八人を一日も早く病

院に收容すべく考慮してゐる

清田農務課長

本道農業に

就ては内務部長の説明にあつた

如く五年度産額額は九萬七千餘

石となつてゐるが道内の三穀絲

及び小規模工場の数に比し更

に増加の必要があり且つ農家經

済の充實上一層の増産計畫を必

要とするものである

權賢變君

(安東)道の各般

に亘る施設は、都市のみに偏し

て郡部を閑却してゐる嫌がある

豫算案を見るに畿人臨時部に醫

學講習所寄附四萬圓を畿出臨時

部に七萬九千餘圓の醫講新築費

を計上してゐる。昨日警察部長

の説明によれば醫學昇格を前提

として設備を完成するのである

と云ふが果して昇格は確實性が

あるのが亦その時期は何時頃

なるが更に昇格後に於て經營は

國庫に移管するのであるか、若

し依然地方費で經營するさせば

地方費の經理を壓迫する事にな

りはしないが此の點をを明瞭に

承りたい

教用収検査手数料を一錢から五

厘に引下げてゐるが寧ろ全廢す

べきである、地方青年指導の爲

に一千圓の豫算を計上してゐる

が思想これ位の經費で徹底せる

青年の善導が出来るが、更に豫

算を増加して積極的に指導方針

を確立する考へはないか

窮民救済事業についてこの計劃

が實現したのは大いに喜びに堪

えないがこの中の土木計劃の實

行に當つて徒らに請負人の腹を

肥やすのみにて窮民の懐に入る

ものは幾許にもならないと云ふ

聲を聞くのであるが此點當局の

所見如何

次に安東高等普通學校の建設で

ある、本問題は十年間の懸案で

あつては豫算面に表れるものと

思つてゐたのに何等考慮されて

ゐないのは遺憾である

陳情する度に考慮すると云はれ

るが果して何時まで考慮せらる

ゝのであるか

この時突如伊藤君議事進行につ

て發言を求む

伊藤君 先程から承りますけれ

ば豫算に關係のない脱線した意

見質問があるやうであるが議事

進行上適當に處理されたい

議長 之を許して議場に傳へ

權君 兎に角當局に安東高曹を

許可する意志があるかないかを

明確にお答へ願ひたい

この時議長休憩を宣し十分休憩

# 二部に分つて

## 二十五六日は委員會

伊藤君

日程につき動議を提

衛生、勸業の中山林關係のものに

出した大體質問も本日をもつ

て終了するやうであるから二十

五、六の兩日を委員會とし二十

七、八の兩日を意見希望陳述

して議事を進行せしめたい

動議成立し委員指命は議長に一任

左の如く決定した委員會は二部に

分ち第一部は奇數議員第二部は偶

數議員とする

第一部は諮問第一號の中土木教育

ついて歳出經常部臨時部に亘りそ

の外諮問第六、七、八、九號の審議を

なす事として會場本會議室第二

部は諮問第二、三、四、五、十、

十一號及諮問第一號の中第一部審

議以外の全部會議は陛下控室

議長 各部委員は後刻委員長

を互選の上報告ありたい

と述べ日程に入る

# 議場ダレ切る

## 窮民救済事業に支那人を使ふな 諸鹿君鋭く突込む

岡崎内務部長 櫻君より道

の施設が都市に偏重してゐるとの御質問であつたが道として都市郡部と何れかを偏重した施設を行つた事はない、窮民救済事業中土木工事で請負人に甘い汁

を吸はれる恐れがあると云はれるが嚴重に監督して遺憾なきを期する青年指導費は最小の豫算をもつて最大の効果を収む可く努力する安東高等普通新設について地元民が莫大の寄附を募り熱心に運動しておられる事に敬意を表する然し高等普通一校を建設すれば経常費年額六萬圓を要するので地方費財政では到底負擔は不可能である結局

總督府の補助を受けねばならぬが總督府でも財源なく高普より實業學校を獎勵してゐると内地の中學校の例を引き高等遊民が多くなる許り現在では一般の

氣風が實業教育に向いてゐるか實業學校の新設となれば總督府でも何とか考慮して呉れると思ふと答へる

清田農務課長

以検査手帳料の全廢は財源關係上困難であ

る一普通農事の技術員は本年も四名増員し、四、五中に鬱陵島を除く二十二郡に一名宛の普通農事技術員を配置する事となつてゐる

李基承君 (星州)

一、教育費の歳出經常部、臨時部を合すると三十三、四萬の巨額に上るが教育中の高給者を整理して新進の教育家を入れて人件費の節約によつて經費節減をする意志はないか

二、普通學校敷設の地元費計四千五百圓を廢止しては如何亦地元寄附のない處には學校を建てない云ふが之は絶對的のものであるか

三、朝鮮の女子教育は十數年その實績を見るに何等の効果をあげてゐない甚だしきは中等教育を受けた女子が妓生となりその數も夥しいと聞いてゐる此點から見ても女子教育が如何に効果なきものかが分るのである此點當局の意見を問ふ次第である妓生問題で議場を笑はせ

議長

高給者の整理は考へてゐるが全部といふ事は出来ない教育効果を第一にして考慮してゐる普通學校新設寄附廢止は地方費財

あるとは考へてゐないが出来るだけ世に即した教育をしたい御意見は參考として承つて置きますと軽く受け流す、つゞいて

姜敬熙君 (奉化) 歳出臨時部勸業費中の副業獎勵費千四百圓秋蠶獎勵費五百圓を計上してゐるが、る少額で眞の獎勵がなし得るか

亦窮民救済事業中に火田民を除外してゐるが火田民こそ窮民である之が救済方法を講ずる意志なきや

之に對して清田農務、山本山林から夫々答ふところあり

吳國泳君 (義城) 邱安道路中橋梁其他損傷の箇所が非常に多いが窮民救済事業中に含まれてゐるが、勸業費補助が前年に比して六萬圓減じてゐるが如何なる理由に依るものであるが本道産業は獎勵方面は最近著しい進歩をしたが販賣組織改善が等閑に附されてゐる傾きがあるこれ

れが改善の計劃ありや安康水利組合に支那人労働者を使用してゐるを聞いてゐるが事實なりや、旱害救済費をもつて行ふ事業に何故に支那人を使用してゐるのか

と徒らにくさく／＼と長たらしい辯論を繰返し議長に注意せられて質問を打切る

倉庫産業部長 臨時費の減じたのは勸業獎勵貸付金を新に設けてこの方へ移したによるものである販賣組織改善は生産者の利益を計る爲め共同貨賣を行つてゐる

谷土木課長より窮民救済事業の施工箇所は本府との關係があるから今發表する譯に行かない利用價值の多いところから先にすると答へ山地地方課長支那人を使用してゐる旨を述べてあつさり突放す

趙鳳來君 (金泉) 大邸市街下水改修工事補助は必要がないではないか  
棉作に二つの品評會の經費を計上してゐるが之も何故一所にしないが道當局が棉作獎勵に力を盡してくれるのはよいが共同販賣成績をあぐる爲め強制的に自家用棉を制限したのは甚だ不當である如何なる理由によるものであるか

谷土木課長 大邸の下水改修は繼續事業であると答へ清田農務課長品評會は必要である棉の自家用を禁止した事實はない本年の共販高は生産額の三分の一であると述べ再三發言を求めてゐた

諸鹿君 (豊州) 窮民救済事業の實行に當つて支那人土工を使用するか若し一人でも使用すれば一石二鳥は一石一鳥にならう既に安康にこの事實があるから事業本位にならぬやう如何なる

と述ふるや瀧澤拍手して珍らしく活氣を呈す

### 議長

御趣旨は充分に分つて居ります然しこゝで明答する事は外交問題に屬するから差控へたいと、あつさり逃げ諸鹿君再質問せんとするが議長許さすつゝいて

### 沈相完君 (青松)

棉繰器取上げ問題を蒸し返し當當局は事實なしと云ふが我々は事實目撃してゐるのであると、農務課長に食つてかゝる清田課長事實なしと一點張りに突つ張りついで

### 金綽君 (軍威)

窮民救済事業中河川改修港灣等は一小部分に總豫算の三分の一を振當てゐるが之では道内全體に均霑してゐない、之では眞の救済にはならぬ

### 谷土木課長

東海岸にのみ偏してゐるこの御質問であると思ふが窮民救済事業は單に救済のみでなく道の施設として急を要するものから先にして同時に救済を兼ね行ふも港灣は四割治水は八割が國費であつて、地方費の負擔は僅少であるから他の道路橋梁砂防等地方費か元となつて行ふものに比すれば道内均等に救済されるものであると明快に答へ金君更に質問を續行せんとしたが文明埼君の散會動議

満場一致

報

# 原案を承認す

二十六日は本會議を開く

16. 2. 26

## 第四日慶北道評議會

全議のついでに慶北道評議會第四日(二十五日)は第一部第二部、とも豫定通り一割千里議案を議了し満場一致六百萬圓近い大豫算を一厘の削減も修正もなく原案通り承認することとなり午後四時半頃兩部とも相前後して閉會した、尙第五日(二十六日)は午後一時から本會議を開き兩部委員長から委員會の經過を報告、讀會省略全議があると思はれて居る

案を可決するはずで引續き建設案を上程するが奉化の姜敬熙氏の春陽、蔚珍の三等道路建設、安東の賢氏の安東高等設立、迎日金斗河氏の浦項水産學校設立、盈徳文明路氏の朝鮮鐵道慶北線の江口並に大邱延長促進要望を始めかねて問題となつてゐる嶺南時報編輯道振興會發止その他四五件の提出



# 一部、二部に分れ

## 委員会に入る

各議員の建議案はあす上程

慶北道評議會 (第四日)

報 民 6. 2. 26

慶北道評議會第四日(二十五日)は午後一時十五分から第一部(奇数議員)第二部(偶数議員)に分れて全議員委員會に移り第一部は本會議室、第二部は階下控室でそれぞれ開會、委員長の互選を行ひ第一部委員長には伊藤吉三郎氏、第二部委員長には金在煥氏が當選、第一部は諮問第一號の中土木、教育、衛生の歳出經常部に臨時部及び諮問第七、八、九號、第二部はその他全部の議案審議に入つたが豫定通り本日中午に全部の審議を了り第五日(二十六日)は更に本會議に引直し委員會の報告があり議會省略全會議案を可決し引續き建議案を上程する筈である、尙建議案としては浦項中谷竹三郎氏の提案する米穀法改正建議案を

始め金泉高崎平吉氏の瀾道外搬出禁止に關する建議案、安東權賢俊氏の安東高等普通學校設置と鳳州の安東雄氏の支那人労働者を窮民救済事業に使用しないと云つた様な建議案が其他一、二件が提出される模様である

# 五級以上の

## 訓導餓首を主張

李景魯君しばく脱線

### 忠北道評議會 (二日目續き)

(昨報の續き) 李景魯君の後を受

李景魯君(永同) 車輛税賦檢

査手數料から教育費に及び五級  
以上の訓導を政府に當らしめる  
必要が何處にあるか

松澤内務部長 から高給者

は漸次整理してゆく。餓首に答  
は、河村地方課長、岩永土木課  
長からもそれ、答辯があり

李景魯君 黄淵、中牟、上村線

道路に關しこの經濟的重要道路  
を速かに實現して欲しいと希望  
し夫役人夫の數を質す

岩永土木課長 努力する夫

役人數は二十萬人と答へ、私信  
で慶北土木課長に問合せた事實  
を披露するところあり

岡清太郎君(槐山) 砂防工事

トラツク使用個所、哩數日數を  
問ふた後一面一校農村問題を論  
じ農業倉庫問題を批判

松澤内務部長 野積保管よ

り農業倉庫の方が遙かに効果の  
あると云ひついで

高木産業課長 岩永土木課長から  
説明があり洪議長休職を宣す時に

三時十九分

洪議長 三時二十七分再開

洪議長通告者十六人中、現在八  
名しか終つてゐない。今日中に  
第一讀會を終へたいから要領だ

け質問された

原田武男君(丹陽) 窮民救

濟費、農村經濟、社會教化問題  
等發問を振ふ

洪知事 救民救濟の目的を達成  
するに事業を度外視して計畫し  
たのではない

と答へ時延長を宣し松澤内務部  
長、河村地方課長、森田學務課長  
野世溪警察部長からもそれ、答  
辯あり

原口一二君(忠州) 内地に

於て製絲場の認可制法案が制定  
された嘆、朝鮮に於ける影響を  
問ひ

松澤内務部長 製絲場の認

可制法が制定されても朝鮮には  
別段悲觀すべき問題ではない

と答へ生糸と人絹とが那組との關  
係を詳細に説明し高木産業課長の  
答辯があり再び休憩時に四時三十

分、休憩し河村地方課長から原  
口君の質問に對し第一號詢問案と  
其以下との不可分論に答ふ、録録  
落、申昌休職質問通告を撤回、

四時四十八分再開

趙東煥君(陰城) 歳出臨時部

の土木費で補助費率は如何なる  
割合で定めたか炭酸水を直營し  
て地方費の財源としては如何

松澤内務部長 地方費や地  
方財政の事項を考慮して補助費

を割當てた、炭酸水の直營は考  
てゐない

申泰駿君(堤川) 窮民救濟事

業の土木費の恩澤に浴する地方  
は……

と問ひ松澤内務部長、高木産業課  
長に答へ

沈載意君(槐山) 種子改良策

如何、と質した後衛生、土木、教  
育、戸税に亘り不得要領な質問  
をすれば室内に笑聲起る、この

時議長更に一時間時間の延長を  
する

金禮煥君(鎮川) 窮民救濟事

業費の割當額の僅少であること  
を難じこの機會を利用して委員  
を本府に派遣して努力しては如  
何と前提し農民の窮狀を訴へ

松澤内務部長 田作改良に

は力を注ぐ旨を述べて委員本府  
派遣説にはこの席で答へ兼ねる  
高木産業課長、野世溪警察部長、  
岩永土木課長、柳生財務部長、松  
澤内務部長の答辯あり

盧性春君(報恩) 質問に入る

前にと前提して、自分の質問通  
告は第二番目となる筈だが最終  
となつた理由如何、之は議員の  
自由を拘束したのではないかと  
つめより

洪議長 書記の提出した書面に

依り通告順とした

報 民 76. 2. 2

洪議長 その理由を尋ねる必要  
が何處にあるか

と反問し議場騒々しく緊張したが盧君  
譲り

盧性春君 農村の窮狀、砂防

土木事業費に就き論難し、一休  
當局は忠北道民を國民と認めな  
いのかその少額を盛んに攻撃し  
岩永土木課長、藏石山林課長の  
答辯があり通告者全部の質問は  
終了

洪議長 第一讀會は之で終了

した、明日から第二讀會に移る  
が異議はないか。御賛成の方は  
御起立を願ひたい

と語れば一同起立六時八分前散會

# 答辯に汗ダク

質問の殆んどが土木關係

## 忠北道評議會（三日目）

忠北道評議會の第三日目（二十四  
日）は午前十時二十分、開會。出席  
土木費を一括。上程第二讀會に入

李春雄君（忠州） 夫役問題  
岩永土木課長、松澤内務部長と  
照酬し

李君 車輛稅輕減は細民救済で  
ない夫役は細民に限らず、一般  
的に課して貰ひたい。

松澤内務部長 夫役は、極  
力、輕減したいと思ふ。と答へ

宇都宮善市君（永同） 修路

工夫の勞賃問題を論じ  
砂利運搬自動車の購入を主張し岩  
永課長の答辯あり

鄭錫溶君（沃川） 永同、沃川  
兩郡を通ずる約八里の一等道路  
が未定線となつてゐるのは遺憾  
だと云へば

岩永土木課長 財政上至難  
だと簡単に片附け

鄭錫溶君 沃川、遼南間二等  
道路は、昭和二年度より毎年豫  
算に計上して改修して來たもの  
だが、速かに工事を進めて貰ひ  
たい。

岩永土木課長

今年は財政上實現し難いこの時洪議長質問は要點を述べられたいと希望し

安東正君

清州、文義

間道路は經濟的使命を帯びてゐるから、力を注いで貰ひたいと述べ

李春雄君(忠州) 海風水山間道路費が計上してゐない理由如何と云へば岩永課長の答辯があり

原口一二君(忠州) 土木書記一名増員の理由如何

河村課長

能率を上るにある

柳間答あり、原田武男君(丹陽) 救済事業の、七、八年度に於ける場所を問へば、松澤内務部長と岩永課長、明答を避け

原田君

丹陽永春間道路の補助費計上を感謝した後、全道を計つて貰ひたいと述べれば

岩永課長

もう一年待つて貰ひたい。

趙東煥君(陰城)

夫役制度の改正を主張する。

松澤内務部長

夫役制度

は改善したいと思ふ。岩永課長より答辯あり、この時、洪議長休憩を宣す、時に十二時七分、午後一時半再開

李明求君

清州、懷仁

間道路は七年度には必ず計上するか責任ある答辯を承りたいと詰め寄り

岩永課長

清州、懷仁間道路の延長工費等を數字的に説明して計畫調査書類を提示して當局の誠意のあるところを披瀝する

申泰駿君(堤川)

堤川の道路橋梁改修を迫り來年度には確實に計上するか

岩永課長

考慮する、確答は出來ぬ

金禮煥君(鎭川)

鎭川川の年々歳々の水害に依る慘狀を述べ七年度以降の方針を問ふ

松澤内務部長

財政の狀況から遺憾ながら出來ない、なるべく速にやりたいと思ふ、八年度までにやる成案を持つてゐる

(以下後報)

る例ありたは寧ろ一般に詳して如何と償し

▲松澤内務部長 既後には要止むを辭さる聯合の外可成り輕微を言として公衆に趣き方を取つて空り又御例示の件は誠に誤るとする譯はない

と答へたは二押問答あり

▲九番宇都宮議員 修路工夫の圖を覽るに一二等道筋三等道筋工夫を合せて三十五名であるが之れが監督を面談に要するは幾んど大らずやなはトラック使用上監督實際の便宜を認むるは如何及道路使用のセメントは幾んど粗密なるは何故なるや

▲岩永土木課長 當局も趣々研究を要する所御遊覧に謝りましてあるのでして誠に参考となりました出來るだけ御趣旨に副ふ考へであります所御遊覧に謝

し大正十四年の經歴を果して國  
費を以て補修せらるゝ採斡地方を  
要望し岩永永土課長之に答へたが  
方は九割以上は規定時に永向秋  
田鐵道沿路補修を要望し岩永永土  
課長と問答あり

△十二番安東議員 臨時部土木費  
中、岩城文義鐵道工事費六百五  
十圓は、中途全額の撥與ならずや  
之れが計費を承りたりし

△岩永永土課長 本年は此の程、定

▲岩永土木課長は前年二年半に於て上にあるが今年中に完成するやねる丹波水害道路はたは一ヶ年延長である  
次で原田議員は明年度の工費額を尋ね一萬圓位と答ふなは原田議員の説を反駁して議長は注し五割と問答を致して議長は注意を與ふ

▲松澤内務部長 工事に就て相  
當考慮す風役掟も好事なるも  
現時點を止むを得ず出來得る  
だけ公平に懸念する工事を不偏  
無黨の意見に大に意見をもつ不偏  
黨的に不完全の道程を改修する  
よりも完全なる願望を露れ選ん  
で執行してこそ却つて一變の利  
益を得る説である



# 黃海道議會 日 27

## 谷山平野の開拓 京 2. 27

### 計畫の一部を發表 6.

黃海道議會第四日午後

歲出總額第二款勸業費第二款  
授產費歲出臨時部第二款勸業費  
第三款授產費直に第八款補助費  
中勸業費補助、第一讀會

▲申元興君(平山)穀物検査所本  
年度新設の計畫ありや、ありと  
すればその箇所を知りたい

▲秋山農務課長 沙里院に一箇所  
新設することにかつてゐる

▲朱成鎰君(谷山)谷山製紙組合  
補助ありや

▲金産業課長 五百圓計上あり

▲鍾愛君(延白)延白郡の黃海水  
利組合では地主が大反對を稱へ  
てゐる、今日の如き不景氣では  
地主の不平等理由がある當局は  
この有様を見つゝも向水利組合  
設立を計られるか

▲秋山農務課長 農事改良上から  
水利組合の必要を認む水利組  
合に關しては後より詳細にお話  
したい

▲金鍾護君(延白)地主連は水利  
組合に入れば實際地價の低落を  
恐れてゐるばかりでなく收穫の  
如き存外少額である當局のこれ  
に對する考へは如何

▲秋山農務課長 一時的の現象と  
して地價の低落は止むを得ない  
收穫は各水利組合に就き調査す  
る増收のみにて別に悲觀の要は  
ないと思ふ

▲池貞一君(海州)水利組合の地  
價低落の結果その地域の住民は  
土地を放棄して他の地に移住す  
るといふが當局の方針は如何

▲秋山農務課長 賣るものゝ反對  
に買ふものがあるいふことを考  
へられたい

▲池貞一君(海州)賣るものは窮  
民である買ふものは資本家のみ  
である窮民をしいたげる事は  
不都合とは思はないか、農事奨  
勵は單に米のみではない支那人  
等は野菜を作つて相當本國に送  
金してゐるが當局はこれに對す  
る策はないか

▲秋山農務課長 ご尤のお説でこ  
れは是非内地人朝鮮人に於ても  
支那人に買けない様にやりたい  
とは思ふが只その人を得ないの  
で困つてゐる

▲池議員 本道の太炭は高價であ  
るこれは資本家に獨占的に製炭  
せしめるためではあるまいか當  
局の意のあるところを知りたい

▲金産業課長 根炭の製造を禁じ  
た結果高價になつたのは事實で  
あるが先般製造業者に對しこれ  
が値下を警告したので年末には  
幾分低落した筈である池議員は  
なほも個人の山林所有者の製炭  
に關して當局の方針を問へば金  
産業課長は枝炭製炭は自由に許  
してこれを指導してゐると答ふ

▲盧倉領君(益津)現在農村が疲  
弊してゐる農村の首領輕減の方  
法も多々ある故農村調査委員會  
を設けて如何又産業團體を併  
合しては如何

▲泉崎内務部長 この問題に對し  
調査をするとなれば相當の經費  
と準備を要するので未だそこま  
でに至つてゐない産業團體の併  
合はその事業の性質上不可能と  
思はれるがこれに對し研究して  
みる考へてゐる

▲盧倉領君 穀物検査所長を何故  
に參與員とせなかつたか

▲泉崎内務部長 農務課長の權限  
は穀物検査所長をも含んでゐる  
ので技術上の事に關する答辯は  
又別な方法もあるの、大體行政  
官のみを參與員としたのである

▲金基秀君(咸寧)勸業施設に對  
し六年度において改廢するもの  
のなきや農業倉庫は穀物の集散  
地に設置するか或はその産地に  
設置するか、堆肥奨勵に就き當  
に局手落なきや、水産學校昇格  
の意思なきも砂防工事費四百數  
十萬圓もあれど本道に當當を受  
けざる理由如何

▲秋山農務課長 農業倉庫は産地  
で集散地を選んだ堆肥奨勵に手  
落なしと認む

▲歲出總額第二款  
勸業費臨時部第二款  
勸業費及勸業費補助

▲總坂秀一君(黃州)谷山平野は  
二萬四五千町歩もあつて大に開  
拓の餘地がある然るに豫算を見  
ると何等計畫の跡見えずこれに  
對して何等か計畫があるか

▲秋山農務課長 この土地は水稲  
に最もよいがこれには川床が低  
く灌漑に非常なる資金を要す故  
に畑作にしたい畑作にも秋田家  
などと思ふそれについて果し  
て桑木に適するか試験を試みて  
實行する考である

▲李鍾賢君(鳳山)農業倉庫は細  
農の役に立つやうにしては如何

▲泉崎内務部長 農業倉庫の必要  
は誰しも認めて居る六年度に  
於て全鮮に十ヶ所設け本道にお  
いては一ヶ所それで補助があ  
る將來はまだ多く設けられ  
るであると思ふ場所を信用に設  
けた理由穀物の出方、晝間動力  
の關係運輸上の便利で該地に  
定めたのである、なほ各部の施  
設については或は不満足な點も  
あるかも知れないが當局として  
は最善を盡してやつて居る次第  
である

▲熱心に約三十分間に亘つて農事  
施設について明快なる答辯をなし  
た時に正午議長休憩を宣す

(以下次號)



# 黄海評議會新

第四日目——廿日 2. 27

午前十時三十分議長開會を宣し昨日より引續き土木費の一設會を行ふ旨を告ぐ

▲金鍾護君(延白) 延白郡白石浦の繁華に比し道路未だ不完備なれば同道路を三等道路に昇格せしめ改修せられる計畫はなきや

▲土木課長 その計畫はない等外道路を三等道路に昇格せしめるとしても完全なる道路となるとはいひ難い本問題に對しても考慮はしつゝある

▲金鍾護君 その計畫なしとは遺憾である此の道路を放棄して置くとは産業開發上尤も不都合なりと思ふとのべなほ二三延白郡内における道路河川の改修に對する當局の意見を問ひ土木課長並に内務部長との間に應答あり

▲康益夏君(載寧) 道路改良に對し等外道路に對してはなほ賦役を使用するか

▲土木課長 御尋ねの通りです

▲康益夏君 賦役は朝鮮における一美風なりといはれてゐるがすでに今日においては此等の美名のもとに甘んじてをれない他道に先んじてこれを廢止する考なきや

▲土木課長 現在の經濟では之れを許されない事情がある御説は尤もであるが右様御承知ありたい

▲康益夏君 窮民救済を要する日賦役を科するは不都合なり他に策なきやなほ土木課長にお願ひするが窮民救済事業には支那人を便役することを禁じてもらひたい

▲土木課長 出来得る限り御意の通りにしたい

▲内務部長 國際交誼上之れを絶對禁止する事は出来ないものでその點を諒せられたい

▲康益夏君 その理由では諒解できないこの席上において使用せない車を約束せられたい

▲内務部長 日本人が支那領土においてポイコットを起されたる場合とひとしく國體として支那使役を禁ずることは國際友誼上おもしろからぬ關係を生ずるからこの點を御考へ願ひたい

▲池貫一君(海州) 一、二、三

等道路は窮民救済費を以て賦せらるゝ様であるが等外道路に就ては賦却されてゐる様に見えるが如何なほ土木費總費中車務費の項中新たに人員費を増加するがこれは新たに増員さるゝのか如何と土木課長に一概の皮肉を浴せる土木課長これを軽く受け流したる後

▲元孝燮君(安岳) 豫算の内容に就き内務部長と問答あり

▲朱成鎮君(谷山) 昨日來當局の御答は實にあやふやである誠意を認め得られないがなほ内務部長にせられたいか何が爲に秘密を要するか

▲内務部長 御要望は當然であるが種々なる事情關係のもとに一つ一つの明細を附し兼ねるが土木事業に對してはその大部の御要求が容れられると思ふから諒せられたい

次で朱成鎮君内容明示をせしめ、根本理由は如何と實に内務部長先日来再三繰返して申し上げてゐる通りであると答へ朱成鎮君はほも盛んに不平を並べ立て、着席

▲李鍾聖君(鳳山) 此の土木事業を起すに對し地方の惡風助成を防止すべき對策ありや

▲内務部長 御尤もな御意見である地方々々に對しては當局においても充分研究されてゐる

▲警察部長 此の問題は私の所管にも關するので私としても充分嚴重なる取締を行ふ考へである

▲吳世暉君(海州) 一、二、三等道路の工事内容を明かにせず諮問を受ける事は出来ない此時議長休憩を宣す時に正午

# 忠北評議會

新

第三日目續(二十四日午後)

2.27

忠北評議會第三日目の二十四日は午前中に引續き午後一時三十分再開

▲李明求君 多年要望の懷仁滿州間道路は物資の移出入状況から見ても唯一の經濟道路であるにも拘らず豫算に計上されず又和

景町欲もこれ迄國々陳情ありたるにも拘らず之れ又豫算に計上なきは如何責任ある答辭を望む

▲岩永土木課長 懷清道路はすでに調査費のみにても一千圓を費じざる程で華間に附してはないが工事費十四萬一千三百十八圓を要するので現下の状態では不可能であり又將來も何時計上するやも斷言し難し和景町欲は未だ調査中にて計上せず

と答へたので李委員は未調査無責任をせむるも答辭を與へず次で十三番金議員より領川河川改修要望し一千五百町歩良畜の被害状況と百五十名通學生の教育上に及ぼす影響を説き本年度豫算に計上なきを問ひ續いて領川成歡道路の開通に移り忠南との關係及經濟を

論じ之れ又豫算に計上なきを質し若し本年度救濟事業費の一端を割き實施する意思なきやと質し

▲松澤内務部長 調査してなるべく早く希望に副ひたいと思ふも現在では來年度も不可能と思ふ

次で李君より古來賦役は朝鮮の美風なりと賞揚しをるもその實態風なりとその發端より説き立てたが議長は注意あり松澤部長の答辭後議長は質問はこれ迄つきたと思ひますからと打切宣し續いて勸業教授産費課常臨時部共一括議題に付すと宣す

▲李春雄君 種苗場常備夫如何なる仕事するものなるや人夫賃の減額せし理由及技術員に比較的廉な給料で濟む鮮人を採用しては如何桑田品評會費二百八十圓は餘り少額にて一郡二十圓位では何程の効果もなしむしろ蠶種等に振向くるは策を得たではないか

▲高木産業課長 種苗場常備夫は主とし人夫監督を爲す又品評會

費は道農會に補助し農會には

百圓はかりの海算より合して六  
百圓近くなるから殖産部管理  
獎勵の目的に差支へなしと思ふ

▲李明求君 現在農村の疲弊状態  
よりして野鳥保護費三百圓  
の新期事業は時世に不適當と認  
む

▲高木産業課長 朝鮮特産鳥獸を  
保護するは文化相應の施設と思  
ふなほ本官は禁獵區調査費に充  
當するものにつき併せて御承知  
を願ふ

次で(七澤郷議員)より砂防工事  
に要する人夫賃は郷民救済の目的  
に相反する所あり請負者に附する  
とせば實收の減退を來す結果とな  
り目的に副はざる感ありと方針を  
問ひ永同沃川間の禿山に砂防工事  
を施す意思はないかと道路の比較  
をあげ礦價暴落の際種々の價格低  
下の計畫はなきか苗木植林は郷村  
疲弊の今日不適當で徒らに郷民を  
苦しめる状態であるゆゑむしろ幼  
樹を保護し苗木補付獎勵は中止し  
ては如何と長々と累述す

▲松澤内務部長 砂防工事人夫賃  
は從來の通り直營であるから御  
意見の如き虞はありません永同

沃川砂防工事は他に急を要する  
箇所多々あり現在の處希望に副  
い難し植林の件は同感で濫伐の  
豫防に森林組合等を特勵して實  
行を期したいと思ふ

と答へ鹽樺代下の件は高木産業  
課長本年二三十錢位低價せしむる  
考へであると答ふ

▲宇都宮君 物産陳列場千四百圓  
は如何なることをなすか田作改  
良費小麦種子新方法薩摩芋の  
獎勵の意思なきか、以検査場兩  
夏施設計畫あるや永同において  
客年六百圓は不實行せしゆえん  
如何又客年新築六百圓は鹽樺代  
面に補助しては如何、炭酸、思  
北特産品の保護の上に經營の變  
更と販路擴張の計畫あるや否や

▲高木産業課長 陳列場は米穀大  
會協の家屋を當て相當設備し有  
意義たらしむる計畫である、小  
麥種子更新は從來の儘で行く考  
へである、薩摩芋の獎勵は來  
も施行しある、來月の技術員打  
合會もある故その際特に協議す  
る考へを以てある、舎費は元  
鹽樺代の舍宅にて必要は夜勤が多  
いのと生徒監督上の必要から計  
畫した

と答へ炭酸水施設經營については  
松澤内務部長より皆様に協力して  
考究したいと考へますと單に答へ  
午後四時四十分散會した

# 道評議會第三日

## 土木費の質問終了

六日の道評議會は午後一時より

催、成松緑氏の動議により思南

廳問題善後策懇談の動議を出し

議員有志の名において強硬なる

行を爲したるは夕刊所報の如く

あるが、引續き明年度豫算土木

の審議に入る即ち李義榮氏（抱

こり質問ありたるのち韓萬熙

より僅十一日間に審議するので

から圓滑に議事を進むべしと

進行につき議長に注文あり

相龍氏（京城）今回の救済土

木事業について考へるのは漫然

地渡航の朝鮮人をこれに結び

けたいことで、この窮民救済

渡航者を呼びもどし且つ渡航

を引止める方法はないものか

た窮民救済の事業の施行に際

て第一に着手した土地の人夫

第二、第三のところへ附随し

て行き全般的に救済の出来ない

ことはないか、第三にこれ等

働者の賃金貯蓄方法を考へて居

られるか、第四にこの事業に支

那人を使用せらるゝか

▲矢島内務部長 内地で失業した

漫然渡航者を收容することは勿

論するつもりであるが、京畿道

には内地渡航者は非常に少い。

支那人を使用するかとの御質問

があつたが窮民救済が本義であ

るから支那人は餘り使用しない

つもりである

▲松井土木課長 工事の模様では

附近の人夫では足りないときも

あるであらうが、出来るだけ公

平を期すつもりである

▲中原地方課長 労働者の賃金貯

蓄法は具體的にまだ方策は出来

てゐないが漸費しないように方

法を考慮しよう

▲金産業部長 砂防工事には少く

て二萬多くて五、六萬の人夫を

日程審議に先ちて

# 道廳問題懇談

總督の威信高調

京 6. 2. 27

## 【道評議會第三日】

京道評議會第三日は二十六日午

後一時五分より道會議室にて開會  
今日は僅に五名の缺席のみである  
一同着席するや成松氏より勸議提  
出され

▲成松緑氏（京城）開會の前に一  
寸お願ひしたい。目下紛糾中の  
忠南道廳移轉問題につき臨席の  
諸君と懇談したいと思ふが、座  
長にも御賛同を願ひたい  
▲渡邊議長 それでは暫時退席し  
ます

渡邊知事以下參與員は全部退席し  
て評議會は忽ち懇談會と化し、韓  
相龍君推されて議長席につき拍手  
のうちに問題を討究することにな  
り、まづ肥塚正太氏立つて事こゝ

に至つた経緯を説明す。

▲洪淳彦氏 私は忠南に生れて因  
縁からぬものがある（と冒頭  
し忠南道廳大田移轉説は今日起  
つた問題ではなく既に往昔から  
あつたものと述べ）總督の可と  
するものが否とされればわれわ  
れ統治をうけるものは如何なる  
途をとるべきか迷ふ

▲成松緑氏 衆議院で削除された  
ことは裏面において政争の具に  
供された觀もないことはない。  
總督の威信までおかして削除す  
ることが今後統治の上に悪影響  
を及ぼすことは言を俟たないか  
ら慎重懇談したい

▲韓相龍君 私は座長であるが、  
ちよつと意見を述べたい。われ  
／＼は何によつて生活するか、  
それは總督にたよつて暮し、總

督を信頼し總督の良とするもの  
を良とし、惡とするものは惡と  
してやつて來てゐるのである。  
この道廳問題は移轉、否移轉は  
特にわれ／＼に關係はないけれ  
ど總督の可としたものを否とす  
るに至つてはわれ／＼總督を信  
頼するものとして頼る處を失ひ  
默すべき問題ではないと思ふ

▲岡本豊喜氏 事こゝに至つては  
今後如何に善處するかが重大な  
ことである。私の考へる善處策  
は責任問題の起らぬようにする  
のが最もよいのではないかと思  
ふ。既に削除案は成立したので  
あるからこれを翻すことよりも  
大きな責任問題の惹起せざるよ  
うにするのが至當ではあるまい

▲成松氏 私は岡本君と正反對の  
意見だ。責任問題を軽く扱つて  
しまつても國家的見地よりすれ  
ば朝鮮統治上の問題は忍せに  
すべきものではないのであるから  
衆議院で削除されても貴族院で  
は復活するかもしれない萬一貴  
族院で削除されても總督は移轉  
を行ふ權限があるからわれ／＼  
は總督を頼りて所信を執行す  
るといふことが善處ではあるま

いか  
と強硬に移轉即行を支持すべしと  
極論し左の如き申し合せ事項に賛  
同されたと述べて着席す

### 申 合

『忠南道廳移轉問題は既に總督  
の聲明せるところなるにかゝは  
らず、衆議院においてこれに對  
する豫算削除をみるに至りたる  
は實に朝鮮總督の威信に關し、  
統治上寔に憂慮に堪へざるにと  
るなり。吾人は朝鮮統治の重大  
なるに鑑み疊に總督の聲明せら  
るゝところによりこれが所信を  
執行せられんことを望む

昭和六年二月二十六日

京畿道評議員一同

▲韓萬鳳氏 申合せ事項では微溫  
的である、自らすすんで總督、  
總監に移轉決行すべしと進言す  
べきである

▲成松氏 道評議員としての性質  
も考へ申合せ事項で意思表示をす  
る程度で止めたい

▲韓相龍氏 それではこの申合事  
項に異議ありませんか

▲岡本豊喜氏 私は反對します、  
日本帝國の議會の意志を尊重せ

ずはこの申合事項を發表すると  
せば單に諮問機關であるこの評  
議會でも意志を尊重して貰ひた  
いと思つてゐる位であるから反  
對する。評議員一同とせず有志  
として發表して戴かない

▲韓相龍氏 それでは有志として  
申し合ひませうと述べ異議なく約  
一時間にわたつて討議した懇談會  
も申合事項の末尾『京畿道評議員  
一同』を『評議員有志』と修正する

ととして開會す二時十分議長參與  
員着席、前日に引續き六年度豫算  
土木費に關する第一議會に入る  
▲朴弼秉氏(安城)安城、鎮川間  
の等外道路改修は同地方住民の  
死活問題であるから早急にして  
戴きたいとおもふが、當局は如  
何なる考へを持つてゐるか  
▲松井土木課長 よく事情も分つ  
てゐるので今度の土木事業とは  
別にやりたいとおもつてゐる(以下朝刊)



# 道廳移轉は

## 飽迄目的に邁進

### 甲子俱樂部臨時總會

聲明書を中央要路に送達

甲子俱樂部では忠南道廳移轉問題

に關して廿六日午前十一時から臨時總會を開催したが、出席會員は

釘本、藤村、中村、分島、竹内、安藤、曾我、末森、加藤、李炳烈、曹秉相、林、古城、金聖旭、芮宗錫、平井、肥塚、成松、池

田

の十九名、古城實堂氏を座長に推

し各會員熱心に論じたが昨日草案

された聲明書を承認し、『總督は

その權限において斷乎として所爲

を敢行せよ』との聲明書通り朝鮮

# 同民會も

## 甲子俱樂部と

### 呼應して起つ

同民會でも甲子俱樂部と歩調を一にして道廳移轉問題に關して立ち  
昨廿五日常任理事會を開き會長代  
理事申錫麟、副會長朴榮喆、常任理  
事釘本、曹秉相、中村健太郎、森  
悟一、の六氏合同、協議の結果聲  
明書を發する事となり廿六日午後  
四時から理事會を開催して決定す  
る事となつた

統治の大義上あくまで目的に向つ  
て運動する事となりこれが爲には  
全鮮的の公職者大會を京城で開催  
する希望多くその具體的方法は本  
日午後五時から朝鮮ホテルで開  
催の府内公職者有志會において決  
定する事となり、午後一時散會し  
たなは聲明書は中央要路に貴衆  
兩院議員等へ本日發送の筈である

# 道廳移轉は

日 27  
京 6. 2.

## 原案を敢行せよ

### 同民會も遂に起ち

#### 中央要路に電文發送

議會における忠南道廳移轉賛成問題は朝鮮統治上の由々しき問題であり、一般思想上におよぼす影響大なるものありとして起つた同民會では先づ廿五日の常任理事會の決議により、廿六日午前左の電報を各大臣、貴衆兩院各部長、理事等約六十氏に對し發する所があつた

#### 電文

大命を拜して統治の重任に當る總督の聲明は千鈞よりも重からざるべからず、然かも遂に統治方針に基く忠南道廳移轉に對する總督の聲明は多年の懸案を統治の大局より深く研究を遂げ一般の輿望を尊重せるものにして一度この聲明の發せらるゝや二千萬民衆は一道の光明を認めたるの感をなせり、隨つて一地方民に少數の反對ありと雖も帝國議會はその建築費の如き滿場一致之を通過し、總督の聲明をして益々重からしむべきを確信

したるに、意外千萬にも、甚だ不徹底なる理由の下に之を削除し、總督の威信を傷け、朝鮮統治上由々しき大事を惹起し、一般思想上に悪影響を醸しつゝあるは吾人の斷じて承服し能はざる所なり我等は朝鮮統治の重大と、思想問題の危機とに鑑み總督がその權限に依り既に聲明せる處に基き斷々手としてこれを敢行せられたことを期する覺悟なり、願くば朝鮮統治のため御覽察御配慮を乞ふ

なほ同會では廿六日午後四時から本部に理事會を開き會長代理申錫隣、副會長朴榮喆兩氏をはじめ釘本、末森、中中、劉、曹、金、鈴木、山岸の八理事出席移轉問題に關する意見の交換を行ひ、さきの電報を承認し、更に趣旨の徹底を期する爲貴衆兩院議員をはじめ中央要路に同様の要旨を送付する性を可決し午後六時散會した

# 普校に醫療機關完備

## 中等學校に對する希望

### 教育衛生費質問終る

二 十五日午後

午後一時卅分開會

●●●●●  
柳直養君 私は高等普通學校の側に居住して居る關係上高普校の内容は充分に解つて居るが、高普校は是迄再三不祥事件の起りし事があり今尙外見は至極眞面目の様に思えて居るが、其の内容は益々惡化し居るかの感がある様に思ふ、其の一例を舉ぐれば現時各生徒が對話中諸教諭の姓名を呼捨にして居るが、斯くならぬのも學生其の者も悪いがその教養に當り居る諸教諭にも其の責ありと思ふ、尙不祥事件發生すれば父兄側には何等の相談もなく直に警察の手をかりることは學生を益々惡化させる計りにあらずや、此の後父兄とお互に連絡を保たれん事を望む

●●●●●  
秉議員の意見の通り群中生徒募集の件に付ては昭和五年度應募者中より内鮮人の採用者の比例及群山の位置状況を説き立て之に當局の賛同を得る次第である、尙目下國狀に鑑み高普生徒に軍事教練を指導し置く必要がある(と堂々熱辯を揮つて議長席に答辯を迫つた)

### 乙種

## 商業學校

### の必要

●●●●●  
山田學務課長 家庭との連絡は至極最も必要であると思ふ故此後尙一層其の方針で行く考である

●●●●●  
金熙一君 本道内に乙種商業學校を昭和七年度より設立され度し、本道には數多金融組合設立があるが此の組合に採用する人員は他道より採用し居る状態である故是非共本道内に商業學校設立を實現し前途有望の青年を教養されん事を望むのであるが、尙本年度より廢止の運命に達してゐる師範學校は昭和七年度より官立師範として是非本道に設立されん事を當局に望むものである、尙又田舎の普通學校には内地人校長を廢し朝鮮人校長を配置されたし

●●●●●  
金英武君 南原農蠶學校は何年度より設立するか、責任あるお答を望むと共に本道に高普校三ヶ所、高商一ヶ所の設置は昭和七年の地方費に是非計上して之が實現を熱望してやまない次第である、人件費の節約は徹底的に實行されん事を望むものであると共に

●●●●●  
片桐君 金英武君の議論に付きては私より少し意見を述べたい

●●●●●  
山本君 金熙一君よりの田舎の校長配置云々は此の神聖なる議會に於て民族的思想に基く差別觀念は遠慮してもらひたいものである

付ては費に不償の事多しを得ぬ次第であると學校維持に付き詳細な意見を述べ、尙交通上より見たる裡里に病院を設立し醫師と患者の合理化を計られたい(との熱辯は如何にも我田引水の辯であつた)

松下内務部長 各議員の質問に對しては各自に詳細なる説明があつたが、中に南原農學校設立に付て(道内外の各農學校の比例を引き充分の説明となす)

(時正に午後三時廿分議員席よりは矢繼早に議長へを連呼し議會氣分が溢れたが何分時間の都合議長も手段方法がなく困る)

尹和重君 各普通學校に醫療の機關を設立されん事を希望する者であるが經費の都合上之が實現不可能とあらば教師に相當醫療の講習を計られたい一面一校の學校延長は速に實現されん事を望むと共に裡里農林學校入學生も朝鮮人を内地人と同等に採用された

山田學務課長 各學校に醫療機關設立は至極道理ですが經費の都合上未だ完全で無いのを吾々當局も遺憾に思つて居るが現在普通學校に公醫を有する學校は八十八校、無き學校は五十七校にて本年度師範校卒業生に對しては醫療を學科の一部に加へて相當醫療を研究せしめて居る状態であると共に昭和四年度より夏休を利用して女教師に對しては衛生講習會を開催して居り、尙此の後も之を繼續する積りであり、裡里農林學校入學は試験競争であるから當局としては策の施し様がない  
午後四時休憩  
同四時十分開會

### 普校、鮮語不可解の

## 女教員廢止說

### 出した趙在敦議員

趙在敦君 公立普通學校は朝鮮語不解の女教師は廢すること、目下授業料の受領は學校直接に取り扱つて居るが之は教師生徒間の意志を損ふ慮はれたし、モヒ中毒患者は癩病患者同様或る一定の處に收容し社會人と交通をたづねにする

山田學務課長 朝鮮語不解の女教員廢止に付ての意見は拜聴して置く、授業料徴收は郡又は面に於て取扱ふ様との事なれど郡、面に於ても相當多忙を極めて居る状態であるから各學校の訓導に一任し引

ては児童に納税の意味を指導する目的に於て各學校に取扱つて居る次第である  
清水衛生課長 モヒ患者の

件に付ては世界各國の例を引き尙本道内の從來の統計に依つて細密な説明があつた  
高警察部長 モヒ中毒患者に付ては全鮮に亘つて困つて居る、此の中毒者に對しては道當局も極力講究して居る故現在より以上に増す事はなきものと思ふ

光富君 群山中學校入學採用に付き種々不公平あるが如き論を聞くが之は校長の手にて嚴正なる結果の下に採用して居るのは本員が立證する次第である、尙群中の授業料が高いと言ふ事であれば本年度より減少する様方法を講ぜられても異存は毛頭なきものであると群中設立當時よりの状況を詳細に説明し尙測候所は各道共に道廳所在地にあるの

は其れが至當ではあるが此の  
 測候所の必要を感じる處は平  
 野地より海岸地に必要を要す  
 る事が多いが其の設備なき  
 故群山住民は非常に困つて居  
 る次第であるから移轉は不可  
 能であるからせめて出張所で  
 も設立されん事を望む次第で  
 ある  
 松・下・内・務・部・長 測候所の移  
 轉は區域の都合上不可能であ  
 る出張所の件に付ては考慮す  
 る  
 林・鳳・周・君 淳昌の公立普通  
 學校學年延長は六年度の豫算  
 に入つて居るや

山・田・學・務・課・長 學校學年延  
 長は郡守の申請に依りて考慮  
 するものである故まだ決定致  
 して居らぬ  
 朴・碩・奎・君 井邑農學校は相  
 當の歴史を有して居るのに未  
 だ昇格致さぬ本員に取つては  
 遺憾の至りである郡内の事  
 情を説き七年度には昇校する  
 様にと熱辯を揮つた  
 松・下・内・務・部・長 昇格に付て  
 は極力盡力にして居るが來年  
 度より直に昇格するとは言明  
 出来ない  
 柳・鎮・鰲・君 道内三ヶ所の道  
 立醫院が各區に受持區域を定

め道立醫院醫師をして巡回せ  
 しめ患者の診療を経費の許す  
 範圍内にて診療を乞ひたい  
 清・水・衛・生・課・長 管内巡視は  
 是迄三道立醫院に於て巡回し  
 居るが此の後は尙一層經費の  
 許す限りは巡回診療を爲さし  
 むる筈である  
 崔・鍾・烈・君 小作官設立は如  
 何  
 調・農・務・課・長 小作官設立に  
 付詳細な説明があつた  
 教育費、測候所費に關する經  
 常部衛生費以下歳入歳出は全  
 部終り六時十分散會す

# 自轉車稅輕減や 人力車稅全廢につき

各議員から突つ込む

二十六日午前

本道評議會第五日は二十六日  
午前十時半開會傍頭

之れに對し地方課長詳細の  
明を爲す

二・三番(柳直養氏) 自轉  
車稅輕減、人力車稅全廢を行

戸稅輕減

ふとあらば宜しく牛馬車及び  
手車の税金も相當に輕減する  
が至當ではなからうか、近頃  
は貨物自動車全盛の時代であ  
るから非常に荷物が少ない此  
の點を考慮して輕減するが當  
然と思ふ、次に河川敷地使用  
につき内容の説明を求む

二番(金禎鐸氏) 戸稅一戸  
につき一圓五十錢を一圓に輕  
減されたし普通農事補助金、  
裏作獎勵費について説明を求  
む

内務部長 人力車稅全廢に  
ついては牛馬車曳きは車夫に  
比し有產のものがあるけれど  
も車夫は窮民であるから窮民  
救済の意味で全廢したのであ  
る、尤も牛馬車稅についても  
他道との比較により目下考慮  
中である

内務部長 戸稅について内  
容を説明し目下の狀態にては  
輕減の方法なしと説き更に地  
方課長は普通農事補助金裏作  
獎勵費の件につき懇切なる説  
明を試む

土木課長 河川敷地使用の  
内容につき詳細に且り懇切な  
る説明を試む

二十二番(橋本央氏) 國有  
未懇地の件、河川敷地使用に  
ついては農務課、土木課の聯  
絡を執ることが必要であると  
て東津江の上流なる竹山川の  
例を引いて意見を述べ土木課  
長之れに對し説明す

六番(趙在敦氏) 行路病人  
死亡人に付ての諸費、棄兒救  
濟費の件につき意見を述べ質  
問す

八番(黃仁杓氏) 不動産收  
入の件即ち不動産賣却代の件  
種鶏賣却代の件につき質問す  
之れに對し地方課長説明す



貨物自動車に壓迫される

## 牛馬車の税金どう

軽減せよと金議員叫ぶ

十九番(金英武氏) 戸税累進率は隣道忠清南道に比し高率に失す宜しく忠南道と同一にされたし、次に自轉車の減税人力車税の全廢に鑑み牛馬車は以下貨物自動車に壓迫され収入少なきを以て税金の納付不可能にあり宜しく之れも相當に軽減するが當然であらうと説く

内務部長 戸税の累進率の意見は十分に承つて置く次に車税は財界不況の折柄種々意見もあるが當局では内地あだの實狀を調査の上決定したいであるから之れに間違ひはないと思ふ、更に河川敷地使用にについては土木課長より説明があつた

二番(光富嘉八氏) 人

力車税の全廢は窮民救済の意味で全廢されたとの、お答へではあるが車夫自身に取りつては少しも救済の恩恵には興つてゐない、何んとなれば車夫は營業者より歩合で雇はれてゐるのである、税金の廢止は營業者に取つては此上もない仕合せのことであるが窮民たる車夫自身としては何等恩恵に浴することは出来ぬのであるから當局としては能く考慮されたい

財務部長 人力車税全廢は唯窮民救済に外ならぬと……述べて至つてアツケない應答であつた

二番(光富嘉八氏) 本員は只今の答辯の意味を解釋するに苦しいものである、人力車税全廢が窮民救済になるとは全く其の意味をなさぬと思ふと論じ財務當局に一矢を放つ時に十二時半(全州電話)

二拾一番(光富嘉八氏) 人

# 全北評議會

新

第三日目——二十四日

6. 2. 27

(全州) 全北道評議第三日は午前  
十時三十分開會議長開會を宣し本  
日の職員二名日程は豫定の通り勤  
業費の經常部臨時部授産費を終り  
なほ時間の許す限り教育費調査所  
費に進め度きことを述べたつ勞資  
に

▲礦部議裁氏(群山) 陸産に比し  
水産方面の施設が閑却せられ豫  
算面から百分の一にも相當せぬ  
と水産事業振興の氣概を擧げ幸産  
業課長産業不振には漁船建造の國  
費補助地方貸付の對策、試驗場  
助手の増員警備船の備付各種水産  
施設擴張方針を述べた

▲橋本央氏(金堤) 紫雲英計畫の減  
少堆肥の増産堆肥の原料たる糞  
を以て使へと獎勵するが之等當  
局の方針如何  
と篤農家らしい農事振興問題を叫  
ぶ調農務之に答へ工務技師費を新  
とするに關し道の計畫を述べ零時  
五十分食休後再開柳銀赫氏  
(茂朱) 産業あつて始めて土木衛  
生が必要であると産業、重大性を

叫び此の豫算の増額を要求し經濟  
問題をあげて産業の合理化を滔々  
と熱議を振い次で

▲坂井信藏氏(裡里) 前議員と意  
見の一致を稱へ産業獎勵のみの  
計畫は片手落ちである産物の便  
途販路を求める事が急務である  
折角多くの勞力と經費を以て生  
産しても過剩の状態では効果、が  
ない  
と産業の合理化を熱議し叫ぶと松  
下内務拜聴したと流す次で光富嘉  
人氏(群山) 農林水は三大事業で  
あるが水産事業が豫算面が没却せ  
られある串から群山道民の漁業振

勵を叫び水産物の加工に及び尙産  
馬獎勵の必要を滔々と論じた處さ  
すが群山の地形である幸産業拜聴  
で受ける

趙在敦氏(金堤) 以獎勵から以檢  
査の件で細民いじめ共同販賣の  
職員の不親切を突込む  
松下内務やも熱議した而持ちで細  
民いじめは決してしてない共同販  
賣職員の不親切の點ありとせば將  
來嚴重取締ると誠意を表して受け  
流す外二三質問ありなほ引續く形  
勢であつたが時間の關係で打ち切  
り午後五時閉會す

# 平北評議會

第四日目

新 2. 27

(新義州) 平北道評議會第四日は

二十五日午前十時三十五分開會

議長より日程の報告があつた後佐伯

内務部長より約一時間に亘り

▲歳出經常部第五款(單位圓)

教育費 二三四、二二八

(二、五八八減)

一、新義州公立中學校費 四四、五五二

二、新義州公立高學校費

三、新義州公立商業學校費 三三、五三七

四、義州公立農業學校費 四〇、三二四

五、寧邊公立農業學校費 二八、七三一

六、龍岩浦公立水産學校費 二〇、〇四九

七、國庫納金 九〇九

▲歳出臨時部第五款

教育費

一、寧邊公立農業學校費	(一七、四九五減)	四、戶稅	三四五、三九七
二、教育費補助	二、五〇〇	五、家屋稅	一八、九九〇
三、衛生費	五二〇、六九三	六、不動產取得稅	七五、〇三三
▲歲出經常部第六款	(二〇、〇九二減)	七、特別市場稅	一
衛生費	二〇八、四〇三	八、屠宰稅及屠宰稅五〇、四九〇	五、六二九
(一、七二三減)		九、漁業稅	一、二二三
一、道立新義州醫院費	八〇、〇六八	十、船稅	七九、六〇四
二、道立義州醫院費三七、七六三		十一、車輛稅	六三、六八五
三、道立楚山醫院費三八、〇六二		第三款臨時恩賜金受入	(一、六六一增)
四、道立江界醫院費四三、五七八		第一款財產收入	一九、五六一
五、國庫納金	四四八	第二款雜收入	二九三、五一七
六、種痘費	一八六	第三款臨時部第一款	(一八、四四一增)
七、屠獸検査費	一四五一	繰入金	一三七、二五八
八、傳染病預防費	一八五	第二款國庫補助金	(三四、六九四增)
九、モルヒネ中毒患者治療費	二、〇〇〇	第一款土木費貸附金受入	六六四、五二九
十、衛生諸費	四、〇三二	第二款寄附金	(九、八一二減)
第七款社會救濟費二七、六〇四		第一款雜收入	八、〇〇〇
(二、一九二增)		第二款河川負擔金收入	(九九九減)
一、社會事業費	一八、七六五	第三款公債	九一〇、一〇〇
二、凶獸救濟費	六、三七三	以上各款項目につき詳細説明する	
三、救恤費	二、四六六	處あり審議に入り	
▲歲出臨時部第六款	一〇、五五〇	▲康康源氏(寧邊)江界に農林學校を設置すべく何ゆる豫算に計上し、	
衛生費	(八、五五〇増)		
一、道立新義州醫院費九、七五〇			
二、醫院諸費	八〇〇		
▲歲入經常部第一款	九二七、九九三		
地方稅	(一、八一五増)		
一、地稅附加稅	三四七、九〇一		
二、所得稅附加稅	二、七二〇		
三、特別所得稅	一、〇〇五		

年後においてこれを實施するか  
石川知事 將來設置する意思  
りとするも何年後においてなど  
いふことは今から證明すること  
は出来ない

小笠原學務課長 農林學校の必要  
は認めてゐるも經費の都合上實  
現の途に至らないのを遺憾とし  
ます又補習學校は本府の趣旨を  
體し先づ一校設置の方針で  
寧ろ郡内にばすでに設置してあ  
ります

▲洪淳龍氏（傳川）一面一校を何  
ゆる早く實現しないか學校費の  
補助額は一校當り何程を標準と  
するや

▲小笠學務課長 一面一校主義は  
本府の方針に基き財源のゆるす  
範圍において實現を期してゐま  
す學校費の補助額は各學校費の  
不足額だけを地方費より補助す  
るもので必ずしも一校に對し何  
程とはきまつてゐません

此時議長休憩を宣す時に午後零時四十五分午後一時五十分議長再會を宣し審議を續行

▲金聖烈氏（碧潼）  
豫算全體の上

から見ると年々膨脹を來し來年度の如きは殊に然りと思ふが斯ては政府の緊縮方針に反してゐるのではないか

▲佐伯内務部長 一例を挙げれば地税の如きは年々土地改良事業の進展に伴ひ自然増収を來し車輛税の如きは減税を斷行したに拘らず文化の發達に依り車輛數が漸次増加するに伴ひ増収となつた様な次第で歳出入豫算の膨脹は自然の趨勢であります

▲金練植氏（龜城） 教育費の各項目を通覽すると概して人件費が多過ぎる様に思はれ相當節約し得るものと認められるが如何

▲佐伯内務部長 議員の素質向上を計ることは諸君年來の希望であるから當局は人材の選擇に最も注意を拂ひ優秀な職員を任用する結果自然人件費の増額を來すのであります

▲劉基貞氏（江界） 家屋の賦課は何故新義州と海州のみに限り同じ指定の宜川、定州、江界には賦課しないか又車輛税中自動車と貨物自動車と馬車と何故

税額の甚だしい課税をするを公平を稱して如何

▲陳内務部長 家屋税は元來租税的に賦課されて來たもので義州は前道廳の所在地であり新義州は従前より都市と認められて來た關係上今日に及んだものでこれは本廳の通牒に基づいた結果であります

▲姜利源氏（義州） 楚山及江界兩道を各院收入減額の理由及自動車税は減税したが自動車税を減税しないのは社會政策的見地からいふも不當ではないか如何

▲白石警察部長 現今の不景氣深刻な相に鑑み楚山及江界兩院の減収を豫想したものであります

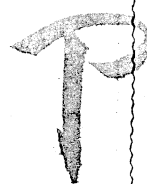
▲服部税務課長 自動車の利用者は敢て生産者階級のみでなく有産者階級にも最も多いので此際減税の必要を認めてゐません（その他敎氏より質問であるが意見の陳述であるか不徹底の發言なりしゆゑにこれを省略す）

斯くて日程通り諮第一議院出經常部同臨時部並に歳入經常部同臨時部に關する第一讀會を終了して午後六時議長散會を宣す

# 慶北道評議會

(第三日)

## 讀會を省略して



## 27 十諮問案を可決

大 6.

## 建議案は委員に附託

二十五日一日には委員會を終つて慶北道評議會は二十六日第四回の本會議を午後一分より開會、出席議員三十三名、缺席四名の旨議長より報告直に日程に入る

### 議長

昨日の委員會を終了致しましたから各郡委員長の報告を願ひます、第一部委員長

伊藤吉三郎氏(大邸)

されたる諮問案は諮問第一號土木教育衛生、諮問第六號より九號であります、委員會では附託

されたる議案に對して熱心討論致しました結果満場一致をもつて原案を承認し第二讀會に移す可きものであると認めました尙委員會において道路視察を行ひたいとの意見が出ましたが之は昨年來の懸案でありまして第二部においてもこの希望が出たそ

ふであります、委員會の要望として特に御報告申上げて置きます

ついで第二部委員長

金井煥君

委員會第二部にお

きましては附託されたる議案に

對して慎重審議の結果原案を承認し第二讀會に移すべきものと認めました尙第一部委員會と同様道路視察を要望することになりましたからこの段階報告致します、委員會報告を終る

杉原太長郎君(大邸)第一

號より第十一號に至る諮問案は委員會において承認してゐるのであるから讀會を省略して採決を願ひます

との動議成立し議長より左の議案を一括して議前に供し議長起立に問ひ採決の結果全員起立して可決確定慶北最初の杉大な豫算が成立す、一時半議長休憩を宣す、

一、諮問第一號

昭和六年度慶尙北道地方費歳入歳出豫算

二、諮問第二號

昭和六年度慶尙北道地方費兒童



獎學資金特別會計歳入歳出豫算

一、諮問第三號

慶尚北道地方税賦課規則中改正の件

一、諮問第四號

慶尚北道不動産取得税賦課規則中改正の件

一、諮問第五號

賦検査手数料規程申改正の件

一、諮問第六號

慶尚北道地方費並に勸業費繼續費起債の件

一、諮問第七號

慶尚北道地方費土木費繼續年期及び支出方法の件

一、諮問第八號

慶尚北道地方費勸業費繼續年期及び支出方法の件

一、諮問第九號

慶尚北道地方費歳入出豫算外義務負擔の件

一、諮問第十號

慶尚北道地方費歳入歳出追加豫算の件

一、諮問第十一號

慶尚北道地方費土木費繼續年期及支出方法の件

休憩申徐丙朝氏より休憩申皆さん

に御諮り致したのであるが建議

案が大部分に上るやうであるか

ら議員内より審査委員を推薦して

審査したいと思ふ御賛成を願ひま

すと述べ全員賛意を表し

入山君

(漆谷)

建議案の

審査は特に審査公平を要するから

特に金在煥・伊藤昭氏に委員指名

を御願ひしたい

との提議ありその結果左の七人を

委員に指名別室において夫々審査

を行つた、建議案審査委員徐丙朝

氏入山昇氏崔潤氏諸氏共推氏金在

煥氏伊藤吉三郎氏武尾碩藏氏二時

審査委員会を終り

伊藤吉三郎氏

より休憩前

に御報告して置くとして建議案が

十件出ておりましたが審査委員

で審議の結果三件だけを執りあ

とは希望意見で述べていたべく

事となつた旨を報告する

慶尚北道

# 慶北道議會

第四日は委員會

京 日  
6. 2. 27

豫算案逐條審議

慶北道議會第四日目の委員會は  
廿五日午後一時から道廳會議室に  
おいて階上は第一部委員會の委員  
全部出席委員長を互選したる結果  
伊藤吉三郎氏（大郎）委員長に當  
選し、階下には第二部委員出席委

員會の經過報告をなし各議員から  
提出された建議案の調製をなした

（大郎）

# 威海衛議會

第三日 十一月二十四日

2.27

(夜) 議事會第二日は二十四日午前十時十分開會伊藤隆氏

(元山) 総務、議長開會をばし

議長 なほ昨日に引づき質問

あらば、罷りますが日程の都合

もあります故土木費の方は本日

午前中で打ち切り午後は勸業費に

進みたいと思ひます

▲岸鍾律君(新興) 今回の土木

の制限即ち朝鮮人労働者と支那

人労働者との割合は如何なもの

か

▲甘肅内務部長 最な質問であり

ます、救済事業はその名の如く

主として朝鮮失業者救済の意味

でありまして朝鮮人を多く使用

することは勿論でありますが大

陸においてこれは事關國際關係が

ありまうので今こそ數字的に

明確に申し上げる議には参りま

せんが幾何かの支那人労働者使

用もあれぬことと思ひますが極

めて少數なことと思ひます

は、御意を置きを願ひます

▲林昌虎君(長津) 長津郡廳長

の土木事業について約三十分間

にわたる御意見を以て、感蒙中長

連郡地内未改修道路の實況と量

の有無、師役の過重、諸員制度

の非、救済事業の量、量、等、等、

に關し質す

▲種谷土木課長 一々明快なる回

答を與へた

▲林昌虎君 更に道路改修のみな

らずその他文化的施設において

も常に平地帯を主とし山地帯が

從的に連れる感がある、この點

返す返すも遺憾とするは、火田調

査費として六百圓は少ない、の

みならず、窮民救済事業の計畫は

一面において火田民の窮乏を偏かす又

一面において火田民にも賦税を

課するといふことは不合理でな

いか

▲甘肅内務部長 これはたゞ本道

のみではなく道路の改修工事

その經濟的價值によつて自ら

の肥あり農耕地は人口も多

平地帯が先になりこれに反する

山地帯が連れる勝たのは恐れた

いところであつて敢て等閑に附

するといふ譯ではない、但し、

慈城、或は救済事業等は山地帯

もそれ／＼考慮してあることを

諒知ありたし、なほ火田調査費

は尙少ないか今直ちにどう

いといふのではないたゞ試験的

に調査しようといふ實際にしか

過ぎないのであります道路の賦

税は道路の命ずるところに依

るもので火田民であると否とに

拘らず一様に道路費の立割から

は何も差別的といふ點合のもの

でなく自發的に出發してもちつ

てゐることと思ひます

▲崔源植君(永興) 元山慈山鐵

道については大正十一年か二年頃

平南道と協力して改修に當るも

のと記さくしてゐるが平南道管

内はずでに改修を續けたのに本

道管内のみが遺憾にあることは

唯この點に遺憾なるのみなら

ず實際交通運輸上支障があるか

これに對する當局の御意見を伺

ひたし、また窮民救済事業とし

て永興水道が新築に計上され

てあるのは有難い、が面の意、意、

二萬圓とあつて救済事業の救済

たる意味が失はれやせぬか、な

は最後に本事業によつて大體、

何の勞金が永興に撒布されるか

▲種谷土木課長 元楚鐵は重要な

路線であるが救済事業をもつて

する道路線は本道本府の命意に

違ふものであつてこの中に輸入

する譯には行かず、又一概、計、

では財源の關係上手が置かなか

つたことは遺憾であります、な

ほ水道の義務負擔は何れの工事

にも附帶するので如何とする

ことは出来ません、なほ本事業

に依つて撒布する、勞金は約一

萬圓の豫定であります

と、今まで來ると議長十九番と林昌

虎君がよびかけたので議長はちよ

つと待つて下さいと制して三、三、

員と勸業の交渉中であつたが林昌

虎君、我機里來す此に議長が便と

警をばり掛けたので、

小便の催促は四角張つた議場にとつての酷味酷であつた

▲崔相玉君 議事の進行について  
の動議を提出し

▲議長 これを見て土木部關係の第一議會を打ち切り議案のため休憩いたしました

午後は一時二十分再開、先づ副議長議長並に岡田農務課長より豫算説明ありて後審議に入る

▲崔相玉君 綠肥へアリンゲと豆糟との比較研究結果あらば

承りたし、本道獎勵の水稲品種の尾の良いことは解つてゐるが年と共に變退の慮はないか、種牛生産費の種牛保護費は不要の感がある、次に種牛保護費も無駄の感がある、種牛保護費の改良及び内容充實を計り次いで審議家をして不安なからしめられたしなほ土地改良費（永組）について翌後に水産費について（發動機問題）現在漁民の窮乏状態を援けきして救済方法に就いて當局の考慮を煩はしたしと約四十分におたる長談を録した

▲岡田農務課長 数字的に兩者を比較し

比較し後にアリンゲは東洋として最も有利なる點を述べ第二圖に對しては仰せの通り増加します、三年を以て觀察する

ることにしてゐます三年より二年、二年より一年はなほよろし

など少々改良つてなほ畜牛生産費中の種牛保護料は種牛生産地に限り必要なのであります殊に

技術員をして指導監督せしむる等それれく手當を要する點である。種牛保護費についての御注

意は有難く受けまますが不幸にして吾々其の調査中には左様のことはありまんでしたが（畜苗を動にする云々）以後は二割増意することに致します、土地改良費の仲に至つても数字的に一

々説明あり

▲副産業課長 發動機採取器に關して詳細説明あり（五分間休憩）

▲金基成君（津原） 牧屋補助、畜養傳習所を完全なものにしてほしい、目下牧畜の獎勵場は生産状態にあるが牧畜の方案はな

きか、種牛採取器上完全を期する

ため發動機の設備を望むと述べ議長は不反對に議決、實情を要するが岡田農務課長一々御最もなことですと前述して夫々答へし農後の不良畜産の牛に關しては

先列の點にも御答へした通り總體にない、電燈後供電に於いて

適々取替ひ及飼育法に不良の點があつた事實はあるが不良畜産を配

に與り必要なのであります殊に技術員をして指導監督せしむる等それれく手當を要する點である。種牛保護費についての御注

意は有難く受けまますが不幸にして吾々其の調査中には左様のことはありまんでしたが（畜苗を動にする云々）以後は二割増意することに致します、土地改良費の仲に至つても数字的に一

々説明あり

▲副産業課長 發動機採取器に關して詳細説明あり（五分間休憩）

▲金基成君（津原） 牧屋補助、畜養傳習所を完全なものにしてほしい、目下牧畜の獎勵場は生産状態にあるが牧畜の方案はな

きか、種牛採取器上完全を期する

▲李善徳君（定平） 青柳氷知組合の堤防修繕費を全可の土地改良市より文用を願ふ

▲盧禹昌君（市山） 平地帯濕地農地には適當な方法はあるが農地には何等の設備がありま

せんが農地帯適當な農田の如き設備がほしい、多大に應ずる

大體を利用しての協業的方法の設備が指導機關がほしい、第三にあらたけ澤田に應入な木材を産したからたゞに依つて鴨綠江を流し出すのみでなく、その地に於いて何とか殖産化する

方法の設備がほしい

等々希望事項を提出したのでて盧禹昌君より議事進行上時間經濟上議場外については省略の方針あり

三件を述べて當局の意見を求めた

▲岡田農務課長 平地帯と山地帯との比較があつて誠に最もな

とでありまます殊に山地帯では無

茶の試験等もしてゐまして萬里希波といふ點でもありません

の他議に同意であります

▲劉課長 技術員、指導員の費用の關係もあり今直ちにといふ點

にも行きません、次ぎに木材消化

加工については目下調査中でありま

りますから然るべく御了承あり

たし

次で崔相玉君（感興）議事進行上

て午後五時十五分散會した

咸鏡南道

咸南道議會

火田民の指導費

一戸當り僅か四錢

日 27  
京 6. 2.

二日間に亘り窮民救済事業問題で火花を散らしさしにもやかましかつた土木費の審議を諒了して明けた第四日目の感南道評議會は二十五日午前十時二十五分開會昨日に引續き勸業費の審議に入つた實問のトップは新興の關士崔鍾律君だ火田民指導問題を提げて當局にせまる

▲崔鍾律君（新興郡）火田民二萬六千戸を拘束する本道としてその指導費に六百圓を計上してあるがこれは一戸當り僅に四錢にしつゝあたためが悲惨なる生活状態にある彼等の指導計畫の立案を伺ひたい

▲甘肅内務部長 火田民問題には本府に於て火田民調查會を組織しこれが善後策に腐心してゐる状況でありまして全鮮五十萬戸の火田民整理については今尙解決してゐないのであります、本年地方費を以て火田民指導費に百萬圓を計上しましたことは本府の指示による技術員二名の事務費でもとより技術員の俸給は國費の負擔でありますこれが指定地は長津郡か豊山郡か甲山郡か未定となつてゐます道としては火田民福祉のため最善を盡してゐますから左様御承知を願ひます

▲張河根君（安邊）本道水利組合は有利か又製作は農家に任意でやらせたらどうか、農村指導の内地人技術員には朝鮮語の堪能者を配置して貰ひたいとの質問には甘肅内務、岡田農務より夫々答辯するところあり

▲沈亨燮君（端川）本道の蘭共同販賣は企業家を擁護する嫌ひあつて生産者の利潤は餘り考慮に入れてゐない様であるが本道の蘭年産額二萬石を競争販賣にして石當り一圓の高値に賣れば實に二十萬圓の金が道内に得られる譯であるが當局は競争入札の意志なきや

▲岡田農務課長 蘭の販賣は各道

とも共同販賣でありまして只平安南道の一郡と大邱、京城の仲買が自由販賣をやつてゐるのみです販賣價格にしてしも共同販賣の方は内地方面の確實なる材料によつて尤合理的に賣値を決定されるもので共同販賣の方が有利であることを確信致します競争入札は一時的には高値を唱へることもありすが感心が出来ませぬから左様御承知を願ひます

▲金基協君（洪原）模範林、肥料奨励費、林業費につき征矢を發てば勸業、岡田農務やんわりとやつてのける

この時崔相玉君（咸興）勸業費審議打切の動議を出す  
▲關水議長 崔君の動議に賛成方は起立に願ひます

と議場に諮れるも起立者少數で動議成立せず崔君は昨日も土木費審議打切り動議を出し今又、勸業費打切動議を連發したので他議員の憤慨するところとなり崔鍾律君（新興）、朴昌虎君（長津）等烈火の如くに怒りだし場内哄笑湧くこの機をすかさず

▲關水議長 之を以て午前の審議を了ります

と宣し晝食のため休憩となる、午後先の陣は姜勸成君（德源）が承はり能率増進に立脚して人件費の運用に妙味を以て臨まれたしまた産業獎勵の合理化を高唱すれば

甘肅内務部長簡單なる答辯をなす  
▲林昌虎君（長津）山地帯は平地帯に比し勸業獎勵施設が不完備であるから公平にやつて頂きたい

▲岡田農務課長 御質問の如く當局としては決して施設上に不公平なることは致して居りませぬから左様御承知を願ひます

▲朴道善君（文川）本道は各郡に畜産授手を配置してゐるがひとり文川郡と利原郡にのみ畜産授手

の配置をされて居らぬことはや手落も甚しいから産業の發展上から是非配置して頂きたい

▲岡田農務課長 經費多端の折柄配置に至つて居ませぬがそのかはり畜産組合に對しては補助金を交付して係を置てあります御賢察を願ひます

▲西田富三郎君（元山）豫算面を見ると馬野前知事時代に生れた本道産業調查會に要する調査經費が計上してない様であるが仕事をするつもりか御伺ひしたいと開會以來沈黙してゐた西田君巨彈を發ち連日ダレ氣味であつた議場に一脈の清新さをたゞよわさした

▲甘肅内務部長 北鮮産業の開發上依然調査は續行するのでありますこれが經費を計上せなかつたことは産業調查會の委員がそのした調査機關ををらる方ばかりであるから別に經費を計上せずとも何等調査上に支障を來すことはありませぬから左様御承知の上今後其本道産業開發のため一層の御援助を御願致して置きます

▲杉野多市君（元山）本道の勸業獎勵は適切に行はれてゐるが只海産物方面の獎勵は組合組織の産業にのみ補助金を交付して居る様であるが今後は個人方面の經營者にも企業獎勵をなし補助金を交付する様御取計を願ひたいのであります

▲甘肅内務部長 御意見の如く將來はかゝる方面も研究いたしまして御期待に副ふ様いたします  
▲白南直君（元山）露系暴落に對する農村救済は如何、穀物検査規定の七日前に届出すべしとあるがこれは當業者は苦痛とおもふが如何水産取締及獎勵は如何と元山の關士西田杉野君巨砲をならべて堂々の陣をしくこれに對し



甘肅内務・岡田農務、劉産業、齋藤林務何れも昨なる答辭で審議はサツト進行この時

▲岡水議長 勸業費審議はこの邊で打切りたいとおもひますが如何なものでせうか

と議場にはかれは異議なしで打切となり暫時休憩午後三時三十分より續行教育費の審議に入る

▲崔漢植君(永興) 最近中華學校生徒の同盟休校が頻發するのは教員が悪いのか又は教授方法の缺かんであるか如何

との質問は猶原學務簡單なる答辭ありこの外金基協君(洪原) 崔鍾健君(新興) 盧弘周君(甲山) 張河根君(安邊) 朱觀植君(豐山)

等より初等學校の増設學年の延長授業料の半減、中等學校の増設の急務、同盟休校防止云々青年思想の善導策等々の質問あり意見を提出せるに對し猶原學務、高橋番外より個々に亘つて説明し了つて

▲岡水議長 これを以て本日日程を了りたいのですが異議はありませぬか

と議場に諮れば『異議』なしで、第四日の日程を終つた時に午後五時四十分。相當喧騒を極むることゝ豫想されてゐた教育費の審議も平凡裡に一讀會を了つた

### 建議案

一、城川江整理を全體に亘り繼續着手するを要望の件  
本河川整理に就て今回救済事業として五老里より以下の流域畫案に編入せられたることとなりたるは道内における一大恩典と

存す

要するに河川の整理とは國家の大規模的事業にしてこれに工事施設するには上流より漸次進捗するを得策に非ずやと認む(以下略)

右建議す

昭和六年二月二十日  
建議者道評議員

賛成者

崔鍾健 井上通 金夏涉 崔相王 崔漢禎 外全員

# 第四日目の

新

## 京畿道評議會

産業費の質問 2.28

京畿道評議會第四日は二十七日午後一時より開會

第一號案 昭和六年度京畿道地方費獎勵基金特別會計歳入出豫算中に屬する勸業費並にこれが臨時費に對する諮問案

第一讀會に入る元應衛氏(京城)外數名の議員より質問あり  
一、勸業費豫算を編成するにあたり如何なる方針をもつてこれに當つたか

これに對して金産業部長は  
本道住居の約六割までは農民である、財界不況の今日更に農村の不振を極めてある今日これを如何にして打開するかと云ふ事は最も緊急を要する問題でこれが同豫算の編成に當つて道として極力意を拂つた譯である、又測候所移轉問題に對しても了解を求めたいのであるが御承知の通り京城の測候所は町の真中にありこれでは完全なる氣象の金産業部長 米の移出調節は昨年

測候所は到底望む事は出来ない情態にある、農民に取つては勿論近來航空界の發達につれ完備せる氣象の觀測は益々その重要性を帯びこれがため今回適當な場所に移轉せしめる事となつたのである

と説明し再び元應衛議員  
測候所の氣象觀測は全くあてにならないがあれはどう云ふ譯かとの飛な質問に濱崎興笑金部長  
簡單に説明し次いで

金泰準氏(永登浦) 外右の質問をなし  
一、生米増産を大々的に獎勵したから米が澤山出来たからと云つて内地移入禁止は如何なる理由か

一、養蠶獎勵に對する當局の腹案根本方針は如何  
一、沙防工事は何處から開始するか

の大豐作に基くもので米價の調節をはかる一時的施設である當局は豐作だからと云つて産米増産の根本方針は曲げる事はない、今後益々増産を奨励するの双方の利益をはかる親切なる手段に出たものである、又養蠶は農家の副業として最も適してをりこれによつて例へば幾らかづつでも收入を得せしめる方針で豫定石數に達するまでは大々的に獎勵をする、又沙防工事に對しては全道を通じて二千五百町歩を施行する事になつてゐるが最も慎重なる態度をもつて最も有効的に施行せしめるべく研究中である

と答へ次に  
沈圭澤氏(利川)

一、林業保護に對して優待をさけしめては如何  
一、肥料獎勵に對する人件費が高い又産業技手の俸給は低廉ではないか

金産業部長 肥料獎勵に對する人件費が高いと云はれるが本道としては昨年来線肥の獎勵を行つて來たが相當の好果を得たので今年からは一層優秀なる技術員を養成普及をはかる事に努めてゐる、又林業保護に對しては出來得る限り施設を講じてゐるが更にこれを徹底せしめんとすれば亂伐をさせるは勿論燃料の節約ひいては溫床の焚口等をも改良せしめる必要がある

朴基煥氏(廣州)  
一、勸業の根本目的は生活の安定を得せしめるにある、所が現在の農民は僅か四十パーセントの安定年をも有してゐない、これは要するに勸業獎勵に對する根本方針を過つてゐるのではないか

一、一般農民の疲弊のためその所有にかゝる山林田畑は資本家に全部奪ひ去られつゝある、此の對策如何  
金産業部長 一般農民の生計問題については議論に及ぶものであるからこれをさける又一般小農階級の所有田畑賣買防止策としてはこれは一般個人の經濟關係から生ずるものであると解釋し

たい  
と述べ終つて二時二十五分議休  
憩を乞す

## 再開

二時四十五分再開  
黃祐天氏（江華）

一、織物補助費よりむしろ色服着  
用補助費を計上しては如何  
一、水産の開發を計るため水産會  
を増設しては如何  
一、土地改良補助費は何處に使ふ

か  
金産業部長 水産開校に對しては  
本道としても極力盡力してゐる  
水産會増設は甚だ結構でこれは  
考慮する。土地改良補助費は何  
處に使ふか言明は出來ないが併  
し最も有効これを使用する準備  
はある

次いで石原（京成）岡本（開成）

一、農業倉庫の建設は目下郡單位  
の様であるがむしろ今日の農村  
の經濟狀態からみれば大倉庫を一  
ヶ所に作るより面單位として例  
へ小なりと雖も各面に建設して  
は如何

二、當面では水利組合の建設を今  
尙盛んに奨励してゐるが一般地  
主は最近これを非常に警惕して  
ゐるがその原因は如何  
金産業部長 當面としては決して

地主を困らすために水利組合の  
建設を奨励してゐない最初の計  
劃設計からみて立派に採算がと  
れ一般地主の舉る利益があると  
云ふ點から巨額なる國庫の補助  
をもつて奨励してゐるのであつ  
てたゞ設計の不備から地主  
が不利を招くと云ふ結果を將來  
する事があるがこれは今少し設  
計經營の缺點を除く事に努力す  
れば一般地主の不安を除く事が  
出來ると思ふ農倉を面單位にす  
る事は誠に結構であるが當面と  
しては總督府方針と一定の補助  
になつて建設する事になつてゐ  
るので如何ともする事も出來な  
い併し農倉は相當大なるもので  
あるから一般農民は充分これを  
利用する事が出来る

更に經常部における土地改良費樹

苗圃費、灌漑費その他農業諸費又  
臨時部において林業費、肥料費、  
薪炭費、水産補助費等に對する  
補助費、各議員と外との應答  
四時十分閉會二十八日引續き勸業  
費の附屬を續行する

## 道評議會第四日

日28

## 勸業費質問應答

京畿道評議會第四日(二十七日)午後一時より評議室にて開會  
直ちに日程の六年度勸業費に  
關する第一讀會を開く

▲元惠弼氏(京城) 勸業費豫算を  
編成するにあたり如何なる方針  
をもつて當つたか

▲金産業部長 本道農民六割は小  
作民であるが、この貧乏な農民  
を如何にして富ますかといふの  
が第一義として積極的な方針を  
とつた

と田作改良費等項目を例にあげ農  
民の増收をはかるため豫算も膨脹  
するほど各事業に力を注ぎ農民の  
策をとつたと述べ、更に今回移轉  
する京城測候所につき現在の場所  
が市街地で不適のため京中裏山に  
移轉せしめ無線電信、地震計を新  
設して一週期を作つたことにつき  
諒解を求め約二十分間の施政方針  
を演述した

▲元惠弼氏 測候所の内容を充實  
せしめるのは結構であるが、従  
來のやうに天氣豫報が當てにな  
らぬのでは困る。また新規事業  
の分收造林とけどういふ事業か  
▲金産業部長 各地の天氣概况を  
集めて理論的にかくあるべしと  
豫報する天候が意外に相違する  
こともあるが、大體において七  
割は確實に當つてゐるから測候  
所の豫報は信任してよい。分收  
造林とは從來砂防工事等に施し

た植林は無償でしてゐたのでそ  
の施された地主にはやゝ虫のよ  
すぎた觀もあるから今回からの  
植林後十數年経たのちに伐採す  
る場合その代價の幾分を地方費  
に返却するといふ仕組みである  
▲金泰準君(始興) 田作の獎勵、  
養蠶の獎勵も頗るよいことでは  
あるが昨年の如く米が出来すぎ  
ても農民は困る、蠶を飼つても  
賣れば手回賃にもならないでけ  
獎勵するのも考へ物である、こ  
れに對する當局の方策は如何。  
砂防工事の箇所は如何にして定  
めたか。以検査手数料撤廢の意  
思はないか

▲金産業部長 米が澤山出来たか  
ら米價が下つたともいへるけれ  
ど、單に米があり餘るがら下つ  
たのではない、現在では内地で  
鮮米移入制限をしてゐてもこれ  
は一時的に内地農民を保護する  
ためで大局から見ればわか朝鮮  
の國産品である米を獎勵するこ  
とは産業の獎勵上何等不都合は  
ないと思ふ。養蠶も亦然り、農  
家でやつて損にならぬ獎勵は既  
定の計畫である十萬石突破をは  
かりたいと思ふ。砂防工事は本  
道に施工すべき地域が二萬五千  
町歩あるので急を要すべきもの  
から順次なすことにしてゐる。  
以手数料は一昨年半減し、また  
昨年半減したのであるからこの  
程度でよいと考へてゐる

▲金直深君(坡州) 山林の取締を  
嚴重にするため燃料を取ること  
に地方民は窮乏としてゐるがこ  
の状況をどうするか

▲金産業部長 地方民の燃料問題  
は單に薪によつて燃料を得るば

かりでなく他に石炭等を求め、  
且つオンドルの焚口の改良等  
で解決を求め得られないことも  
ないが相當考慮しよう(下朝  
刊)

# 中北評議會

28

第四日 二月二十五日

(青州) 前日引續き忠北道評議は  
午前十時三十分開議議長は湯岡  
第一第二議曾の開會を宣す

▲金議員 六款補助費におい  
て地方教化費百八十八圓を計  
上しあるがあまり少額にて之に

て相當なる目的を達し得るや  
に勸業共進組合現況及衛生の

模範を模範所及施設状態は如何  
模範分置二千七百四十圓は多

額に計上しあらざるや  
河村地方議長 教化費は少額

の積なるも他勸業組合費に相當  
の施設も共通せしむれば大體に

において差支へないと思ふ勸業組  
合の状況は一七一組合五十九箇

面四千九百七十四人貸付額九萬  
九千六十圓となりある貯金額は

最高三十七萬九千九百九十一圓  
一圓四十七錢となつてゐる

と各へ衛生費模範部落につき野  
警察部長より一般人民の力を俟

つこと申す迄ないその趣旨より  
して模範部落を勵進し之を中心

一般に及ぼす様にしたいと思つて

あるその計畫は各郷に一又二部

る或は應し依て或て模範を示し

たと思ふと述べ實例をあげ潘納處

分置については近藤陸軍部長より

き未だ補助費多くその他を合し

て一萬二千坪に昇る様な状態にて

計上額はやむを得ざるものと思ふ

と答へ

▲盧議員 各所古蹟保存百圓計上

にある少額ならざる之等の補助

を増額する意思はないかと質し

教育費に移り農村の状況よりし

て授業科模範の意圖はないかと

▲松澤内務部長 御説の如き俗離

に補助の全費校費に對し四割五

分の地方補助より見るも學校授業

料の低減の不可なる状態を述べて

懇切に答へず

次いで十八番李景常議員より

普通模範學校兒童數を買す森田學

務部長が模範兒童數を知らぬ

とは無責任ではないかと激しく突

込めば森田學務部長はタデノの

計上額はやむを得ざるものと思ふ

と答へ

▲盧議員 各所古蹟保存百圓計上

にある少額ならざる之等の補助

を増額する意思はないかと質し

に補助の全費校費に對し四割五

分の地方補助より見るも學校授業

料の低減の不可なる状態を述べて

懇切に答へず

次いで十八番李景常議員より

普通模範學校兒童數を買す森田學

務部長が模範兒童數を知らぬ

とは無責任ではないかと激しく突

込めば森田學務部長はタデノの

計上額はやむを得ざるものと思ふ

と答へ

▲盧議員 各所古蹟保存百圓計上

にある少額ならざる之等の補助

を増額する意思はないかと質し

を増額する意思はないかと質し

より、終日價格は三日前より二割方は下落してゐるなほ、道としても成るべく、安實に御前を語り、製造元へ照會する等、最善の方法を講じつゝありと答へ、午後零時三十分議長休憩を以て、午後一時三十分より再會。  
▲宮本議員 衛生費、申衛生費、購買費を見るに、客年六百十五圓に對し、本年度三百圓の計上あり之等の費用を以て、衛生思想、かん養に希望を期し得らるゝ次に、水質試験費、百圓は何時迄實行し得るか又、モルヒネ中毒患者治療補助費は如何、社會事業費、明倫堂補助費は社會の趨勢から見て、小續ならす。  
▲野世英警察部長 衛生費購買費は、昨年度、米穀大會の機會を期とし、大々的に計畫をし、爲め多額を要したるも、本年は殊種の健しきもなきゆゑ、通常、購買費に止め、五回ばかり、執行する計畫である。水質試験費は、本年、新設の費目に、客年迄は他の費目の中より、假ばかりを割當てて行ひたるも、昨年度より見て、既る必要を感じたるゆゑ、斯く費目を計上したゆゑんである。昨年度は大正十四年より租

租五年迄、水質試験費が四千三百件、内三千件は、現銀三千三百圓が不適といふ成績を示してゐるので、此の豫算を充分とは思はぬが、先づ本年は此の程度に止めた次第である。モルヒネ治療費も、本年度の新設費にして、客年本社の方針、より急制度をとり、一人二千圓、位、自當とし、二十八位宛を、清州、院の一室を借受けて、治療せむる計畫である。  
と、患者數、治療費、數を示し、極めて詳細に説明し、續いて、明倫堂費について、は、松尾内務部長より、社、思想の、漸く變動を來さんとする、今日此處の施設の要なるを、とき、就中傳達の事、及ば、既る必要なる所以を述べ、衛生については、他に、社界救済費中の購買、打ち切りを言ひ、歸いて、衛生費、常部及臨時部の第二議會に入る。▲金澤議員 車輛稅、及、手數料、つき、車輛稅は、比較的中産階級以上の、著多く、本道の自動車五千七百九十五輛、あり、之れ等、此處を、復、此の剩餘金を以て、以、檢査手數料、に充當しては如何、然らば、純民數、の衰となると、思ふ、復、話の意思はないか。  
此の時に四時三十分、議長休憩を宣す

を以て、増資、融資の意思はない。か又、忠實、農家、宿舎、及、講堂、前、築は、差支なく、出来得るや。その他二三質問あり、野世英警察部長より、公費は、國費、負擔に屬し、や、り、總不可、能につき、地方費より、公費一、の、新設費にして、客年本社の方針、より、急制度をとり、一人二千圓、問題が、國費に、涉り如何ともし難き、も、折角の御尋ねであるゆゑ、御答へ、し、ますと、述べ、寄、宿舎、講堂、新築、質問に、對し、森田學務部長より、答へ、は、生徒の、實費用にも、使用する目的も、あり、ますから、此の程度で、差支ない、と考へてゐると、續いて、洪知事、卒業、業、生、指導費、計、畫、方、針、を、簡、單に、説明し、詳細書面を御知らせすると、客、等、し、午後三時四十分、議長、退出に、對す、る、質問、打ち切りを言ひ、歸いて、衛生費、常部及臨時部の第二議會に入る。



# 車輛稅復活問題で

## 李議員開き直る

報 民 16. 2. 28

議長の氣轉で直ちに休憩

### 忠北道評議會 (四日目續報)

二十五日午後宮本政藏君の質問を終り

趙東煥君(陰城) 本道に於ける優良落敷を承けたい、

と勸業共濟組合、道立醫院、青年團、農林、河村地方課長、松澤内務部長の說明の後に、野世溪警察部長 道立醫院

の不親切は絶対にないとする

と道立醫院の組織を詳細説明し、價はこれ以上の低減は現状では不可能であると明答し、部長休憩を宣す、時に二時五十分、同五十五分再開

李春雄君(忠州) 公醫忠州農業學校等につき質問し野世溪、松澤内務部長、洪知事より説明あり

李明求君(清州) 衛生費から教育費に轉じ廢校になる師範學校の經費を以て女子高等普通學校を設置する意はないか

と詰め寄り、松澤内務部長、野世溪警察部長の説明があり

洪議長 教育費其他に對する質問はこの程度で打切ると宣し歳入經常部、臨時部を一括議題とする

盧性春君(報恩) 地稅附加稅、戶稅、叭檢査手数料、授業料、入學試驗手数料、河川使用料等の全廢、輕減論をまくし立て

松澤内務部長 現在の財政では不可能であると軽く一蹴し議長一時間延長を宣す(時に四時)

金禮煥君(領川) 更に負擔輕減問題で鋭く詰寄り

松澤内務部長 重ねてこれを一蹴すると

金禮煥君 車輛稅の復活が出来るなら改めて修正動議を提出する

議長 局面打開を請うべく休憩を宣す時に四時十二分、四時二十四分再開

松澤内務部長 叭檢査手数料の減免は來年度には考慮する

と折れ妥協成立し李貴魯君(忠州)、池載應君(槐)等と各參與の間に種々應答を重ねたが既に第讀會も山が見へ峠を越した感がある

李明求君(清州) 財産收入につき松澤内務部長、河村地方課長

との間に押問答あつて

原田武男君(丹陽) トラツク稅で河村課長、林野收入で竹島技師の答辯あり

議長時間の延長を宣す、原口君との質問を終り

洪議長 歳入關係第二讀會打ち切りを議場に問ひ一同これに登し第三讀會に入り

洪議長 諮問案第一號を、討論を省略して可否を採決したい

と諮り採決の結果満場一致百四十八票餘圓の來年度豫算を原案のまゝ可決し議長から明日の日程を報告五時十三分散會

# 一瀉千里で

## 議事進む

正に大風一過の感

忠北道評議會（五日目）

忠北道評議會（五日（廿六日））  
昨夜の大降雪と來年度豫算案が可決された後で大風一過の感があり午前十二時二十八分洪議長會を宣し、諮問案第一號より以下第十三號まで一括して上程、第一諮會に入り

原田武男君（丹陽） 不動

李春雄君（忠州） 地方稅賦課則改正

鄭錫溶君（沃川） 米穀大豆及以検査手数料徵收則改正

安東正君（清州） 不動產取得稅につき近隣稅務課長、河村地方課長との間にそれ／＼應答が

原田武男君 砂防事業起債で秘澤内務部長とわたり合ひ

李景魯君（永同） 地方費兒童獎學資金特別會計歳入出豫算に關し森田學務課長と質疑應答あり

盧性春君（恩） 第六號、一、二、三等道路橋梁改良費繼續費

設定の件で三十三萬餘圓を昭和二十七年年度迄に償還すとせば、それ迄はその他の道路橋梁の改良工事は出来ないのか

河村地方課長 二十七年年度迄の償還方法を金額を列示して説明し

盧君 更に道路橋梁は八條しく言ふ地方は手は着け難く、ある地方は放置するの不可解だ、と詰し、洪議長諮問外である、と案次すつて原口一二君（忠州）金

洪議長 質問がなければ第二諮會を打ち切り、諮問を省略し直ちに採決したい

と諮り全賛異議なく第一號から第十三號に亘る諮問案は全部採決された、時に十一時十五分、次いで提示案を提示し休憩を宣す、十一時四十八分再開直に

洪議長 地方費令に依る建議案を順次上程する、昨年の評議會を通過した森林組合廢止その他

の建議案全部を説明しますと云ひ、秘澤内務部長から説明があり四時休憩を宣す、時に十二時十分、斯くて午後一時三十分再開、原口一二君（忠州）提出の建議案を順次上程し提出者の提案理由説明があつて議事省略満場一致採決された

### 建議案

一、美湖川改修及砂防工事急務施方の件（提出者宮本政藏、外五名）  
二、農業倉庫若しくは同支庫を永同及會坪に建設せられたき件（提出者岡清太郎、外五名）  
三、永同農業學校設置に關する件（提出者宇都宮善市、外六名）  
四、天安、大邱線一等道路未改修沃川、永同間、黃洲秋風嶺間改修速進方要望の件（提出者宇都宮善市、外八名）  
五、國費砂防工事の擴張に關する件（提出者原口一二、外十五名）  
六、朝鮮鐵道株式會社の經營に係る忠北線を延長し堤川を経て江原道に至る樺本府並に朝鮮鐵道會社に至るの件（提出者原口武男、外六名）  
七、銀行支店を永同、會坪、堤川に設置の件（提出者岡清太郎、外七名）

李春雄君（忠州） 忠州金加間道路問題を提げて起ち本道路の重要性を説き、多年の口約を實現されたい牧溪里地方の輿論を代表して熱辯を振ひ道當局の考慮を促すところあり、某新聞は牧溪通過に決定したと報じて居るのを信じたといふトマメをさし

忠州、盈徳間道路促成方を説き以問題、郡農會に普通農事職員増員を要望し蠶種代補助かい轉じて昨年の穀商大會に道議を招待しなかつたことを難じ、忠州市區改正を要望しモルヒネ中毒患者治療に關し意見を述べ

趙東奐君（陰城） 產米改良販賣組合獎勵、農業倉庫、物品共同購入組合獎勵、面財政狀況、學校費、一般農村經濟問題を長々しく説いて、議長散會を宣す、時に四時十二分

黃海道

黃海道議會

教育費衛生費上提京

傍聽席は大入満員

6. 2. 28

# 黄海評議會

新

28

第五日 廿五日 午後の

(海州) 議長午前中に引續き開會する旨を宣し土木費一割を引ける事を満場一致異議なく可決日程變更し歳出經濟部第三款事業費第三款投資費歳出臨時部第三款勸業第三款投資費並に第八款助費中勸業費補助の第一割を可決に決し

▲申元卿君(平山) 穀物検査所、年度新設の計畫ありや若しありとすればその箇所を知り

▲農務課長 穀物検査所は海州はいひ難いが沙里院に一間所を設ける事となつてゐる申元卿君なほも秋山農務と申元卿あり

▲朱成鎮君(谷山) 谷山町に補助されありや

▲産業課長 五百圓を計上り次で朱成鎮君秋山農務、金鍾護君長と二三應答したる後

▲金鍾護君(延白) 黄海道中第一の水利組合を有する地あるが延白郡黄海水利組合地主津が大反對を稱へてゐる在の如き不況では實際地上の

不平は尤もだと思ふ當局は此の實際を見つゝあるにも拘らずなは水利組合設立を計られようとするか

▲農務課長 農事改良の立脚點を定めんとすれば必然的に水利組合を設立するの要を認めらるゝ事となるのは本道地勢の現状である本件に關しては後より詳細のお話をしたいと思ふ

▲金鍾護君 小地主達は現在水利組合に入れば實際的に地價の低落を恐れてゐるのみならず收穫の如きも思ひの外小額であるが當局の之れに對する考へは如何

▲農務課長 一時的の現象として地價の低落は止むを得ないなは收穫の如きも各水利組合に就き調査するに增收のみであつて別に悲觀の要なしと思ふ

▲金鍾護君 延白郡來城面に機械組合があるが之れに補助せられありや

▲産業課長 補助は計上せり(金鍾護君) 水利組合の地價低落の結果その地域の住民は土地を放棄して他地方に移住す

るといふが當局の方針如何  
▲農務課長 賣る者の反對に買ふ者があるといふ事を考へられた

▲池貫一君 賣る者は小資の窮民である買ふ者は資本家のみである窮民をしひたげる事は不都合である聞く處に依れば田地は登記料を添へて着上げても宜いとぞ叫んでゐるを農務課長は耳にせられた事はないか

▲農務課長 そういふ事は聞てゐない  
▲池貫一君 農事獎勵は單に米のみではない支那人などは野菜を作つて相當本國に送金してゐるが當局はこれに對する策は無いか

▲農務課長 御尤もの御説で之れは是非内地人鮮人において支那人に負けない様にやりたいとは思ふがたゞその人を得ないので困つてゐる

▲池貫一君 本道内野菜の年産額が承知したいなほ本道の木炭は高價であるこれは資本家に獨占

的に製炭せしめる爲めではないか當局の意のある處を知りたい

▲産業課長 根炭の製造を禁じた結果高價になつたのは事實であるが先般製造業者に對し之れが値下方を警告して置いたのが年末には幾分低落した筈である

▲池貫一君 個人の山林所有者の製炭に對しては當局は如何なる方針をとれるや

▲産業課長 枝炭製炭は自由に許して之れを指導してゐる

▲盧蒼顔君(倉津) 現在農村の狀態の疲弊の原因はどこにあるかこれ迄農村に對する當局の施設は多々あるといはれるが疲弊する様な施設は困る農村の實際を減を計る方法も多々あるから考究されたいなは農村調査委員會を設けては如何、海洋に對する調査されたものがあれば知り度い、産業團體を併合しては如何

▲内務部長 此の問題に對し調査をするとなれば相當の經費と準備を要するので未だそこ迄に至つてゐない、産業團體の併合はその事業の性質上不可能と思ふ

る、が之れに對し研究して見る考へである

▲産業課長 最近調査したる處に依れば石首魚等本道主要の水産物は漸次深海に移動せるものゝ如き狀態であるがなほ本府に依頼せし結果昨年度より西部海岸全部に亘り調査を開始してゐるのでこれに依り間もなく詳細が明かになる事と思ふ

▲盧蒼顔君 道當局は穀物検査所を輕視してはゐないか穀物検査所長を參與員として參列せしめられない理由を問ふ

▲内務部長 農務課長の權限は穀物検査所をも含んでゐるので技術上の事に關する答辯は又別な方法もあるので大體行政官のみを參與員としたのである

▲盧蒼顔君 參與員は技術者を出せとはいはぬが農務課長の答辯があまり拙かつたから質問したのである

▲洪淳翁君(殿前) 製炭費その他農事獎勵補助に關する質問に對し産業課長・農務課長之に答へ次で阿波弘司君(岡山) 豫算の内容に附き農務課長と一問一答あり

▲金基秀君(載寧) 勸業施設に對し六年度において改廢さるるものなきや農業倉庫は穀物の集散地に設置するか或はその産地に

設置するか、堆肥獎勵に就き當局に手落なきやなほ産獲技術員

の入選を嚴にするは産業開發上重要な問題であるがこれに對する方針如何、水産學校は本道において最も重要な施設であるが之れを昇格するの意志なきや又砂防工事費は全縣に四百數十萬圓を配布されてゐるが本道は割當を受けてゐない様だがその理由如何

▲農務課長 農業倉庫は産地に集散地たる處を選んでゐる、堆肥獎勵は手落なしと認む

▲内務部長 當局も充分之れを認めてゐる水産學校の昇格は學務の問題であるが今その必要を認めない、砂防工事は西江改修に對して全力を注いだ關係上それ迄に及ばなかつた事を遺憾とする

▲金基秀君 砂防工事費に對する御答辯は聊か當を得てゐない本道は僅の砂防工事と雖もそれに應じて割當額を本府に申請されては如何

▲内務部長 本道は土木河川改修を主とした爲め砂防工事を従としたのである

議長本日はこれで散會する明日の日程を報告せしむると告げ日程の報告を終り四時三十分散會す

# 建議案の

審議終了す

28 第四日再開後の

大 2. 慶北道評議會

正二時再議議長から建議案の審議に入るのであるから先に申し上げておきます、先程第一部第二部委員より御報告のあつた道評議員の道路視察は後刻立案致しますて御諮りした上決定致します述へ直に日程に入る

建議案 一、農事試験場交換設置をその筋に要望の件

建議者 日浦廣治、入山昇、外山七郎

上程を野田書記より朗讀する、ついで建議案の理由説明をなすべく

日浦君 (慶州)

本道は全鮮に於ける難道であるその理由とするところは面積の廣い事はもとよりであるが産業方面においては産米 産鹹が全鮮第一と云ふ事が最も大きな理由である

である而もこの全鮮に於ける農産物生産額は氣候風土に恵まれて人為的施設乏しきにかゝはらず保ちてゐるのである、本道に於ける農産物の實際を見ますと今一層合理化出来る可き多くの缺陷を有してゐるのである、この缺陷を除きし品種の統一を爲すに於て更に一層の進展を見る事は火を暗より明らである

之をなすには農事試験場を設けて化學的肥料調査によつて始めてその目的が達せらるゝのであるから農事試験場の設置を要望しその達成を期せんとするものである

入山君 (漆谷 本道に於ける蠶業は蠶種、桑苗、繭立枚數、蠶絲において全鮮に冠たるものがある、然し總督府の産蠶百縣百計報に照應して行くには現在

の施設では到底その目的を達成する事は出来ないと考えるのである水原に本府農事試験場があるから蠶業の研究を行つてゐるが中央に偏し南鮮の氣候風土に適する試験が出来ない状態にある故つて本道内に農事試験場の設置して蠶業の改善を圖るを起立して異議なく承認し議長決を宣し全議員起立して異議なく可決確定

議長 本建議案は豫冒を省略致したいと思ふが如何

議長 本建議案は豫冒を省略致したいと思ふが如何

出したのであるから湖邊の御覽を願ひたい

提案理由説明を終る

異議なく承認し議長決を宣し全議員起立して異議なく可決確定

## 米檢手數料券

の賣捌を公共團體に

建議案 米及び大豆檢査手数料賣捌入を其地に於ける製粉組及び地方發展を目的とする公共團體が担当を受けんと希望する時は指定制希望するときは之に指定して地方發展に寄與せしむるやうに計つてもらひたい

査手数料賣捌の賣捌は現在個人或は公共團體に行はしめてその賣捌を認めり異議なく可決

## 安東高並首は

## 實業學校へ

修正看板を塗替へる

建議案 安東高等普通通學校設立認可要請の件



權賢變君 (安東)本問題は十

年來の懸案であつて般民は十

一日の如く設立實現を熱望し二

十餘年の基金を集め再三當局に

陳述し本議場においても建設と

たるも未だ實現に至らないので

ある、聞くところによれば總督

府の高普中學に對する方針も變

り實業教育を多分に加味するや

う改正された云ふからこの決

却では實業學校なら認可しても

よいその當局の御意志と安東高

普設立とは離隔するものではな

いから此際速かに實現せしむる

やう要望する次第である、本間

問題は安東のみの問題でなく八ヶ

郡民の熱望するところであるか

ら當局の誠意措置を懇請して止

まぬのである

見出來ないのである、寧ろ時代

に順應して高普設立を實業學校

設立に變更して實現を期しては

如何、此點建議者に御相談する

次第である

と高普設立の建議案には賛成し難

いさ述べる

乙に對して

權賢變君 (安東)安東郡民

の代表として建議したものである

から今こゝで直に建議案を變更

する事は出来ないう立場であるか

ら之を諒として原案に賛成して

貰ひたい

文明瑤君 (盈徳)高普より實業校

校が必要であるさて伊藤君に賛成

し伊藤君修正案の採決を進る、武

尾君 (大町)修正意見に賛成であ

るとして建設院と教育院を長部一附

をやつて退ける

權賢變君 (安東)提案者の

自分が修正意見に賛成であると

伊藤君より云はれたが自分とし

てはさういふ事を云つた點では

ないと原案の通過を切望する

片岡君 (豊後)島採決を迫り

議長 實業學校設置と云ふ修

正案に御賛成の方は起立を願ひ

ます

議長

起立多数にて修正案に決定

更に本修正案を建議

案として採決しますとて起立に

向ひ實業學校設置要望に可決確

定する

これを本道十年來の懸案であつた

安東高普問題も急轉して實業學校

設置に變更の止むなきに至つたこ

の時三時二十分伊藤君の散會動議

成立し三時二十五分散會した

# 慶北道評議會

(第五日)

文明琦君

下建議案の除外を難じ

委員長不信任と脱線

大 2. 28

慶北道評議會第五日は市内視察の爲め定刻より一時間十五分を遅れて二時十五分開會議長之れから開會を宣し

議長

日程により本日は議員諸君の御希望御意見を承る事となつてゐます諸君としてはなるべく多くの人から承り度いと思ふのでありますから一人一人二十分間内に御済みを願います

通譯は録語で述べる人にのみつけますから左様御承知を願ひます

文明琦君 昨日の建議案について一言述べたい、昨日の建議案は審査委員によつて審査されて三件だけを採擇となつたのである

私の建議案たる安東亞德間鐵道建設の件は、たのである

て本人に諒解を求めなかつたのは甚だ不公平である、殊に私の建議案は産業開發上は勿論窮民救済の上に緊急を要するものである、而も審査委員で斯かる不公平な措置である

なるべく多くの人から承り度いと思ふのでありますから一人一人二十分間内に御済みを願います

と大いに憤慨して委員長不信任ま  
でに發展する

### 議長

既に全會一致で決議し

た事であるから委員長不信任と  
云ふ事は少し慎まれた方がよい  
と思ふ文君の御趣旨のあるところ  
はよく分つてゐるから建議案  
として出すとも議長において充  
分にその筋に傳へる事にします

文明瑋君之を諒し日程に入る

### 入山君

(漆谷)米穀検査手帳

料は米價が三分の一に下落して

あるにもかゝらず依然五錢で

あるから之を引下げて貰ひたい

備荒貯蓄組合桑葉組合の補助を

將來増額して頂きたい、金融組

合の所屬區域は現在所によつて

は他郡の金組に屬してゐるとこ

ろがあるから可成同郡内組合の  
地域に包含して貰ひたい、初等  
學校の授業料は負擔困難な者が  
多いから賦課金を増額して授業  
料引下げを斷行して貰ひたい、  
初等學校實習費として五十圓の

補助をしてゐるが之を増額して  
一層内容の充實を圖つて貰ひた  
い普通學校の新設寄附を引下げ  
て貰ひたい其他後小學校女教  
員配置及び道路治水等について  
希望を述べ

慶尚北道 日28

# 慶北道議會

京2. 6

六百萬圓の大豫算

僅か二十分で可決

慶北道議會第五日は二十六日午後二十分開會出席三十三名、缺席三名議長開會を宣し直ちに日程に入り

▲伊藤君(大郎)第一部の委員長として委員會の経過報告をなすべく發言を求め洗練された明快な句調で委員會において慎重審議の結果附屬された豫算案は最も適切と認め一厘の削減もなく全員一致原案通り承認せる旨を報告し尙ほ同委員會において評議員の道内視察要望の件を全會一致可決せるを以てこの機會に於て是非實現されたいと附加ふ

▲金在煥君(大郎)第二部の委員長として同委員會の経過を報告すべく發言を求めこれが豫算案の審議に當りましては委員各位の熱誠なる質問に對し當局の懇切なる答辯と相俟つて慎重審議の結果總て原案通り全會一致承認せる旨を明快な句調で報告しなほ第二部委員會においても評議員の道内視察に付き全會一般の要望があつた是非斷行せられたいものであると附加へ

▲杉原君(大郎)本豫算案は委員會各部において逐條的に慎重審議したるものなれば第二部會はこれを省略せられたいと勸議を提出したるに(賛成の聲起る)

▲議長 右の勸議に異議ありませんか……異議なしと認める方は起立を願ひます……全員起立ここに六百萬圓近き未曾有の慶北道の昭和六年度大豫算も目出度滿場一致原案可決確定を見、議長和やかな顔に喜色を漂はせつゝ休憩を宣す時に午後一時四十分この間僅か二十分全く文字通り一瀟千里の審議振りであつたかくて休憩中徐丙朝氏の提案により着席のまゝ懇談會に入り各議員提出の建議案の審査採用委員を推薦することとな

り合議の結果、入山、日浦、武尾、伊藤、徐の六氏委員となり別室において審議の結果建議案十通の中左記の三件を採用議題に供することとなつて午後二時本會議に移る

## 建議案

一、慶北道に農事試験場支場設置要望の件

日浦議員外その他提案

二、米穀及大豆検査手数料券賣捌入をその土地における穀物組合又は公共團體に指定要望の件

三、安東高等普通學校設置要望の件

權議員その他提案

▲議長 建議案全部を議題に供し各提案者に説明を求む

▲日浦君(慶州)建議案第一號の提案者として

本道の面積、人口、氣候、産米額等何れより見るも半島の優越にして面積、産米額共に全鮮の八分の一に相當しこの自然的優位を將來においても確保する意味からも本道に農事試験場を設置する必要があることを力説して提案の理由を詳細に述べた

▲議長 本建議は議會を省略して直ちに採決したいが異議ありませんか……(異議なし)の聲起る

▲議長 然らば異議なしと認め起立を願ひます

全議員起立、滿場一致採決確定

▲入山君(漆谷)建議案第二號の提案者として提案理由説明のため發言を求め本道における米豆検査手数料は六年度豫算八萬九千四百圓にしてこれが賣捌手数料は(自分の八)七千五百五十二圓である地方における穀物商は組合を設立し穀物の改良施設のために多額の組合費を徴し當局獎勵の方針に順應しつつあるを以てこれら組合をなすにむす

す積極的の施設をなさしむるために財源を提供し助長せられたいなほ全鮮に冠たる本道の發達をます盛んならしめんが

めに實業學校設置を要望したい  
▲議長 本案も議會を省略して採  
決したい異議ありませんか  
(異議なし) 全員起立原案  
可決確定

▲榑實榮君(安東) 建議案第三號  
の提案者として提案理由を説明  
すべく發言を求め安東高等設置  
問答は大正十二年から現今に至  
る十年間道民の熱烈な要望があ  
りその當時形成曾の手で募集し  
た寄附金が現金十二萬圓と約東  
手形八萬圓計廿萬圓の基本金と  
外に相當な校舎も一棟あるから  
賢明な當局は地方民の熱望に鑑  
みて一日も早く設置せられたい  
仄聞する所によれば本府におか  
せられては高等普通學校の學制  
を改正して實業の學科を多數挿  
入すべく考慮せらるゝと果して  
然らば我等の理想に叶つた高等  
普通學校なるが故に一日も早く  
設置認可を得られたい

▲伊藤君(大田) 提案者に相談する  
と前提しこの問題は我々が昨年  
滿場一致可決したが時代は變々  
として進み昨是必ずしも今是だ  
とは云へない高等卒業生で職に  
あり附かず遊んでゐる現狀では  
寧ろ實現可能性ある實業學校設  
置修正に改案せられては如何  
▲權君(安東) 私の立場として今  
直ちに修正案に賛成の意見を陳  
ぶることは差控へたい私の苦し  
い立場を諒とせられ言外を酌ん  
で貰ひたい多數の意見が修正賛  
成であれば致方ない

▲武尾君(大田) 本員は修正案に  
賛成する一人であつて實業學校  
設置要望に改案すれば結構であ

る、實業學校の設置は最も時代  
に適し修正案の提案者たる伊藤  
議員に滿腔の敬意を表す

▲權君(安東) 私が修正案に賛成  
したといはれては甚だ迷惑であ  
るが本府の方針であれば致方あ  
るまいと自己の立場を陳べ結局  
議長採決の結果實業學校とする  
修正案が十九票の多數で通過  
▲伊藤君(大田) 建議案もこれで  
全部可決確定したから今日はこ  
れで散會したいと動議を提出し  
多數の賛成がつて議長散會を宣  
す時に三時廿分(大田)

## 議長にしがられ

文君氣まり悪がる

議員の意見開陳に入る

慶北道評議會（第六日）

報 民 16. 2. 28

慶北道評議會第六日（二十七日）は開會前に議員一同府内の各所を視察し開會は意外に遅れて二時十分議長開會を宣す、出席議員三十三名

議長 今日（日）は日程により各議員の御意見希望を拜聴するが出来るだけ洩れなく伺ひ度いと思ふから一人の意見開陳時間は二十

五分以内にして頂き度いと、先づ注意する眞先に文明瑤君（盈徳）發言を求め

文明瑤君 昨日の建議案を審査委員會で制限選擇をしたのは不公平である、もしこの評議會で採擇されないならば何處まで

でも持つてゆくつもりであるがいま一度建議案を審査して頂きたいと景色ばむが議長 議長不信任の言葉は慎し

またたい、貴君の御意見はよく承知してゐる

と軽くたしなめ文明瑤君珍らしく懸つて席につく

議長 では一番議員から席次順に二十分間以内に意見をのべられ度い

二番の入山君（漆谷）から發言する

入山君 備荒貯蓄組合の奨勵に今後一層努力され度い、農村の窮狀に鑑み初等學校の授業料を低下され度い、普通學校の新設に要する地元寄附四千五百圓の低下を希望する

其他普通學校實習指導者には實業學校卒業生を充てよ、其他漆谷郡内の道路開闢等約十件について盛り澤山の希望を述べる、ついで

武尾禎藏君 大邸に普通學校を二校増設して頂き度い、大邸高等女學校を道地方費に移管さ

れ度い

次に日浦廣治君繼稱税其他營業税附加税を地方費に入れて呉れと希望し、文明瑤君義務教育の實施促進や盈徳の道路改修希望を長講一席試みる（午後三時半）



# 郷校財産を

## 學校費に充當する等

各議員から希望百出

### 六日目の慶北道評議會

廿七日、慶北道評議會については一

李基承君(星州) 郷校財産を

もつて就學出來ない貧困兒童の  
就學資金に充てられ度、女子  
教育を朝鮮家庭向きに改善して  
頂き度い

吉野尙太郎君(尙州) 尙州

報恩間及化寧永同間の道路を三  
等道路に編入し咸昌、米院間道  
路開通促進、棉作獎勵技術員  
の配置を望む

機設費(安東) 安東に田舎を  
設置、青年の遊樂、永興川の橋梁

改築を希望し、この時議長十分間  
の休憩を宣す(三時四十分再開)

李鍾玉君(清道) 清道、昌寧

間及清道の山間道路を三等道路  
に編入、養蠶、棉作の補助金を  
増額すること、儒道振興會を解  
散し郷校財産を學校費に充當す  
ること尙適宜に而の廢合を斷行  
して頂き度い

張斗雲君(榮州) 榮州體泉間

道路の改修甘川橋、榮橋の架設  
榮州機業組合に地方費の補助、  
蠶種の値下げ而書記増員を希望  
する

朴芝永君(達城) 自動車税を

増額し農家日需の牛馬車税を全  
廢され度い、中等學校の授業料  
低下、嶺南時報を廢止し獎學資  
金に充當すること、八公山の砂  
防工事實施を希望する

吳國泳君(義城) 義城に米穀

検査支所設置、農林學校、畜産科  
を施設、實業補習學校施設等四十  
五分間に亘つて盛り澤山な希望を  
述べ議長から二回も注意を受け議

場は全くダレ切る尙崔潤君(慶州)

慶州に工業學校設置、安康杞溪青  
松間道路を三等道路に編入等を希  
望し李勝鉉君(體泉)は産業組合増

設並地代費補助増額、道令で特産  
物の検査令を定め品價の向上を圖  
ること其他を希望する、この時議  
長閉會を宣す(午後五時)

# 全北評議會新

28

第四日目——朝五時26分

(全州) 午前十時三十分開會  
(教育費測候所費衛生費)

▲李康元君(全州) 全州高等普通學校に寄宿舎の設備女子普通學校の擴張湖英學校を商業學校に昇格普通學校の増設普通學校授業料を全廢若しくは半減せよ

▲山田學務 全州高等普通學校の寄宿設備は同感なるも六年度は止むを得ない女子普通學校の擴張湖英學校の昇格今の處止むを得ない普通學校の擴張授業料の削減何れも同感差當り入件費の節約をなす

と誠意を表して答辯終るや議員十數名同時に起立發言を求む議長機部議員を指名

▲磯部謙森君(群山) 囑託賣手

當の説明教育費の補助費の説明  
群山中學校授業料の低減を要望  
▲原田地方 概括の説明をなし授業料低減に就ては先中である  
▲康泳部君(沃溝) 群山中學校に鮮入學生を三分一とせよ商業學校設立の要望

を起案閣議的で奮々と述べ

▲黄仁杓君(長水) 普通學校の授業料半減から普通學校補助機關として夜學校學術講習會等の施設を要望山田視學意見同感相當研究の意を示す

▲山本悅藏君(全州) 全州に中學校設立に就いて當局の計畫如何

と全州の地位地形上より堂々と聯絡を振るつて當局の意向を促す  
▲松下内務 中學校を全州に設置の件御同感御希望拜聴此後努力する旨答ふ

午後零時三十分晝食午後一時三十分開會

▲柳直養君(全州) 家庭と學校との連絡の必要を實例を擧げて突込む

▲山田學務 家庭と學校の連絡は最も必要ならん拜聴研究しますと受け流す

▲金淵一君(南原) 南原縣立學校を甲種學校になほ明年度豫算に地方費の配當官立師範學校の設

置を要望普通学校の授業料、修費、節減は、鮮人校長の配置なほ、鮮人の中學校入學率三分の一を要望す。

と論ずる處や、民族的に傾けば、山本議員より議長に言論の警告を建議し、金英武議員の辯明で笑ひ流し

▲片桐和三(益山) 裡里農林學校の昇格を要望す

と農業本位の朝鮮政策論より堂々と論じなほ、面の廣合により學校の合理化を叫び、次で經濟的より全州と群山の中間で地理的最も重要な裡里に道立醫院の設立を要望す

次いで松下内務は以上議員の要望に對し、項を分けて説明する處は、經費の問題で出来るだけ御希望に添が如く努力しますと誠意を表して答辯す

▲尹和重(益山) 普通學校に警察機關の設置及び學年延長を要望す

▲山田學務 現在も相當に警察機關は設置しある經費の許す範圍に御希望に應ず、學年延長と逐次實施したい考へであります

▲趙在教(金堤) 普通學校に高等科を置く、嶺父内地人女教員は鮮語のわかる教員の配置を望み、モルヒネ中毒患者に對する當局の方針を明を求む

山田學務清水衛生之れに應答

▲光富嘉人君(群山) 群山中學校が生れた當時からの事情を説明して一般議員の誤解をとき、次で學校職員の見解は、兒童教育の關係上相當の考慮を要求、又、觀候所を郡山に移轉する事に就き地

形上理を有する點から堂々と論述す

山田學務光富議員の御意見拜聴と受け

▲松下内務 觀候所移轉が地形上有利は考へるも、經費その他の關係で直ちに移轉は困難の問題であると受け流す

▲朴碩奎君(井邑) 井邑農學校の昇格を要望す

▲松下内務 財政の關係上、當分不可である次で

▲柳鎮雄君(茂朱) 麻藥中毒患者の徹底取締りを要望

清水衛生取締施設方針を懇切に説明

▲崔鎮烈君(任實) 全州高等普通學校に囑託の増加、道立醫院の利用を多くするため、藥代の値下を望みなほ、觀候所の天氣豫報の當らないは、技術者の惡い爲めではないかと突込む

山田學務清水衛生調養務説明、餘蘊すなほ、觀候所の天氣豫報の當らない事のある理由を、とく午後六時十分閉會

### 雜感

山田學務の初辭職

議員の質問に精味たつぷりで學校の施設等に就ては、議員各位の後援を願ふといふ要領で議員を煙に巻く處上々、▲へき頭から議員連しきりに發言を急ぐ處、探つて見ると、第三日が時間の關係で、徹夜した處から折角の御土産が出来ない爲めだと▲初日から幹旋役で立廻り發言を控へてをつた片桐君裡里のため學校及醫院問題で熱辯を振つた

種製造機關は恰も睡眠状態にあり遅々として業績が進展いたし

ません要するに職人に器具を與へずして仕事をさせると同様であります施設に要する經費の如きも多額を要するものではありません地方費中よりの捻出は敢て困難とは思はれませんが、當

局は將來充分これに留意して適當の施設あらんことを切に望みます又寧ろ公立農業學校は養蠶を第一の目的として設立されたものであるに拘らず、同校出身者の實績を見るに學識技能極めて低級で實際に即して殆ど役に

立ちませんこれは要するに教育の任に當る教員の適材を得ない結果と信じますから當局は今後人材の選擇に特に注意を拂ひ、優良な人物を採用して初期の目的に副ふ様努められたいのであります

▲石川知事 原蠶種製造所の施設を學閑に附してゐるとの御意見であります、當局は決して學閑

に附してゐるのではありません  
相當の注意を拂ひ必要に順應し  
て適當の施設を考慮し着々實現  
せしめてゐるのであります又  
邊農業學校に對する御意見は當  
局も同感でありますから今後大  
に改善に努めます

▲和氣義矩氏（慈城） 中江鎮へ道  
立醫院を設置されんことを前年  
も要望して當局の考慮を求めま  
したが未だ實現のはこびに至ら  
ず遺憾に存じてゐます由來  
中江鎮居民程恵まれなないみじ  
めな者はありません療養機關の  
施設がないので危篤患者があつ  
てもたゞその死を望視するより  
外ない状態であり従つて在住者  
は永住の念が薄弱となる様な傾  
向があるのでありますゆゑに經  
費の都合では江界醫院の分院若  
くはその診療所でもよいのであ  
るから是非實現せしめられん  
ことを切望いたします

民衆の土木事業中にも本路  
に計上されてゐないが却つて急  
を要しない路線が計上されてゐ  
るなどは甚だ遺憾であります  
在江界中江鎮間は遠く浦清鎮を  
迂回する状態です不利此上な  
いのであります又車輛中自動  
車税は營業用車に賦課するのは  
當然であるが自家用車への賦課  
は不當であると思ひますから當  
局の考慮を求めますなほ職業獎  
勵は至極結構でありますがこれ  
に伴ふ養育施設の普及は最も必  
要であるに拘らず鐵道沿線地方  
は別とし奥地方は養育が極めて  
少いのであります従つて遠く山  
間に入り自然養育を採取するので  
時恰も農繁期に拘らず多大の勞  
力と時間とを要する有様です而  
して鐵道の配布状態を見るに殆  
ど強制的に押つけるので不要者  
はこれを止むを得ず返戻するが  
それでも後日料金は徴收され  
此等迷惑を感じてゐます元來  
適當に配布するのが穩當である  
と思ひます將來當局の考慮を望  
む次第です

▲朴鳳梧氏（楚山） 雲山楚山間の  
道路はすでに平壤土木出張所員  
が來て測量したらしいが本路線  
は本年から工事を施行するもの  
であるか否此機會において土木  
課長に伺ひます

▲齋藤土木課長 雲楚線は本府に  
おいて財政緊縮のため當初の豫  
定通りにはならないそうですが  
若干の經費を支出して本年より  
工事に着手されるそうです  
此時議長休憩を宣す午後零時三十  
五分

午後一時四十分再會二續會  
▲鄭潤玉氏（鐵山） 時代の大勢を  
見るに現今は農業本位の時代は  
去り商工業發達の時代となつて  
ゐるが本豫算案を見るに商工業  
方面は閑却されてゐる感があり  
何等施設の見るべきものがない  
のは頗る遺憾に堪へないのであ  
ります故に商工業振興の目的で  
道内に工業學校設置して人材養  
成に努められんことを希望する  
ものであります

▲鄭翼植氏（龍川） 土木改修獎勵  
費の如きは時代に順應して削除  
していただきたいのであります  
即ち従事職員に對し國境である  
からとて特に手當を與へてゐる  
が過去においては適當の措置で  
あつたであらうが交通や警備機  
關が今日の様子完備した時にお  
いてはその必要を認めない又地  
方民は道政工事に際し賦役に従  
事する義務は充分理解してをり  
ます而して勸業費において畜産  
獎勵は單に牛にのみ限られてゐ  
る様ですが養豚にも將來大に考  
慮してもらひたい最近他道移出  
が相當多數に上つてゐます又野  
菜の栽培獎勵にも特に注意を拂  
はれたいのです現在の状態を見  
るに常地方否殆ど金鮮に亘り本  
業は支那人に獨占されてゐる觀  
があるのでありますなほ車輛稅  
中自轉車稅は廢止の必要があら  
うと思ひます往年文化の普及し  
なかつた時代は別であるが現今  
においては殆ど各家庭的に必要  
な實用的機關となつてゐますそ  
の廢止の結果に依る財源として  
は自家用自動車に重稅を課しそ  
の一部に充てられんことを切望

します要するに自家用自動車を使用する者は有産階級者であるから擔税は易々たるものであらうと信じます(以下略)

▲佐伯内務部長 土木獎勵費の削減は遺憾ながら困難であります何となれば國境勤務の従事員は未だ完全に治安上の不安が除去された譯でなく且賦役の義務感念も徹底したとは未だ認められませんが殊にこれは勅令に依つて定められたものの大部分の經費は國庫よりの補助でありますから道の財政上には大した影響はありません

▲白石警察部長 昨日來再三義州道立醫院の廢止若しくは移轉の希望が出ておりますが本府の方針としては道立醫院の新設は當分實施しないことになつてをります従つて義州の醫院を廢止する意思はありません殊に同醫院は大體において現在收支相償ふ状態にあるのであります依つて

他へ移轉も勿論たゞ今の處では不可能であります

▲妻私廣氏(義州) 聞く處に依れば新義州公立小學校教員中より左傾思想を有する不穩者を出したといふことであり且頭職に際しても頗る寛大な處置をとり依頼免職としたらしいが苟くも國民教育の基礎を爲す初等學校教員から斯くの如き人物を出したことは甚だ遺憾に堪へません之に對する當局の責任は果してどんなものでありませうか又歳出入豫算案全體の上より見るに經濟界不況の深刻な現今の豫算としては主に前年度豫算を踏襲したに過ぎないもので即ち現内閣の緊縮方針にも反するものであると思ひます

此の時張植氏(龍川)の動議に依り意見陳述を打切るに決定し議長散會を宣す時に午後五時五分

## 全羅北道

## 全北道議會

## 人力車税の撤廢

## 光富議員の追撃急

8月2日

全北道議第五日廿六日は午前十時半開會、歳入全部の一、二議員歳出入全部にわたる三讀會の日程に入る

柳直蒼君(全州)人力車、自轉車税の減税より牛馬車税、荷車の減税が必要である人力車の帳場は言はゞ資本家が經營してをり挽子は其處に雇はれた細民で其の減税は何等細民救済の意味に合致せぬ、評議會で修正し得るものなら是非修正して欲しい。荷牛馬車税の六月はトラツクに壓迫されて居る今日高過ぎると突込めば

信原財務部長 道路損傷受益といふ意味も加味した牛馬車税をかけてゐるものであつて、他道の釣合も考慮して六圓といふことになつてゐるが將來充分な考慮を拂ひたい向人力車税の全免は挽子に對し從來税關係で負擔させてゐる向もあり之れが全廢は間接挽子の負擔を軽減する事と答辯するや

金植鐸君(鎮安)最近戸税が高いといふので田舎から都合轉住者を續出しさうめだに農村財政の打撃尠くない  
と今度は資産家擁護説持上り  
信原財務部長 今直ちに實施することは財政に重大なる關係があり餘程考慮すべき問題で目下これが輕減に就いては慎重研究中

であるを軽く答辯したが、橋本君の河川使用に關する希望意見ありたる後、金英武君又戸税輕減に就き追窮し、人力車税全廢問題蒸し返し

光富嘉八君 これは延いて府面の財政に關するのでは前提し人力車の挽子は帳場に歩合でもつて働いてゐるのであつてこれが全廢されたとして決して歩合をヨクして呉れる筈はない、若し又これがため帳場に歩合をヨクして呉れと要求しても、それなら止めて呉れといふ迄で失業者の多い今日これが補充はどうでも出来る、決してこの免稅は細民を救済するといふ事にならぬヨク御考慮が願ひたい

信原財務部長 府面財政に關するとのことであるが、この道内總額で四百圓であり府面財政に影響する標額は少ない、他道に於いて次第に全廢になりつゝある傾向である、と苦しい答辯をすれば光富君容赦なく

光富君 私はそれは不合理な考へ方であると思ふ、前にも帳場挽子の關係を述べた如く決してこれは細民救済に影響せぬものであり却つて搾取資本家を擁護する標額なのである

と追撃す時に午後零時二十分議長會を宣す。午後一時半再開  
金植鐸君 (金堤) 地賦課率の

出來たら實現される援養料の等級化する意志がない

▲奥村學務課長 私立學校の補助他道に比して決して少くない昨年五校閉鎖したので現在四十二校なれば相當なる割當がある筈である

▲池田一君(海州) 納税の義務は一般民衆はよく承知してゐるが地方の官吏があまりに官吏風を吹かせて壓迫するとの非難の聲あり如何

▲小池財務部長 左様のことはな

▲池田一君(海州) 道立病院の藥價が五十錢以上廿圓以下はあまりに上下の別がひどい今少し小さく區別しては如何、醫者の往診料が高い

▲坂田衛生課長 醫者の往診料は定まつてゐるからさげるわけに行かぬ、藥價も可成やすくしてゐる

▲金基秀君(海州) 本道において職業學校設置の意思ではなきか目下各地の飲食店には仲居の名のもとに立派な女がある歌ひ踊る、このまゝでは花柳病の名産地になる當局は如何に思ふ



# 平安北道

## 平北道議會

日 28  
京 2. 6

左傾女教員問題で  
議場遽かに色めく

平安北道々々議會第六日は廿六日午前十時四十分開會諮問案第一號昭和六年度豫算案全部を上程第二讀會の審議に入る

▲池田信氏（義州）養蠶の根柢は原蠶種製造にある優良なる蠶種を製造するには完全なる設備と施設を要す故に本所の蠶室の改良と職員増加と生徒の蠶育に考慮されて充分なる設備を望む本道において寧邊農學校においては養蠶に重きを置き義州農學校においては普通農業を主として教育されてゐるのであるが、寧邊農學校における養蠶教育は

餘り幼稚である、教師の選擇と有資格の講師を聘して充分實習に力を入れられたい本道に専門の蠶業技術者がなにか明年度からは是非置いてこれが指導に盡されたい乾園場設置について充分考慮されたい稚蠶共同飼育所補助が餘り少ないと思ふが考慮されんことを望む

▲議長 當局は原蠶種製造所に對して頗る冷淡で如何にも蠶子場にしてゐる様な趣に聞かれたが當局は決して、等閑に附してゐるのでもなければ蠶子扱ひにしてゐる譯でもないさればこそ本年度豫算にもこれが改築費

計上したのである寧邊農學校教育方法の改善その他については何れも同感である

▲白鐘成氏（泰川）各普通學校の高等科を農業實習の補習科に改めて貰ひたい泰川鎮美間における架橋を乞ふ

▲和氣義矩氏（慈城）中江鎮に道立醫院を設置されたい

▲劉基貞氏（江界）江界より長津に通ずる道路は經濟上大なる關係を有するにつき早く開通を望む從西面より東西面に通ずる三等道路の改修を望む車輛税中自家用自動車の課税を免ぜられたい與地々方の桑園改良獎勵を望む與地は桑園少なきを以つて蠶種配布に考慮を煩はしたい施設費の増額計上を望む

▲議長 御意見承つて置く

▲劉昌漢氏（慈城）貧困にして授業料納入出來ず退校するもの多きにつき授業料の低減を望む普通學校に實業補習科を設けて中等學校入學難を緩和すると共に農事技術の向上を計り産業合理化の順應を計られたい

▲朴哲鳳氏（楚山）鴨綠江岸にある新渡馬は楚山の關門であるが毎年出水毎に浸水されてゐるがこれが堤防を地方費で築かれた

楚山邑内より遼寧同等外道路を三等道路に編入改修されたい楚山郡古場間から渭原郡利昌に通ずる等外道路は交通土木材運搬上最も必要な路線と思はれるから次の豫算には三等道路編入改修方針上を望む雲楚線は何時から着手するか

▲鄭潤玉氏（鐵山）本道に工業學校を設置されたいとて世界の大勢から説きはじめ農業より工業に轉換する時代にあると工業學校設置の緊切なるとに結ぶ同盟休校に對し生徒の血氣こよ

計上したのである寧邊農學校教育方法の改善その他については何れも同感である

る缺點もあるが職員の缺陷も幾分あると思ふ考慮を乞ふ女子高等普通學校の設置を望む公醫の監督を乞ふ小作人地主間の緩和策の實を擧げるため農會の擴充を望む小作法の施行せられる、まづ何等かこれに代る方法はないか米價對策の徹底を願ふ

▲佐伯内務部長 農桑より商工業に轉換せよといふ意見は大體において同感であるが本道にはその商工業を勃興せしめる基礎が見出せない即ちその資源が薄いのであるしかし現在において農桑にのみ猛進してゐるのではない金鑛、林業、水産方面にも可成り助長的政策をとつてゐるからこれ等の發展によつて漸次さういふ氣運に向つて來ると思ふ同盟休校等に對しては本道に於ては頗る寛大な處置をとりその子弟をして父兄および地方の有識者に委する方針をとつてゐる、なほ小作問題について參與に閑職であるから小作指導に當らせるといふことは穩當でない

▲崔鳳蔭氏(朔州) 九寧浦道路を市一米を廣められたいと共に橋を架けられたい懸種を一枚一回以下に低下されたい

▲張顯植氏(龍川) 土木改修獎勵費の削除を望む即ち道路の改修は賦役によることは既に一般に普及されてゐる苦である次で治安が維持されて平穩になつてゐる國境における勤務者の國境手当を削除されたいそしてそれを副業獎勵即ち本道特産である芳草によるアンペラ製造隊獎勵野榮栽培獎勵に向けられたい漁民の救済保險をされたい社會救済費において三割以上支那人労働者を使用せぬと労働者の短を勵行すると支那労働者との能力差額の補助水産業の獎勵補助義州立醫院を中江鎮に移されたい龍岩浦南市間の道路新義州多獅島間道路同路線上の三橋川橋梁を早く架設改修をして本道横道にされたい農業倉庫を新義州宣川定州に増設されたい自動車税を廢されたいそれを專用自動車税に増税されたい

▲佐伯内務部長 賦役の提供はただ全般に普及してゐるとは認められないので削除は出來ぬ國境手當についてはまだ治安が定つ

ゐるとは當局は認めて居らぬなほこれは勅令で定つてゐるもので昭和五年度からは從來の半額になつてゐるその八割は國庫から出るもので地方費ではさしたる困難でないそれで双方とも豫算が削除されぬ以上はアンペラ製造隊、野榮栽培の三獎勵計畫も立てられぬことになる漁民救済保險について國家的見地もあり早急には計畫出來兼ねる支那人労働者問題についてはこゝで答を棄置せたい

▲白石警察部長 道立醫院について總督府に於て全縣的に病院の新築は當分の開行はれぬ方針になつてゐるから義州道立醫院中江鎮移轉も又は中江鎮に新築も現在の所承認は困難であると思ふから當分現在のまゝでゆきたいとおもつてゐる

▲議長 本日の二讀會を打切り明日續行することに諮つた結果議員中明日午前中には終らないから更に二時間延ばされたいとの意見多數につき二時間延長

▲横江重助氏(新義州) 土木工事請負に下請負をつけぬこと預金利子收入の修正、植桑費補助の修正、寧邊農業組合の内容充實國庫補助中の勸業補助費増加要望等について述べ番外よりそれ／＼説明あり

▲柳世鐸氏(博川) 社會事業中の巡回講演による活動員眞等に要する費用は他の有益なる方に廻されたい

▲練植氏(龜城) 一面一校計畫による新設校に道地方費より補助を乞ふ朝鮮人校長の増員を望む學校より二里以上離れた書堂を四年程度の教育設備になし普通

學校の分校にされたい、地方費で面吏員養成所を設けられたい

▲佐伯内務部長 本道における朝鮮人校長は現在四人他廿六名の事務取扱があるがその廿六名は資格を有してをらないが手腕人格が優秀であるので事務取扱にしてあるのであるが校長にはどうしてもその資格がなければならぬことになつてゐる

▲姜利成(義州) 賦役の撤廢を望む米計畫の中止を望む、新義州公立商業學校の學級増加を望む學校教員に對する當局の充分なる監督を望むとしてこの理由に先般左傾思想に傾いて退職した新義州公立小學校女教師を擧げる、歳出を節し歳入における諸税を減して緊縮方針に順應されたい

▲佐伯内務部長 學校教員問題について新義州小學校の女教員を擧げられたについてこれは父兄の諮問會に附して處置すべき問題であつて議案に關係なきを以つてこゝで答へすべきものでないが一寸話して置く、當局においてはこの女教員の新聞記事によつて直ちに調査を行つた結果右女教員が新義州在職中は作等不都合がなかつた、なほこゝういふ問題に新聞記事の例を引いて質問されたその眞意が察せにあるか甚だその諒解に苦しむが、新聞記事とか噂とかはこゝういふ嚴格な議場における審議にはとらぬ

この時議長は俄然怒然を極め議員更に發言を求めたが張顯植氏(龍川)の質問打切りの動議出て議長散會を宣す、時に午後五時五分

# 咸南評議會

第四日目 二月五日 新28

(咸興) 咸南評議會第四日は二十五日午前十時二十分開會本日も元山伊藤隆式氏、咸南評議長より「昨日參與員の答辯は通譯を省くことに相談しましたがなほ議員にして國語で質問された場合も同様通譯を省くこととしては如何と計り兩場畢竟なく審議に入る

▲崔相玉君(咸興) 成るべく同じところに長く止らず一般にわたりたい、いは謂ふ兩地地に終らない様に議事の進行を乞ふ

▲議長 御最々御意見です本日の日程は昨日に引きつづき勸業資をざつとすませて先に進む様取り計らひませう

▲崔鍾律君(新興) これ迄に目に見ない火田民整理費を計上されたことは誠に感謝に堪えませんがその額六百圓では單に形式に止まるだけの感がある何地の火田民に就いて如何様に整理されるのか承りたし

▲内務部長 朝鮮における火田民

については昭和三年以來相當力を入れてゐるのみならず數回にわたつて色々の調査もし委員會迄も出來てゐるのであるがこの根本的整理は難事中的難事である従つて大體の計畫だけで具體的の細案は……何分にも五十萬の火田民を完全に移住するに先づその移住地の問題であるで今回の豫算は二人の技術員費として僅の人員費を計上したに過ぎないのである一體これは一月の二十二日頃にとまつた話でその間日時も短く具體案が定つてゐないのであります従つてその場所方法等も決定してゐません何れにしても試験的に行ふもので何れ明年度以降も本府の意嚮に従つてそれ〴〵着手することになるのであります

▲張河根君(安邊) 吾が安邊郡には水利組合は二箇あつて一つは未完成的なるが一はすでに完成

この安南水利組合の成績は各方面より見るに中興以下においては收支つぐなはざる有様にあるか水組の有利なる理由の説明ありたし次に以はその稱號を制限せず任意のものと自由に製作せしめられたし

▲内務部長 第一問に對して答ふ水利組合の有利である否の問題はそのその工事の進行したる當時において彼れすべき問題ではない獨り朝鮮のみならず内地北滿道等では各地において各地共古いものは成績を擧げてゐる朝鮮における組合は大正二年にはじまつたのであるがその頃のものには皆相當成績をあげてゐる要するに起債償還以後においてはじめて有利となるのである

▲岡田農務課長 第二問の以問題は何に多くの以を製作するも販路がなければ何にもならないのであるゆゑに制限もし検査もして責任以てその販路迄も斡旋

してゐるのである

▲金鳳燮君（高原） 産業技手に

朝鮮人を使用しないで何故に朝鮮語を解せぬ内地人技手を採用するか萬事に不便である、次に火田民に對しての（實）

▲内務部長 如何にも最な質問で

ある然し過去三年の慣習から來てゐるものが朝鮮の人は文學とか哲學とかの方面には考へてゐる處はあるがどうも技術的の方面に至つては同じ學校を出てもその技能が内地人のそれと比較して劣る處があるのみならずこの道に進もうとする方が少ないのでありまして止を得ないのであります朝鮮語の修得といふことも總督府をはじめ随分獎勵してゐるのですが仲々むづかしいので思ふ様に行かぬですが行く／＼は經濟的方面、技術的方面からも朝鮮の方を採用する様になることゝ信じます第二の火田

民の問題は先程申し述べた通りでありますから省略いたします

▲沈亨燮君（端川） 薩は共同販賣法を廢して他道の如く競争入札にすれば約二十萬圓以上の利益ある如く思惟するゝが當局の意向は如何

▲岡田農務課長 他道において競争入札を行つてゐる様な御話ですがそれは絶対にありませぬ但し京城大邱釜の都市において仲買商人間に行はれてゐるかも知れぬこれと平南道ありに一箇所農會幹旋で一箇所位はあるやに聞いたがそれも確ではありませぬ

▲金基協君（洪原） 模範林の現

状について……模範林における造林或は林野保護等の實を置く一般に知らしめんがため臨時合地の一般或は林業技術員等をしてこれを參觀せしむる様な機會が設けられてゐるがなほ蘆田調査についての説明を乞ふ

▲劉産業課長 現在道内には四箇所（柳所略）一萬五千二百五十餘町歩模範林を設け内二箇所はすでに植栽完了他のものも目下造林中であるが年々四千乃至五千圓の収益をあげてゐるこれだけの面積を經營して行くのには可成り人員も要し將來はより多くの増員を要することと思ふこれだけ大きな仕事の實際經營状況を出來得る潭山の人に見てもうたいことは道當局としても熱望してゐるところである

こゝに議事進行上の動議はあつたが反對もあつて結局午後も引つてき勸業費について審議することに於て午食のため休憩

威鏡南道

威南道議會

患者の待遇に關し京 2. 28  
道醫槍玉に擧る 6.

審議最終日となつた威南道評議會  
第六日目は二十六日午前十時二十  
五分開會

▲關水議長 本日は歳出經常部臨時部衛生費その他歳入まで議了致したいと思ひますからなるべく御質問は簡單に御願致します  
丹下警察部長の衛生費豫算説明があつた後質問に入り

▲崔鍾律君(新興) 昨春道立醫院内部から十數名の傳染病患者を出し三名は死亡したとのことであるが原因如何尙本道醫療機關に就て説明を得たい

▲杉田衛生課長 病院内部から多數の患者を出した事は甚遺憾の悪いことではありましたがこれは威南市内に昭和四年九月から同五年三月頃までにおいて腸チフスが猖獗した際これ等入院患者激増のため從事看護婦が過勞に原因して若干名チフスに罹り死者三名を出しましたが今後はいくの不詳事件のなきやう充分注意致して居りますなほ醫療機關としては道立醫院、威南在勤醫師と其他個人開業醫師とを合せて百二十四名の醫師と外に醫生多數が夫々醫療機關にたつてはつて萬全を期して居りますから左様御承知を願ひたいのですと巡回診療、急救藥の常置からこまゝと説明す

▲崔鍾律君(永興) 道立醫院の職員が患者取扱に兎角の話を耳にするが當局はどんな監督をしてゐるのか

▲丹下警察部長 道立醫院での患者取扱が不親切であるとのことですが上司としては常に慎重の注意を拂ふてをりますが尙今後共一層萬全を期すべく致しますから左様御承知を願ひます  
▲金基協君(洪原) 平地帯の人口多數の處には道立醫院を設置せ

ず國境惠山嶺に道立醫院を置いて支那人患者まで治療してやるとは何事であるか惠山嶺醫院設置の理由をお聞きしたい  
▲杉田衛生課長 惠山嶺に道立醫院を設置されたことは國境の僻地に居住する人々の治療はもとより一面對支關係もあるやうですが出来ればもう一院位設置しようと思つてをりますとひにくり返へす

その他二三議員の一般歳出に對する質問等がつて南君の動議で歳出全部の一讀會を了り晝食のため休憩に入る午後一時二十分再開會

▲關水議長 只今より一括して二讀會を開きますと宜し諮問案各號(一、二、三、四號欠)の歳入歳出が一括上程され尹財務部長より歳入説明の後

▲金基協君(洪原) 營業用自動車税二十圓は自家用自動車税三十圓に比し安いやうであるが之は引上げる必要があると思ふなほ屠宰税も同様引上げ度いその反面に牛馬車税を引下げる要があると思ふが如何

▲淺間稅務課長 營業用自動車は物價税でありまして營業自動車經營者は自動車收益によつて別に營業税を納入するものでありますから以上引上げる要はないと思ひます屠宰税に於ても引上げは困難であります牛馬車税の引下亦歳出關係もありますから出来ませぬので左様御承知を願ひます

▲崔相玉君(威興) 中等學校の授業料引下に就ては當局の計畫ありや道立醫院の病院收入を増す方法はなきや道立醫院の賄を道直營にしては如何  
▲甘肅內務部長 中等學校授業料引下は道財政の現状で別に財源を得ぬ以上困難で殊に初等學校經營にも甚大なる影響を來たし

ます

▲杉田衛生課長 病院收入に就ては常に研究して居ります。附の改善に就ても新年度より何等かの方法を以て改善を加へたいと計畫を進めて居ります。

▲張河根君(安邊) 口手數料を引下けよとせまれば岡田農務引下の意氣なしとつきはなす。

▲朱彌植君(豊山) 戸税納付を四期にして貰ひたい。

▲淺間税務課長 税金は納める方の便益ばかりでなく徴收する方の手數その他の關係もありますから四期に致すことは困難であります。

▲塩弘周君(甲山) 河川使用料並流筏税の全廢、若しくは半減をして貰ひたいが當局の御意思を御伺ひ致したい。

▲種合土木課長 御質問の件は重大性がありますから只今こゝで御返事は出来兼ねます。

▲岡水議長 質問はありませぬかではこれを以て歳入歳出全部の第一議會を終り二議會に移ります。

と議場に諮れば『異議』なしで議事進行す。提案者(永興) 西田三郎君(元山) 金基協君(洪原) 田多市君(元山) 美彌成君(徳源) 崔鍾健君(新興) 林昌虎君(長津) 張河根(安邊) 等こもく起つて第一議會における審議事項の確定的懸念を振ひこれに對しては各關係參與員よりそれらの答辯があつて議長に二議會、三議會の審議完結を議場に起立により賛成を語る。

▲岡水議長 賛成者多數と認め二議會、三議會の審議終了を確定致します。

と宣した後諮問案(第二號曉學資金の件)歳入歳出豫算同第四號歳入歳追加更正豫算の審議に移り山本地方議長より内容の説明あり二三議員の質問後西田常三郎君(元山)の議事進行の動議で議長は全案の二議會完了を諮れば議場一致賛成議長は全案の二三議會完結を宣し本日の日程を了つた時に午後五時二十五分

建議案

威鏡線内聖觀里(永興郡仁興面)簡易驛設置要望の件(理由略省)右建議す

昭和六年二月二十日

建議者 道評議員 崔演模外全員



# 第十二回道評議會

## 模範部落の増置

### 戸税納附の意見等

豫算讀會全部終了す

二六日午後

午後一時三十分開會

吉栗浩君

穀物検査所内に

い

農務課長

穀物検査所内に

も同感であり一日も早く之が

實現を見らんと種々考究中である

金相鎬君

地稅附加稅の賦課に付いては各方面とも相當に

不平がある故或は一定の方法

で賦課して貰いたい、模範部落を増設して貰いたい

財務部長

地稅賦課に付ては地稅賦課法に依つて賦課して

る故之は動かす事の出來ないものである、模範部落増

設の云々に付ては昭和五年度

は五十一ヶ部落、昭和六年度

は二十一ヶ部落乃至二十二ヶ

部落増設する事になつてゐる

柳鎮鋪君

車輛稅徵收の任

に直接携はつた實驗談を説き

意見述べ、財務部長の談によれば牛馬車は道路を悪くす

る等の御意見であつたが現在の

の牛馬車の輪は廣く成つてゐる

故道路を悪くする事はなく

砂利敷等をして道路は砂利を

うづめ平坦になすが如き事は

ある、それより自動車は道路

を悪くするのは甚だ甚大であ

ると盛に自動車に攻撃し車輛

稅は經常部に本年通り永續的

に計上されるものなりや否や

との質問に對し

財務部長

車輛稅の經常部

に計上云々は永續的に本年度

の通り計上すべきものに非ず

財政の許す限りに減少さす方

針である

磯部君

穀物検査所手数料

に付質問す

農務課長

右の件に付き詳細なる説明があつた

學校卒業生が就職難に苦しむ

る實況にあるを以て本道の

各官廳各會社は本道内の學校

卒業生を採用されん事を切に

希望するものである、戸稅納

期は時恰も農家繁忙の折柄で

ある故この時期を變更された

し、二千圓餘の救濟費にては

不足の感がある、尙各飲食店

の女給は全部淫賣をなしてゐ

るもの故女給の撤廢を望むと

の辯論には場内を笑はせた

地方課長

戸稅納期變更及

救濟金に付き説明があつた

内務部長

本道内卒業生を

本道内に採用云々は目下當局

に於てもその方針で行つてゐ

る

時午後三時歳入出全部の一讀

會二讀會は全部終り休憩す

午後三時十分開會

歳入歳出第三讀會は起立により満場一致異議なく三時半終了

# 収検査所新設や 堆肥増産獎勵など

## 勸業費に關する質問

二十四日午前

第三日の本道評議會は廿四日午前拾時二拾分開會劈頭

十番議員 (磯部謙哉氏) 畜産獎勵費に關する件、副業資金貸付に關する件、水産事業費に關する件につき質問す之れに對し

調農務課長 畜産獎勵に關しては昭和元年より同五年迄五ヶ年計劃事業として行ひ既に第一期の計劃を終了したのである而して其の成績の結果改良鶏四拾二萬九千羽に達し計劃當初に比し二拾三萬羽の増加を示してゐるのである次に第二期計劃としては昭和六年度より同拾年迄五ヶ年計劃として之れで全部に對し普及を見ることゝなつてゐるのである、種類は名古屋白色レダホンである、又養豚は鶏と同じ方法にて獎勵しつゝある、次に副業資金貸付については原田地方課長より詳細の答辯があり、水産事業費に關しては李産業課長より夫々應答があつた次で

十七番議員 (林鳳周氏) 人

件費を節約する意味において俸給の安い朝鮮人官吏を採用しては如何、又今度新設さるゝ収検査所三個所の場所は何處と何處なりや、砂防工事を淳昌にも行つてもらひたしと述べ

松下内務部長 人件費の節約につき朝鮮人官吏を採用するは同感ではあるが學校を出

い許りでは能率を擧ぐる上に於いて遺憾の點が多いしかし此の點については考慮するつもりである

農務課長 三個所の収検査所は益山郡、任實郡、淳昌郡とである又養蠶は朝鮮としては屈竟の副業であるから之れについては當局として極力獎勵の方法を講じてゐる

産業課長 砂防工、事の區域については目下道にて調査中に屬してゐるが淳昌郡が其の區域の中に入るや否や今の所明かでない

十二番議員 (山本悅藏氏) 勸業費の項目につき大体的説

明を乞ふと述べ之れに對し農務課長各項目に亘りて詳細に説明を誠む

十九番議員 (金英武氏) 勸業費の項目については大体的判

つたが唯豫算を讀んだ丈では詳密に徹底しない宜しく通譯を介して徹底的に説明されたしといふ

之れに對し議長は十二番議員と十九番議員の意見が違つてゐるやうに思はれるが何れか本統かと質す

十二番議員 意見は少しも

違はぬ、唯自分としては今回の會議は新議員が多く従つて豫算案について大畧の説明を願つたのである其の他不明の個所については各議員より説明を乞ふを可とす、又款項目について説明を乞ふたが勸業費は之れを以て打切るといふ譯ではない

時に正午十九番議員二分間休憩の動議を提出し休憩となる再開此の時十九番と二番議員十二番議員の勸業費の件につき意見の衝突あり結局十二番議員の意見通りとなる

# 各方面よりの陳情

## 議員よりの建議など

サツサと片付けて閉會

最終日の廿七日

全北道評議會第六日は二十七日午前十時四十分より開會、十番山本悦藏氏宛て名儀にて全評議員に對し左記陳情書來る

- 一、黄登面水害復舊工事着手の件(黄登面より)
- 二、全南靈光郡嶼島を全北の管轄に編入されたき件(扶安郡より)
- 一、溫泉場設置につき道より實地踏査促進の件(同上)
- 一、水産學校設置の件(同上)
- 六番(趙在敦氏) 東津水利組合の賦課金は目下の狀勢に鑑み二十五年の返済期限を五十年位に延長されたし……と

述ぶ  
一、番(李康元氏) 全州高等普通學校に對し不祥事件防止策として地方の有志中より相談役を設置せられたし

八番(黄仁杓氏) 山間部に對し醫療に關し施療班を設置されたし

十番(磯部謙哉氏) 細民細農の救済方法を擴張する事次に産業組合を小區域にするのと更に朝鮮人間において斷髪を勵行すること等について説述す之れに對し  
議長 斷髪勵行の件につき

全議員に反對者なきかと述ぶ  
十番(磯部氏) 多少反對はあると思ふが時勢の進運上止むを得ずと思ふ

十六番(金相鎬氏) 今回の豫算面を見て本員は多分の意見を有し居るも時間の關係及び百參議員への手前遠慮してゐる。かし自分の意見は追つて書面に於て申述べらるつもりであるから會議におけると同様取計ひが願ひたい  
右終つて各議員より左の如き建議案提出さる  
一、萬頃江架橋完成の曉は引つづき東津江の架橋に着手に

されたき件

右建議者橋本央氏外四名議員全部賛成

一、全南線と慶全北部線と連結し淳昌郡淳昌面經由潭陽南原間の鐵道工事を速かに施工せられんことを當局に對し努力を乞ふの件

右建議者林鳳周氏外十七名全議員賛成

一、裡里農林學校に獸醫、畜産科を新設せられたき件

右建議者板井信藏氏外六名全議員賛成

一、井邑公立農業學校を昭和七年度より五個年制度に改め學年の延長あらんことを乞ふ

建議者朴碩奎氏外五名議員全部賛成

## 會議

## 全く終る

時に十二時之れにて會議は全部終了知事より閉會の挨拶あり之れに對し橋本央氏議員一同を代表して答辭を述べ一同退場、午後は議員一同刑務所專賣支局、製糸場を見學し翌二十八日は山本悅藏氏外十五名の議員松下内務部長統率の下に午前九時全州出發南原を経て麗水に至り同地及び附近の視察を爲し三月二日歸着の豫定である(全州電話)